

(1)

緒言

昨年山林局長ヨリ本邦國有林經營樹種ヲ畫定セラル、ヤ當署管内
 吏員ヘ周子ク之等樹種ノ効用、分布、識別、性質等ヲ熟知セシム
 ルノ必要ヲ感セラル余ニ之レガ編纂ヲ命セラル而シテ此等ノ事業
 ハ元ヨリ博學多識者ニアラザレハ完成スルコト能ハス余輩ノ淺學無
 識到底此ノ重任ニ耐ヘザルヲ識ル然レモ難ク遂ニ大膽ニモ本
 業ヲ敢テセリ蓋シ本畫ハ之ヲ編綴スルニ恩師本多博士著造林學各
 編ヲ經トシ白澤林學博士著日本森樹木圖譜ヲ緯シ之レヲ節ルニ
 恩師白井理學士著林植物講義及ヒ諸戶林學士著日本樹木効用編・
 一戶清方氏著工業材料編・山林管報等ヲ以テシタリ然レモ是レ編
 纂ト稱スル時ハ頗ル美名ナルモ其實際ハ唯拔書セシト云フニ過キ
 ザルハ頗ル忸怩タラザルヲ得ザルナリ然レモ是ニ依リテ多少益ス
 ル所アレハ幸甚トスル所ナリ

明治卅九年二月

林務官補 柳 田 由 藏 識

宮城大林区圖書室贈本



(2)

凡 例

- 一. 森林植物ノ順序ハ山林局長通牒ノ順ニ依レリ
- 一. 本書記載セル植物帯ハ本多博士ノ説ニ依レリト雖モ宮城大林區署管内ニ於ケル分布ノ記載中ニハ栗帯・山毛櫨帯・白樺帯・偃松帯ナル語ヲ用ヒタリ蓋シ右ハ栗帯・山毛櫨帯ハ本多博士ノ温帯ニ當レリ白樺帯・偃松帯ハ寒帯ニ當レリ
- 一. 宮城大林區署管内ニ於ケル植物ノ分布ハ余カ調査シタルモノナリ
- 一. 林業上ノ性質中ニ記載セル苗木養成法中本多博士ト異ナル點アルハ余カ實驗若クハ調査ニ係レリ
- 一. 本書中時ニ佛國制・米・粉・糶・粳・ヲ用ヒタリ之レヲ本邦制尺度ニ改算スルニハ佛制一米ハ我カ三尺三寸ニ相當スルヲ以テ三・三ヲ乘レハ日本尺數ヲ得ベシ
- 一. 樹種名ノ下ニ括弧ヲ以テ示セル數字 假令ハ第壹 すき (一)トアルハ附録圖譜トノ合番號ナリ

(3)

國有林營 森林植物

目次

第一章 人工植栽ニ依ルベキ樹種

第 一	すき	1		頁
第 二	ひのぎ	1	7	頁
第 三	さはら	1	9	頁
第 四	からまつ	2	1	頁
第 五	びやくしん	2	3	頁
第 六	うるしのき	2	4	頁
第 七	はぜ	2	6	頁
第 八	つげ	2	7	頁
第 九	いてふ	2	9	頁
第 十	きり	3	0	頁

第二章 天然生ノモノハ力メテ之ヲ保護シ主トシテ人工植栽ニ依ルベキ樹種

第 一	くすのき	3	2	頁
第 二 (一)	けやき	3	5	頁
第 二 (二)	つき	3	8	頁
第 三	くぬぎ	3	9	頁
第 四	あべまき	4	2	頁
第 五	くりのき	4	4	頁
第 六	ほゝのき	4	6	頁
第 七	かつら	4	8	頁
第 八 (一)	おにぐるみ	4	9	頁
第 八 (二)	びめぐるみ	5	1	頁
第 九 (一)	やまならし	5	2	頁
第 九 (二)	ごろのき	5	3	頁
第 十 (一)	しほじ	5	5	頁
第 十 (二)	やちだも	5	6	頁
第 十 (三)	さねりこ	5	7	頁
第 十 (四)	なほした	5	8	頁
第十一	はりぎり	5	9	頁

(4)

第十二	さほぐるみ	6	0	頁
第十三	(一) ねんじゆ	6	2	頁
	(二) いねねんじゆ	6	3	頁
	(三) ふじき	6	4	頁
第十四	きはだ	6	5	頁
第十五	ちやんらん	6	6	頁
第三章 主トシテ天然更新ニ依リ人工植栽若クハ人工播種ヲ以テ之ヲ補フベキ樹種				
第一	あかまつ	6	8	頁
第二	くろまつ	7	0	頁
第三	もみ	7	2	頁
第四	(一) つが	7	4	頁
	(二) こめつが	7	5	頁
第五	さかさわら	7	6	頁
第六	ひば	7	7	頁
第七	(一) たうひ	8	0	頁
	(二) いらもみ	8	1	頁
	(三) はりもみ	8	2	頁
第八	(一) しらべ	8	3	頁
	(二) あなもりさゝまつ	8	4	頁
	(三) だけもみ	8	6	頁
第九	(一) しらかし	8	7	頁
	(二) あかがし	8	9	頁
	(三) うらじろがし	9	0	頁
	(四) あらかし	9	0	頁
	(五) いちぬかし	9	1	頁
	(六) つくばねかし	9	2	頁
	(七) うばめかし	9	3	頁
第十	(一) こかしは	9	4	頁
	(二) おほかしは	9	7	頁
第十一	こなら	9	7	頁
第十二	(一) しひ	9	9	頁

(5)

	(二) まてばしい	1	0	0	頁
	(三) しりふかがし	1	0	1	頁
第四章 天然生育ニ依頼シ多少之ヲ保護シ保存スベキ樹種					
第一	かうやまき	1	0	2	頁
第二	かや	1	0	3	頁
第三	あらくぎ	1	0	5	頁
第四	てふせんまつ	1	0	7	頁
第五	ごふまつ	1	0	9	頁
第六	ひめこまつ	1	0	9	頁
第七	ねすこ	1	1	1	頁
第八	いぬまき	1	1	2	頁
第九	(一) ぶなのき	1	1	4	頁
	(二) いぬふな	1	1	5	頁
第十	(一) いたやかへで	1	1	6	頁
	(二) うりばたかへで	1	1	7	頁
	(三) みつでかへで	1	1	8	頁
	(四) くるびいたや	1	1	9	頁
	(五) ちやうじやのき	1	1	9	頁
第十一	さちのき	1	2	0	頁
第十二	(一) やまさくら	1	2	1	頁
	(二) てうじさくら	1	2	2	頁
	(三) みやまさくら	1	2	3	頁
	(四) うはみづさくら	1	2	4	頁
第十三	いすのき	1	2	4	頁
第十四	(一) みづなら	1	2	5	頁
	(二) おほなら	1	2	6	頁
第十五	(一) はるにれ	1	2	7	頁
	(二) おひようにれ	1	2	8	頁
第十六	けんぼなし	1	2	9	頁
第十七	やまくるま	1	3	0	頁
第十八	(一) もちのき	1	3	2	頁
	(二) くるかねもち	1	3	3	頁

(6)

	(三)	たらねう	1	3	3	頁
	(四)	いぬきげ	1	3	4	頁
第十九	(一)	いものき	1	3	5	頁
	(二)	こしあぶら	1	3	6	頁
第二十		やまくば	1	3	7	頁
第二十一		ばくちのき	1	3	9	頁
第二十二		みづき	1	4	0	頁
第五章	試験ノ爲メ造林スベキ種樹					
第一		かうふざん	1	4	1	頁
第二		北米びやくしん	1	4	2	頁
第三		北米ごようまつ	1	4	3	頁
第四		歐洲たうひ	1	4	4	頁
第五		こるくがし	1	4	5	頁
第六		北米やまならし	1	4	5	頁
第七		米國産れすこ	1	4	6	頁

(7)

森林植物俗名取調表

第一章 人工植栽ニ依ルベキ樹種

番 號	樹 種 名	名
第一	すぎ	スギノキ 杉 楢
第二	ひのき	ホンヒ 扁柏 檜
第三	さわら	ヌカビ オケサアラ 花柏 楸 弱檜
第四	からまつ	フジマツ ニツクワウマツ アカマツ ラクヤウシヤウ 落葉松 富士松 日光松
第五	びやくしん	ビヤクダンノキ イブキ カマク ライブキ イブキビヤクシン スギビヤクシン タチビヤクシン コウホク 檜 檜柏 刺柏 圓柏 血柏 柏 檜 栢心 白身 白心 白杉 伊吹光遠木
第六	うるしのき	漆樹 漆
第七	はぜ	ハジ ハゼウルシ ラウノキ 櫨 野漆樹 黄櫨
第八	つげ	ホンツゲ アサマツゲ カラツゲ 黄楊樹 栢
第九	いてふ	ギンナン ギンナンノキ ギナン 公孫樹 銀杏 白果 鴨脚 一葉
第十	きり	桐 白桐
第二章 天然生ノモノハ強メテ之レヲ保護シ主トシテ 人工植栽ニ依ルベキ樹種		
第一	くすのき	クス アカメクス アラメクス 樟 楠
第二 (一)	けやき	櫟
第二 (二)	つき	ツキゲヤキ ツキノキ ナカバケ ヤキ 槻
第三	くぬぎ	クノキ クニギ ドンカリノキ

- 第四 あべまき
マキ フシマキ メクヌギ ナザ
イガシ ドンブナ カタギ
ツンダンボウ 榎 桐 樫 榎
昆斗
アベクヌギ ワダマキ ワダナテ
チンクヌギ クリガシハ コルケ
クヌギ ホウズ ホウスマキ
ワダクヌギ サラカリ ワダ
チン 阿部榎 綿櫛
ク リ シハカリ ヤマクリ
- 第五 くりのき
ヤイムニ 栗
- 第六 ほくのき
ホ、カシハノキ ホンノキ
フシニ 厚朴 浮爛筋 土厚朴
朴 枳
- 第七 かつら
カモカツラ チカツラ アカキ
シロカツラ カツラギ カウノキ
タマカツラ ランゴ 桂
カツラノキ
- 第八 (一) おにぐるみ
クルミ クルミノキ チカルミ
ゴンロククルミ ニヌムニ
山胡桃
- 第八 (二) ひめぐるみ
オダフククルミ メクルミ
陳倉胡桃
- 第九 やまならし
ヤマアラン ハコヤナギ ハコギ
ヨメフリヤナギ ツラフリ
ヘラフリ アメフリ チカヤナギ
イヌギリ イセヤナギ ホトケギ
ヨメフリ ドロブ ドロノキ
ヌアクルンニ ヤイニ クルンニ
シチシ サハカリ コウバチ
シヨウジキ 鹽地 榎櫛
ダモ ナンブダモ オホバダモ
- 第十 (一) しほじ
- 第十 (二) やちたも

- 第七 (三) さねりこ
ヒンニ 榎
トヌリキ タモキ ト子リキ
トスベリノキ ハダツ タゴノキ
榎 秦皮
 - 第十 (四) おほした
アチタゴ コバノト子リコ
アチト子リコ アチタモ フシキ
イハニ 苦櫛木
 - 第十一 ばりぎり
ホウダラ ヤマキリ オホダラ
カツタイノキ アクダラ セノキ
センノキ イヌダラ カツタイギリ
オニセン ヌカセン アイウシニ
刺楸 刺楸樹 刺桐 榎 櫛
フナクルミ コグルミ ハマギリ
ハダツ ヤス ヤスノキ ヤシ
ヤシノキ カハクルミ シユカウホ
ク 澤胡桃 壽光木 桜
コエンジユ エニス 槐
 - 第十二 さはくるみ
クロエンジユ オホエンジユ
榎槐
 - 第十三(一) むんじゆ
ユクノキ シロエンジユ ヤマエ
ンジユ オホシダ 白槐
 - 第十三(二) いぬゑんじゆ
シコロ シケレベニ 黄蘗 藥木
黄柏
 - 第十三(三) ふじき
サンチン キヤンチン ヒヤンチ
ン コウチン スクロク トウヘ
ンボク クモヤブリ ソラシラ
ズ テンシヨウシラズ テンツ
キ ライデンボク 香椿 臭椿
椿
 - 第十四 きはだ
 - 第十五 ちやんちん
- 第三章 主トシテ天然更新ニ依リ人工植栽若シクハ人
工播種ヲ以テ之ヲ補フベキ樹種
- 第一 あかまつ めまつ アカメマツ アカホマツ

(10)

- 赤松 雌松 女松
- 第二 くろまつ オマツ オトコマツ シロマツ
ノドマツ 黒松 白穂松 白芽松
雄松
- 第三 もみ モミソ トウモミ サカモミ
ホウビシヤウ 縦 榎
- 第四 (一) つが トガ ホンツガ クロツガ
トガマツ オホツガ 榎
- 第四 (二) こめつが ヒメツガ ベニツガ ヨ子ツガ
米榎
- 第五 さかさわら サワラトガ アカトガ ゴエフト
が ツガサワラ カハキ 榎榎
皮木 カハキトガ
- 第六 ひば アスナロ アスナラウ アスヒ
シラビ ヒノキ アテヒ クサマ
キ アスカベ イシビ 羅漢柏
雁齒柏 明檜 檜葉 榎 檜 檜
ホンシウトウヒ ニレモミ
トラノチモミ シロツカ 唐檜
クロタウヒ マツハダ タウヒ
クロマツ
- 第七 (一) たうひ ツカモミ バラモミ
- 第七 (二) いらもみ シラビソ シラビ ダケツガ
アチヒバ コリウセン シロモミ
シロ、白檜曾 小龍仙 白檜
- 第七 (三) ぱりもみ オホシラベ プツサ オホリウセ
ン シラツカ 十文字トガ
ツカマツ 青森榎 大龍仙
- 第八 (一) しらべ 大白檜 大白檜曾
- 第八 (二) あなもりま、まつ ウラシロモミ ニツクワウモミ
アチホウモミ シロモミ 日光縦
- 第八 (三) だけもみ ホソバガシ クロカシ 藪榎
- 第九 (一) しらかし

(11)

- 白榎
- 第九 (二) あかがし オホバカシ クマカシ タウガシ
アラアカ オホカシ 血榎 赤榎
赤榎
- 第九 (三) うらじろかし ホソバカシ シラカシ 裏白榎
- 第九 (四) あらかし ならばかし クロカシ ツバカシ
アランホガシ シラカシ 桐 粗榎
- 第九 (五) いらぬがし イチヒ イチガシ ロカシ 石榎
榎榎
- 第九 (六) つくばねがし メンカシ ハヒギ 榎羽榎
- 第九 (七) うはめかし イマメカシ ウマメカシ パメガ
シ パメ ウバシバ クマノカシ
マベシイ ダニガシ 姥芽榎
姥目榎 馬目榎
- 第十 (一) ごかしは カシハ モチカシハ ゴヘイナラ
カシヤキ 榎 柏 五平榎
- 第十 (二) おほかしは オホバウソ カシハ ホツタリ
コムニ シコムニ
- 第十一 こなら ナラ イシナラ クロナラ ホソ
ノホソ マホソ マキ ミツナラ
ナラシバ コマキ ホサノキ
ハサゴ ソダメ スノキ 檜
李落樹 小檜 小榎 小李落 柞
榎
- 第十二(一) しひ シヒガシ 柯樹 椎 椎木
- 第十二(二) まてはしひ マテガシ オホシヒ タウシヒ
ナカシヒ サツマシヒ マタシヒ
馬刀葉椎
- 第十二(三) しりふかがし シリブカシヒ アラツバガシ
シリフカクロマテ ヨシガシ
クロカシ 尻澤椎 尻澤榎

ベキ樹種

- 第一 かうやまき ホンマキ マキ タウマキ
クサマキ 金松 高野榎 榎
榎 カラカサモミ
- 第二 かや カヤノキ ホンカヤ 栢 榧
- 第三 あらくぎ 井チイ シヤクノキ サクノキ
ヤマスワウ スワウノキ
ミ子ソウ ミ子スワウ ヤマビヤ
クダシ アカギ オツコ オンコ
ウルマニ ラマニ ク子ユ 紫杉
水松 朱樹 欄 一位 一位木
櫟
- 第四 てふせんまつ テフセンゴエフマツ ゴエフマツ
カラカツ カンシヤウ 海松 朝
鮮松 朝鮮五葉 韓松 長葉五葉
新羅松
- 第五 ごゑふまつ アカマツ チカツアフツ
五叙松 五葉松
- 第六 ひまこまつ ヒメゴエフ コエフマツ 五鬚松
姫五鬚松 姫小松 姫子松
- 第七 ねずご クロビ クロベ クロベスギ
子ズ イヌビ ゴラウヒバ
ヒノキ アカビ 榧 榧子
- 第八 いぬまき クサマキ マキ ヒトツバ 狗榎
- 第九 (一) ふなのき ホンブナ シロブナ ブナ
ソバノキ キソバ ソバカリ
コノミ ベノミ プンナカリ
ベラニ 栢 櫟
- 第九 (二) いぬぶな クロブナ イボブナ 山毛櫟
犬櫟
- 第十 (一) いたやかへで ツタモミチ トキハカヘテ
キフ子モミチ ホツタモミチ

- イタヤモミチ イタギカヘテ
イタギ イタヤ トヘニ シトヘニ
板尾楓
- 第十 (二) うりはだかへで ウリカヘテ オホフリノキ カハ
ホリカヘテ コンジノキ イ、ツク
アチカラ アチカラノキ チツカ
チツカラノキ アチホウズ
爪膚楓 チツカノキ
- 第十 (三) みつてかへで ミツバカヘテ ハナイタヤ
- 第十 (四) くるびいたや ヤイウエンテトヘニ
ニタツトヘニ
- 第十 (五) ちやうじやのき メグスリノキ セミノキ テフノ
キ コチヤウノキ ミツババナ
テフテフノキ
- 第十一 さらのき 七葉樹 天師栗 櫟 栲 榲 栲
- 第十二 (一) やまざくら 櫻桃 山櫻桃
- 第十二 (二) てうじさくら カバザクラ コメザクラ サヤザ
クラ アカカバ ヤマカバ
タニノソキ
- 第十二 (三) みやまさくら メシロサクラ シロサクラ
メサクラ
- 第十二 (四) うはみつざくら コンゴウザクラ メヅラ 子ヅラ
ハルサザクラ メクラホウゴ
ホウゴウザクラ アカギ コゴノ
キ イヌサクラ ミツメサクラ
ユスノキ ヒヨシノキ フクベノ
キ サルフエ 蚊母樹
- 第十三 いすのき ヤマホソ ハハソ 水榎
- 第十四 (一) みつなら ナラカシハ マナラ ノイシナラ
- 第十四 (二) おほなら シロナラ 大榎
- 第十五 (一) はるにれ ニレ 子レ 子リ ヤキリ ダモ
アカダモ チキサニ 榦 春榦 栲

- 第十五(二) おひょうにれ ヤハヅニレ アツニレ ウバヌレ
オヒヤウダモ ホンダモ ウバニレ
ヤマバリ ヤシメ アツニ 姥楡
- 第十六 げんぼなじ テンボナシ テンボコナシ 枳椇
- 第十七 やまぐるま イワグルマ ヤグルマ モチノキ
オホトリモチ トリモチノキ
イハモチ イハモチノキ ロウソク
ノキ コハピラ 山鶯
- 第十八(一) もちのき ピンカ 細葉冬青 鵝木
- 第十八(二) くるかねもち フクラシバ イヌモチ
- 第十八(三) たらふぶ オホモチ ノコギリバ
- 第十八(四) いぬつけ コバモチ テツモチ オニツゲ
ピンカ サカロ ヨメカサラ ヤマ
チヤ ツゲ 鑿子木 犬黄楊
- 第十九(一) いものき タカノツメ オトコゴンセツ
イヌホウ シンダ コシヤノキ
コセトウダネ コサバラ
- 第十九(二) こしあぶら ゴンセツ イトチ ニンシンボク
チンナゴンセツ いもぎ アブラキ
アブラコ ビンボウミツバ コサバ
ラ 金漆樹 人蔘木
- 第二十 やまぐは マクハ サクハ チクハ テンマ
ニ ツレアニ トベムベ 鷄桑
山桑
- 第二十一 ばぐちのき ヒランツユ ハタカノキ 子ツサマ
シ ゴイノキ サルコガシ ゲイマ
- 第二十二 みつき グルマミヅキ クロミヅキ ミヅノ
キ ハシカノキ ミツケサ ミヅナ
ナ ミヅシ シンダ ダンゴノキ
ガトカニ

水 木

第五章 試験ノ爲メ造林スベキ樹種

- 第一 かうふざん ナラダモミ リウキウモミ
ギヤウツヤモミ シヤヤナギ
リウヒ ツアン ツアアキ 杉
沙木 廣葉杉
- 第二 北米びやくしん
- 第三 北米ごようまつ
- 第四 欧州さうひ
- 第五 こるくがし コルクノキ
- 第六 北米やまならし ホアラ ライノキ クロヤマナラ
シ インドヤナギ 亞米利加白楊
塔葉白葉 白楊
- 第七 米國ねすこ ギカントヒノキ

い ろ は 索引

●い ノ 部

いてふ	2	9	頁	(第二十八圖)
いねはんじゆ	6	3	頁	(第四十七圖)
いらもみ	8	1	頁	
いちねがし	9	1	頁	
いぬまき	1.1	2	頁	(第十四圖)
いぬぶな	1.1	5	頁	
いたやかへで	1.1	6	頁	(第五十一圖)
いすのき	1.2	4	頁	(第四十五圖)
いねつけ	1.3	4	頁	(第二十五圖)
いものき	1.3	5	頁	

●は ノ 部

はせ	2	6	頁	
はりぎり	5	9	頁	(第五十九圖)
はりもみ	8	2	頁	
はるにれ	1.2	7	頁	(第三十八圖)
ばくちのき	1.3	9	頁	
はんのき			頁	(第二十二圖)

●ほ ノ 部

ほほのき	4	6	頁	(第四十圖)
北米びやくしん	1.4	2	頁	(第十六圖)
北米ごようまつ	1.4	3	頁	(第十七圖)
北米やまならし	1.4	5	頁	(第五十五圖)

●へ ノ 部

米國ねすこ	1.4	6	頁	
-------	-----	---	---	--

●と ノ 部

とろのき	5	3	頁	
------	---	---	---	--

(17)

さねりこ 5 7 頁
 さがさわら 7 6 頁 (第七圖)
 さちのき 1. 2 0 頁 (第五十二圖)

●ち ノ 部

ちゃんちん 6 6 頁 (第四十八圖)
 ちやうずやのき 1. 1 9 頁

●を ノ 部

おにくるみ 4 9 頁
 をほした 5 8 頁 (第五十四圖)
 おほかしは 9 7 頁
 おほなら 1. 2 6 頁
 おひよりにれ 1. 2 8 頁
 歐洲たうひ 1. 4 4 頁 (第十八圖)

●か ノ 部

からまつ 2 1 頁 (第十圖)
 かつら 4 8 頁 (第四十三圖)
 かうやまき 1. 0 2 頁 (第十三圖)
 かや 1. 0 3 頁
 かうゑうざん 1. 4 1 頁 (第十五圖)

●た ノ 部

たうひ 8 0 頁 (第十一圖)
 だげもみ 8 6 頁
 たらやう 1. 3 3 頁 (第五十圖)

●つ ノ 部

つけ 2 7 頁 (第四十一圖)
 つき 3 8 頁
 つが 7 4 頁 (第四圖)
 つくばねがし 9 2 頁

(18)

●ね ノ 部

ねずこ 1. 1 1 頁 (第十九圖)

●う ノ 部

うるしのき 2 4 頁
 うらじろがし 9 0 頁 (第三十六圖)
 うはめがし 9 3 頁
 うりはだかへで 1. 1 7 頁
 うはみづまくら 1. 2 4 頁

●く ノ 部

くすのき 3 2 頁 (第四十二圖)
 くぬぎ 3 9 頁 (第三十圖)
 くりのき 4 4 頁 (第三十三圖)
 くるまつ 7 0 頁
 くるびいたや 1. 1 9 頁
 くるかねもち 1. 3 3 頁

●や ノ 部

やまならし 5 2 頁 (第二十六圖)
 やちだも 5 6 頁
 やまざくら 1. 2 1 頁 (第四十六圖)
 やまぐるま 1. 3 0 頁 (第四十四圖)
 やまくは 1. 3 7 頁
 やまはんのき (第二十三圖)

●ま ノ 部

まてげしい 1. 0 0 頁

●け ノ 部

けやき 3 5 頁 (第三十九圖)
 けんぼなし 1. 2 9 頁 (第五十三圖)

(19)

●ふ	ノ	部			
ふじき			6	4	頁
ぶなのき			1.1	4	頁 (第二十七圖)
●こ	ノ	部			
こめつが			7	5	頁
こかしは			9	4	頁 (第三十四圖)
こなら			9	7	頁
こゑふまつ			1.0	9	頁
こしあぶら			1.3	6	頁 (第六十圖)
こるくがし			1.4	5	頁 (第五十六圖)
●ね	ノ	部			
ねんじゆ			6	2	頁
●て	ノ	部			
てふせんまつ			1.0	7	頁 (第九圖)
てうじさくら			1.2	2	頁
●あ	ノ	部			
あべまき			4	2	頁 (第三十一圖)
あかまつ			6	8	頁
あなもりさゝまつ			8	4	頁 (第八圖)
あかがし			8	9	頁 (第三十五圖)
あらがし			9	0	頁
あららぎ			1.0	5	頁 (第二十一圖)
あかしで					頁 (第三十七圖)
●さ	ノ	部			
さはら			1	9	頁 (第三圖)
さはぐるみ			6	0	頁 (第二十四圖)
●き	ノ	部			
きり			3	0	頁

(20)

きはだ			6	5	頁 (第五十八圖)
●み	ノ	部			
みつでかへせ			1.1	8	頁
みやまさくら			1.2	3	頁 (第三十二圖)
みづなら			1.2	5	頁
みづき			1.4	0	頁 (第六十一圖)
●し	ノ	部			
しほじ			5	5	頁
しらべ			8	3	頁 (第十二圖)
しらかし			8	7	頁
しひ			9	9	頁 (第二十九圖)
しりふかがし			1.0	1	頁
しなのき					頁 (第五十七圖)
●ひ	ノ	部			
ひのき			1	7	頁 (第二圖)
びやくしん			2	3	頁 (第五圖)
ひめくるみ			5	1	頁
ひば			7	7	頁 (第二十圖)
ひめこまつ			1.0	9	頁
●も	ノ	部			
もみ			7	2	頁 (第六圖)
もちのき			1.3	2	頁 (第四十九圖)
●す	ノ	部			
すぎ					1 頁 (第一圖)

第一章 人工植栽ニ依ルベキ樹種
第一節 すぎ (第一圖)

(名稱) 和名すぎ一名すぎのき漢名杉俗ニ楡ト稱ス學名ヲ(Cryptomeria Japonica Don)ト稱スすぎのきハすぐのきノ訛轉ナリト云フ眞直ナル木ノ意ナリ云々又漢名ニ杉ト稱スルモ支那ニテハ之ノ杉ナル字ハこうふうざんニ對スル稱呼ナリト云フ然ラバ杉ハ漢名トシテハ當ラザルモノト云フベシ

(効用) 杉ノ材ハ普通最モ多ク用ヒラル、用材ニシテ家屋建築用材トシテハ日本全國殆ソト之ヲ用ヒザル所ナシ其他船艦ノ大用材ヨリ電信・鐵道・橋梁・土工・器具器械・箸材・玩具等ノ小ニ至ル迄其用途枚舉ニ遑アラズ實ニ本邦ニ於テハ一日モ欠クベカラザル有用材ナリトス加之ニ其枝葉根株ハ薪炭材トナリ葉ハ線香秣香材ヲ造ルニ用ヒ皮ハ屋根ヲ葺ク用ニ供シ需用多ク或ハ松明又ハ火繩ヲ造リ或ハ馬具ノ裝飾用農民ノ用ユル負ヒ籠等ヲ造ル又材ノ脂氣多キモノハ木香ト稱シ清酒ニ香氣ヲ附スルノ用ニ供ス又其木理ノ緻密ニシテ紋理アルモノ、如キハ諸種ノ美術用ニ供セラレ其柱目極細密ニシテ光澤アルモノハ天井板長押等ニ用ヒ小ナルハ短冊掛柱掛菓子器及茶器等ヲ造ルニ供ス又杉ノ丸太ハ京都ノ北山有名ニシテ磨丸太トシテ上等ノ建築ニ用ヒ吉野産丸太又有名ナリ東京四ッ谷丸太ノ如キハ足場用簾竿等トナス此樹ハ又生垣ニ供セラレ或ハ畸形ノモノハ庭園樹又ハ盆栽ニ供ス

(分布) 溫帶ニ生ズル樹木ナレドモ日本全國殆ソト至ル所ニアリ然レドモ天然ニハ青森縣ヨリ以北ニハ之レヲ生セズ而シテ秋田縣ニテハ海面上ヨリ直チニ之レガ天然林ヲ有シ本邦ノ南部ニテハ三四千尺屋久嶋ニテハ四五千尺臺灣ニ於テハ六千乃至七千尺ノ間ニ之レガ天然林ヲ有ス而シテ我が國杉ノ天然生アル地方ハ左ノ如シ陸奥國南津輕郡羽後國秋田郡陸中國岩手郡陸前國玉造郡羽前國最上郡相摸國愛甲郡丹澤山越中國新川郡黒部谷近江國比良山脈丹波國北桑田郡由良川水漁地方但馬國妙見山石見國鹿岡郡及美濃郡及那賀郡等ノ山中安藝國石州境西北部ノ山中及佐伯郡土佐國安藝郡魚梁瀬山中阿波國海部郡西南山中大隅國屋久嶋臺灣新高山等ニシテ中就大森林ヲナシ其名天下ニ顯ハルモノハ羽後國秋田郡大隅國屋

(2)

久嶋ニシテ之ニ次クモノハ土佐國安藝郡魚梁瀬トス但シ人工ニ依リ之ヲ仕立テ得ベシ而シテ此等人工ニ依リ成立セル森林ニシテ有名ナルハ大和紀伊遠江武藏甲斐駿河越前豊前日向等ナリ其中最モ著名ナルハ大和ノ吉野地方及駿河天瀧川地方ナリトス日向沃肥ノ部分林ハ挿木ニ依リ成立セシ森林ナルヲ以テ名有リ

(葉)針葉ハ綠色ニシテ直接ニ小枝ノ周圍ニ立チ葉端尖リテ斜メニ出テ少シク上方ニ向テ彎曲ス葉ハ表裏及左右ニ一個ツ、ノ高マリタル縦線アリテ横断面ハ四角形ヲナシ表裏ノ幅左右ノ幅ヨリ廣ク而シテ各側面ヲ仔細ニ檢スルモ白線アルヲ見ル

(枝)嫩枝ハ葉ニテ包マレ綠色ヲ呈シ三年生ノモノハ褐色ヲ呈スルニ至ル一般ニ枝ハ幹ト銳角ヲ爲シテ出テ幹ニ向ツテ平行セントスル傾アリ故ニ他ノ樹木ヨリ其占領面積少ナシ

(幹)常緑喬木ニシテ幹能ク直立シ通常卅年ヲ經ナバ直徑七八寸高サ七八十尺ニ達ス即チ此時季ニ於テ四五寸角ノ柱ヲ取ルヲ得ベシ而シテ五十年目ニハ通常直徑一尺乃至一尺五寸高サハ八九十尺ニ達シ其老大ナルモノハ直徑一丈高サ五十尺ニ達スルモノアリ幹皮ハ赤褐色或ハ黑褐色或ハ灰褐色ヲ呈シ成長スレバ縦裂ス縦溝ハ眞直ニシテ長シ此レ杉ノ特徴ナリ「凡ソ材ニハ扁(しらた白体)心材(あかた赤体又あかみ赤味赤身)ノ割アリ扁材ハ心材ノ外部ニアリテ比較的新ラシキ材ノ部分ニシテ多クハ白色ナリ心材ハ扁材ノ内部ニアリテ比較的舊キ材ノ部分ニシテ通常特別ナル色彩ヲ有スルヲ常トス」杉ノ扁材ハ淡炎白色或ハ殆ンド白色心材ハ淡紅色赤褐色或ハ暗赤褐色ヲ呈シ木理ハ通直柔軟其宜シキヲ得工作ヲ施シ易シ是レ杉材ノ尤モ便利ナル所以ナリ生木比重ハ八二乃至九六氣乾比重ハ四八ナリ根ハ直根ハ餘リ發育セズ側根ハ強太トナルト雖モ概シテ深根性ノモノナリ

(種子)雌花ハ先ツ花芽ヲ莖ノ上部ニ於テ針葉腋ニ群生シ秋季ニ形成ス翌年開花ノ準備ヲナス雄花モ又秋季ニハ已ニ形成シ莖ノ頂端ニ一個ツ、附着ス雄花ハ圓壺形ニシテ先端圓ク大サ米粒大ニシテ黃色ヲ呈ス雌花ハ多數ノ鱗片列ヲ正シテ互生シ各鱗ノ内腋三個乃至七個ノ卵子ヲ附着ス此雌花ハ後ニ果實トナルナリ果實ハ初メ綠色ナルモ後ニ熟シテ暗褐色ノ毬果トナリ圓形ヲナシ直徑五六分ト

(3)

ナル毬鱗ハ下部狹ク上部廣ク其先端ハ分裂シテ四或ハ五片トナリ各裂片ハ尖リテ少シク上方ニ曲ル種子ハ上方ニ卵門アリテ直立シ其形少シク扁平ニシテ先端ニハ一ノ尖リヲ有ス色ハ赤褐或ハ黑褐色ニシテ左右ニ狹キ翅ヲ具フ稍々光澤ヲ有ス種子一粒ノ大サ通常長四・九輝幅二・四粒厚サ一・一毫米有ス毬果ハ生一升ハ通常約五百五十個ニシテ重量ハ百五十匁ナリ生果一升ヨリ種子五勺乃至七勺ヲ得ベシ而シテ普通種子一升ノ重量ハ百七十匁乃至二百匁ニシテ粒數十六萬乃至二十萬粒ヲ數フルモノアリ發芽量ノ發芽試驗器内ニテハ六七割ノモノアレモ普通四五割ニ過キズ播種床地内ニ於テハ最良ハ四五割ニシテ通常ハ二三割ニ過キズ發芽保存力ハ結實後普通ノ乾燥貯藏法ニテ一ケ年ヲ保ツベシ壘中ニ密閉貯藏スルモノモ翌々年ノ春季迄其幾分ノ發芽力ヲ保存スルヲ得ルニ過キズ故ニ杉ノ古種ハ用ヲナサズ然ルニ狡猾ナル商人ハ古種ヲ新種子ト稱シ若クハ古種子ヲ混シテ販賣スルコトアリ注意セザルベカラズ吾人ハ之ヲ觀破スル方法ヲ研究セザルベカラズ今從來研究セラレタル方法ヲ述ベンニ種子ノ色合此ハ新種子ハ多クハ赤褐色ヲ有スルモ古種子ハ黑褐色ヲ呈ス種子ノ光澤ハ新種子ニハ脂質ノ光澤ヲ有スルモ古種子ハ殆ンド其光澤ヲ有セズ種子ノ重量ハ一升百七十匁以下ハ不可ナリ(種子ノ内部)小刀ニテ種子ヲ切斷シテ其内部ヲ伺ヘバ新種子ノ胚ハ脂氣ヲ帶ビ淡黃色ニシテ瓜ニテ壓スレバ油分ヲ放出スルモ古種子ハ脂氣ヲ保タズ死白色ヲ呈シ瓜ニテ壓スルモ油分ヲ放出スルコトナシ此レ簡易檢定法中尤モ必要ナル條件ナリ習熟スルヲ要ス(發芽能力)發芽試驗器ニテ其能力ヲ檢定スルニアリ其他種々アレモ畧ス然レドモ種子商又此レ等ノ要件ヲ知り古種子ヲ新種子ニ擬スルコトアリ即チ掌ニ燈油ヲ塗リテ種子ヲ攪拌シ以テ光澤ヲ附スルモノアリ此レ等ハ種子一握ヲ火中若クハ熱湯ニ投ズルモ油煙ヲ發スルニヨリ知ルヲ得ベシト云フ

(林業上性質)杉ハ尤モ成長シ易ク何レノ地質ニモ能ク成育ス然レドモ好メテ北面若クハ北東面ノ山腹凹地ニ生ズ俗ニ杉ハ水ヲ吸フト言フアルハ蓋シ其根ノ水分ヲ要スルノ謂ニシテ性質乾燥地ニ適セズ山間濕潤ノ地ニ適シ濕氣深キ深山幽谷ノモノハ成長速カニシテ材質亦良好ナリ然レドモ停滯セル濕地ニハ長ク堪ユルヲ能ハ

(4)

ズ途ニ其ノ根ノ腐敗スルニ至ルヲ見ルベシ我が新庄小林區部内南澤山神澤國有林ノ杉林(國道ノ近傍)ノ如キハ地下一尺以下ハ粘土層ニ依リテ閉ラレ地下水ハ常ニ此粘土層ニ停滯スルニ依リ杉ノ成長ヲ甚ダシク害スルヲ以テ植栽後四五十年經過後ノ今日尙ホ最大ナルモノ直徑五六寸ヲ出テザル有様ナリ前段已ニ述ベタル如ク杉ノ成長ハ三十年生ニシテ直徑七八寸ヲ得ルヲ普通トスレバ南澤山神澤杉林ノ如キハ造林上ノ失敗ト云ハザルベカラズ故ニ造林者ハ能ク意ヲ用ヒテ地質ノ關係等ヲモ細查セガルベカラズ是ヲ要スルニ杉ハ濕氣ノ疏通宜シキ肥沃ナル深キ土壤ヲ好ム俗ニ檜峯谷杉ナル語アリ此レ蓋シ谷ハ概シテ濕氣多ク疎通宜シク土壤ハ峯ヨリ常ニ雨水ノ爲メニ運バレッツ、アルヲ以テ土壤深ク肥沃ナレバ從テ杉ニ適スル所以ナリ檜ハ杉ヨリ比較的淺根性ナルヲ以テ從テ峯ニ堪ヘ得ル所以ナリ

杉ハ一ノ陽樹ニシテ庇陰ニ堪ヘズ故ニ樹下ノ如キ處ニ繁殖スルコトナシ成長ハ甚ダ速ニシテ植付後十二三年ノ間ハ其伸長力松ヨリ盛ナリ又其林地ノ鬱閉ヲ保ツトモ松ヨリ久シ唯此樹ハ枝ヲ出スコト多キヲ以テ鬱閉充分ナラザレバ無節ノ良材ヲ得ルヲ能ハザルベシ

杉ハ風倒レ雪倒レノ害ハ甚ダシキガ故ニ造林者ハ常ニ之レ等ノ害ヲ防クニ注意セザルベカラズ即チ比較的粗植トナセバ樹木健全ナルヲ以テ是レ等ノ害ヲ豫防スルコトヲ得ベシ故ニ造林シタル地ハ注意シテ間代法ヲ行ヒ森林ヲシテ常ニ強壯ナラシムル事ニ努ムベシ杉ハ蟲害ニ對シテハ比較的強ク唯近來一種ノ金龜蟲ノ害ヲ受クルニ至レリ又杉ハ植付當時鼠ノ爲メニ根ヲ害サル、トアリ又兎ノ爲メニ其心ヲ嚙ミ切ラル、コトアリ此等ノ動物ノ驅除ハ鼠ニ鼠ヲ殺スベキ黴菌ヲ傳般セシメ是ヲ撲滅セシムルニアリ兎ハ狩獵ノ目的トナレバ毒殺法ハ避ケザルベカラズ

(森林苗圃法)植樹造林ヲナサレト欲スレバ即チ苗木ヲ必要トス苗木ハ之ヲ山地ヨリ採集シ來ルカ若クハ之レヲ養成セザルベカラズ杉ニアリテハ一般ニ野生ノモノヲ採集スルヨリモ苗木ヲ養成スル場合ヲ多シトス其他「ヒノキ」「サハラ」「カラマツ」「ヒヤクシン」「ウルシ」「ツゲ」「クス」「ケヤキ」「クヌギ」「クリ」「アカマツ」「クロ

(5)

マツ」「ヒバ」「カシ」類等ハ何レモ苗木ヲ養成スルヲ主トスルヲ以テ茲ニ苗木ノ養成即チ一般ノ森林苗圃事業ノ概畧ニ就キ述ベントス

左記 森林苗圃事業施行準則ハ予カ宮城大林區署ノ命ヲ受ケ調査セシモノニ係リ當時執行セラレツ、アルモノナリ今許可ヲ得テ茲ニ掲載セリ蓋シ森林苗圃事業ノ説明ニ代ント欲シテナリ

森林苗圃事業施行準則

第一章 總則

第一條 森林苗圃トハ人工ニ依リ森林ノ苗木ヲ養成スル場所ヲ云フ

第二條 森林苗圃ハ之ヲ播種床地・床替・床地及ヒ除地ノ三部ニ分チ播種床地ハ一年生苗木ヲ床替床地ハ二年生以上ノ苗木ヲ養成スル所ヲ云ヒ除地ハ床地以外ノ土地ヲ云フ

但シ事業上ノ都合ニ依リ專ラ床替苗木養成ノ爲メ設置スルコトアルヘシ

第二章 圍牆

第三條 牛馬羊豚猪鹿等ノ害アル地方ニ於テハ圍牆ヲ設ケ之ヲ防禦スヘシ

第四條 圍牆ハ生垣及ヒ死垣ノ二トシ生垣ハ三年生以上ノ杉・扁柏・花柏・羅漢柏等ノ苗木ヲ用ヒ死垣ハ鐵條・柵・竹矢來・丸太柵・築堤等トスヘシ

第三章 小屋

第四條 森林苗圃内ニ番人小屋・物置小屋・及ヒ肥料小屋ノ必要アルトキハ之ヲ設クヘシ

但シ前記ノ小屋ハ便宜合併スルヲ妨ケス

第四章 器具

第六條 森林苗圃ニ設備スヘキ主要ノ器具ヲ左ノ種類トス

- 一. 鋤 二. 土篩 三. レーキ 四. シヤーアル 五. 根切鋏 六. 根切押切 七. 肥料溜桶又ハ瓶 八. 擔桶 九. 柄杓 十. 天秤 十一. モッコ(畚)

第七條 肥料溜器ニハ必ラス蓋ヲ設クヘシ

第八條 器具機械ハ使用後直チニ掃除ヲナスヘシ

第五章 區劃及區劃線

第九條 區劃線ハ主副ノ二種ニ分チ區劃主線ハ可成其方向ヲ東西又ハ南北トシ苗圃ノ中央又ハ側方ニ設ケ其幅ハ五尺以內トス副線ハ主線ト成ル可ク直角ニ設ケ其幅ハ二尺以內トス但シ地形上本條ニ據リ難キ場合ハ此ノ限ニアラス

第十條 三町歩以下ノ森林苗圃又ハ森林苗圃ニ通スル車道ナキトキハ區劃主線ヲ設ケルニ及ハス

第十一條 播種床地及ヒ床替床地ハ其區劃ノ大サチ一反歩トシ東西十間南北三十間ノ長方形トナスヘシ但シ地形上據リ難キ場合ハ此ノ限リニアラス

第六章 排水

第十二條 排水溝ハ明渠及ヒ暗渠ノ二種トシ明渠ハ幅一尺以上深サ一尺二寸以上(附近區劃線面ヨリ計算ス)渠底五寸以上トシ區劃線ニ接シテ開鑿スヘシ暗渠ハ當分粗朶工法ノミヲ用ヒ地下一尺以下ニ設置スヘシ

第十三條 明渠ハ毎年一回春季ニ浚渫スヘシ

第十四條 排水溝ハ粘土質土壤ノ如キ濕地ニ之ヲ設ケ砂質ノ如キ乾燥シ易キ土壤ニハ設置スルヲ要セス

第十五條 排水口ハ其排口ヲ苗圃内ノ最底部ニ設ケ漸次高處ニ至ラシムヘシ

第七章 耕耘

第十六條 播種床地及ヒ床替地ハ馬耕及ヒ手耕ノ二種トシ土塊ノ細碎スル迄耕耘スルモノトス

第十七條 播種床地ハ殊ニ注意シテ土塊ヲ極細破スヘシ

第十八條 耕耘ノ深サ播種床地ハ五寸以上トシ床替地ハ六寸以上トス但シ深サトハ未タ耕耘セサル床地面ヨリ計算ス

第八章 種子

第十九條 種子ノ送附ヲ受ケタルトキハ赤松・杉・扁柏・花柏・落葉松等ハ直チニ空氣ノ流通シ易ク溫度ノ激變ナキ所ノ天井ニ吊シ置クヘシ

第二十條 栗・櫟・柅・櫟等ハ直チニ荷ヲ解キ乾燥セル同容量以上ノ砂ト混シ大樽又ハ大瓶内ニ貯藏シ若クハ極乾燥セル砂ト混

シ乾燥セル土中ニ埋藏スヘシ

但シ細砂ヲ得難キ地方ニ於テハ單ニ乾燥セル土壤中ニ埋藏スヘシ

第二十一條 種子ハ天氣其他ノ都合ニ依リ播種ヲ延期シ又ハ如何ナル場合ヲ問ハス包ノ儘決シテ直接地面上ニ置クヘカラス其床上ニ置ク場合ニモ堆積スヘカラス

第九章 肥料

第二十二條 施肥ハ原肥及ヒ追肥ノ二種ニ分チ其播種又ハ移植ノ前ニ行フモノヲ原肥トシ發芽后又ハ移植后ニ係ルモノヲ追肥トス

第二十三條 肥料ノ種類ハ左ニ掲クルモノ、内地方ニ於テ適宜得易キモノヲ使用スルモノトス

- 一. 人糞(普通ノモノ)
- 二. 糞(米糠・小麥穀)
- 三. 厩肥(馬ノ踏肥)
- 四. 油粕(大豆粕・菜種粕)
- 五. 魚粕(鱈粕・鯡粕)
- 六. 諸粕(酒粕・粕油糞)

第二十四條 肥料ノ施用方法ハ左ノ順序ニ從ヒ適宜應用スルコトヲ得ルモノトス

一. 人糞 生人糞ヲ肥溜ニ入レテ密閉シ日光ノ直射及ヒ雨水ノ浸入ヲ防キ十日乃至二十日ヲ經タル后使用スルコト

一. 糞 堆積肥料(雜草又ハ塵芥ノ如キモノヲ積ミ重子時々尿又ハ水ヲ注キ切り覆ヲ行フコトニ依リテ製造シタルモノ)ニ混シ或ハ之ノミヲ使用スルコト

一. 厩肥 耕地粘濕土地ナルトキハ生肥ヲ直チニ鋤キ込ミ輕鬆土地ナルトキハ腐熟シタルモノヲ用ユルコト

一. 油粕 搗碎キ粉末トシテ單用又ハ堆積肥料ニ混用スルコト

一. 魚粕 油粕ノ使用方ニ準ス

一. 諸粕 二三日間堆積シテ尿水ヲ注キ用ユルコト但シ性強烈ナルヲ以テ施スニ際シ種子ニ密接セシムヘカラス

右ノ種類中厩肥ヲ除キ他ハ肥溜ニ入レ液肥トナシテ施用スルコトヲ得但シ肥溜ニ入レ置ク日數ヲ十日乃至二十日トス

第二十五條 肥料ノ施用量ハ各場合ニ從ヒ左ニ掲クル耕地壹反歩

當ノ標準量ニ基キ加減スルモノトス

肥料 施 量 肥

- 一. 人 糞 壹百七拾五貫目乃至參百五拾貫目 (拾貳荷乃至貳拾四荷)
- 一. 概 肥 壹百七拾五貫目乃至參百五拾貫目
- 一. 米 糠 五拾貫目乃至壹百貫目
- 一. 小麥殼 四拾五貫目乃至九拾貫目
- 一. 大豆粕 拾九貫目乃至三十八貫目
- 一. 菜種粕 貳拾貫目乃至四拾貫目
- 一. 酒 粕 參拾五貫目乃至七拾貫目
- 一. 醬 粕 五拾貫目乃至壹百貫目
- 一. 鱈ノ粕 拾五貫目乃至貳拾貫目
- 一. 鯡ノ粕 拾貳貫目乃至貳拾四貫目

前項ノ外肥溜(人糞アル場合ヲ指シ淡水等アル場合ヲ除ク)ニ或ル肥料ヲ入レ液肥トナシテ施用シ又ハ其他ノ混用スルニ際シテハ標準量ニ基キ各肥料夫々配合ノ宜シキヲ得セシムルコトニ注意ヲ怠ルヘカラス

第十章 地 拵

第二十六條 播種床地ハ森林苗圃中可成濕氣ノ中庸ナル平坦ニシテ區劃ノ正シキ床地ヲ撰フヘシ

第二十七條 播種床地ノ撰定終リタルトキハ長方形ノ區劃一方ノ短邊ニ平行ニ繩ヲ以テ四尺毎ニ印條ヲ附ケ其幅内三尺ハ播種床ニ供シ一尺ハ步通トスヘシ第一回床替ノ際亦同シ

第二十八條 床トナスヘキ三尺ノ幅内ハレーキヲ以テ土壤ヲ細末ニ碎クト同時ニ原肥ヲ施シ土壤ト適度ニ混淆セシムヘシ但シ人糞人尿油滓等ヲ水ニ溶解セシ肥料ハ地均後施スヲ可トス

第二十九條 播種床地ニ供スヘキ土地ニシテ粘土質ナルカ又ハ濕地ナルトキハ揚床トシテ前條ノ手續ヲナスヘシ

第三十條 播種床地ニシテ土地輕鬆ナルカ又ハ砂質ノ土壤ナルトキハ播種前床地ヲ踏固メ之ヲ平均スヘシ

但シ粘土質土壤又ハ濕地ハ踏固ムヘカラス

第十一章 播種、被土、及ヒ濕被

第三十一條 床替地耘耕ヲ終リタル土地ニ其儘畦ヲ東西ニ設クヘシ但シ落葉松ノ如キ濕氣ヲ忌ム樹種ハ傾斜面ニ從ヒ畦ヲ設クヘシ

第三十二條 播種ハ前第二十七條二十八條二十九條ノ手續ヲ終リ少ナクモ二日間經過後着手スヘシ

第三十三條 播種季節ハ普通野梅ノ花盛ヲ以テ事業着手ノ標準トナスヘシ
但シ野梅ナキ地方ハ普通野梅ノ發芽ノ萌アル時ヲ以テ標準トナスヘシ

第三十四條 播種季ハ遅キニ失スルヨリハ早キニ過クルヲ利アリトシ時季ヲ失セサル様注意スヘシ

第三十五條 播種量ハ一坪ニ付左ノ標準ニ據リ種子ノ善惡ヲ鑑別シ之ヲ定ムヘシ

赤松落葉松ハ	一合乃至二合	杉扁柏ハ	一合乃至三合
檜ハ	五勺乃至二合	栗櫟ハ	一升乃至二升

第三十六條 播種方法ハ撒播法ニ據ルヘシ

第三十七條 播種ハ床ノ左右ハ中央部ヨリ少シク厚ク播種スヘシ

第三十八條 播種ハ如何ニ熟練ナルモノニテモ二回以上ニ散布シ決シテ一回ニ散布スヘカラス

第三十九條 播種後直チニ扁柏及花柏ニハ一坪面内ニ煮沸セル小豆二三十粒杉落葉松赤松檜等ニハ一坪一面内ニ煮沸セル大豆二三十粒ヲ散布シ之ヲ被土ノ標準トナスヘシ

第四十條 播種及被土ノ標準ノ散布終リタルトキハ花柏ハ小豆カ見ユルモ種子ノ見エサル位扁柏ハ小豆カ稍々見エサル位杉ハ大豆ノ稍見エサル位落葉松及赤松ハ大豆ノ見エサル位檜ハ之ヨリ少シク厚ク被土スヘシ

但シ栗及櫟ハ厚サ一寸ヲ標準トスヘシ

第四十一條 前條ノ標準ハ乾濕中庸ノ土壤ニ於テシ粘土質土壤ハ之レヨリ稍々薄ク砂質ノ土壤及ヒ輕鬆ナル土壤ハ少シク厚ク被土スヘシ

第四十二條 被土ノ方法ハ粘土質土壤ハ五分目ノ篩砂土質土壤及輕鬆ナル土壤ハ三分目ノ篩ヲ以テ步道ノ土ヲ細碎シ之レヲ篩掛

クヘシ

第四十三條 被土後ハ直チニ播種床地ノ濕氣ヲ保持セシムルカ爲メニ濕被ヲナスヘシ

第四十三條 濕被ハ當分藁ヲ用ヒ一本並ヘ位トシ厚キニ失スヘカラス栗及櫟ハ之ヲ要セス但シ濕被ハ決シテ取去ルヘカラス

第四十五條 濕被ヲ施シタルトキハ繩・竹・杉皮・剝丸太・雜木丸太等ニテ之ヲ押ヘ飛散ヲ防クヘシ

第四十六條 繩ヲ以テ濕被押ニ用ヒタルトキハ所々ニ丁形ノ木枝條ニテ取りタル鈎ニテ止ムヘシ

第四十七條 繩ヲ濕被押ニ使用シタルトキハ土用中晴天ノ續キタル日之ヲ取り去リ翌年再ヒ之ヲ使用スヘシ

第十二章 日除及霜除

第四十八條 日除ハ被土及ヒ濕被ヲ終リタルトキハ直チニ施シ赤松ト櫟トハ發芽揃トナリ床面ノ見エサルニ至レハ之ヲ取り去ルモノトス但シ栗及櫟ハ之ヲ要セス

第四十九條 日除ノ構造材料ハ竹・雜木丸太・杉皮・雜丸太等ヲ用ユヘシ

第五十條 日除ノ材料ハ葭簀又ハ萱簀ヲ用ユヘシ但シ其中ハ三尺三寸以上四尺以下長サハ隨意トス

第五十一條 日除ハ平被又ハ斜被トナシ平被トナストキハ高サ二尺以下トシ葭簀ヲ南方ヘ五寸乃至一尺ヲ凸出セシメ斜被ニアリテハ南方ヲ低クシ北方ヲ高クシ大約三十度以上ノ角度トシ南方ノ高サハ四寸以上六寸以下トス

第五十二條 日除ハ入梅中若クハ三日以上連續シテ降雨アルトキハ日中ト雖トモ之ヲ卷キ床地面ニ光線ヲ入ルヘシ

第五十三條 入梅中又ハ長雨後ハ假令快晴ニシテ強キ日光アルモ葭簀ハ卷キタル儘トシ苗床ヲシテ三日間以内ノ日數ヲ以テ床面ノ乾燥ヲ謀ルヘシ

第五十四條 日除ハ九月中旬前後ニ於テ晴天ノ日ヲ撰ミ充分葭簀ノ乾燥ヲ待チ取り去リ小屋内又ハ雨ノ當ラサル所ニ保存シ置キ翌年再ヒ使用スヘシ

第五十五條 日除ヲ取去シタル后三回乃至四回降雪ヲ受ケシメ苗

木ノ黄變スルヲ待チ霜除ヲ行フヘシ但シ栗櫟櫟ニハ之ヲ要セス
第五十六條 霜除ハ藁又ハ藁屑ノ散芥法トシ二本並ヘ位ヲ度トシ厚キニ過クヘカラス

第五十七條 霜除ヲ施シ尙ホ頭部ヲ凸出スルモノアレハ之ヲ屈曲シテ散芥内ニ納メ繩・竹・雜木丸太・杉皮・雜丸太ヲ以テ之ヲ押ヘ散芥ノ飛散ヲ防クヘシ

第十三章 第一回床替

第五十八條 播種ノ翌年春季苗木ノ大サ及ヒ苗木占領面ノ如何ヲ考ヘ之ヲ床替地ニ移植スヘシ之ヲ第一回ノ床替ト稱ス

第五十九條 第一回床替ノ季節ハ播種季節ニ準スヘシ但シ霜柱ノ害ナキ地方ニ限り早キニ失スルヲ妨ケス

第六十條 播種床地ノ苗木ニシテ翌春ニ至ルモ苗木平均ノ幹長一寸未滿ナルキハ尙ホ一年間其床地ニ育成シ滿二年生目ノ春季第一回床替ヲナスヘシ

第六十一條 播種床地ニシテ扁柏ノミハ翌春ニ至リ苗木ノ平均幹長一寸以上ニ至ルモ適當ナル占領面積ヲ有スルキハ滿二年目ノ春第一回床替ヲナスヘシ

第六十二條 苗木ノ掘取ハ鋤又ハシーヤプルノ類ヲ用ヒ勉メテ苗根ノ損傷ナカラシムヘシ手ニテ引拔クカ加キコトヲ爲スヘカラス

第六十三條 苗木ノ掘取ノトキハ直チニ苗木ノ撰別ヲナスヘシ但シ苗木ハ大苗木・小苗木・層苗木ノ三種トス

第六十四條 苗木中赤松ハ幹頂ノ損傷セルモノ極粗根ナルモノ幹長五分ニ充タサルモノハ層苗木トシ杉ハ同上ニシテ幹長三分未滿ノモノ扁柏ハ同上ニシテ六分未滿ナルモノ花柏ハ八分未滿ノモノヲ層苗木トス但シ櫟・栗・櫟ハ如何ナル場合ヲ問ハス層苗木トナスヘカラス

第六十五條 苗木ノ撰別人夫ハ北面シ身体ニテ陽光ヲ遮キリツ、苗木ノ撰別ヲナサシムヘシ

第六十六條 掘取りタル苗木ハ決シテ陽光ニ觸レジムヘカラス

第六十七條 苗木撰別ノ際ハ赤松、落葉松、櫟杉ハ五十本扁柏、花柏ハ百本栗櫟ハ廿五本乃至五十本ヲ一束トスヘシ

第六十八條 束トナシタル者ハ直チニ其掘取後地ニ根節ヲ埋藏スルカ又ハ其根節ヲ水ニ浸シ置クヘシ

第六十九條 第一回床替ハ赤松・杉・扁柏・花柏ハ床替トシ樺栗櫟及ヒ屑苗木ハ畦植トス

第七十條 第一回床替ノ巨離ハ赤松・杉・扁柏・花柏ハ三尺巾床十一本植即チ列間巨離三寸苗間巨離三寸落葉松ハ三尺巾床九本植即チ列間巨離三寸七分五厘苗間巨離三寸七分五厘トシ又樺栗櫟ハ列間一尺苗間四寸五分トス但シ列間トハ畦幅ヲ云フ

第七十一條 苗木ノ根ハ床替ノ際其四分ノ一ヲ切捨ツヘシ但シ栗及ヒ櫟ニ限り根ノ三分ノ一ヲ切捨ツヘシ

第七十二條 苗木中大苗木ハ床替地ノ内比較的脊セ地ニ又ハ比較的乾燥地ニ床替シ小苗木ハ床替地ノ内肥ヘタル地ニ又ハ適當ナル濕氣アル地ニ床替スヘシ

第七十三條 屑苗木ハ三角地又ハ床替殘地ニ畦間巨離五寸苗間巨離一寸位ニ密ニ床替シ時々追肥ヲ施シ培育スヘシ

第七十四條 同シ束ノ苗木ニテモ優者ハ中央部ニ劣者ハ床ノ左右端ニ床替スヘシ

第七十五條 苗木床替ノ際ハ根ヲ水ニ浸スカ又ハ泥土ニ浸シ床替スヘシ

第七十六條 床替ノ深サハ苗木カ從來存在セシ位置トスヘシ但シ砂質ノ土壤又ハ輕鬆ナル土壤乾燥シ易キ土地ハ原位置ヨリ少シク深キチ度トスヘシ

第十四章 第二回床替

第七十七條 山地植栽ノ幹ノ過伸ヲ防キ且ツ根ヲ房狀ニシテ生着ニ便ナラシメシメガ爲メニ床替ヲナス之ヲ第二回ノ床替ト云フ

第七十八條 第一回床替苗木ニシテ其翌年春成長良好ニシテ密ナル鬱閉ヲナシタル者ハ第二回ノ床替ヲ爲スヘシ

但シ成長不良鬱閉極粗ナル者ハ更ラニ一ケ年間其儘トナシ追肥ヲ施シ培育スヘシ

第七十九條 苗木ノ掘取ハ第一回床替ニ準スヘシ

第八十條 苗木ノ撰別ハ大小ノ二種ニ區別シ大苗木ハ比較的脊セ地小苗木ハ肥地ニ床替スルコト第一回床替ニ同シ

第八十一條 第二回床替ニ於テハ樹種ノ如何ヲ問ハス凡テ畦植法ニ依リ赤松ハ畦幅八寸苗間四寸杉・花柏ハ畦幅八寸苗間四寸五分扁柏ハ畦幅六寸苗間四寸栗櫟樺ハ畦幅一尺苗間五寸落葉松ハ畦幅一尺苗間五寸トス

第八十二條 第二回床替ニ於テ前諸條ノ外ハ凡テ第一回床替ニ準スヘシ

第十五章 第三回床替

第八十三條 第二回床替ノ翌春屬行苗木ノ殘部ニシテ幹長六寸未滿ノモノハ更ラニ第三回ノ床替ヲナスヘシ

第八十四條 第三回床替ハ凡テ第二回床替ニ準スヘシ

第十六章 山行苗木

第八十五條 栗・櫟・樺ノ苗木ハ第一回床替期ノ晚秋又ハ翌春幹長八寸以上ノモノハ山行苗木トナスヘシ

第八十六條 赤松・杉・扁柏・花柏・落葉松ノ苗木ハ第二回床替期ノ晚秋又ハ翌春幹長六寸以上ノモノハ山行苗木トナスヘシ

第十七章 苗圃ノ保護

第八十七條 除草ハ播種床地ニシテ赤松・杉・扁柏・花柏・樺等ハ年五回以内栗・櫟ハ三回以内第一回床替地ハ年四回以内第二回床替地及ヒ第三回床替地ハ年三回以内施行スヘシ

第八十八條 雜草中あしや・うかや・わらび・たけ類・すきな等ノ地下莖植物ハ地上ノ部分ハ幾回除草スルモ其効少キヲ以テ播種床地ニ供スヘキ地ハ特ニ注意シテ耕耘ノ際地下莖ヲ除去スヘシ

第八十九條 雜草ハ播種床地又ハ床替地内ニ於テ結實セシムヘカラス必ラス結實前ニ除去スヘシ

第九十條 播種床地内ニ苗木ノ發生並ニ生育可長ニシテ密ニ過クル者ハ間引キヲ爲スヘシ

但シ間引スルキ苗木ハ劣等ニシテ他ヨリ壓セラレタルモノタルヘシ

第九十一條 間引キハ旱天打續ノ際行フヘカラス降雨ノ前日又ハ曇天或ハ降雨中ニ行フヘシ但シ赤松ハ入梅中ヲ長シトス

第九十二條 害虫類中特ニ苗木ノ根部ノ害ヲナスモノハ播種床地ニ充ツヘキ地ニ限り前年ノ晚秋又ハ翌春耕耘ノ際驅除スヘシ但

シ採取數量ニヨリ賃金ヲ定メ之ヲ採集セシムヘシ
第九十三條 第一回床替苗木ニシテ晩春又ハ翌春迄ニ霜柱ノ害甚
タシキ地方ニ於テハ假植ナシ散芥法ニ依リ霜除ヲナシ之ヲ豫防
スヘシ

第九十四條 土坵輕鬆ニシテ澁土ノ恐レアル床地ニ於テハ苗間ニ
糶殼又ハ木屑ヲ散布シ之ヲ防クヘシ

第十八章 人 夫

第九十五條 森林苗圃ニ於テ使用スル人夫ハ常傭夫及ヒ日傭人夫
トシ更ラニ男女ニ區別スヘシ

第九十六條 雇傭人夫ノ勞働時間ハ九時間トス
但シ晝食後及ヒ中間ノ休憩時間ヲ算入セス

第九十七條 耕耘、第二回第三回床替、苗木ノ掘取、施肥、日除拵、日
除取除等ハ男人夫ヲ使用シ播種、濕被、霜除、同取除、播種床地、所
在ノ苗木ノ掘取撰別一回床替及ヒ其苗木ノ根切、草取ハ女人夫
ヲ使用スヘシ

但シ播種床地ノ栗、櫟、苗木及ヒ第二回第二回第三回床替ニ於ケ
ル根切ハ此限ニアラス

第九十八條 第二回第三回床替人夫ハ男女二人宛四人ヲ一組トナ
スベシ

第九十九條 前條以外ノ事業ハ其難易ヲ考量シテ男女ノ別ヲ定ム
ヘシ

第百條 播種床替地ノ苗木掘取ハ撰別及ヒ屑苗木ノ揃方ヲ兼
子一日一人ノ行程ヲ赤松ハ一萬本以上扁柏、花柏、杉ハ八千本以
上トス

但シ屑苗木ノ本數ヲ算入セス屑苗木ハ其數ヲ算セス適宜ノ束ヲ
作ルヘシ

第一百條 第一回床替ハ根切ヲ兼子重粘土質土壤ハ一日一人ノ行
程三千本以上輕シ土及ヒ砂質土壤ハ四千本以上普通堅軟中庸ノ
土壤ハ三千五百本以上トス

第一百二條 草取ハ一日一人ノ行程ヲ百坪以上トス

第一百三條 耕耘ハ一日一人ノ行程百坪以上施肥ノ内追肥ハ一反歩
以上栗、櫟ノ第一回床替赤松、杉、扁柏、花柏、櫟ノ第二回床替及第

三回床替ハ一組一日ノ行程一萬本以上トス

第一百四條 前諸條掲載以外ノ事業ハ其難易ヲ考量シテ適宜行程ヲ
定ムヘシ

第十九章 雜 則

第一百五條 事業ヲ終リタルキハ事業跡地ハ日々人夫ヲシテ掃除セ
シムヘシ

第一百六條 備付用器具機械ヲ人夫ニ貸與シタルキハ毎日終業後ハ
之ヲ掃除セシムヘシ但シ金属ハ之ヲ磨カシムヘシ

○ 附 錄

一回床替苗木(床植)數早見表 (一反歩ニ對スル本數) (甲)

	2.73	3.00	3.33	3.73	4.26	5.00	6.00
	十二本植	十一本植	十本植	九本植	八本植	七本植	六本植
2.73	118.800	108.900	99.000	91.300	79.200	69.300	59.400
2.73	117.720	107.910	98.100	90.470	78.480	68.670	58.860
3.00	108.000	99.000	90.000	83.000	72.000	63.000	54.000
3.25	99.360	91.080	82.800	76.360	66.240	57.960	49.680
3.33	97.200	89.100	81.000	74.700	64.800	56.700	48.600
3.50	92.880	85.140	77.400	71.380	61.920	54.180	46.440
3.75	86.400	79.200	72.000	66.400	57.600	50.400	43.200
4.00	81.000	74.250	67.500	62.250	54.000	47.250	40.500
4.25	76.140	69.795	63.450	58.515	50.760	44.415	38.070
4.26	76.140	69.995	63.450	58.515	50.760	44.415	38.070
4.50	71.820	66.367	59.850	55.195	47.880	41.895	35.910
4.75	68.040	62.370	56.700	52.290	45.360	39.690	34.020
5.00	64.800	59.400	54.000	49.800	43.200	37.800	32.400
5.25	62.100	56.925	51.750	47.725	41.400	36.225	31.050
5.50	59.400	54.450	49.500	45.650	39.600	34.650	29.700
5.75	56.700	51.975	47.250	43.575	37.800	33.075	28.350
6.00	54.000	49.500	45.000	41.500	36.000	31.500	27.000

(16)

三回 二回 床替苗木(畦植)數早見表(但シー反歩ニ對スル本數)(甲)

寸	8.00	8.25	8.50	8.75	9.00	9.25	9.50	9.75	10.00
5.0	72,000	66,462	61,714	57,600	54,000	50,824	48,000	45,474	43,200
5.5	66,067	60,420	56,103	52,364	49,091	46,203	42,636	41,340	39,273
6.0	60,000	55,897	51,428	48,000	45,000	42,353	40,000	37,895	36,000
6.5	55,385	51,124	47,473	44,308	41,538	39,095	36,923	34,980	33,385
7.0	51,428	47,473	44,081	41,143	38,571	36,316	34,333	32,481	30,857
7.5	48,000	44,307	41,143	38,414	36,000	34,384	32,000	30,316	28,800
8.0	45,000	41,538	38,571	36,000	33,570	31,795	30,000	28,421	27,000
8.5	42,353	39,095	36,303	33,882	31,795	29,066	26,235	24,749	23,398
9.0	40,000	36,923	34,295	32,000	30,000	28,235	26,667	25,037	24,000
9.5	37,894	34,980	32,481	30,316	28,421	26,749	25,263	23,931	22,737
10.0	36,000	33,231	30,857	28,800	27,000	25,412	24,000	22,737	21,600
10.5	34,286	31,648	29,388	27,429	25,714	24,202	22,857	21,654	20,571
11.0	32,727	30,210	28,052	26,182	24,545	23,102	21,818	20,571	19,636
11.5	31,304	28,896	26,832	25,043	23,478	22,037	20,870	19,771	18,835
12.0	30,000	27,692	25,714	24,000	22,500	21,177	20,000	18,947	18,000
12.5	28,266	26,582	24,686	23,168	21,600	20,329	19,200	18,189	17,424
13.0	27,692	25,562	23,737	22,154	20,769	19,548	18,465	17,547	16,615
13.5	26,000	24,616	22,857	21,333	20,000	18,827	17,778	16,842	16,000
14.0	25,712	23,736	22,041	20,571	19,286	18,151	17,143	16,241	15,429
14.5	24,828	22,918	21,281	19,793	18,621	17,525	16,552	15,681	14,884
15.0	24,000	22,154	20,572	19,200	18,000	16,941	16,000	15,158	14,400

一間床替苗木(床植)數早見表 (但シー反歩ニ付)

Cm	8,3	9,1	10,0	11,4	13,0	15,2	18,2
	拾二本植	拾一本植	拾本植	九本植	八本植	七本植	六本植
219							
8,3	118,260	109,405	98,550	92,885	78,840	68,985	59,130
202							
9,0	109,080	99,990	90,900	83,830	72,720	63,630	54,540
200							
9,1	108,000	99,000	90,000	83,000	72,000	63,000	54,000
182							

(17)

1.0	93,280	90,090	83,900	75,530	65,520	57,170	49,110
	165						
1.1	93,100	80,775	74,250	63,475	53,400	51,975	44,550
	159						
1.4	85,860	78,750	71,550	65,985	57,240	50,085	42,930
	152						
1.2	82,080	75,240	68,400	63,080	54,720	47,880	41,040
	140						
1.3	75,600	99,300	63,000	58,100	50,400	44,100	37,800
	130						
1.4	70,200	64,250	58,500	53,950	4,6800	40,950	35,100
	121						
1.5	65,340	59,895	54,450	50,215	43,560	38,250	32,670
	120						
15.2	64,800	57,000	54,000	49,800	43,200	37,800	32,400
	114						
16.0	61,560	56,430	51,300	47,310	41,040	35,910	30,780
	107						
17.0	57,780	52,965	48,150	44,450	38,520	33,705	28,890
	101						
18.0	54,540	49,995	45,450	41,915	36,360	31,805	27,270
	100						
18.2	54,000	49,500	45,000	41,500	36,000	31,500	27,000
	×5,40	×495	×450	×415	×360	×316	×270

第二 ひのき (第二圖)

(名稱)一名ほんひノ名アリ此木相磨スルコト甚々シキ時ハ火ヲ發ス故ニひのきト云フ本邦ノ上古ノ燧具ハ此木ヲ以テ作ル伊勢ノ大廟及ヒ出雲大社ニハ今尙ホ古代ノ燧具ヲ傳ヘ此木ヲ相磨シテ神火ヲ取ルノ事アリ云々漢名扁柏俗ニ檜ト書ス松柏科ニ屬シ學名ヲChama-ecyparis obtusa, S, et, Z)ト稱ス

(効用)材ハ杉ノ如ク建築船艦橋梁其他ノ用材トシテ普通ニ用ヒラレ書トシテ杉ヨリ上等ノ用材ニ供ス而シテ埋木様ニナリタルモノヲ神代檜ト稱シ裝飾用ニ供セラル又粉板トシテ各種ノ曲物及ヒ飯器ヲ作り又春慶塗ノ木地ニ用ユル等其需用ノ廣キ我國木材中主要ナルモノナリ然レモ脂質ニ富ムヲ以テ箱材トシテ用ユルハ内ノ品物ニ脂氣ヲ傳ヘルヲ以テ殊ニ注意スヘキ事トス而シテ其材質緻密柔靱ナレバ藩板ヲ作り又模型ヲ作ルニ缺クベカラザルモノナリ

又信濃及ヒ飛彈等ニテハ薄片トシテひのき笠ヲ編ミ又細ガク割キテ編ヒタルモノ、細キモノハ鵜飼ノ繩ニ用非又數條合シテ網トナシ桴筏及ヒ船舶ヲ繫クニ用ヒ之ヲ檣繩ト云フ此材ハ薄ク經キテ細條トナシ種々ノ物ヲ編ミ外國ニ輸出スト云フ所謂經木此レナリ樹皮ハ屋根ヲ葺キ又編ヒテ火繩ニ作り茹ノ用ヲナス樹ハ生垣、庭園、盆栽等ニ用ヒラル

(分布)本州溫帶地方ニ於テ天然林ヲナス本門中央山脈地方殊ニ木曾ニ於テハ海面上ー千尺ヨリ四千五百尺邊迄生シ其他秩父日光等ノ山奥ニモ尙ホ昔時存在セシ遺跡ノアル所多シト云フ人造林ハ木曾吉野ヲ第一トシ其他秩父、遠江、但馬等ニ最モ多ク植栽セラレタリ而シテ近來造林事業ノ勃興ト共ニ全國各地至ル所ニ造林セラル即チ青森縣内迄造林セラル、ニ至レリ宮城大林區署管内ニ於テハ栗帶ノ全部至ルニ造林セラレタリ

(葉)葉ハ對生鱗片ヲナシ枝ニ附着ス但シ葉ノ先端ハさばらノ如ク鋭ク尖ラザルヲ以テ區別スルコトヲ得ベシ且ツ葉裏さばらノ如ク白カラス尙ホさばらヨリ枝條粗ニ出ツルヲ以テ區別シ得ベシ要スルニひのきハねすこトさばらノ中間物ナリ又ねすこノ鱗片ハひのきノ二倍アルヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ且ツ幼時ひのきハ枝左右ニノミ出テ扁平ナレモさわらハ四方ニ出ツルヲ以テ區別シ得ベシ葉ハ深綠色ヲ呈ス

(幹)常綠針葉喬木ニシテ樹幹直立シ七八十年ニシテ幹高六丈周三尺ニ及ヒ尤大ナルモノ幹高十六丈周二達ス樹皮ハ帶赤暗褐色ニシテ縱裂ス層ヲナシテ剝脫ス扁材白色心材ハ淡黃褐色ナリ材ハ軟質緻密ニシテ強韌ナリ材ノ氣乾比重〇・三九強對乾比重〇・三六アリ木理通直光澤アリ香芬アリ工作ヲ施シ易ク反張折裂ノ憂ナク且ツ久シキニ堪ユ水濕ノ地ニ使用スルモ容易ニ腐朽セズ根ハ鬚根狀ヲナシ非常ニ多ク淺根性ニシテ能ク峯通ノ如キ淺地ニ堪ユ

(種子)花ハ四月下旬開花細枝ノ端ニ無數ノ雄花ヲ橢圓形ニシテ其大サ米粒ヨリ小也其花ハ黃色ナル鱗片相重リ集リテ成リ鱗間ヨリ花粉ヲ散出ス雌花ハ雄花ト同時ニ發育シ秋季十月ニ至リ熟ス總果ハ圓形ニシテ長サ一耗 直徑一〇・五耗アリ初メ綠色ナレモ熟季ニ達スレハ褐色ノ線ヲ現ハス尙一熟スレバ赤褐色ニ變シ裂開シテ

種子ヲ飛散ス生果一升ノ重量百九十九匁二千六七百個アリ之レヨリ得ル種子ノ量ハ一合二勺許種子ハ暗褐色ニシテ扁平少シク翅ヲ有ス長三・七耗幅三・〇耗厚一・一耗種子一升ノ重量百五十匁粒數廿三萬粒内外アリ種子ノ發芽量ハ不定ニシテ豐年ニハ三四割ニ達スルモ通常一割以下也發芽保存ハ半ケ年也故ニ古種子ハ全ク用ヲナサス(林業ノ性質)俗ニ檜峯谷杉ノ語アリ之レ檜ハ峯ニ適スルト云フニアラズ勿論適地ハ適潤肥沃ナル地ヲ好ムモ杉ニ比シ淺根性ナレハ峯通ノ如キ淺地性ニシテ杉ニハ堪ヘ得ザルモ扁柏ニハ能ク堪ヘ得ルカ故ニ此假令アルナリ決シテ誤解セザルヲ要ス檜ハ一ノ陸樹ニシテ殊ニ幼時ハ日光ノ直射ニ堪ヘズ好シテ日陰ニ生ス而シテ此林ハ鬱閉ヲ保ツコト密ニ且ツ長クシテ地力ヲ維持スルノ効アリ又本樹ハ鹿及ヒ鼠ノ害ヲ受クルコトハ杉ヨリ大ナルモ風、雪、昆虫等ノ害ニ抵抗スル力杉ヨリ大ナルト且ツ杉ニ堪ヘサル峯通ニ堪ユルヲ以テ廣大ナル森林トシテ杉ト併ニ併セ用ユルニ妙アリ蓋シ該樹ハ經營上杉ヲ補助スルノ効アルモノナリ

苗木ヲ仕立ツルニハ園藝上ニ於テハ挿木、實播、兩法ヲ應用セラル、モ造林用トシテハ播種ニ依リテ苗木ヲ仕立ツルニ若カズ播種ハ其準備ハ凡テ杉ニ同シク播種季ハ採集ノ翌年四月上旬坪二合乃至五合位ノ割合ニ播種シ被土ハ粘土質ナレハ一二分位砂質地ナレハ二三十分位ヲ施シ上ニ葉一本並ベニ敷キ直チニ日除ヲ施スベシ三週間ニテ發芽ス發芽后ハ時々雜草ヲ除去スベク梅雨前一回薄キ肥料ヲ施スベシ滿二年間播種床地ニ放置シ三年目ノ春四月第一回床替ヲナシ第四年目ノ春第二回床替ヲナシ滿五年目ノ春幹長一尺前後根長六七寸前後トナリタルモノヲ林地ニ移植スベシ苗木掘取ハ杉ヨリ容易ナリト雖モ苗ハ少シク大ナレハ運搬上少シク不便アリ植付ノ生着ハ杉ヨリモ甚シク且ツ荷造ノ儘ニテ杉ヨリモ比較的長ク生活力ヲ保ツ床替ノ際ニ於テモ杉ヨリモ枯死少ナシ唯發芽力充分ナラザルノ一失アルノミニシテ其他ノ苗木ノ取扱ハ至極簡單ナリ植付后ノ手入ハ杉ニ同シ

第三 さわら (第三圖)

(名稱)一名ぬかびト云フ蓋シ材ひのきヨリ軟カナルヲ以テナリ伊勢ニテハおけさわらト云フ漢名花柏 俗ニ樅、又ハ弱檜ト書シ松柏

科ニ屬シ學名ヲ(Camaeccyparispisifera S et Z)ト稱ス

(効用)通常杉ト同様ニ用ヒラレ其價杉ノ半バナリ最モ桶工材・剝
板材ニ適ス桶工材トシテハ手桶・盥・風呂桶・等其他飯櫃及ヒ曲物・
辨當折箱・戸・障子・机 等ノ指物類ヲ作り又建築材ニ用ユ又箸ニ作
リテ杉箸ノ代用トナス併シ少シク臭氣アリ故ニ使用スルキハ熱湯
ヲ注キテ用ユベシ又屋根板ニ作ル又酒樽ノ栓ハ此材ニ限ルト云フ
樹ハ庭園樹トシテ變種多シ

(分布)殆ントひのきニ等シ但シ但シ臺灣新高山ニ於テハ六千尺乃
至七千尺ノ間ニ生ス其他天然ニ存在スルモノ下野・武蔵・岩代等ニ
アリ宮城大林區署管内ニ於テハ岩代會津地方ニハ三四千尺ノ邊ニ
生シ安達太郎山・吾妻山 等ニ於テハ二三千尺ノ邊ニ野生スレモ良
材ナシ

(葉)葉ハ對生鱗片狀ヲナシ故ニ密着シ扁柏ニ彷彿タリト雖モ葉ノ
先端銳ク尖ルヲ以テ區別シ得ベシ但シ葉裏扁柏ヨリ白ク且ツ枝
ノ出方密ナリ一年苗木ニ於テさばらハ針葉多ク全体ノ殆ント三分
ノ二ヲ有スルモ扁柏ハ僅カニ數針葉ヲ有スルニ過キス且ツ花柏ハ
枝條四方ニ出テ上向スル性アリ枝條扁柏ヨリ繁密ナリ

(幹)常綠針葉喬木ニシテ幹高十三丈周一丈二尺ニ達ス樹皮ハ赤褐
色ニシテ縱裂シ層ヲナシテ剝落ス其裂開ノ幅扁柏ニ比シテ狭小一
見能ク杉ノ皮ニ類ス扁材ハ白色心材ハ帶黃色ノ柔軟ナルコト本邦
産有用木材中第一位ニアリ材ノ氣乾比重〇・三一絶對乾比重〇・二
八アリ木理甚々通直力ヲ加フルキハ折裂シ易ク材ニ一種ノ香芬ア
リ工作ヲ施シ易シ然レモ輕軟ニシテ脆キヲ以テ建築用材ニ供シ難
シ然レモ家屋裝飾木材トシテハ最モ適當ナリ

(種子)花ハ四月下旬開花實ハ十月中旬熟ス果實ハ初メ綠色ナルモ
熟スレハ黃色トナリ後赤褐色トナルナリ裂開シテ種子ヲ飛散ス故
ニ種子ノ好採集ノ時季ハ果實ガ稍々黃色ニ變シ褐色ノ線ヲ現ハシ
タルヲ可トス果實ハ圓形ニシテ長サ六・〇柁直徑五・五柁ニシテ扁
柏ニ比シ小ナルノミナラス表面ニ皺多キヲ異トス果實一個ヨリ約
二十粒ノ種子ヲ得ベシ種子ハ橢圓形ニシテ扁平甚々小ニシテ翅ヲ
有シ其色淡褐色ナルモ扁柏ノ種子ヨリ淡ク又種子ノ大サモ扁柏ヨ
リ稍々小ニシテ長サ二・三柁幅(翅付ノ儘)四・柁アリ厚サ一・〇柁

種子一升ノ重量六十五粒數二十八万乃至三十万粒フリ發芽量ハ
豊凶ニ依リ差アレモ通常一割以下ナリ豊年ノ種子ハ二三割ニ達ス
種子ノ發芽保存力ハ半年ナリ故ニ古種子ハ用テナサズ

(林業上ノ性質)扁柏ヨリ稍々陽性ニ傾キ日陰ニ堪ヘズ且ツ扁柏ヨ
リ深根性ニシテ土壤淺ク岩石多キ地ニ適セズ是故ニ天然ニ存在ス
ルモノハ山腹或ハ谿谷ニ多シ而シテ其生長ハ杉ト扁柏ノ中間ニシ
テ幼時成長甚々可ナリ苗木ヲ仕立ツルニハ扁柏ニ準シテ可ナルモ
唯注意スベキハ被土ナリ何トナレハ花柏ハ種子甚々小ナルヲ以テ
被土厚ケレハ發芽スルモ地長ニ軸出スルコト能ハズシテ枯死スベ
シ故ニ被土ハ極ク薄ク一分位ヲ可トシ二分ヲ越ユベカラズ寧ロ細
密ナル注意ヲ拂フナラバ無被土ヲ更シトス播種量ハ坪一合乃至二
合ヲ可トシ播種後覆トシテ薄ク藁ヲ敷キ直チニ日除ヲ施スベシ發
芽后時々除草ヲ行ヒ秋季降霜アルニ至ク霜除ヲ施スベシ發芽ノ翌
年一回床替ヲナシ第三年目ノ春二回床替ヲ行ヒ第四年目ノ春林地
ニ移植スベシ林地へ植付ノ成績ハ扁柏ト同シク生着良シ手入ハ扁
柏ニ同シ

第四. からまつ (第十圖)

(名種)一名ふじまつト云フ富士山ニ多キヲ以テナリ又につくわう
まつノ名アリ日光ニ野生スル故ナリ. 又日光ニテハあかまつト云
フ蓋シ材赤色ナルガ故ナリ又らくやうしやうト云フ 漢名 落葉松
俗ニ富士松・日光松ト書ス松柏科ニ屬シ學名ヲ(Larix Leptolepis
Gord)ト稱ス

(効用)材ハ赤褐色美麗ナルヲ以テ柱・長押・床柱等ノ裝飾ヲ兼ヌル
建築材及ヒ船艦・橋梁・電柱・鐵道枕木等ニ使用ス 本邦針葉樹中船
艦用材トシテ亞米利加松(チレゴンハイム)ニ代用シ得ルモノハ單
ニ此(カラマツ)ノミナリト云フ又鐵道枕木トシテ栗ニ亞リ又其老
根若クハ脂多キ部分ヲ取りテ之ニ彫刻ヲ加ヘ茶盆又ハ煙草入ノ類
ヲ作レハ大ニ雅致アリ特ニ鋤削ニ甚々ナシ易シ樹皮ハ單寧ヲ含ミ
染料ニ供スベク樹ハ日除樹・及ヒ庭木トシテ常用セラレ

(分布)本州ノ山脈殊ニ富士山淺間山男体山等ノ如キ火山ニ生ス富
士山ニアリテハ海面上五六千尺ノ近傍ニ於テ尤モ旺盛ナル發育ヲ
ナシ九千尺ノ高サニ及ビテ樹幹直立セス恰モ偃松ノ如ク地面ニ蟻

蟻セリ其他日光中禪寺及ヒ淺間山麓等ニ於テハアナカヘテ等ノ
落葉潤葉樹ト混淆材ヲナシ或ハ小面積ノ處ニ純林ヲナセリ此樹ハ
寒風ニ堪ユ力甚タ強シ四國九州及ヒ北海道ニハ天然ニ之ヲ有セ
ザルモ人工ニテハ近頃栽植スルモノ多ク北海道ノ南部ニモ極メテ
良好ノ成長ヲナシ小樽附近ノ如キハ毎年二三尺ノ成長ヲナスト云
フ宮城大林區署管内ニ於テ天然ニ存在スル所ハ陸前國刈田郡藏王
岳ノ隣峯ナル不忘岳ニ於テ四千尺ノ邊ニ數十本群生セリ前記ノ如
ク落葉松ハ高山ノ寒帶ニ生スル樹種ナレバ大抵本管内造林シ得ザ
ル所ナシ

(葉)葉ハ互生針狀扁平ニシテ先端尖レモ葉質軟カナルヲ以テ人ヲ
刺サズ又端枝上往々輪生狀ニ排列シ恰モ茶釜狀ヲナス葉長四五分
アリ此樹ハ其名ノ如ク葉ハ冬季中落葉スルヲ以テ他ノ針葉樹ト容
易ニ區別シ得ベシ

(幹)落葉針葉喬木ニシテ幹高十餘丈周一丈以上ニ達スルモノアリ
樹皮ハ粗ニ剝離シ黒褐色ヲ呈ス扁材ハ帶褐白色心材ハ赤褐色ニシ
テ赤松ノ材ニ似タリ材質較々堅硬木理通直ナリ材ノ氣乾比重〇・
五二絶對乾比重〇・四七アリ水濕ニアリテ能ク久シキニ堪ユ又空
氣中ニ曝露シテ四五十年ヲ經ルモ腐朽ノ色見エズ材ニ脂多キカ故
ナリ根ハ比較的淺根性ナリ

(種子)花ハ五月中旬新葉ノ生スルト共ニ開キ實ハ十月成熟ス繸果
ハ卵形ニシテ初メハ綠色熱シテ褐色トナリ鱗裂開シテ種子ヲ飛散
ス種子ハ赤松ヨリ小ニシテ稍々三角形ヲナシ上面白色裏面褐色ヲ
呈ス長キ翅ヲ有スルコト赤松ニ同シ翅除種子一升ノ重量百六十匁
乃至二百匁粒數十六万乃至十八万粒種子一粒ノ長サ四・五柁幅三
一柁厚一・二柁アリ種子ノ發芽量ハ四割乃至六割發芽ノ保存ハ一
ケ年ナリ稀ニ二ケ年ヲ有ス

(林業上性質)性尤モ強ヤ陽樹ニシテ庇蔭ニ堪ヘス幼樹ハ能ク地力
ヲ維持シ得ルモ四五十年生以上ニ至レハ鬱閉疎トナリ地力ヲ荒廢
スルニ至ルベシ故ニ地力ヲ維持セシムル爲メ下木作業ヲ經營セザ
ルベカラズ下木作業トシテ適當ナル樹種ハ彈力謨護ノ原料ナルヤ
まくるまヲ植付クルヲ適當トスベキカ如何何ニ研究ヲ要スベキ問
題ナリ

からまつハ其性質ノ火山岩ヨリ成ル石灰質ノ地ヲ好ム又如何ニ乾
燥セル土地ニモ能ク生育ス又治根性ナルカ故ニ淺キ土地ニモ生育
スルコトヲ得ベシ多クハ峯通ノ乾燥スル處ニ生シ凹地・又ハ陰濕
ノ地ニハ成長宜シカラズ常ニ日當リ能キ沃地ヲ好ム

苗木ヲ仕立ツルニハ播種法ニ依ルノ外ナシ其法秋季採集セル種子
ヲ麻袋又ハ布袋ニ盛メ乾燥セル場所ニ貯藏シ置クベシ翌春四月上
旬床地ニ坪一合乃至一合五勺ノ割合ヲ以テ播種シ被土ハ三四分ヲ
度トシ之ヲ被ヒ覆葉ハ一本並ヘトナシ直チニ日陰ヲ施シ發芽猶ト
ナルニ至レハ日除チ取去ルベシ此苗木ハ根切虫ノ甚タ好食スル所
ノモノナレバ播種ノ前豫メ根切虫ノ驅除チ行ヒタル所ニ播種スベ
シ又此ノ苗木ハ濕氣ヲ忌ムヲ以テ成ルベク砂交リノ疏水宜シキ地
ヲ撰ミ播種床地トナスベシ床替床地又然リトス發芽ノ翌年四月第
一回床替ヲナシ第三年目ノ春大ナル苗木ハ山行トナリ小ナルモノ
ハ更ラニ第二回ノ床替ヲナシ第四年目ノ春林地ニ移植スベシ本樹
ハ林地植栽后生着宜シク取扱又便利ナリ

第五 びやくしん (第五圖)

(各名)一名びやくだんのき・いぶき・かまくらいぶ・きいぶきびや
くしん・すきびやくしん・たちびやくしん、ノ名アリ筑後ニテハこ
うぼくと云フ漢名檜・檜柏・刺柏・圓柏・血柏俗ニ柏楨・柏心・白身・
白心・白杉・伊吹・光遠木・等ト書ス松柏科ニ屬シ學名チ・(Juniper
us Chincnsis) ト稱ス

(効用)材ハ床柱匣箱机栗等ノ器具材トシテ雅ナリ又鉛筆材ニ供ス
又材色紅ナルヲ以テ寄木細工ニ用ユ樹ハ庭園樹又ハ盆栽トシテ貴
重セラレ

(分布)暖溫兩帶ニ生スル樹木ニシテ内地至ル所ニ存スルモ豊前香
春山ニ生スルモノ最モ有名ナリ陸前氣仙郡ノ海岸ニ多ク生スレモ
大抵蟠風シ良材ナシ信州佐久・小縣ノ兩郡ニ於テハあからまつ・或ハ
くぬぎ林中ニ混生スル所ナリ又相州鎌倉建長寺ノ庭ニ巨大クモツ
數種アリ宮城大林區署管内ニ於テハ宮城縣桃生・本吉・兩郡ノ海岸
地雜木林内ニ混生ス

(葉)葉ニ二様アリ一ハ短カクシテ鱗片狀ヲナシ扁柏ニ似タリ一
ハ長クシテれつみさしノ如ク針狀ヲナシテ人ヲ指ヌ幼樹ノ葉ハ皆

後者ニ属シすきノ葉ニモ似タル故すきびやくしんと云ヒ老樹ハ兩葉交リ生スルヲ以テ之ヲいふきびやくしんと云フ植木匠扁柏様ノ部分ヲ挿木培養シテ之レヲいふきト稱ス所謂圓柏此レナリ此樹ハ何レモ枝葉繁茂密着シ其幹ヲ透視スルコトヲ得ス

(幹)常綠針葉喬木ニシテ幹高四丈周六尺ニ達ス樹皮ハ帶紫赤褐色ニシテ稍々扁柏ニ類シ縱裂ス扁材帶白色心材桃色ニシテ紅ヲ帶ヒ材質堅硬緻密ニシテ鉋削セバ光澤アリ材ニ一種ノ強キ香氣アリ年輪細密往々波狀ヲナス氣乾比重〇・七三絶對乾比重〇・六六アリ本邦産針葉樹中最堅重ノ材ナリ空氣中或ハ水中ニアリテ能ク久シキニ堪ユ

(種子)雌雄木ヲ異ニス花ハ四月中旬開キ實ハ十月上旬熟ス果實ハ漿果様球形ニシテ紫黑色ヲ呈ス大サ二分内ニ三個ノ種子ヲ含有ス果實一升ノ重量二百四十粒數六千發芽量四割アリ

(林業上ノ性質)此樹ハ良ク瘠惡ノ地ニ堪ユルコトれづみさしニ亞ク亦能ク濕地ニモ堪フルモノナリ性極メテ陰樹ニシテ能ク日陰ニ堪フ故ニ本樹種ハ陽樹ノ森材特ニ赤松ノ林内ニ下木作業ヲ營ムニ適當ノ樹種ナリトス成長ハ甚々緩漫ニシテ幹常ニ曲リ六七年ヲ經ルモ幹圍二尺高二十尺ニ過キザル故ヲ以テ純林ヲ作ルニ適セズ若シ純林ヲ創設スル場合ニハ密植スルヲ要ス

此樹ノアル所ハ勉メテ之ヲ保護シ天然更新法ニヨリ作業シ若クハ人工植栽ニ依リテ之ヲ補フベシ苗木ヲ養成スルニハ挿木法及ヒ播種法ニ依ルベシ

挿木法ハ一般ノ法ニ原キ播種法ハ取播ヲ可トスルモ種子ヲ採集シ置キ翌春四月上旬播種床地ニ坪果實五台ノ割ヲ以テ播種床地ニ撒種トナシ被土ハ四五分ヲ適度トシ日除ヲ最モ必要トス日除ハ平被トナシ霜除ヲ兼テシメ發芽ノ翌年床地ニ放置シ再ヒ日除ヲ施スベシ滿三年目ノ春苗木三四寸トナリタルモノ第一回床替ヲナシ更テニ二年間培養シテ林地ニ移植スベシ

第六 うるしのき

(名稱)うるしトハうるはしノ約音ナリト云フ漢名漆樹・櫟・漆樹科ニ屬シ學名ヲ(Rhus Vernicifera. DC)ト稱ス

(効用)材ハ粧飾材・寄木細工材・漁網ノ浮木・下駄材・鋸作用材・箱

材等トス材ハ濕氣ニ強キヲ以テ土臺トシテハ栗ニ勝ルモ大材稀ナルヲ遺憾トス普通護岸用杭材及ヒ垣用杭材トシテ上材トス嫩葉ハ之ヲ食フベシ然レモ漆瘡ニ感シ易キモノハ食セザルヲ可トス實ヨリ蠟ヲ搾ル而シテ其殘滓ヲ以テ馬ヲ飼養スル時ハ馬肥大シ且毛色極メテ美シクナルト云フ樹皮ヨリ漆液ヲ採集ス此漆液ヲ塗タルリ器物ハ漆器ニシテ我國重要輸出品ノ一ナルヲ世人ノ已ニ知ル所也(分布)支那ノ原産ニシテ日本ニ野生ナシト雖モ往古ヨリ盛ニ栽培シタルヲ以テ今日ニ於テハ殆ント野生的狀態ヲ呈セル所アリ溫帶所屬ノ樹種ニシテ暖帶ニ適セズ本邦中ノ殊ニ日向・薩摩・備前・因幡・丹波・越前・能登・大和・三河・駿河・相摸・上野・下野・岩代・陸前羽後・陸奥等ニ栽培セラル宮城大森區署管内ニ於テ會津地方ヲ第一トシ其他ノ各地至ル所多少之ヲ栽培セザル所ナキモ大抵栗帶以下ニシテ即チ管内ノ南方ハ二千五百尺以下北方ハ一千二百尺以下ノ地ナリ

(葉)葉ハ互生有頂葉羽狀複葉ニシテ三乃至四對ノ小葉ヲ有ス稀ニ五對ノモノアリ小葉ハ卵形若クハ橢圓形ニシテ頂尖レリ基部圓形ナリ葉縁ニ鋸齒ナシ葉長二寸乃至三寸幅一寸乃至一寸五分葉ハ綠色霜ニ逢ヒバ紅葉ヲナスト雖モ葉裏ハ黄色ナリ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ未發達ノ小葉片ヨリ形成セラレ其形短三角錐形其頂端稍々灣曲淡黄色ノ密毛アリ故ニ淡黄色ヲ呈ス枝ハ太クシテ灰色光澤アリ葉痕大ニシテ心臟形ヲナス木髓大ナリ枝ハ中銳角ニ出テ上向ス一年毎ニ枝ヲ分ツヲ以テ年令ヲ識別スルコトヲ得ベシ

(幹)落葉闊葉喬木五十年ニシテ幹高二丈周二尺トナリ老大ナルモノハ幹高三丈周三尺ニ達ス樹皮ハ灰褐色ニシテ粗・初メハ平滑ナルモ後縱ニ裂ケ目ヲ生シ薄ク剝離ス邊材ハ甚々狭クシテ光澤アル白色ヲ呈シ心材ハ美ナル帶紅黄色ナリ材ハ稍々堅クシテ質粗割レ易シ氣乾比重〇・五一絶對乾比重〇・四五ナリ

(種子)雌雄木ヲ異ニシ花ハ五月下旬開キ實ハ十月成熟シ長穗ヲナシ下垂ス果實ハ黄褐色ニシテ多量ノ蠟質ヲ含ム蠟ヲ附着セル儘ノ果實ノ一粒ノ大サ大ナルモノハ長サ二分二厘小ナルモノハ一分八厘幅ハ大ナルモノ一分七厘小ナルモノ一分五厘アリ果實一升ノ重

量三百四十五匁乃至三百八十匁アリ粒數二万七千乃至二万九千粒アリ種子ノ發芽量ハ三割乃至八割發芽保存力ハ五六年アリ故ニ漆ハ古種子ニテモ用ヲナス蠟ヲ附着セル儘ニ三四年古ヒタル種子ハ却テ能ク發芽ス

(林業上ノ性質)此樹ハ山谷ノ間畠池ノ周圍等ニシテ土壤稍々濕潤ニシテ肥沃ナル地ヲ好ミ乾燥セル所ヲ好マズ幼時生長甚々速ナレモ二十年頃ヨリ成長衰フ性陽樹ニシテ日陰ニ耐エザルモ幼樹ハ稍々日蔭ニ耐ユ苗木ヲ仕立ツルニハ實播法ヲ可トスルモ又分根法モ可ナリトス分根法ハ尤モ簡單ニシテ即チ漆樹ノ上根ヲ掘リ取り之ヲ四五寸ノ長サニ切り揃ヘ苗圃ニ伏セ植ヲナス其法唯八寸乃至一尺置ノ畦トナシ一二寸置ニ斜メニ植ユルキハ早春行ヒタルモノハ四月下旬乃至五月上旬頃發芽シ其年ニ一尺前後ノ莖苗トナル故ニ大ナルモノハ山行苗トナシ小ナルハ更ラニ床替ヲナシ翌々春林地ニ移植スベシ播種ニ依ルモノハ秋季採集シタル種子ヲ蠟ノ附着セル儘之ヲ用ユルモノト之ノ蠟ヲ取り去リテ后播種スル法トアリ何レノ場合ヲ問ハス蠟ヲ取り去リ播種スルヲ可トス蠟ヲ去ルニハ木灰ニテ洗フカ又ハさいかちノ莢ニ洗フベシ近來炭酸曹達ニテ洗フモノアリ秋季取播ニスルヲ可トスルモ蠟ヲ去リタルモノヲ春播トナスモ可ナリ播種床地ニ坪二三合ノ割ヲ以テ播種シ被土ハ三四分ヲ可トス日除ヲ要ス霜除ハ之ヲ要セス發生ノ年大ナルモノ幹長七八寸根長五六寸小ナルモノ幹長一寸根長一寸トナルヲ以テ翌春第一回床替ヲナシ翌春幹長五六寸根長七八寸トナルモノヲ林地ニ移植スベシ

第七 はぜ

(名稱)一名はにし.はじ.はぜうるし.又らふのきノ名アリ漢名 樺.野漆樹.黃樺ト書ス漆樹科ニ屬シ學名ヲ(Rhus Succedanea Lト稱ス

(効用)材ハ弓材トシテ長ク又中心深黄ニシテ美ナルヲ以テ粧飾.寄セ木細工.箱.小細工ニ用ユ實ハ蠟ヲ搾ルヲ以テ主要ナルモノトス樹ハ庭園樹及ヒ行道樹トス

(分布)支那ノ原産ニシテ正保二年本邦ニ傳ハリシモノナリト云フ暖帶南部ニ適シ西海.南海.山陽ノ諸道ニ繁殖セリ殊ニ伊豫.甚々

土佐.肥前.肥後.日向.薩摩等ニ多ク植栽セラレ寒ニ對スル力甚々弱ク最早東京ニテハ幼時ハ充分ナル霜除ヲナサ.レハ枯死スルヲ免レズ

(葉)葉ハ互生有頂葉羽狀複葉ニシテ葉柄ノ長サ一尺許基部稍々膨大セリ通常八九對ノ小葉アリ小葉長橢圓形ニシテ頂銳尖基部稍々圓形葉緣稀ニ鋸齒アリ霜ニ逢フテ美ナル深紅色ヲ呈シ俗ニはぜもみちト稱スルモノ此ナリ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ短三角錐形ニシテ明褐色ノ密毛アリ側芽ハ楔狀ヲナセリ葉痕ハ半圓形木髓ハ大ニシテ稍々角隅アリ枝ハ横ニ張ル性アリ

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ五十年目ニハ幹高二丈五尺周二尺トナリ老ナルモノハ幹高三丈周三尺ニ達ス樹皮ハ初メ光澤アル帶黑赤色ニシテ後ニハ水平ニ割レ目ヲ生ス邊材ハ暗色心材ハ暗黄色ニシテうるしのきニ似ルモ邊材甚々廣シ材質稍々堅硬緻密氣乾比重〇.七六絶對乾比重〇.七一アリ

(種子)雌雄異木ニシテ六月頃抄頭ニ梗穗花ヲ下垂シ黄白色ノ小花ヲ開ク實ハ十月成熟ス蠟ヲ附着セル儘ノ果實ハ其色暗黄色ニシテ光澤アリ一升ノ重量百七十五匁粒數一万〇七百個アリ種子ハ堅硬ニシテ大サ一二分許一升ノ重量三百廿匁粒數二万六千五百粒アリ

(林業上性質)樹性土壤深キ山腹ノ地若クハ畠地ニ於テ生育甚々佳ナリ濕潤ノ地ヲ好マザルカ如シ幼時ノ成長甚々速ナリ強キ陽樹ニシテ日蔭ニ堪ヘズ苗木ヲ仕立ツルニハ漆ニ準スベシ

第八 つげ

(名稱)ほんつけ.あさまつけ.からつけノ名アリ漢名黃楊俗ニ柘ト書ス黃楊科ニ屬シ學名ヲ(Buxus Sempervirens Lvar japonica Makino)ト稱ス (第四十圖)

(効用)彫刻材トシテハ古ヨリ賞用セラレ近來其大ナルモノハ西洋式木版畫ノ彫刻ニ供セラレ其他美術品ノ製作ニ用ヒラル小ナルモノハ最も多ク印材トシテ用ヒラル貴重ナル小細工用材.櫛材.算盤珠.琵琶ノ撥.將棊ノ駒.精巧ナル定規其他ノ圖引器械等ニ用ヒラル又義齒ニ用ユ歐洲ニテハ此材ヲ以テ笛.豎笛 其他ノ吹用樂器ヲ作ルト云フ

(分布)暖帯所属ノ樹種ナルモ又温帯ノ下半部ニモ生シ極メテ小區域ヲ限リテ偏在シ全ク此樹ノ天生セザル地方多シ然レモ伊豆ノ天城山武藏多摩郡ノ日原村紀州ノ大臺ヶ原山、土佐ノ白鬚山、筑前ノ古所山、寶満山、浮岳及ヒ豊前ノ香春山、英彦山、大隅ノ屋久嶋等ニハ常ニ多少ノ自生ヲ見ルベク伊豆ノ諸島殊ニ三倉三宅兩嶋ニ多シト云フ

(葉)葉ハ對生ノ其形橢圓形若クハ倒卵形ヲナシ葉頂少シク凹ム葉基漸狹シ葉ハ厚ク革質ヲナシ平滑ニシテ光澤強シ表面淡綠色裏面ハ稍々白色ヲ帶ア而シテ葉ノ側脈ハ主脈ノ兩側ヨリ並行ニ走ル新枝ハ綠色又ハ灰白色ニシテ四角形ヲナス枝條緊密ナルコト恐ラケ此樹ニ勝ルモノナカルベシ

(幹)常綠潤葉喬木ニシテ幹高三丈周三尺ニ達ス樹皮ハ初メ灰白色ニシテ滑ナルモ老大トナルニ從ヒ帶紅淡褐色トナリ稍々粗糲トナル心材ハ帶黃淡褐色ニシテ扁材ハ稍々淡色ナリ材質極メテ緻密堅實材ノ組織平等ニシテ殆ント木理ヲ有セス鉋削豚磨ニ依リテ大ニ光澤ヲ生シ甚々美ナリ又材ニ膩膏ヲ有シ双物ヲ迎ヘテ縱横自在ナルヲ以テ彫刻材トシテ費用セラル材ノ氣乾比重〇・七四乃至一・一〇アリ

(種子)花ハ三月ニ開キ實ハ七月下旬熟ス實ハ指頭大ニシテ圓ク其先端三本ノ角アリ初メ綠色ナルモ熟スレハ黃褐色ニ變シ三裂シテ種子六個ヲ放出ス種子ハ漆黑色ニシテ平滑強キ光澤アリ種子ハ長橢圓形ニシテ長サ五・九乃至五・三幅二・四乃至一・九アリ種子一升ノ重量二百七十粒數九万一千粒種子ノ發芽量ハ一割乃至三割發芽保存ハ二年ナリ

(林業上性質)つけハ重ニ石灰岩地ヲ好ンテ生スト云フ幼時ヨリ成長極メテ惡シク八十年生ニシテ僅カニ直徑四寸ニ過キスト此樹ハ又萌芽性アリ且ツ根本ニ多クノ小木ヲ生ス性陰樹ニシテ能ク庇蔭ニ堪ヘ殊ニ幼樹ハ好ンテ保護樹ノ下ニ成長ス若シ陽光ノ強キ所ニ生長セシムルモ其葉黃色ヲ呈シテ成長長シカラズ故ニ本樹ハ他ノ潤葉樹ト混淆林ヲ作ルニ適セリ苗木ヲ仕立ツルニハ挿木法ニ據ルヲ便トス其法つけノ枝長サ一尺位ヲ穂トシ土中ニ四五寸丈ヲ挿入シ四五年ノ后山地ニ植エルヲ可トス播種ニ依リテ苗木ヲ仕立ツ

ルニハ播種床地ニ坪三四合ノ割合ニ播種スレハ前年ニ一部分二年目ニ一部分發芽ス日除霜除ヲ要ス三年間播種床地ニ其儘トナシ四年目ノ春第一回床替ヲナシ六年目ノ春林地ニ移植スベシ寒ニ弱キモノナレハ霜除ハ注意シテ情ルベカラズ

第九 いてふ (第廿八圖)

(名稱)一名ぎんなん、ぎんなんのき、又きなんト云フ漢名公孫樹銀杏清俗ニ白果、鴨脚、一葉ト書ス公孫樹科ニ屬シ學名ヲ (Ginkgo biloba L) ト稱ス

(効用)材ハ彫刻物、基盤、將棊盤、將棊駒、算盤珠、俎板、張板、床板、截物板、天井板、匣箱ノ類ヲ造ル材ハ寒熱ニ遭フテ伸縮スルコト少ナキモノナレバ塗物ノ木地トシテハ最上ナリト云フ又印判木トシテハ筆法ヲ失ハザルヲ以テ費用セラル又唐土ニテハ園亭ノ額ニ作り又符ヲ刻ムニ用ユルト云フ九州ニテハ建築ノ用ニ供ス葉ハ田畑ニ施シテ肥料トナルノミナラス驅虫ノ効アリ又之ヲ書物ノ間ニ挿入スレハ蠹食ヲ防クノ効アリ實ハ上等ノ料理ニ用ヒラレ貴重ナルモノ也樹ハ庭園樹、行道樹、防風樹、門閥標織樹、實採集樹トナスベシ (分布)前世界ノ遺物ナル此樹種ハ現世界ニ於テハ只ニ一族一種ノ植物トナリ本邦及ヒ支那ノ各地方ニ産スルノミ神社佛閣或ハ人家ノ庭園樹トシテ栽植セラレ森林トシテ存在スルモノナシト雖モ前記ノ如ク其効用實ニ現著ナルモノナレバ將來益々有望ナリ殊ニ種子ノ採集亦ハ仕立ツルニ於テハ其利益決シテ小々ニアラザルナリ而シテイテフノ真正ナル郷土ハ暖帯ノ終ヨリ温帯南部ノ間ナルカ如シ而シテ陸前武藏尤モ多ク此木ヲ存ズ宮城大林區署管内ニ於テハ栗帶至ル所之レカ造林ニ適セザル所ナシ現今未タ之レカ造林ヲ計畫セルモノナシ

(葉)葉ハ互生開扇形或ハ鴨脚形ヲナシ表裏共ニ綠色ヲ平滑ニシテ光澤アリ平行脈ニシテ頂二乃至三裂ス普通葉長一寸三分幅一寸五分乃至二寸葉柄一寸許アリ秋季ニ至レハ美シキ黃色ニ變ス冬季ニ於ケル芽ハ圓形ニシテ褐色ヲ呈シ新枝灰白色木髓大ナリ枝條ハ廣キ銳角ニ出テ強大枝ヲ擴張ス

(幹)落葉針葉喬木ニシテ直立セル大幹ヲ成シ成長速ク幹高十二丈周三丈ニ達スルモノ也樹皮ハ灰褐色ニシテ厚ク縱裂ス心材扁柏ト

殆ント同色淡黄色ヲ呈シ其質軟ナレモ稍々密ナリ漆ヲ加ヘ易ク反曲割裂ノ憂少ナシ材ノ氣乾比重〇・四五・絶對乾比重〇・四〇アリ
 (種子)花ハ雌雄異株ニシテ五月上旬開花ス此木ハ一里乃至一里半ヲ隔ツルモ尙ホ完全ニ結實スト云フ實ハ十月下旬熟ス核果ニシテ果被多漿ナリ果實ハ橢圓形ニシテ初メ綠色ナルモ熟スレハ黃色ニ變ス果肉ヲ洗ヒ去レハ堅硬白色ナル種子ヲ出ス種子ハ淡灰白色ニシテ光澤アリ長サ七分幅五分許アリ一升ノ重量二百七十匁乃至三百五十匁粒數五百六十乃至八百粒アリ種子ノ發芽量ハ殆ント全部發芽ノ保存ハ一年ナリ

(林業上ノ性質)陰陽中庸ノ樹種ニシテ幼樹ハ能ク日陰ニ堪ユ然レモ老ユルニ從ヒ陽性トナリ好シテ孤立スルモノナリ而モ能ク直幹良材多シ幼時成長甚々早ク植栽后五年目ニシテ一年三尺ノ上長成長ヲナスモノアリ老年迄能ク成長ヲ持續ス二十年生位ニシテ結實ヲ初メ高年ニ至ルモ尙ホ能ク多量ノ結實ヲナス此樹ハ落葉針樹中ノ大王ニシテ常綠針葉中ノ大王 すき・常綠潤葉樹ノ大王 くす・落葉潤葉樹ノ大王 げやき ト合セテ日本ノ四天王樹ト稱スルヲ可トス

本樹ハ又くすノ如ク農業家ノ副業トシテ經營スベキ適當ノ樹種ニシテ兼テ小學校其他公共團體ノ庭内ニ植エテ種實ヲ採集スレバ年々少ナカラザル利益ヲ得ルコト疑ヲ容レズ且ツ風致ヲ添ユルノ点ニ於テ前記四樹種中第一位ニ居ルモノナリ本樹種ハ又其性陽性ナルカ故ニ雜木林内ニ植エ中林作業ヲ行フニ適當ナル樹種ニシテ一町歩百本内外ヲ混淆スルヲ可トス苗木ヲ仕立ツルニハ 接木・挿木・播種ノ三法アレモ前兩方法ニ依リテ仕立テタル苗木ハ成長惡シキヲ以テ播種法ニ依テ仕立ツルヲ可トス其法四月上旬播種床地ニ坪八百粒内外播種シ被土ハ五六分トシ日除ヲ要ス但シ霜除ヲ要セス翌春第一回床替ヲナシ第三年目ノ春ハ已ユ一尺前後トナリタルモノハ林地ニ移植シ得ベシ此樹ハ生着宜シク枯死スルモノ稀ナリ故ニ苗木養成法及ヒ植樹造林法共ニ容易ナリ

第十 きり ()

(名稱)古歌ニひとつばくさとハ此ナリト云フ漢名桐又白桐支參科ニ屬シ學名ヲ *Paulonia Tomentosa*, Kunitj. Anth.) ト稱ス

(効用)材ハ琴瑟等ノ樂器・机・箱・菓子折・鋸製柄杓・箏筒・書厨・長持等ノ家具トシテハ第一位ニ居リ又下駄材トシテ古來此木ニ勝ルモノナシトセリ又浮粟ヲ作り又建築ノ裝飾材ニ用ユ或ハ燒筆トナリテ圖畫ヲ助ケ或ハ火藥ヲ製スルノ料トナルベシ又一種鳥桐ト稱シ伊豆ノ八丈島ヨリ來ルモノハ肌理條紋ヲナシ器具ニ製シテ甚々雅ナリ

(分布)支那ノ原産ニシテ本邦輸入セラレタルモノナラント云フ然レモ今日ニ於テハ日本ノ各地至ル所ニ栽植セラレ加フルニ種子ハ輕小ナルカ故ニ風ト共ニ遠方ニ輸送セラレ人跡ノ絶エタル深山ニ之ヲ認ムルコトアリ而シテ東京近傍ニテ産スルモノハ材ニ光澤ナキ故所謂地桐ト稱シ其價格劣ル常陸及ヒ其以北奥羽地方ニ産スルモノハ其質良好故ニ下リ桐ト稱ス其他南部仙臺地方ハ有名ナル産地ナリ北海道ニテモ小樽札幌附近ニハ生長シ得ルト云フ宮城大林區署管内ノ栗帶ニ於テハ至ル所ニ生育スベシ

(葉)葉ハ對生・大形ニシテ圓形若クハ五角形テナシ頂尖リ葉基心臟形ヲナス葉表裏兩面ニ軟カキ毛密生ス葉長七八寸幅之ニ亞ク葉柄甚々長ク一尺以上ニ達スルモノアリ中空ナリ之レ其特徵ナリ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ枝ニ密着シ比較的細小芽鱗暗灰褐色ナリ枝ハ甚々太ク暗帶綠灰色ニシテ明瞭ナル皮孔アリ葉痕大ニシテ圓形木髓太クシテ空虚ナリ

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ幹高六丈周六尺ニ達ス樹皮帶綠褐色ニシテ年ヲ經ルモ折裂セズ心扁材ノ區別明ナラス白色ニシテ微紅ヲ帶ヒ綺文アリテ其外觀ノ美麗ナルコト高雅ナルコト本邦材中得易カラザルモノニ屬ス加之其質柔軟ニシテ輕虛ナレモ木理ノ硬度一様ニシテ工作ニ便ナリ材ハ輕キコト本邦産樹種中第一位ニ在リ氣乾比重〇・二八絶對乾比重〇・二五アリ

(種子)前年ノ秋已ニ枝稍ニ穗ヲナシ五月中旬頃唇形花ヲ開ク紫色或ハ白色ノモノアリ實ハ十月成熟ス其形ハ鳩卵ノ如ク熟シテ兩裂シ夥多ノ種子ヲ飛散ス種子ハ極小ニシテ扁平其形毛虱ニ似タリ種子一升ノ重量四五匁粒數百五十万粒アリ發芽力ノ保存ハ一年發芽量ハ一割以下ナリ

(林業上性質)甚々陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘズ稍々乾燥セル土壤ヲ好

ニ濕地ニ適セス上長肥大兩生長共極メテ速カニシテ本邦産樹種中幼時ノ成長最大諸林木中第一ト稱ス萌芽力強ク一株數莖ヲ主ス萌芽ニハ一年ニシテ腕大ト也高サ一丈ニ達スルモノアリ三年目ニシテ二丈位トナリ年々周リ四五寸位ツ、生長スルモノアリ併シ二十年以上トナリ周圍四尺以上トナレバ生長大ニ衰フルモノナリ本樹ハ斯ク生長早キカ故ニ農地ニ植栽セラレ十有數年ニシテ伐採セラレ殆ント農業的取扱ヲ受ケ肥料ヲ施シ生長ヲ促シツ、アリ然レモ林地ニテモ土地ノ膏腴ナル所ニ造林セバ生長可良ナルヲ以テ充分造林ノ價值アリ然レモ土地ノ乾燥ニシテ瘠惡ナル所ニハ生長甚々惡シキヲ以テ造林ノ價值少ナシ要スルニ桐ハ民家ノ周圍若クハ畑地或ハ山林ノ肥沃ナル所ニ造林スルヲ要ス苗木ヲ仕立ツルニハ根分ケ法及ヒ播種法ニ依リ仕立ツルモ根分法ハ尤モ簡單ニシテ良苗ヲ得易クレハ普通此法ニ依ル其法春三月下旬乃至四月上旬他ノ桐樹ノ上根ヲ掘リ取り之ヲ四五寸ノ長サニ切り揃ヘ畑地ニ畦植トナシ置ケハ其年ニ萌芽シテ良苗トナル播種ニ依ル法ハ豫メ準備セル播種床地ニ坪四合位ノ割合ニ播種シ被土ハ之ヲナサズ直チニ藁ヲ以テ薄ク之ヲ被フベシ然ル後直チニ日除ヲ施シ土地ノ乾燥ヲ防グベシ發芽后ハ時々除草ヲ施セバ可ナリ翌年四月第一回床替ヲナシ三年目ノ春林地若クハ畑地ニ移植スベシ

第二章 天然生ノモノハカメテ之ヲ保護シ主トシテ人工植栽ニ依ルベキ樹種

第一 くすのぎ (第四十二圖)

(名稱)單ニくすとモ稱スあかめぐす、あなめぐす等ノ名アリ漢名樟俗ニ楠ト書ス樟科ニ屬シ學名ヲ(Cinnamomum Camphora, Ness)ト稱ス

(効用)材ハ古ヨリ船艦材ニ費用セラル然ルニ近來ハ船艦ニ鐵ヲ應用スルニ至リ樟ハ鐵ヲ腐蝕スルノ点ヨリ退ケラレ今日ニ於テハ船中ノ机、食卓、小銃ノ掛ケ臺階梯ノ欄干雪隠及ヒ食堂ノ床板其他ノ機裝用ニ供セラル、ニ過キス但シ小ナル和船及ヒ臺灣ノシヤンク船並ニ丸木船等ニ今尚ホ製造スルコト少ナカラズ其他普通ノ用材トシテハ床板、戸棚、衣厨小箱細工物彫刻材等ニ用ヒラレ其木理ノ環狀波狀等ヲナスモノハ之ヲ薄ク剥キテ貴重ナル樂器手箱等ニ粘

付クルコトアリ樹ハ庭園樹及ヒ行道樹ニ適ス又不用ノ木片ハ蚊遣ニ用ヒラル今日尤モ必要ナル樟ノ用途ハ樟腦製造ナリ樟腦ハ古來驅虫ノ用ニ多ク使用セラレシガ今日ニ於テハ各種ノ藥劑及ヒ工藝上ノ材料トシテ必要缺クヘカラサルモノトナレリ即チ人工象牙無

煙火藥、花火、西洋蠟燭、化粧品、假漆等ノ製造原料其他織物標本類等ノ蠶蝕豫防劑トナリ又醫藥ノ合劑トシテハ各國ノ藥局法ニ之ヲ見ル此ノ如ク之レ必要ノ樹木ナリト雖モ今日ニ於テハ殆ント伐リ盡シ最早其材數年ヲ保ツベカラザル狀況ナリ唯臺灣ニ於テ少シク之ヲ有スルニ過キスト云フ然ルニ外國人ノ醫眼已ニ印度地方米國カリホルニヤ州フロリダ州等ニ於テモ之レカ造林ヲ試ミ好結果ヲ得タリシト云フ本國人ニシテ之レカ造林ニ注意セサレハ日本ノ樟腦獨占ノ利益ヲ失ハシコト火ヲ視ルヨリ明ナリ

(分布)此樹ハ熱帶ノ終亞熱帶暖帶中部迄チ郷土トシ臺灣琉球九州四國ヨリ本州ニ於テハ山陽道ノ畿内紀州東海道ノ海岸低地暖部迄生セリ然レモ内地ニ於ケル天然林ハ筑前ノ御笠郡大隅國肝屬郡ノ海岸地方及ヒ高隈山ノ下部等ニ存スルニ過キズシテ他ハ点々他ノ常綠闊葉樹林内ニ混生スルニ過キズ充分保護ヲ加フレハ磐城ノ海岸暖地ニ生育スルコトヲ得ベシ臺灣ニ於テハ悉ク天然林ニシテ海拔三千五百尺以下ノ低地ニ存在シ其以上ニハ殆ント之ヲ生セズ外國ニ於テハ唯支那ノ沿岸僅カニ之ヲ産スルニ過キズト云フ

(葉)葉ハ互生卵狀○圓形又○圓形ニシテ兩端尖リ全縁ニシテ表裏ニ波狀ヲ呈ス葉ハ革質ニシテ硬ク葉面光澤アリ而シテ葉底ニ近ク二大側脈アリ其他ノ側脈ハ小ニシテ二三對ニ過キズ葉長二三寸幅一寸乃至一寸五分葉柄五六分或ハ一寸ニ達スルモノアリ葉ヲ破レハ樟腦ノ香アリ枝ハ數年間綠色ヲ保ツ能ク太キ枝ヲ擴張シ枝條繁密樹冠半球狀ヲナス

(幹)常綠闊葉喬木五十年ニシテ幹高三丈周三尺老大ナルモノハ幹高六丈周三丈ニ達セルモノアリ本邦常綠闊葉樹中ノ大王ナリ樹皮ハ暗黃褐色又ハ黑褐色ニシテ縦ニ裂ケ目アリ或ハ厚ク多ク分裂ス心材ハ淡紫赤色ニテ美ナリ扁材ハ稍淡色ナリ材質堅實肌理緻密ニアラザレモ之ヲ鉋削スレハ光澤ヲ生ス特ニ本材ノ長所ハ水濕ニ耐ユル性强キト複郁タル一種ノ香氣ヲ放ツト蠶蝕ノ害ヲ受ケサルト

ノ三点ナリ材ノ氣乾比重〇・六一絶對乾比重〇・五九アリ老樹ニシテ木理ノ美ナルモノヲ生スルモノハ殊ニ貴重セラル

(種子)花ハ小形黃白色花瓣ヲ缺キ二三個集生ス五月下旬開花シ實ハ十月熟ス實ハ其眞圓ニシテ大サ二分許其初メ綠色熟シテ紫黑色トナル總狀穂上ニ三四個ヲ附着ス小梗ヲ具フ果實ハ一升ヲ陰干ニスレバ五合ニ減シ肉ヲ洗ヒ去レハ種子ニ合五勺ヲ得ベシ乾果一升ノ重量二百五十匁個數七千アリ種子一升ノ重量ハ二百七十匁粒數九千五百而シテ其發芽量ハ八割發芽保存力ハ一ヶ年ナリ

(林業上性質)土壤肥沃且ツ深キ所ヲ好ミ岩石ノ多キ乾燥ノ淺地ニ適セズ殊ニ寒風ノ當ラザル南面セル位置ヲ好ム若シ寒風ノ當ラザル暖地ナレバ少シク日陰ノ所ニモ能ク成長ス而シテ尤モ適當ナル位置ハ南面ノ谷間又ハ濕氣深キ暖カキ海風ノ吹キ來ル平地タルベシ成長ハ速カニシテ滿二年ニシテ高サ二三尺トナリ四五十年生ニ至ル迄ハ毎年幹圍一寸宛ノ成長ヲ爲スト云フ根ハ太ク長クシテ鬚根少ナク深根性ノモノナリ此樹ハ陰陽中庸ノ樹種ナルモ稍々陰樹ニ傾キ幼時ハ好シテ他樹ノ日陰ニ成長ス性寒氣ヲ恐ル、コト甚ダシク殊ニ稚兒ハ降霜甚ダシキ地方ニハ堪フルコト能ハス故ニ此木ノ郷土ノ北方ニ於テハ保護樹下ニ造林シ最早保護ヲ要セザルニ至リテ保護樹ヲ伐採スベシ本樹ハ天然下種、人工播、人工植樹何レニテモナシ得ベシ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トナスモ冬間種々ノ害ヲ受ケ易キカ故ニ春播ヲ安全トス春播ヲナス種子ハ乾砂ト共ニ貯藏スルカ若クハ乾燥セル種子ヲ袋ニ入レ貯藏スベシ播種量ハ坪五合ヲ適當トシ被土ハ三四分ヲ可トス三四週間ニシテ發芽スルヲ以テ爾后除草ヲ怠ルベカラズ日陰ハ之ヲ要セズ霜除ハ之ヲ行フベシ其年ニ一二寸乃至三四寸ニ成長スルヲ以テ翌春新芽ノ出テサル前之ヲ床替スルカ或ハ梅雨ノ候第一回床替ヲナシ翌春一尺前後ノモノヲ山行苗トスベシ林地ニ移植ノ際ハ幹三四寸ヲ殘シ切り去ルカ若クハ枝條ノミ切り去リテ移植スベシ根ハ切去ルベカラズ樟ノ其間伐材價格少ナキヲ以テ他樹ト混淆スベシトノ議論勝ヲ制シ今日迄殆シト裸赤松等ト混淆栽植セラレタレモ今日ニ於テハ葉ヨリ樟腦ヲ製造スルニ至リシヲ以テ其間伐材ハ頓ニ其價格昇騰セシヲ以テ最早混淆林問題ハ消滅ニ歸セリト云ハザルベカラズ且ツ

又本樹ハ大面積ハ勿論小面積ト雖モ造林經營ノ價值アルモノト云フベシ殊ニ公共團體若クハ農業者ノ副業トシテ經營スベキ樹種トシテ最適ナルノミナラス小學校基本財産用樹種トシテ適當ナルモノナリ何トナレハ樹木中小面積ニテ樟ノ如キ價格ヲ擧グルモノ他ニ比類ナカルベシ即チ一樹ニシテ千圓以上ノ價格ヲ有スルモノ少ナカラザルヲ以テナリ故ニ附屬林地ノ所有ナキ小學校ノ如キハ庭園内若クハ其他ノ空地ニ植ユルハ其風致ヲ添ユルノミナラス他日知ラス知ラズノ間ニ數千圓ヲ得ルニ至ルベシ此レ豈小學校ノミト云ハシヤ若レ夫レ公共團體ニ於テハ其共有ニ係ル森林地神社佛閣ノ境内若クハ道路ノ兩側ニ行道樹トシテ植栽スルハ又富國策ノ一方法ニアラズヤ蓋シ樟ハ天ガ暖帶民族ニ特與セル賜ノ一ナリト云フベシ

第二ノ(一) けやき (第卅九圖)

(名稱)良材ナレバ貴^{ケヤ}ケキ木ノ意カト云フ漢名檉榆科ニ屬シ學名ヲ(Jelkowa acuminata Planch) 一名 (J. Keyaki Sieb) ト稱ス

(効用)材ハ船艦建築用材其他各種ノ貴具用材トシテ尤モ貴重セラル近頃又椅子食卓、馬車、潔車ノ客車等ニ多ク費用セラル古來神社佛閣其他大家高樓ノ門柱、門扉、大黒柱其他重キヲ荷フ貴重ナル柱モ皆之ヲ用ヒタリ但シ土中ニ埋ムレハ腐朽シ易キ故土臺ニ用ユルコト稀ナリ殊ニ其木理ノ美ナル材ニテハ室内裝飾品及ヒ文房具上等ノ箱類、戸棚、戸板、煙草盆其他ノ小箱、椀ノ木地茶盆材ノ製作ニ供セラル又錢箱又ハ大工ノ削臺トシテ古來費用セラル又此扁材ハ柔軟ナルヲ以テ曲ケテ用ユルニ色宜シ又枝材ハ斧其他ノ道具柄トナシ又薪材トナス東京附近ニテハ裸ケヤキト稱シ四五年毎ニ其枝ヲ伐採シテ海苔粗朶材料トス又此材ノ灰ハいす灰ニ次キテ磁器又ハ陶器製造ニ供セラル樹皮ハ大キク剥キテ箕又ハ火鉢トナスヲ得ベク越前栗田村ニテハ此皮ヲ曲ケテ煙草入又ハ煙草盆ヲ製ス此樹ハ門閥ノ代表樹日除樹トシテ關東地方ニテハ家屋ノ周圍ニ植エラル又此木ヨリハ^ケのき^ノ箆ト同様ナル菌ヲ生ス其味美也現今世界ニ於ケル船艦用材中印度殊ニびるま國ニ産スルちうく樹ニ次キ最良ノモノトシテ費セラル此ノ如ク有用ナル樹木ナルニ關ハラズ今日最早已ニ殆シト伐採シ盡シ幅三寸厚サ五寸長サ四間ノ無節材ハ價

格二十圓以上ヲ有スルニ係ハラズ殆ント供給者無キ有様ナリト云フ令自ニ於テハ唯民家ノ周圍ニ植栽セラレタルモノヲ餘スノミナルモ之レ又漸次伐採シ盡スニ至ルヤ疑ヲ容レズ本邦林業家タルモノ深慮スルヲ要ス

(分布)暖帶北部温帶南部ニ跨リ生スル樹種ニシテ主トシテ落葉潤葉樹帶ノ温暖ナル部分ニ多ク四國九州ニテハ五千尺以下關西及ヒ本州南部ノ暖地ニテハ四千五百尺以下ノ地ニ生シ陸前陸中地方ニ於テハ一千五百尺以下ニ下リ陸奥ニアリテハ更ラニ下リテ一千尺以下ノ地ニノミ生シ本州ノ中央山脈ニテハ高サ三四千尺ニ至ル迄ぶなト混生ス日向・紀州・長州・遠州・福嶋・陸奥地方ヨリ良材ヲ産ス四國ノ山中ニモ天生スルモノ少ナカラズ東京附近ニモ人工ニヨリテ植付セラレタル大木多シ

(葉)葉ハ互生長楕圓形又ハ橢圓形ニシテ葉頭銳ク尖リ葉基漸狹葉緣ニ粗ヲキ深キ鋸齒ヲ有シ長サ二三寸幅五分乃至一寸五分殆ント毛ヲ有セス短カキ葉柄ヲ有ス葉ノ支脈ハ多少規正ニ中脈ノ兩側ニ羽狀ニ發出ス托葉ハ薄ク狭クシテ早く脱落ス葉其位置ニ依リ大小形狀ヲ異ニスルヲ樹木ノ一般ノ性ナレモ櫻ハ殊ニ甚タシク種子ノ附着セル葉ハ他ノ枝ノ葉ヨリ狹長ニシテ小ナリ此レ蓋シ種子カ枝ト共ニ墜落スルニ當リ其葉ハ種子ヲ他所ニ運搬スルカ爲メノ天工ノ妙用ナラント信ズ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ短圓錐狀ニシテ角隅アリ鱗片暗褐色ニシテ緣片ニ薄毛アリ枝ハ細クシテ左右ニ屈曲シ褐色或ハ暗褐色葉痕楕圓形木髓圓シ枝ハ狹銳角ニ出テ上向細枝ヲ出スコト無數ナリ樹冠扁圓形ヲナス性アリ

(幹)落葉潤葉喬木老大ナルモノハ幹高十餘丈周二丈ニ達ス本邦落葉潤葉樹中ノ巨擘ナリ樹皮帶綠暗灰色ニシテ初メハ平滑堅硬粗ヲキ横皺ト無數ノ細小ナル凸起ヲ有シ大樹トナレバ厚大ナル木皮鱗片ヲ爲シテ剝離ス扁材ハ生木ノ間ハ白色ナルモ乾燥スレハ帶黃白色ヲ呈ス心材ハ其色帶赤淡褐色ニシテ乾燥ノ度ニ依リ其色ニ著シキ變化ナキモ老木ノ材ハ淡褐色ニ紫色ヲ帶ヒ清氣香芬アリテ頗ル美ナルモノナリ之ヲ磨ケバ光澤ヲ生ス材質稍々硬質粗ニシテ剛勁拆碎シ難シ撓ミ難ク又伸縮折裂反張スルヲナク能ク重荷ニ堪ヘ又

能ク水濕ニ逢ヒテ久シク朽廢セズ氣乾比重〇・四一絕對比重〇・三六アリ此種材ノ老大ナルモノニハ其木理環紋又雲樣ヲナスモノアリ之ヲ如輪杳・鶉杳・玉杳・牡丹杳ト云ヒ最モ貴重セラレ

(種子)櫻ハ雌雄同穗ニシテ下部ニ雄藥上部ニ雌藥アリ花時四月下旬乃至五月上旬實ハ十月上旬熟ス種子ハ小形ニシテ三角錐鈍稜アリ熟シタル種子ハ其色帶綠灰色少シク日數ヲ經過スレハ帶赤暗褐色トナリ地上ニ落ツルニ至レハ暗灰色ニ變ズ種子ノ大サハ高サ三・六幅三・〇純厚三・〇稜ニシテ種皮堅硬ナリ種子一升ノ重量宮城縣産ノモノハ重量二百四十匁粒數七萬一千粒東京産ノモノハ二百二十六匁六萬八千粒本管産ノモノハ二百六十匁粒數六萬七千發芽力ハ二年間保チ強ク乾燥セル種子ハ其初年ニ一部分發生シ二年目ニ至リ他ヲ發生ス發芽量ハ精選シタルモノハ九割ニ達スルモ普通ノ種子ハ三四割ヲ有スルニ過キズ發芽保存ハ二年ナリ

(林業上性質)最モ能ク南面及ヒ東面ノ土地深キ適潤地ニ成長シ好シテ石灰質ノ地ニ生ス地味ノ良否ニ關スルコト尤モ著シキ樹種ナリ性稍陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘサルモ幼時ハ稍々庇蔭ニ堪ユ天然生ノモノハ多クハ他ノ樹種ト混淆詠ヲ作り山陰ノ地ヲ好ム傾斜ノ急ナル岩石ノ露出セル山腹ト雖モ其根ヲ深ク岩石ノ間ニ進入シテ長大ノ發育ヲナス此木ハ幼時成長速カニシテ滿二年ニシテ高サ三四尺トナリ爾后年々五六十年生迄ハ一尺以上ノ上長成長ヲ持續ス根ハ鬚根多ク遠方ニ擴張スルノ性アリ故ニ淺地ト雖モ能ク成長スルコトヲ得ベシ本樹ハ天然下種及ヒ人工播種ハ頗ル困難ナレモ人工植樹ハ尤モ容易ナルヲ以テ苗木ヲ仕立テ之ヲ造林スルヲ良シトス苗木ヲ仕立ツルニハ種子ヲ採集スルコト尤モ肝要ナリ即チ櫻ニ限リ其全熟ヲ待タスシテ所謂黃熟期ニ採集スルニアリ即チ種子カ未タ褐色ニ變セサル前ニシテ帶綠褐色ノ時代ニ於テ採集スルヲ可トス俗ニ所謂青取之レナリ櫻實ハ落下シタル即チ暗灰色ノモノヲ拾ヒ集メタル種子ハ到底播種用ニ適セス此レ櫻種子ハ地上ニ落ツルキハ種々ノ害ニ掛リ易ク已ニ發芽力ヲ失ヒタルモノ多キヲ以テナリ右若取ニシタルモノヲ陰干トナシ乾砂ト混シ貯藏スルカ又ハ袋ニ入レテ貯藏シ置クベシ翌春四月ニ至リ種子ヲ水ニ浸スコト二週間ニシテ床地ニ播種シ播種量ハ一合ヲ可トス被土ハ四分ヲ適當

トス幼時日除ヲ施シ床地ヲ被フニ至リテ之ヲ取去ルベシ除草ハ年五六回之ヲ行フベシ三四週間ニシテ發芽シ其年内ニ四五寸ノ長サニ達ス翌年第一回ノ床替ヲナスベシ此際播種床地ハ能ク均シ置キ二年目發芽ノモノヲ保護スベシ茲ニ注意スベキハ一年苗木掘取ノ季節此レナリ若シ此季節遅キニ失スレハ已ニ二年目發芽ノモノヲ生シ此レ等ノモノヲ害スルノ恐アリ故ニ掘取ハ二年目發芽ノモノハ未タ發芽セザル時季即チ三月下旬中掘取ヲ終ラザルベカラス第一回床替ヲ終リタルモノハ其年ニ一尺二三寸トナルヲ以テ山地ニ移植スヘシ林地ニ移植スルニハ芽ノ未タ出テサル前ヲ可トス故ニ秋春共ニ可ナリ苗木ノ根ハ損シ易キヲ以テ注意シ決シテ手ニテ引拔ク如キ暴擧ヲナスベカラズ

根ハ適當ノ大サニ切り捨ツルモ可ナレバ幹ハ切去ルベカラズ樺ノ苗木養成ハ右ノ注意ヲ拂フキハ甚タ容易ニ良苗ヲ得ベシ杉・落葉・松等ノ如ク床替後枯死スルノ憂ナク其他ノ諸害ニ對シテ安全ナリ樺ノ間伐材ハ其價格殆ント之無キヲ以テ最初ヨリ之レカ單純林ヲ作ルトハ一考ヲ要スベキナリ然リ而シテ混淆林ヲ作ントスレハ之レト混淆スベキ種類ハ如何ナル種類ト混淆スベキヤヲ研究セザルベカラス而シテ樺材ハ巨材ニテ利用セラル、ト注意セザルベカラス此レ此樹カ將來ノ運搬ノ便否ニ注意ヲ要スル條件ナルベシ此場合ニ於テハ今日運搬ノ至便ナル所ハ倭林作業ヲ經營セル所即チ此薪炭材產出ノ主タル目的ヲ有スル倭材ト樺ト混淆シテ所謂二段林作業ヲ經營スルヲ得策トスベキカ此レ第一策次ニ比較的不便ノ地即チ倭林經營ノ不利ナル位置ニ造林セント欲スル場合ニハ他ノ運搬ニ便ナルモノ若クハ他ニ利益アル樹種ヲ必要トスベシ。即チ(カシハ)ノ如キ樹皮ヲ利用シ得ベキ樹種若クハ(アカシテ)ノ如キ椎茸製造用ニ供シ得ベキ樹種等ヲ可トスベキカ此レ第二策ナリ該樹ハ又樟ト同シク公共團體特ニ小學校ノ基本財産用樹種トシテ適當ナルモノナリ即チ樟ハ暖帶ノ賜ナルモ樺ハ溫帶民族ノ天賜ナリ關東地方ニ於テハ古來ヨリ已ニ家屋ノ周圍ニ防風用・裝飾用・門限標織用・紀念用トシテ植栽セラレ今日ニテハ其老大ナルモノニシテ諸種ノ整理ヲ有スルモノハ數百圓ヲ值スルモノアリ

第二ノ(二) つき ()

(名稱)一名つきげやき・つきのき等ノ名アリ又なかばげやきノ名アリつきナル名稱ハ強木ノ畧ナリト云フ俗ニ槻ト書ス楡科ニ屬シ學名ヲ(Zellcowa Stipulacae Fr et Sav)ト稱ス

本樹ハ學者間ニ疑問アルモノニシテ即チ或ル學者ハげやきト同種ナリト云ヒ或ハ別種ナリト云ヘリ植物學上種ノ研究ハ暫ラク置キ次ニハ唯嚙ト異ナル点ヲ掲クベシ

(効用)古來此木ヲ以テ弓ヲ作り之ヲ槻弓ト稱セリ此葉ハ又乾シテ物ヲ琢磨スルニ用ユベク此材ハ樺ヨリ劣等ナルモ工作ヲ施シ易ク且ツ良幹ノ長材多キヲ以テ好シテ船艦材トス幼樹皮ハ纖維ニ富ムヲ以テ割キ箕ノ縁止蓑其他山民ノ用ユルハげ等ヲ製ス

(分布)樺ト同一ヶ所ニ生ス

(葉)葉ハ樺ニ酷似シ殆ント區別シ難シ然レモ其葉ハげやきヨリモ細長クシテ且ツ葉ノ表裏面及ヒ葉柄ニ毛ヲ有ス又三葉殆ント一所ヨリ集生シテ其二葉ハ恰カモ副葉ノ如キ觀ヲナス又秋冬ノ候げやきをハ其葉赤褐色ニ紅葉スルモ此ハ黃變ス

(枝)げやきハ幼枝ハつきニ比シ粘力弱キモつきハ頗ル強ク折リ難シ且ツげやきノ皮ハ剥クモ一ニ尺ニシテ斷絶スルモつきハ數尺ノ長サニ剥クヲ得ベシ且ツげやきノ皮ハ質惡シクシテ物ヲ作ルニ堪ヘザルモつきハ其質良シク屈曲自在ナリ

(幹)落葉闊葉喬木ニシテ幹高百尺周一丈ニ達ス樹皮帶青暗灰色ナリげやきハ老年期ヨリ樹皮圓ク厚ク大キク剝離スルモつきハ幼樹及ヒ壯年ノ際ハ樹皮平滑ナレモ老年ニ至レハ薄ク反張シテ剝離ス扁材心材ノ區別不明瞭ナリ其色淡黃色ナリげやきニハ材ニ一種ノ芳香アルモ此ニハ一種厭フベキ臭氣アリ又げやきハ其鉋削面光澤アルモつきハ迥目ヲ立テ光澤ヲ生セズ材質ハげやきヨリ軟カニシテ反張シ易シ故ニ樺材ヨリ劣等ナリ學友阿久根君曰クげやきノ樹皮ハ脆キ故小刀ヲ挿入スレハ明隙ニ穴ヲ穿チ得ベキモつきハ粘力強キ故穴ヲ穿ツニ纖維四方ヨリ出テ明隙ニ穿ツ能ハズト

(種子)樺ノ花ハ雌雄同穗ナルモつきハ雌雄別穗ナリ

(林業上ノ性質)樺ニ略ホ同シキモ樺ヨリ濕地ニ堪ユルモノ、如シ

第三 くぬき (第三十圖)

(名稱)一名ぐのき・くにぎ・どんぐりのき・まき等ノ名アリ又木曾

ニテハふしまき伊豫ニテハめくぬぎ但馬ちざいがし甲斐ニテハせ
んぐり秩父ニテハかたき下野ニテハじんだんぼト稱ス漢名櫟俗
ニ櫟・櫟・櫟・○斗・等ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ (Quercus cerrate
Thumb) ト稱ス

(効用)材ハ我國薪炭界ノ王ニシテ薪材トシテハ殆ント之ニ勝ルモ
ノナク木炭トシテハ其火力保存かし炭ニ及ハズト雖モ其性質殆
ト之ニ亞ク有名ナル佐倉炭池田炭ノ如キハ此材ヲ以テ製シタルモ
ノナリ之ヲ薪炭ト稱スルハ其木口菊花形ニ割レ目生スルヲ以テナ
リ而シテ此割レ目ハ空氣ヲ誘導スルノ力アルモノナリ又此材ハ磨
白ノ齒トナシ此樹ノ丸太材ハ垣根其他ノ庭園用杭等ニ用ヒ又椎茸
製造用ニ供ス樹皮ニ單寧ヲ含ムヲ以テ魚網其他ノ染料及ヒ鞣皮用
ニ供ス葉ハ天蠶ノ食餌トナル實ハ澱粉ヲ製スベシ種實ノ殼斗ヲ以
テ支那ニテハ皂色ヲ染ム故ニ皂斗ノ名アリ

(分布)暖帶北部温帶南部ニ生スル樹木ナレモ薪炭材トシテ尤モ利
益アルモノナルヲ以テ今日ニテハ暖帶ノ全部温帶全部ニ人造林ア
リ本州ノ南部ニテハ四千尺ノ高山ニ至レハ最早之ヲ見ルコト能
ズ又陸奥以北ニハ此樹ノ野生ナシ近頃北海道札幌小樽附近ニ之ヲ
植栽セルモノアルモ頂部寒氣ノ爲メニ枯死スルヲ免レズ滿州盛京
省地方ニ此樹野生的ニ存在スルト云フ宮城大林區管内ニハ五百尺
以下ニ野生スト雖モ人工的ニ造林セバ栗ノ天生セル所謂栗帶全部
即チ海面上一千五百尺ノ所迄ハ造林スルヲ得ベシ

(葉)葉ハ互生披針形或ハ倒卵形ヲナシ先端尖リ葉基圓形或ハ稍々
心臟形ヲナス長サ三寸乃至五寸側脈ハ平行裏面ニ凸出シ乃至十
三對アリ先端葉ヨリ凸出ス幼時ハ殆ト葉柄無シ葉ノ表面深綠色裏
面稍淡綠色ニシテ兩面共ニ光澤アリ新葉ニハ粗ニ少量ノ毛ヲ有
シモ老葉ニハ之ヲ缺ク葉縁ノ鋸齒淺ク側脈間凹形ヲナス葉ノ落葉
期ハ他ノなら類ヨリモ遅クシテ幼樹ハ翌春迄古葉ヲ存スルコト多シ
(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ往々大針狀ノ副鱗片ヲ以テ包圍セラル幼
枝ハ灰褐色ニシテ密毛アリ且ツ凹條縱ニ走りテ枝ノ斷面圓形ヲナ
サズ鱗片灰褐色ニシテ疎毛ヲ生ス葉痕ハ半圓形枯葉捲回ス枝ハ稍
々細枝ニシテ廣キ銳角ニ出テ強枝ヲ擴張ス樹冠橢圓形ヲナス

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ萌芽ヨリ出テタルモノハ二十年ニシテ幹

高三丈周圍一尺五寸ニ達シ老大ナルモノハ幹高十餘丈周圍一丈二
尺ニ達ス樹皮ハ暗褐色ニシテ深ク縱裂ス邊材ハ廣クシテ灰白色心
材ハ暗淡褐色ニシテ稍々赤色ヲ帶ビ材質稍々堅硬ニシテ粗也氣乾
比重○.九〇絶對乾比重○.八四アリ太キ髓放線ヲ有シ力ヲ加フル
ルハ割裂シ易シ乾燥スルルハ反張拆裂スルヲ以テ建築材ニ適セス
(種子)雌雄花ヲ異ニシ雄花ハ葉莖狀ヲナシ枝ノ下部ニ咲キ雌花ハ
枝ノ上部葉腋ニ一個又ハ二個集生シ五月上旬開花ス實ハ十月中旬
熟ス殼斗ニハ長キ鱗毛茸ヲ生セリ但シあべまぎノ鱗片ヨリ短カシ
種子ハ殆ント球狀ニシテ頂端圓形或ハ扁平ニシテ頂点凸出底部扁
平ナリ種ノ長サ十八.二粒直徑十八.七粒アリ種子一升ノ重量三百
十一粒數三百乃至四百粒アリ發芽量九割發芽保存ハ一年ナリ
(採葉上性質)くぬぎハ極メテ深根性ニシテ一年生ニシテ直根ノ長
サ三尺以上ニ達スルモノアリ然レモ老年ニ至レハ大ナル側根ヲ生
シ直根ハ却テ生長セサルモノ多シ乾燥セル空氣ヲ好ムモノニシテ
土地適潤ニシテ且ツ地層深キ所ニ於テハ山ノ北側ヨリモ却テ南側
ニ能ク成長スルモノナリ淺地ニモ成長スルコトナギニアラサルモ
其成長不良ナリ性陽樹ニシテ瘠地ニ於テハ決シテ長ク庇蔭ニ堪
ズ又肥沃ノ地ニ於テハ陰地ト雖モ稍々能ク成長シ長ク鬱閉ヲ保ツ
然レモ瘠セ地ニ於テハ既ニ三四年ニシテ林相疎トナリ林内雜木
雜草篠竹等ヲ生シ完全ナル鬱閉ヲ保ツコト能ハザルベシ性萌芽力
強キヲ以テ普通萌芽更新法ヲ行フ

くぬぎヲ造林スルニハ人工播種ト植樹造林トノ二者ノ外困難ナル
ヲ以テ爲ササルヲ常トス殊ニ植樹造林尤モ安全ナルヲ以テ之レニ
依ルヲ普通トス然レモ鼠害ノ少ナキ地方ニ於テハ人工播種造林ヲ
得策トス其法造林セントスル原野若クハ伐採跡地地擦ヲナシ之レ
ニ一町步六千本仕立法即チ列間巨離四尺苗間巨離四尺五寸置ニ鋤
ヲ以テ穴ヲ穿テ之レニ二粒乃至三粒ヲ播種ス此際穴中ニ油滓ノ如
キ肥料ヲ施セバ可ナリ(肥料ハ凡テ種子ニ觸レシムベカラズ)
普通三四週間ニシテ發芽シ其年ニ四五寸ノ大サトナル稀ニ八寸ノ
大ニ達スルモノアリ爾后年々下刈ヲ施スノミニシテ可ナリ鼠害無
キ地方ニテハ取播チ可トスルモ鼠害アル地方ニテハ春播チ可トス
植樹造林法ハ苗木ヲ養成ス苗木ヲ養成スルニハ取播チ可トスルモ

鼠害其他ノ害ニ掛ルヲ以テ春播ヲ良ロシトス種子ハ乾砂ト混シ大瓶又ハ樽中ニ貯藏シ置クカ若クハ土地ニ貯藏スベシ土地ニ貯藏スルハ濕地ハ之ヲ避ケベシ播種チナスニハ杉扁柏ノ如ク播種床ニ播キ付クルト直接畑地ニ播キ付クルトノ二法アリ播種床地ニ播クルニハ坪五百乃至六百粒ヲ可トシ畑地ニ播付クルニハ畦播トシ七八寸ノ畦ニ二寸置ニ一粒位ツ、ノ割合ニ播種スベシ春播ノ者ハ成ルベク早ク播種スベシ三月上旬乃至中旬ヲ可トス尤モ貯藏法ニシテ完全ナレバ四月上旬位ヲ適當トスルモ櫟ハ貯藏中已ニ三月上旬ニ於テ發芽チ初ムレバナリ既ニ甲拆シテ幼根ヲ出シタルモノニシテ播種ノ際其幼根ヲ害スルノ恐アリ若シ不幸ニシテ折ル、カ如キアレバ爲メニ枯死スルモノ多ケレバナリ右何レノ場合ニ於テモ發芽ノ年ハ苗木ノ幹長五六寸根ノ長サ一尺前後トナルヲ以テ翌年三月下旬四月上旬其根ヲ半分程切捨テ七八寸ノ畦ニ四寸置ニ第一回ノ床替チナスベシ其年ノ秋幹長一尺二寸根長七八寸ニ成長スルヲ以テ秋若クハ翌年三月林地ニ移植スベシ小ナル苗木ハ更ラニ第二回床替チナシテ山行苗トナスベシくぬぎハ移植ノ際幹ヲ切斷シテ植エルハ成長速ナリト稱スルモノアレバ切斷スルヲ要セス

第四 あべまき (第三十一圖)

(名稱)一名 あべくぬぎ、わだまき、わだなら、あんくぬぎ、くりかしば、こるくくぬぎ、ト云ヒ美濃、尾張地方ニテハほうす、木曾ほうすまき、遠江ニテハわだくぬぎ、東京ニテハさばぐりト云フ幼葉裏ニ綿ノ如キ毛アルヲ以テわたナル名稱アリ又樹皮ニテ「コルク」ヲ製スルヲ以テこるくくぬぎノ名アリくぬぎヲ雌ト云ヒ此木ヲ雄ト云フ蓋シ相似タルヲ以テナリ故ニあんノ名アリ俗ニ阿部櫟、綿櫟ト書ス殼斗科ニ屬シ學名チ (Quercus variabilis Bl.) ト稱ス

(効用)効用くぬぎニ略ホ同シキモ樹皮木栓質ニ富ミ之レヲ燃セバ燻リテ燃エ難ク殆ント世人ヨリ擯斥セラレ攝津地方ニテハ古來皮ヲ剝キテ薪炭材ニ供セシノミ故ニ天然生ノモノハ之ヲ保護スルコトナク人工ニテ之ヲ造林スルカ如キハ勿論之レ無カリシカ世ノ文明ト共ニ此木モ利用セラル、ニ至リ今日ニテハ人工造林ニ依リテ大ニ利益ヲ得ル見込充分確立スルニ至レリ所謂該樹ノ樹皮ヲ外國ヨリ輸入スル塞子ニ代用セラレタリ然レモ外皮ナルヲ以テ粗造ニ

シテ割レ目多ク年輪密ニシテ赤褐色ヲ呈シ外國産ニ比スレハ大ナルモノヲ得難ク且ツ其質堅キヲ以テ小墾ノ桧ニ用ユルノミニシテ麥酒其他大墾ノ桧ニ用ユルヲ得サリキ然ルニ近年岐阜縣竹鼻町渡邊六次氏ハ之ヲ膨張セシムルノ法ヲ發明シテ專賣特許ヲ得タリ此法ニテ製シタルモノハ大ニ輕軟トナリ尋常品ニ勝レリ之ヲ以テ將來増々有望ナル樹種トシテ數ヘラル、ニ至レリ隨テ之レカ天然ニ存在スルモノハ種子採集用トシテ大ニ保護ヲ加ヘザルベカラザルハ勿論増々造林ヲ行ハザルベカラザルナリ因ニ記スぬびすひーる會社ニテハ一ヶ年(明治卅三年)約九萬圓ヲ桧ノ爲メニ支出ス其他ノ會社ノ消費ヲ加フレハ麥酒ノ桧丈ニテ毎年百萬圓近ク外國ヨリ輸入スルト云フ

(分布)暖帶及ヒ溫帶南部ニ生スル樹種ニシテ臺灣、九州、四國、本州ノ過半ニ野生ス殊ニ對馬、安藝、伊豫、攝津、丹波、近江、信濃、三河等ニ野生ス宮城大林區署管内ニ於テ磐城、陸前等ノ櫟林内ニ点々混在スレモ世人ハくぬぎト區別セス

(葉)葉ハ互生披針形ニシテ先端漸尖基部圓形ニシテ稍々くぬぎノ葉ニ似タレモ此ヨリ細長ク殊ニ葉裏ニ白毛ノ綿毛密布シ稍々灰色ヲ呈ス之ヲ以テくぬぎト區別シ得ベシ

(芽)冬季ニ於ル芽ハ圓錐形ニシテ稍々角隅アリ稀ニ大針狀ノ鱗片ヲ具フ薄毛アリ枝ハ灰色陰側ハ灰褐色ナリ枝ハ狹キ銳角ニ出テ上向ス樹幹橢圓形ヲナス

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ幹高六丈周圍八尺ニ達ス樹皮ハ灰白色ニシテ厚ク(コルク)質ナリ此レくぬぎト區別シ得ベキ点ナリ其厚サ二寸餘ニ至ルモノアリ材ハくぬぎニ酷似スルモ心材ノ色ハ稍々多ク紅色ヲ帶ビ材質疎ニシテ稍々惡シ氣乾比重〇・九八絕對乾比重〇・九〇アリ

(種子)雌雄花ヲ異ニシ同枝ニ開ク花時五月實ハ十月成熟ス殼斗ハくぬぎヨリモ深ク且ツ甚々長キ灰褐色ノ鱗片毛茸アリ種子ノ殆ント三分ノ二以上ヲ包被セリ種ノ大サハ殆ントくぬぎニ等シト雖モ頂端稍々尖レリ色ハ暗褐色ヲ呈ス種子一升ノ重量三百三十粒數三百粒發芽量九割發芽保存ハ一ヶ年ナリ

(林業上性質)生成ノ速度ハくぬぎニ及ハズ且ツ萌芽力彼ノ如ク強

カラズ其他ノ性質苗木養成法等くぬきニ同シ

第五 くりのき (第三十三圖)

(名稱)單ニくりトモ稱スレモ此ハ專ラ實ノ稱呼ニ用ユ又シはくりやまくり等ノ名アリ北海道土人ハやいむニト云フ漢名栗・殼斗科ニ屬シ學名ヲ(Castanea vulgaris Lam. var Japonica DC.)一名(Castanea Japonica DC)ト稱ス (第三十圖)

(効用)材能ク水濕ニ堪ヘ保存期極テ長シ故ニ家屋ノ土臺・井桁・湯殿板・流シ板・溝板・屋根板・檣材・船ノ舵・櫂・及ヒ各種ノ杭等ニ用ヒラル近來又鐵道枕木トシテ此材ヲ賞用ス又此材ヲ泥水土ノ中ニ埋没シ置クキハ漸次黑色ニ變シテ雅致アル彩色ヲナス之ヲ以テ書箱・書棚・机其他器具類ヲ製スルコト多シ又鍍作材トシテハ飯椀・汁椀ヲ作り椅子・食卓ノ脚・其他帽子掛ノ類ヲモ作ル屢々又薄ク漆ヲ塗りテ木理モ現ハシ使用スルコトアリ又此材ヲ水中ニ浸シ置キテ澁ヲ抜キ之ヲ磨キテ額縁・煙草盆・等ヲ作ルコトアリ又丹波國桑田郡弓削村ニテハ生木ヲ六角形ニ造リタルモノヲ名栗丸太ト稱シ長サ六尺乃至一丈二尺直徑一寸乃至三寸餘多クハ京・阪・神・等畿内ノ都市ニ出ス大ナルハ床柱・違棚柱・手摺・神壇柱等トシ小ナルハ極木・棹縁・窓桁子・等ニ用ユル等風雅ナルヲ主トセリ此木ハ又薪炭ニ供スベシ炭トシテハ下等ナリ樹皮ハ單寧ヲ含ムコト多ク百分ノ七乃至十アルヲ以テ樹皮用又染料ニ供スルコトヲ得ベシ葉ハ天蠶ヲ飼育スベシ又此葉ヲ好ム白髮太郎一名栗毛虫ノ繭ヨリハ糸ヲ製スベシ此糸ニテ織リタル織物ハ船艦用旗トシテハ保存期長シト云フ種實ハ上等食料ニシテきんさん・茶椀蒸・菓子ノ原料其他ニ供スルノミナラス支那朝鮮ニ於ケル中等以上ノ料理ニモ欠クベカラサルモノナリ歐州ニ於テハ此材ヲ以テ麥酒ノ樽・葡萄酒樽・ヲ製スル所アリ種實ハ燒栗其他ノ食料トシテ珍重セラル

(分布)溫帶所屬ノ樹種ニシテ其分布區域甚々廣シ四國ニアツデハ海面上五千尺ノ高サニ及ヒ本洲中央山脈地方ニ於テハ四千尺東北地方ニ於テハ一千五百尺(鳥海山)北海道石狩ニテハ已ニ平野ノ平地ニノミ生シ東ハ日高國砂流郡ヲ界線トシ其以北ニハ之ヲ生セス而シテ九州ニテハ筑前・四國ニテハ伊豫・土佐本州ニテハ石見・丹波・近江・美濃・甲斐・上野・下野・越後・奥羽全地ハ之レカ産地カ

リ宮城大林區署管内ニ於テハ全地至ル所之ヲ生セサル處ナシ唯海面上一千五百尺以上ノ高山ニ於テクミ之ヲ缺ク

(葉)葉ハ互生長橢圓狀披針形尖頭基部不等ノ心臟形ヲナス鋸齒ノ先端銳狀ヲナシ側脈平行裏面ニ著シク突出ス表面深綠色光澤アリ下面粉白色葉裏ニ微毛アリ長サ四五寸幅一二寸葉柄ノ長サ四五分托葉披針形ニシテ宿存ス

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ球狀然レモ稍々尖リ背面扁平ナリ鱗片數少ナシ鱗片及ヒ幼枝ハ帶暗赤褐色葉痕三角形皮孔白色ニシテ木髓放線狀ヲナス枝ハ稍々細ク廣キ銳角ニ出テ上向ス

(幹)落葉闊葉喬木ニシテ幹高五十尺直徑二尺ニ達ス老ナルモノハ直徑五尺以上ニ達セルモノアリ樹皮ハ暗灰色初メハ平滑ナルモ後ニハ縱ニ裂目ヲ生ズ扁材ハ狹クシテ暗灰褐色心材ハ淡褐色若クハ稍々黑色ヲナス材質較々堅硬力ヲ加フルキハ割裂シ易シ氣乾比重〇・五九絕對乾比重〇・五六アリ材ニ單寧ヲ含ムコト多ク水ニ觸ル・モ久シキニ堪ユ

(種子)葉腋ニ葉莖花ヲ垂レ黃白色ノ雌花ヲ付ク基部ニ小數ノ雄花ヲ付ク六月中旬開花九月下旬成熟ス果實ハ橢圓形ニシテ無數ノ刺ヲ有シ所謂毬果ヲナス熟スレハ毬果裂開シテ三個乃至數個ノ種子ヲ藏ス種子ハ紅褐色ニシテ光澤アリ頂尖リ底部扁平ナリ種子一粒ノ大サハ高サ二三・六粒幅二二・二粒厚一三・五粒アリ種子一升ノ重量三百乃至三百五十匁粒數三百粒乃至四百粒アリ品種ニヨリテハ粒三十粒位ノ大ナルモノアリ發芽量ハ八割乃至九割五分アリ發芽保存ハ一ケ年ナリ

(林業上性質)樹性適潤ニシテ深キ土壤ノ地ヲ好ミ能ク乾燥地ニ堪ユルモ濕地ニ堪ヘズ普通ノ土地ニ於テ成長早ク滿二年ニシテ三尺以上ニ達シ三四年ニシテ已ニ實ヲ結ブモノアリ根ハ直根ヲ有スルモ枝根ヲ生スルコト多シ此樹ハ孤立セジムレハ枝ヲ廣延シテ長高トナラズト雖モ純林若クハ他樹ト混淆スレハ枝ヲ生スルコト少ナク直長ノ幹ヲ形ケル陽樹ニナルモ初メ間ハ能ク鬱閉ヲナスト雖モ五六十年以上ニ至レハ其鬱閉ヲ破ルヲ以テ下木植付ヲナシ地力維持ヲ計ラサルベカラズ此樹ハ又地方ニ依リ原野ニ非常ニ多ク存在スルヲ以テ勉メテ之レカ保護ヲ計ルキハ遂ニ良林ヲ形成ス

ルニ至ルベシ然レモ無立木地ニ造林セント欲セバ苗木ヲ養成セザルベカラズ而シテ之レカ苗木養成ハ標ニ殆ント同シクシテ尤モ簡單ナリ種子ノ貯藏法ヨリ山出シニ至ル迄凡テ標ニ同シクシテ可ナリ唯果ハ標ヨリモ發芽ノ年ニ於ケル成長速ナリ從ツテ占領面積ヲ多ク要スルヲ以テ播種床地ヘ播種スベキ量ハ少シク減シ坪四五百粒ヲ可トス林地ヘノ移植時季ハ秋季及ヒ春季何レニテモ可ナリト雖モ春季ニ於テ移植スル場合ハ新芽ノ出テザル前ヲ可トス新芽ノ出テタルトハ已ニ移植時季ヲ失シタルモノト知ルベシ

第六 ほゝのき (第四十圖)

(名稱)一名ほゝのき、ほんのき、ノ名アリ北海道士人ハ之ヲふしにト云フ漢名厚朴又ハ浮爛羅勒、俗ニ土厚朴、朴、枋、等ト書ス木蘭科ニ屬シ學名ヲ (Migu nolia Hypoleuca S et Z) ト稱ス

(効用)材ハ截物板、製圖板、彫刻材、刀劍ノ鞘、俎板、漆器素材、(殊ニ會津漆器板物)絲枰、機具、木履ノ齒、船具、鉛筆用材、燐寸材、柄杓、曲製面通、匣箱類、印判、其他ノ鑲作物等其用途極メテ廣ク甚々貴重セラル又此木ノ炭ハほう炭ト唱ヘ其質甚々微細ナルヲ以テ漆器金石細工ノ仕土ケニ琢磨料トシテ費用セラル樹皮ハ藥用ニ供スベク葉ハ竹ノ皮ヲ産セザル奥羽地方ニアリテハ之ヲ以テ物ヲ包ムニ用ユ、米澤市等樹ハ又之ヲ庭園道路ニ栽植ス温帶地方ノ行道樹ニハ最モ適當スベシ獨乙國ニ於テモ此樹ヲ行道樹公園樹トシテ賞揚セラル

(分布)温帶所屬ノ樹種ニシテ本州中央山脈地方ニ多ク高サ五千尺ノ所迄生シ奥羽地方ニ於テハ高サ三千五百尺迄生ス(鳥海山)北海道ニテハ隨地之ヲ産ス而シテ土佐、美濃、丹波、大和、飛騨、信濃、下野、岩代、陸羽地方良材ヲ産ス其中土佐、會津産ヲ最上等トス宮城大森區管内ニ於テハ栗帶及ヒ山毛櫨帶ノ過半部ニハ至ル所之ヲ産ス(葉)葉ハ互枝梢ニ攢簇ス葉ハ擴大ナルコト本邦落葉潤葉樹中第二ニ位ス、桐ヲ第一トス)倒卵形又ハ倒卵狀橢圓形微凸頭全縁ニシテ波濤狀ナナス葉長一尺幅五六寸時ニ一尺五寸ニ達スルモノアリ表面ハ滑澤裏面ハ粉白色微毛アリ側脈ハ著シク翼狀ヲナス葉柄ノ長サハ一二寸アリ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ甚々長大唯頂芽ヲ存スルノミナリ其形圓柱

狀ニシテ頂端銳尖少シク屈曲スルヲ其特性トス一個ノ鱗片ニテ中央ニ合着ス芽ハ大ニシテ長サ一寸以上ニ達スルモノアリ枝ハ太クシテ長ク短枝ヲ存セズ一年枝ハ綠褐色皮孔明瞭木髓圓形枝ハ稍々狹キ銳角ニ出テ上向ス

(幹)落葉潤葉喬木五十年ニシテ幹高三丈周三尺トナリ老ナルモノハ幹高七丈周九尺ニ達ス樹皮ハ灰色ニシテ厚ク稍々平滑ニシテ分裂セズ邊材ハ狹ク帶暗黒黄色心材ハ帶紫暗黒色ナリ材質輕軟緻密肌理美ニシテ割レ易ク且ツ縱横何レニモ鉋削シ易キヲ以テ工作ニ便ナリ又伸縮反張ノ憂ナシ材ノ氣幹比重〇・四二絶對乾比重〇・三七アリ

(種子)五六月ノ頃枝頭ニ一大花ヲ開ク大サ四五寸許花瓣九個白色ニシテ厚ク香氣強シ實ハ九月下旬成熟ス其形甚々長クシテ四五寸許長毬果狀ヲナス漸尖頭ノ子房數多果軸ノ周圍ニ簇生シ覆瓦様ニ排列ス熟スレハ子房分裂シ果實ヲ出ス果實ハ白色螺旋紋脈管ヲ以テ垂下ス一房毎ニ二個ヲ含ム果肉深紅色ニシテ美ナリ種子ハ堅硬ニシテ黒色ヲ呈シ形扁圓形又ハ不正三角形ヲナス種子一粒ノ大サ長サ一〇・〇柈幅七・五柈厚三・七柈種子一升ノ重量二百八十粒數八千六百粒アリ種子ノ發芽量ハ五割乃至八割ヲ有シ發芽保存力ハ三年ナリ

(林業上性質)此樹ハ山間谿谷或ハ山腹ノ陰處ニ於テ土壤適潤且ツ深キ所ニ於テ成長盛ナリト雖モ又能ク乾燥地ニモ堪ヘ得ルモ乾燥地ハ成長惡シ而シテ適地ニ於テハ成長頗ル早ク幼時ハ毎年三尺前後ノ成長ヲナスモノアリ孤立セシムレハ多クノ枝ヲ分ツモ鬱閉セシムルキハ枝下長キ真幹ヲ産ス性湯樹ナルモ割台ニ側方ノ庇陰ニ堪ニ從來ニ於テハ天然生ノモノヲ伐採利用スルニ過ヤサリシモ近來漸ヤクほゝのきノ用途ヲ増加シ濫伐ノ結果ノ材料ニ不足ヲ來シ從テ其價格非常ニ騰貴セルニ關ラズ増々需用ヲ増加スルノ有様ナレハ之レカ人工造林ニ依リテ之レカ不足ヲ補ハザルベカラズ加フルニほゝのきハ其苗木ノ養成及ヒ植付ノ事業等他ノ樹種ニ比シテ容易ナルヲ以テナリ

苗木ヲ仕立ツルニ取播ヲ可トス若シ春播ニ爲サントセハ採集セル果實ハ四五日間日光ニ乾カシ果肉ノ乾クヲ待チ其儘俵等ニ入レテ

乾燥セル所ニ貯置クカ若クハ果肉ヲ去リタル種子ヲ箱中ニ貯フルモ可ナルモ強ク乾燥スルハ發芽力ヲ失フコトアリ或ハ又砂ト混シ器中ニ貯藏スルカ又ハ野下等ノ土地ニ埋藏シ置クヲ要ス播種ハ床播哇播何レニテモ可ナルモ床播ヲ可トス床哇ハ坪五割ノ發芽量ヲ有スル種子ハ五合位ヲ適量トス哇播ノモノハ哇幅八寸乃至一尺トシ一ツ置ニ一二粒ツ、播種スベシ春播ノ者ハ約四五週間ニテ發芽スルモ乾燥セルモノハ翌春ニ至リテ發生ス又深ク土中ニ埋レタルモノハ三年目ノ春發生スルモノアリ苗ハ發芽ノ晩秋ニ七八寸乃至一尺トナリ枝ヲ有セス太キ杭根ヲ有ス翌春第一回床替ヲナシ其晩秋又ハ翌春二三尺トナリタルモノヲ林地ニ移植スベシ林地ノ移植ノ巨離八尺以上ヲ可トス此レ此樹ハ間伐材ノ利用ニ見込少ナケレバナリ

第七 かつら (第四十三圖)

(名稱) 一名かつらのき、かもかつら、おかつら、あかき、しろかつら等ノ名アリ又筑前ニテハかつらを北陸地方ニテハかうのき下野ニテハたまかつら北海道ノ土人ハ之ヲらんごト云フ俗ニ桂ト書ス雲葉科ニ屬シ學名ヲ (Cercidiphyllum Japonicum S. et Z.) ト稱ス (効用) 材ハ家屋、橋梁、船艦、其他ノ建築材トシ又圖板、截板、張板版木トシテハ尤モ適當ノ材ナリ下駄、下駄ノ齒、碁盤、机案、函箱、煙草盆、釜蓋、鉛筆其他ノ器具ヲ作り又薪炭材トナス樹皮ハ樹液流動期ニハ大キク剥キ易キヲ以テ屋根ヲ葺キ又染料トス此葉ハ京都加茂ノ祭典ニ用ユルカ故ニかもかつらノ名アリト云フ

(分布) 溫帶所屬ノ樹種ニシテ木州中央山脈ニ於テハ五千尺ヨリ一千尺ノ間ニ生シ陸前粟駒岳ニ於テハ二千尺以下ニ生シ北海道ニアツテハ中央部ノ山岳地方ニ多ク其北方ニテハ殆ント海面ト同位置ノ地ニ生ス特ニ駿河ノ千頭信濃ノ木曾下野ノ日光陸奥ノ木和田ノ諸山良材ヲ産ス宮城大森區署管内ニ於テハ山毛櫨帶ノ下部溪谷ノ濕地ニハ多少之ヲ産セサル所ナシ

(葉) 葉ハ對生圓形又廣卵形ニシテ葉基心臟形ヲナス鈍頭葉緣雲頭狀ノ鈍鋸齒ヲ有シ鋸齒端ニ小腺アリ老葉ニハ之ヲ失フ葉長一寸五分乃至二寸幅之レニ副フ葉面平滑ニシテ深綠色下面ハ帶白色ナリ葉柄長ク普通長サ一寸アリテ美ナル紅色ヲ呈ス

(枝) 冬季ニ於ケル芽ハ對生枝端ニ向テ直立ス圓錐形ニシテ兩個ノ鱗片アリ其内一個ノ枝ニ壓着セラル、モノハ上部ヲ他ノ内部ヲ包被セリ前者ハ暗赤褐色後者ハ赤色ナリ新枝細長陽向ハ赤褐色葉莖凸出葉痕狭ク木髓小ニシテ綠色ヲ呈ス枝條繁密狭キ銳角ニ出テ上向ス樹冠橢圓形ヲナス

(幹) 落葉潤葉喬木ニシテ樹幹直暢シ五十年ニシテ幹高四丈周三尺ナリ老夫ナルモノハ幹高十丈周二丈餘ニ達ス樹皮ハ灰色ニシテ厚ク縦ニ裂目アリ邊材ハ淡綠暗黃色心材ハ帶黃褐色ナリ肌理細直且ツ粘カアリ其實輕軟拆裂反張スルコト少クッテ工作ヲ施シ易キヲ以テ工藝上貴重セラル氣乾比重〇・五九絶對乾比重〇・五五ナリ

(種子) 五月上旬葉ニ先チ紅色ノ細花ヲ開キ雌雄異種ナリ實ハ十月熟ス果實ハ朔果形ニシテ彎曲ス其色暗褐色ニシテ微綠色ヲ帶ビ長サ四五分柱脚宿存熟シテ前面全縫線ニ沿ヒテ開裂ス種子ハ二列ニ着生シ其數二十餘種子ハ灰鼠色ニシテ稍々淡綠色ヲ帶フ長サ二分二厘乃至二分五厘幅一分五厘ナリ莢果一升ノ重量百〇八匁其數一万一千八百個アリ 種子一升ノ重量四十五匁 粒數二十八萬一千粒アリ

(採葉土性質) 性好シテ山澗溪谷ノ土壤肥沃濕潤地ニ完全ノ成長ヲナシ乾燥ヲ好マズ陰陽中庸ノ樹種ナルモ幼時ハ能ク他樹ノ庇蔭ニ成長ス萌芽力甚タ強キヲ以テ往々一株數幹ヲ發育セルモノアリ苗木ヲ仕立ツルニハ春播ヲ可トシ秋季採集シタル種子ハ布袋ニ入レ乾燥貯藏シ置クベシ播種ノ年七八寸トナリ翌春ニ回床替ヲナシ三ヶ年ニシテ長サ一尺五寸前後ノモノヲ林地ニ移植スベシ

第八ノ(一) おくぐるみ

(名稱) 單ニくるみ又くるみのき、おくるみ、こんろくるみ等ノ名アリ北海道主人ハにぬむにト云フ漢名山胡桃、胡桃科ニ屬シ學名ヲ (Juglan Sieboldiana Maxim) ト稱ス

(効用) 小銃ノ莖木トシテハ此樹ニ勝ルモノナシト云フ材ハ磨キテ光澤ヲ生スルカ故ニ文房具箱類、椅子、机、巨燧櫓、盆類、木履等ニ作ル又建築材ニ供スベシ樹皮ハ染料トシ葉ハ驅虫用ニ供シ實ハ食料トナシ種々ノ菓子並ニ料理ニ用ヒ殊ニ屈立ノキニハ之ヲ用ユル地方多シ所謂歸り來ル身ヲ意味スルナリ又此種核ハ之ヲ膳ノ脚

トス會津ノくるみ脚ノ膳ハ其名産ナリ或ハ之ヲ笠ノ紐付トナシ若クハ煙草入ノ根付トナス之ヲ磨クトハ美ナル光澤ヲ生スルモノナリ又此種子ヨリ油ヲ搾リテ胡麻油ニ代用シ料理ニ用ユ又下等ノ材及ヒ枝條ハ薪材トシテ火力強シ此樹ノ根ハ細カキ且ツ多數ノ鬚根ヨリ成立スルヲ以テ護岸用樹種トシテ尤モ適當ナルモノナリ

(分布) 溫帶所屬ノ樹種ニシテ北海道ノ全部奥羽諸州上野・下野・越後・信濃・丹波等ノ地方ニ多ク殊ニ河邊若クハ山間低濕ノ地ニ多シ宮城大林區管内ニハ栗駒岳ニ於テハ千八百尺朝日岳ニ於テハ千七百尺飯豊山ニ於テハ七百尺以下ニ生シ其全管内山毛櫸帶ノ河邊混地ニハ至ル所多少之ヲ産スルモ材多カラス

(葉) 葉ハ互生楕圓ニ集合狀ヲナシテ生ズ葉ハ有頂葉翼狀複葉ニシテ葉柄長サ一尺餘其左右ニ六七乃至十對ノ小葉ヲ付ク葉柄ニハ全面褐色ノ柔毛密生シ葉柄ノ基部ハ特別ニ膨大ス小葉殆ント無柄長楕圓形或ハ卵狀長楕圓形左右少シク不等ナリ葉面深綠色稍々平滑裏面ハ灰白色ノ柔毛密生シ脂氣ヲ帶ブ葉緣細鋸齒アリ

(枝) 冬季ニ於ケル頂ハ稍々方錐形ヲナシ側芽ヨリ著シク大ナリ淡黃褐色ノ柔毛ヲ生ス葉痕ハ大ニシテ三凸圓形ヲナシ新枝灰白色木髓大ニシテ褐色ヲ呈ス枝ハ廣キ銳角ニ出テ上向セス一年毎ニ枝ヲ分ツヲ以テ其分又ヲ計算シテ年齡ヲ知ルヲ得ベシ

(幹) 落葉潤葉喬木ニシテ幹高七八丈周六七尺ニ達スルモノアリ幹皮暗灰白色ニシテ厚ク縦ニ深キ裂ケ目ヲ有ス此木ノ邊材ハ帶灰白色心材帶暗褐色其質堅實ニシテ肌理梨材ニ似テ其横斷面年輪ノ内面ニ數多ノ氣孔密布シテ特徴ヲナス而シテ材質粘韌シテ反張彎曲ノ憂ナシ根ハ頗ル鬚根ニ富ミ黑色ニシテ瓜ニテ搔ケハ黃色ノ肌ヲ表ハス

(種子) 五月葉腋ニ葉莢狀ノ雄花ヲ垂ル太クシテ綠色長サ五六寸雌花ハ同時ニ楕圓或ハ葉腋ニ生シ穗狀ヲナス實ハ十月中旬熟ス其初メ綠色ナルモ褐色ノ毛ヲ密生スルヲ以テ茶色ニ見ユ秋期降霜ニ逢フトハ果皮ニ皺ヲ生シ少シク黒變シ地上ニ落下ス果皮内ニ一個ノ堅硬ナル粒ヲ藏ス即チ種子ナリ種子ハ球形ニシテ頂端尖リ左右相稱ニシテ中央ヨリ二分裂ス外面凸凹甚々シク恰モ鬼面ニ似タリ故ニおにくるみノ名アリ褐色ニシテ光澤アリ長サ一寸乃至一寸二分

幅七八分種子一升ノ重量三百粒數一百粒乃至一百二十粒アリ發芽量ハ九割餘發芽ノ保存ハ二年ナリ

(林業上性質) 性濕地ヲ好ミ最モ能ク溪谷濕潤ノ處或ハ河邊ニ生ス陰陽中庸ノ樹種ナルモ稍々陽樹ニ傾ク幼時ハ日陰ニ堪ヘズ此樹ノ根ハ非常ニ遠方ニ漫延スルノ性アリ又萌芽力強シ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トス乾燥シタル種子ハ發芽二年ニ亘ルモノナリ床播畦播何レモ可ナルモ床播トナストハ坪二百粒乃至三百粒ヲ適當トシ被土ハ二寸ヲ越ユベカラス畦播ノモノハ八寸乃至一尺ノ畦ニ一二寸置ニ一粒ツ、播クベシ取播トナセルモノハ翌春四月上旬發芽シ其年ニ幹長五六寸根長一尺許トナル翌年春第一回床替ヲナシ發芽后三年目ノ春幹長八寸根長二尺許苗木ノ重量四十五匁トナレルモノヲ林地ニ移植スベシ秋植春植共ニ可ナリ林地ヘノ植栽距離ハ六尺以上ヲ可トス

第八ノ(二) ひめぐるみ

(名稱) 一名おにくるみ又めぐるみノ名アリ漢名陳倉胡桃・胡桃科ニ屬シ學名ヲ(Juglans Cordiformis Maxim) 或ハ(J. Sieboiana Maxim var cordiformis Makino) ト稱ス

(効用) おにくるみニ同シ

(分布) 溫帶所屬ノ樹種ニシテおにくるみヨリ少シク低所ニ生ス宮城大林區管内稀ニ之ヲ産ス

(葉) 葉ハ互生有頂葉翼狀複葉ニシテ五乃至七對ノ小葉ヲ有ス小葉ハ星形ノ毛ヲ帶ビタル卵形・長楕圓形 又ハ卵狀長楕圓形ニシテ尖頭葉緣ニ小鋸齒ヲ具フ

(枝) 冬季ニ於ケル頂芽ハ短三稜形ヲ有シ稍々彎曲シ側芽ヨリ著シク大ナリ灰褐色ノ柔毛ヲ生ス幼枝ニモ又褐色ノ毛アリ葉痕大ニシテ心臟形ヲナス

(幹) 落葉潤葉喬木ニシテ大ナルモノハ幹高四十尺直徑二尺ニ達ス樹皮ハ年ヲ經ル久シキ間平滑老年ニ至ルトハ淺ク縦裂ス心材ト扁材トハ稍々色ヲ異ニシ材質輕軟ナリ氣乾比重〇・六〇絶對乾比重〇・五五アリ

(種子) 五月葉腋ニ葉莢狀ノ長キ雄花ヲ開キ楕圓或ハ葉腋ニ穗狀ノ雌花ヲ付ク實ハ十月成熟ス果實ハ球形ニシテ稍柔カキ果肉内ニ頗

形堅硬ナル一箇ノ種子ヲ藏ス種子ハ扁圓形ニシテ尖頭心臓狀ヲテ
シ中央ニ凹所アルノミニテ面ニ皺少ナシ恰モおたふく面ニ似
故ニおたふくくおみナ者アリ黒褐色ヲ呈ス

(林業上ノ性質)おたふくおみナ者ハ筒シ (第三十六圖)

第九ノ(一) やまあらし(一)

(名稱) 一名 やまあらし. ほみやなぎ. はこぎ. よめふりやなぎ. つ
らふり. へらふりおめふり. ねかやなぎノ名アリ 其他 筑前ニテハ
いぬぎり 藝州ニテハいせやなぎ 越後ニテハほさけぎ 信州ニテハよ
めふり 下野磐城ニテハさるぶ 奥羽地方ニテハさるぶのぎト稱ス (蓋
シ眞ノ下口ノキト混モリ) 北海道ノ主人ハねぶくるんにやいば.
さるぶに等ト稱ス 楊柳科ニ屬シ 學名チ (Populus tremula. L. var.
villosa Wesmél) ト稱ス

(効用) 舊時ハ此木ニテ佛像ヲ彫刻スルニ用ヒシヲ以テほさけぎノ
名アリ 又白箬房楊枝ヲ作り 又箱莖ヲ作りテ最モ可ナル故ニほこや
なぎノ名アリ 又火藥用木炭ヲ製スルニ用ヒラル 又近ク明治十年頃
ヨリ 燐寸用材ニ供スルニ至レリ 又最近此鉋片ヲ細クシテ眞田組ヲ
作ル所謂經本眞田此レチリ之レヲ以テ帽子座蒲團ノ原料トナス
目今重要ナル輸出品ノ一トナレリ 又此材ハ製紙ノ原料トナスベシ
(分布) 溫帶所屬ノ樹種ニシテ 四國九州本州及ヒ北海道ニ産ス 宮城
大林區管内ニ於テハ 栗駒岳二千五百尺 烏海山三千二百尺 朝日岳ニ
於テハ二千五百尺以下ニ生ス 重山脊山腹等ノ陽燥地ニ点在シ 殊
ニ原野ニハ必ラス之レガ小萌芽樹ヲ存スルヲ常トス 材料余多カ
ラズ

(葉) 葉ハ互生其形ノ三角形ナル毛縮々丸味ヲ帶ヒ嫩葉ハ銀色ノ毛
ヲ密布スルヲ以テ銀白色ヲ呈シ少シク成長シタル葉ハ表裏兩面共
ニ白毛ヲ被リ帶白色ヲ呈スルモ老葉ハ毛ヲ欠キ葉面光澤アリ 葉縁
ニ細鋸齒アリ 葉頂鈍頭葉基截形若クハ心臓形ヲテシ長サ二寸五分
乃至三寸幅二寸乃至二寸五分 葉柄ハ幅狭クシテ長ク一三寸アリ
節ヲ縱ニ扁平ナルヲ以テ常ニ風ニ從テ動搖ス 故ニつらふりノ名アリ
リ 夜間之ヲ聞クハ細雨ノ降ルカ如シ故ニあめふりノ名アリ 又山
ノ鳴ル如キ聲アルニヨリ 山鳴ラシ. 山嵐 等ノ方言アル所以ナリ
(枝) 冬季ニ於テ芽ハ紡錘狀ヲテシ眞直ニシテ短カク或ハ枝ニ

向テ彎曲ス 鱗片褐色ニシテ光澤アリ 其表面ニ樹脂ヲ分泌セリ 幼枝
褐色若クハ赤褐色ニシテ光澤アリ 上部ニ白柔毛密布ス 皮孔明瞭木
髓五角 ナリ 枝條ハ狭キ銳角ニ出テ上向ス 樹冠楕圓形ヲナス

(幹) 落葉潤葉喬木ニシテ 幹高五丈直徑二尺ニ達ス 樹皮初メハ平滑
帶綠灰白色ニシテ菱形ノ疹ヲ具フ 漸々老木トナルニ從ヒ樹皮黑色
ニ變スルト同時ニ水平ノ裂ケ目アルモノトナル 邊材暗白色心材ハ
帶黃淡褐色白色ニシテ稍々光澤アリ 材質輕軟製割シ易キモ鋸斷シ難
シ氣乾比重〇. 四八 絶對乾比重〇. 四四アリ 腐朽速ナリ

(種子) 四月中旬葉腋ニ蕈葉狀ノ花ヲ開ク 實ハ五月下旬ニ成熟シ 種
子ヨリ線毛ヲ吐出ス 風ニ從テ飛散スルノ用ヲナス

(林業上性質) 性原野或ハ山背山腹等ノ稍々乾燥セル所殊ニ火災或
ハ他林木ノ伐採跡地等ニ多ク生ス 他ノ落葉潤葉樹ト混成シ 或ハ群
成ヲナス 極メテ強キ陽樹ニシテ毫モ庇蔭ニ堪ヘズ 二三十年ヨリ已
ニ鬱閉ヲ失ス 水旱ノ害ニハ罹ルコト少ナキモ暖地ニテハ樹幹穿孔
蟲ノ害多シト雖モ 奥羽地方ニ於テハ此憂少ナシ 此樹ハ目下天然ニ
存在セルモノハ已ニ伐盡サレントスル自様ニシテ將來頗ル有望ナル
樹種ナレバ之レカ天然木ノ保存ハ勿論大ニ之レカ人工造林ノ必
要アリ 而シテ之レカ苗木養成法ハ困難ニシテ 挿木法ニ依リ稍々之
ヲ仕立ツルヲ得レバ 其生著割合ハ一割内外ニ過キザレバ之レカ割
合ノ増進ヲ研究スルト同時ニ播種ニ依リテ養成スル方法ヲモ研究
セザルベカラズ 然レモ他ノ種子ト異ニシテ熟期早キヲ以テ種子ノ
採集季ニ注意スルト同時ニ此種子ハ發芽力ヲ失シ易キヲ以テ採集
后直チニ床播法ニ依リ播種スベシ 發芽ノ年ニ七八寸乃至一尺トナ
ルヲ以テ翌春一回床替ヲナシ 二年目ノ秋カ三年目ノ春二尺前後ト
ナリタルモノヲ林地ニ移植スベシ

第九ノ(二) さるぶのぎ

(名稱) 一名 さるぶ. 一名 さるぶやなぎ. 一名 さるぶ. 一名 わたのぎ 又 わたの
ぎ 其他 かさるぶ. さわた. かわさるぶ 等ノ名アリ 楊柳科ニ屬シ 學名チ
(Populus balsamifera L. var. suaveoleus L.) ト稱シ 又 (Populus
suavenlens Fisch.) ノ別名アリ

(効用) 材ハ舊時ハ專ラ小船ノ底材 丸木船. 白箬. 房楊樹. 扇莖. 箱類
ニ作り 又行李. 杓子. 各種ノ鋸製物ヲ作ル 近來ハ製紙ノ原料ニ用キ

又明治十七年頃ヨリ燐寸ノ軸木ニ用ヒ初メシ以來需用次第ニ増加シタリ又近年ハ此材ヲ薄片トナシ種々ノ器物ヲ編製ス所謂經木材料トシテ貴重セラレ、ニ至レリ種子ニハ又一種ノ綿毛アリ綿ニ代用スルコトヲ得ベシ。

(分布)温帯ノ平濕地ニ生スル樹木ニシテ東北地ヨリ北海道ニ多シ北海道ニテハ膽振、石狩、渡島ニ多シ宮城大林區管内ニ於テハ南會津及ヒ飯豊山ニ之レヲ見ルノミ青森縣下ニハ多シト云フ

(葉)葉ハ廣卵若クハ廣楕形長三四寸稀ニ五寸ニ達スルモノアリ幅二三寸頂端尖リ粗雲頭狀ノ鋸齒ヲ有ス基部繸圓ニシテ稍々心臟形ヲナス葉ノ表面綠色ニシテ平滑裏面淡褐色ナリ葉柄短カク長一寸内外白毛アリ

枝 冬季ニ於ケル芽ハ甚々長大圓錐形ニシテ長ク數苞ヲ有シ綠色平滑ニシテ毛ヲ有セス此レヤマナラシト區別シ得ベキ点ナリ枝條ハヤマナラシヨリ肥大ニシテ淺青色ヲ呈ス

(幹)落葉喬木ニシテ幹高十二丈周圍丈餘ニ達ス樹皮ハ帶黑灰褐色ニシテ初メハ平滑ナルモ後ニハ裂目ヲ生シ粗糙トナル邊材ハ帶白白色心材ハ帶淡暗紫色ニシテ光輝アリ木理疎ニシテ柔軟ナリ材ノ比重ハ〇・三九ナリ

(種子)雌雄異株五月葉ニ先テ葉莢花ヲ開ク雄花長サ二寸五分紅色ヲ帶ブ雌花長サ一寸五六分成熟シテ七八寸ニ達ス果實疎ニ花軸ニ着生ス熟シテ四裂シ白色ノ絨毛アル種子ヲ飛散ス

(林業上ノ性質)稍々濕潤ナル地ヲ好ミ又能ク山陽ノ地ニ適シ火災ノ跡地等ニハ殊ニ多ク生ス性甚々シキ陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘズ已ニ二三十年生ヨリ鬱閉ヲ失ス此樹ハ目下天然ニ存在スルモノハ殆ント伐リ盡サレトスル有様ナリ此ノ如ク此樹ハ將來共ニ有望ノ樹種ニシテ且ツ生長甚速ナレバ之レカ造林ノ價值アルコト明ナリ幸ニ本樹種ハヤマナラシト異ニシテ挿木ニヨリテ繁殖スルコト頗ル容易ナリ即チ本樹ノ枝條ノ成長盛ナル部分ヲ六七寸ノ長サニ切り取り加地ニ挿シ置ケハ其生着スルモノ九割以上ニ達シ其年ニ已ニ一尺以上ノ苗トナルモノアリ翌春別ニ床替ヲナサズシテ放置シ置キ滿三年目ノ春二尺前後ニテ山行苗木トナスベシ尙ホ本樹種ハ生着量可ナルヲ以テ直接林地ニ挿條造林ヲ行フモ其目的ヲ達スルコト

得ベキヤ必セリ
(備考)前記やまならしト此ごろのきトハ兩々相混シ易キ樹種ニシテ専門家ニアラザレハ殆ント之ヲ區別スルモノナシ故ニ彼此混同スル地方多キ所以ナリ然レモ此兩者ハ前述ノ如ク挿木造林法ヲ實行シ得ルト得サルトノ便不便アレバ天然生育ニ依ル場合ハ別トスルモ人工造林ニ依ル場合ハ其難易ニ大差アルヲ以テ注意スルヲ要ス殊ニ此區別ヲ知ラザルカ爲メニ奸商ノ爲メニ乘セラレ、場合ナキニアラザレバナリ。

第十ノ(一) しほじ

(名稱)一名しほじ、さほぐり、ノ名アリ紀州新宮ニテハこうげち山形縣庄内地方ニテハしょうじきト稱ス俗ニ鹽地、柁壽、ト書ス木犀科ニ屬シ學名ヲ (Fraxmus Sieboldiana Bl)ト稱ス

(効用)材ハ能ク水濕ニ堪ユルヲ以テ船艦材及ヒ建築材トナス其他家具、器具、天秤、農具、把柄、戸車、盆椀、銃砲臺、挽板、棒、下駄等ヲ作ル又近時鐵道枕木及ヒ薪料トナス此樹種ニ一種ノ白蠟ヲ生ス之レヲ工業用ニ使用ス此材ハ一見樺ニ彷彿タルヲ以テ淡赤ニ染メテ樺ノ代用トナス

(分布)温帯所屬ノ樹種ニシテ木曾、日光、陸羽、北海道ニ産ス宮城大林區管内ニ於テハ栗駒岳ハ二千尺鳥海山ニテハ三千五百尺朝日岳ニテハ二千一百尺飯豊山一千九百尺以下ニ生ス重ニ適濕肥沃ノ地ニ喬木ヲナス其產料多カラズ

(葉)葉ハ對生ノ有頂葉翼狀複葉ヲナシ小葉楕圓形又倒卵形長二寸乃至四寸幅一寸餘淺鈍鋸齒アリ小葉ニハ殆ント葉柄ナシ

(芽)冬季ニ於ケル頂芽ハ稍々方錐形ヲナシ大ニシテ黑色ヲ呈シ眞直ナレモ側芽ハ少シク屈曲セリ枝條ハ灰白色ニシテ稍々太キ枝ナリ幹ヨリ廣キ銳角ニ出ヅ

(幹)落葉闊葉喬木ニシテ五十年ニハ幹高三丈周三尺トナリ老木ナルモノハ幹高六七十尺周六七尺トナル樹皮ハ帶綠灰黑色ニシテ縦ニ割レ目ヲ生ス邊材ハ甚々狭ク帶黃褐色心材ハ帶紅赭黑色木理通直肌理樺ニ似テ更ラニ粗ニシテ栗ニ似テ稍々美ナリ

(種子)五月頃枝梢ニ穗ヲナシテ細瓣ノ白花ヲ攢簇シ後翅果ヲ結ブ十月中旬熟ス翅果一粒ノ大サ長サ三二、一柁幅七、〇柁厚一、六柁

アリ翅果一升ノ重量五十五粒數三千五百五十粒アリ發芽量ハ五割乃至六割發芽保存力ハ二年ナリ

(林業上性質)少シク濕氣ニ富ミタル地ヲ好ミ乾燥地ニ適セズ性陰陽中庸ノ樹種トナルモ少シク陽樹ニ傾ク然レモ幼時ハ能ク日陰ニ堪ニ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トス春播ヲナスモノハ種子ヲ乾燥セシメ布袋ニ入レ貯藏スルカ若クハ乾砂ト共ニ貯藏スルヲ要ス取播ノモノハ翌春四月發芽スルモ春播トナシ種子ヲ乾燥セシメタルモノハ二年目ノ春發芽スルモノナリ發芽ノ年五六寸トナリ翌春第一回床替ヲナシ一尺二三寸トナリタルモノヲ林地ニ移植スベシ

第十ノ(二) やちだも

(名稱)一名だも・なんぶだも・おほぼだも・等ノ名アリ・北海道ノ土人ハ之ヲびんにト稱ス俗ニ櫛ト書ス木犀科ニ屬シ學名ヲ(Traxinus Maudslirica Rupr)ト稱ス

(効用)材ハ家材・河艇・船具・器具・農具・把柄・戸車・盆・椀・鉢・鉢蓋・等ニ用ヒ又鐵道枕木ニ費用ス

(分布)溫帶ノ冷部ニ産スル樹種ニシテ青森縣及ヒ北海道全部ニ産ス蓋シ南部ニ産スルカ故ニなんぶだもノ名アリ

(葉)葉ハ對生有頂葉翼狀複葉ニシテ葉柄長七八寸乃至一尺二三寸着所肥太ス一柄ニ凡九個ノ小葉ヲ着生ス小葉無柄長橢圓形尖頭長四五寸幅一二寸許表面綠色ニシテ平骨裏面淡綠色ニシテ褐色ノ毛アリ小葉ノ基部ニ毛アリ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ方錐形ニシテ短大四鱗片ヨリ成リ黒褐色ヲ呈ス側芽ハ遙カニ小ニシテ少シク屈曲ス新枝帶黒灰白色粗大ナリ枝條ハ幹ト銳角ニ出テ揚起ス

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ幹高七八丈ニ達シ周一丈餘ニ達ス樹皮灰白色ヲ帶ヒ縦ニ深キ裂ケ目アリ邊材ハ淡褐色心材ハ帶紫深赭黑色ナリ材剛勁ニシテ性斷力アリ耐久性彈力大ナリ

(種子)早春穗狀花ヲ開キ魚色ノ小花攢簇ス多數ノ翅果總狀ヲナシテ垂下ス翅果長サ一吋三四分開裂セズ内ニ細長ノ種子一二個ヲ收ム

(林業上性質)性濕地ヲ好ムカ故ニやちだもノ名アリ其他ノ性質苗木養成法等しほじニ同シ

(備考)しほじトやちだもハ學者間ニ説ヲ異ニス即チ同一ナリトスルモノ否ラズトスルモノ之ナリ然レモ今ハ別種トシテ茲ニ記セリ

第十ノ(三) さねりこ

(名稱)一名さねりき・たごぎ・ノ名アリ又加賀ニテハさねりき丹波ニテハさすべりのき大坂ニテハはだつ北國ニテハたごのきト云ヒ漢名櫟・又・秦皮・ト書ス木犀科ニ屬シ學名ヲ(Fraxinus Bungeana DC)或ハ(F. pubinervis. BL)ト稱ス

(効用)材ハ器具材農具ノ柄車輪器械ニ用ユ古ハ槍ノ柄ニ用ヒタリト云フ又隈ニ用ユル鎗ノ柄ハ誠ニ貴重ナルモノニシ又危險ノモノ也從テ多クハ器材ヲ用ヒタレモ今ハ櫟ノ柔靱ニシテ折リ難キニ如カズトシテ漸々之ニ代フルコトニナレリ近時ハ大ニ銃砲管ニ使用セラル・ニ至レリ樹皮ヲ水ニ浸セバ綠汁忽チ出ツ之ニテ目ヲ洗フキハ眼疾ヲ治ト云フ葉ハ樹皮ト同シ効アリ樹性濕地ニ堪ユルヲ以テ田畔ニ植ニテ稻澗用ニ供ス枝ニ一種ノ白蠟ヲ生ス之レヲ戸障子・敷居・算盤珠ニ塗レバニリ長ロシ故ニさすべりのきト云フ又其粉ヲ名ケテとねりト云フとねりコハとねり木ノ轉音ナリ

(分布)溫帶ニ生スル樹木ナリ宮城大林區器管内ニ於テハ栗帶ノ底地殊ニ河岸ノ濕地ニ生ス餘リ多カラザル種類ナリ山形縣新庄附近ノ道路並木ニ之ヲ混セリ

(葉)葉ハ對生有頂葉翼狀複葉ニシテ葉柄長五六寸三對ノ小葉ヲ有ス小葉稍々有柄橢圓形又倒卵形ニシテ尖頭又ハ鈍頭葉基楔形ヲナス葉ノ表面深綠色裏面淡綠色葉緣小粗鋸齒アリ葉ノ裏面ノ脈及ヒ葉柄ニ稍硬キ毛ヲ生シ觸ルレハ澁澁ス葉柄ノ表面著シク凹ミタリ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ側芽ヨリ大ニシテ方錐形ヲナシ短カシ側芽ハ小ニシテ尖リ扁圓錐形ヲナシ短小枝ニ對シテ四十五度ノ角ヲナシテ出ツ色ハ藤紫褐色ナリ枝ハ灰色ニシテ稍々大シ

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ幹高三丈周三尺ニ達ス樹皮ハ平滑ニシテ帶綠灰色ヲ呈シ心材ハ帶黃淡褐色邊材ハ甚々廣クシテ較々淡シ(殆ント白色)材貫黃揚ノ如ク堅牢ナラザレモ亦密實ヲ極ム肌理白色桐ニ似タル綺紋アリテ雅ナリ特ニ其質靱強ニシテ且ツ彈力アリ

(種子)四月梢頭ニ穗狀ノ花ヲ開キ淡紫色ヲ呈ス實ハ十月熟ス翅果ニシテ赤褐色ヲ呈シ長サ二七・二耗幅五・二耗厚二・三耗アリ 果實

一升ノ重量八十五粒數四千九百粒アリ發芽量ハ七割發芽保存ハ一年ナリ翅果内ニ細長ニシテ兩端尖レリ

(林業上性質)性濕氣ヲ好ムモ乾燥地ニモ堪ユ性陰陽中庸ナルモ寧ロ陽樹ニ傾ク苗木ヲ仕立ツルニハ床播ヲ可トシ集採シタル種子ハ少シク乾燥セシメ布袋ニ入レ貯藏シ置クカ又ハ乾砂ト共ニ混シ貯藏シ置クベシ翌春四月上旬播種スレハ三十日間ニシテ發芽シ其年ノ晚秋幹二寸五分根四寸五分トナル翌春第一回床替ヲナシタルモノハ其年ノ晚秋幹一尺五寸五分根八寸五分全重量五乃至六匁トナルヲ以テ林地ニ移植スベシ

第十ノ(四) をほした

(名稱)一名あなたご、こばのさねりこ、あなとねりこノ名アリ福島山形、宮城 其他奥羽地方北海道ニテハあなとも秩父ニテハふじき北海道士人ハいばにト云フ俗ニ苦楮木ト書ス木犀科ニ屬シ學名ヲ *Fraxinus longicuspis*. Set Z 或ハ *F. Bungeana* De var *pubinervis* wg)ト稱ス

(効用)材ハ器具、器械、筆立、木髓、及ヒ薪炭用ニ供ス又皮付ノ儘柱床柱ニ用ユ北海道士人ノ女子黥ヲナスニ此木ノ炭ヲ用ユ樹皮ヲ水ニ浸セハ藍色ノ汁出ツ製墨ニ用ユレバ黑色ニ光澤アリト云フ樹ハ庭園樹トス

(分布)暖帶ヨリ温帶ニ亘リ本州中央山脈地方ニアツテハ五千尺ノ高サニ及ブ木曾秩父日光奥羽地及ヒ北海道ニ産ス宮城大森區管内ニ於テハ山毛櫸帶ノ全部ニ産ス

(葉)葉ハ對生有頂葉翼狀複葉葉柄ノ長サ四五寸ニ乃至三對ノ小葉ヲ有ス頂葉最大ニシテ橢圓形ニシテ兩端銳ク尖リ葉縁全縁又ハ鋸齒ヲ有ス長サ三四寸幅一寸五分乃至二寸小葉柄ノ長サ五分許アリ其他ノ小葉形狀略ホ相同シケレモ少シク扁形ヲナス氣味アリ葉ノ上面深綠色下面帶白色ヲ呈ス

(芽)冬季ニ於ケル頂芽ハ側芽ヨリ稍々大稍々角隅アリテ且ツ扁平ナリ側芽ハ莖ト殆ント直角ニ出テタリ枝灰色葉底半圓形皮孔多數木髓狭クシテ角隅アリ

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ幹高四丈直徑二尺ニ達ス樹皮帶綠灰色ニシテ白色ノ班紋アリ平滑光澤アリ材ハ白色ニシテ微翼ヲ帶ヒ材質

軟カニシテ粗力ヲ加フルホハ割裂シ易シ反張回換セズ氣乾比重〇・七三絶對乾比重C)・六六アリ

(種子)五月中旬梢頭ニ圓錐花序ニ排列セル穗ヲ生シ小白花ヲ開ク實ハ十月成熟ス果實ハ裂開セサル翅果ニシテ長サ二〇・二粒幅三・九粒厚サ一四粒アリ翅果一升ノ重量四十五粒數九千三百粒アリ發芽量ハ五割發芽保存ハ一年ナリ

(林業上性質)陰陽中庸ノ樹種ニシテ幼時ハ能ク日陰ニ堪ヘ能ク山毛櫸林内ノ下木トナリテ存在ス土地肥沃ナル所ヲ好ムモ乾燥地ニテモ能ク喬大ヲナス苗木ヲ仕立ツルニハ横ト同シクシテ可ナリ

第十一 ばりぎり

(名稱)一名ほうだら、やまきり、おほだら、かつたいのきノ名アリ又關東地方ニテハあくだら奥羽地方ニテハせのき或ハせんのき大和ニテハいぬだら伊勢ニテハかつたいぎり北海道ニテハおにせん或ハぬかせん北海道士人ハあいうしにト云フ漢名刺楸又ハ刺楸樹俗ニ刺桐、桧、柚等ト書ス五加科ニ屬シ學名ヲ *Acanthopanax ricinifolium* S et Z ト稱ス

(効用)材ハ船艦及ヒ建築用材ニ供シ其他家具、器具、鍍作用並ニ指物用ニ廣ク用ヒラル即チ盆、膳、重箱、昇棒、柄類、木履等ヲ作ルニ用ヒラル又北海道ニテハ鐵道枕木ニ用ヒラル嫩葉ハ食フベシ之ヲ試ミシニ一種ノ臭氣アリテ上等ノモノニアラス

(分布)温帶所屬ノ樹種ニシテ木曾、富士、日光、奥羽地方殊ニ北海道ニ多シ宮城大森區管内ニ於テハ栗駒岳ニ於テハ二千七百尺烏海山ニ於テハ三千尺朝日岳ニ於テハ三千七百尺飯豊山ニ於テハ一千四百尺即チ全管内山毛櫸帶中部以下ノ地ニ点在シ巨大ナルモノアリ

(葉)葉ハ互生掌狀分裂葉七乃至九裂片ヲ有シ裂片銳鋸齒アリ葉ノ長サハ七八寸幅八九寸基部心臟狀ヲナス葉面深綠色ニシテ平滑光澤アリ裏面淡青色深褐色ノ柔毛生ス葉柄頗ル長ク一尺以上ニ達スルモノアリ着所肥大ス

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ半球形ニシテ頂尖リ數鱗片ヲ以テ包被シ褐色ヲ呈ス枝ハ甚々太ク銳刺多シ新枝ハ帶綠灰色ニシテ皮孔明瞭ナリ髓ハ大キク褐色ヲ呈ス枝條ハ粗ニシテ狭キ銳角ニ出テ上向ス

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ五十年ニハ幹高五丈周五尺トナリ老大ナ

ルモノハ幹高八丈周丈餘ニ至ル樹皮ハ暗褐色ニシテ縦ニ深キ裂ケ目アリ極老木ハ樹皮黒色ヲ呈シ容易ニ他樹ト區別シ得ベシ邊材ハ淡褐色心材ハ帶褐淡黒色ニシテ光澤アリ材質ハ堅軟中庸ニシテ脆シ又鉋削シ易ク鉋削スルキハ桐ノ如キ光澤ヲ發シ肌理恰モ桐ニ類ス而シテ樹ニ刺アルヲ以テはりぎりノ名アル所以ナリ

(種子)六月梢頭ニ二十乃至三十ノ花梗ヲ攢簇ス花ハ細小ニシテ淡緑白色ナリ實ハ十月中旬成熟ス果實ハ扁圓形熟シテ黒褐色ヲナス種殼硬脆ニシテ内ニ三稜ノ種子二個アリ種子一升ノ重量百四十粒粒數七万二千アリ發芽量五割乃至七割發芽保存ハ二年ナリ

(林業上性質)性陽樹ニシテ且陰ニ堪ヘス好シテ伐採跡地ニ生ス能ク乾燥地ニ堪エ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トシ翌春播種スルモノハ能ク乾燥セシメ布袋又ハ乾砂中ニ貯フベシ取播ニセルモノハ翌春悉ク發芽スルモ乾燥種子ヲ春播トナシタルモノハ大部ハ其年ニ發芽スルモ一部ハ翌年ニ至リテ發芽スルモノアリ日除霜除ヲ要セズ發芽ノ翌年第一回床替ヲナシ三年目ノ春一尺四五寸ノ苗ヲ林地ニ移植スベシ

第十二 さはぐるみ

(名稱)一名ふぢくるみ、こぐるみ、はまぎり、はだつ、やす、やすのき等ノ名アリ奥羽地方ニテハやし或ハやしのき或ハかはくるみト云ヒ日光ニテハしゆかうぼくと書ス俗ニ澤胡桃、壽光木、桧等ト書ス胡桃科ニ屬シ學名ヲ *Pterocarya rhoiolia*, S et Z.ト稱ス

(効用)古來やまぎりト稱シ下駄ニ製シ近來又多ク燐寸ノ軸木トシテ費用ス此材ハ釘付惡シキヲ以テ器具材ニ適セズ此樹ノ内皮ハ強韌ナルヲ以テ箕ヲ編ムニ用ヒ又日光ニテハ此皮ヲ壽光皮ト稱シ之ヲ磨キテ木理ヲ現ハシ巻キ合シテ匣盆其他細工物ヲ製ス其紋理頗ル雜美ニシテ能ク久シキニ堪エ近來又此皮ヲ魚網ノ染料ニ供スル所アリ幹皮ハ山民剝キテ屋根ヲ葺クニ用ユ又山小屋ノ屋根圍板等ノ代用トシテ尤モ妙ナリ故ニかはくるみノ名アリ葉ハ毒虫ヲ受ケタルキハ揉ミテ塗沫スレハ効アリト云フ

(分布)溫帶所屬ノ樹種ニシテ本州中央山脈ニ於テハ三四千尺ノ高サニ於テ最モ能ク發育シ六千尺以上ノ高地ニ生スルコトナシ而シテ木曾、秩父、加賀ノ白山下其他奥羽地方ノ寒地ニ生シ北海道ニ於

テハ其中央以北ニ之ヲ見ルコト能ハス宮城大林區管内ニ於テ栗駒岳ニ於テハ二千四百尺鳥海山ニ於テハ二千六百尺朝日岳二千六百尺飯豊山ニ於テハ二千四百尺以下ニ生シ又重ニ山毛櫸帶中部以下ノ該谷地ニ生シ稀ニ小群成ヲ見ルコトアリ

(葉)葉五生有頂莖翼狀複葉ニシテ葉柄ノ長サ一尺前後ニシテ普通七八對ノ殆ント無柄ノ小葉ヲ生ス頂葉ハ長橢圓形若クハ廣披針形ニシテ兩端尖リ長四五寸幅一寸乃至一寸五分ニ達スル者アリ他ノ小葉ハ長橢圓形ニシテ葉頂銳ク尖リ葉基心臟形ヲナス葉緣細鋸齒アリ葉柄ノ下部ニハ左右ニ翼アリ之レ其特徴ナリ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ三稜錐狀ヲナシ少シク回摺シ灰褐色ノ密毛アリ幼枝ハ眞直ニシテ無毛帶綠灰色稍々太キ枝ナリ枝條ハ銳角ニ出テ上向ス

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ樹幹直長生長甚々速ニシテ三四十年ニシテ幹高三丈周三尺トナリ老木ナルモノハ幹高八十尺直徑三尺ニ達スルモノアリ樹皮幼樹ハ灰褐色ニシテ滑カナルモ老木トナレハ黒褐色トナリ縦ニ深キ裂ケ目ヲ生シ外皮小片ヲナシテ剝脫ス材ハ心邊材同色稍々白色柔軟氣乾比重〇・四一絕對乾比重〇・三七反張折裂スルコトナシ

(種子)雌雄同様ニシテ五月上旬葉腋ニ葉莖狀ノ雌花ヲ開ク長サ三四寸雌花ハ梢頂又ハ葉腋ニ生シ梗ノ長サ一尺ニ達スルモノアリ共ニ實ハ十月上旬熟ス十月下旬頃ニ至レバ各個落下シテ枝上ニ果軸ノミヲ垂下ス翅果ハ茶褐色ヲ呈シ大ナル二個ノ翅ヲ具ヘ飛散ニ便ナリ翅附種子一升ノ重量四十粒數七百乃至八百粒翅ヲ除キタルモノハ百六十粒數四千ニ達ス發芽量ハ三割乃至五割ヲ有シ發芽力ノ保存ハ二年ナリ

(林業上性質)好シテ溪谷濕潤ノ所或ハ河邊澤岸ニ生シ乾燥地ニテハ生長惡シ性陰陽中庸ノ植種ナルモ幼時ハ却テ能ク日陰ニ堪ユルモ老木トナレハ日陰ニ堪ヘズ根ハ鬚根多ク杭根ヲ有セス此レ濕地ニ堪ユル所以カ幼時ハ比較的萌芽性強シ諸害ニ對シテハ抵抗力強ク殊ニ水濕ノ地若クハ寒氣裂シキ地ニモ堪フ但シ溫暖ナル地方ノ山陽ニ造林セルモノハ蟲害ヲ受ケ易シ此木ノ郷土内ニ於テハ人工播種造林ニ依リ森林ヲ仕立ツルヲ得ベシ即チ河邊低澤近傍ノ濕潤

ナル森林内ニ播種造林ヲ行ヒ發芽スルニ至レハ其秋若クハ翌春光線ヲ之ニ浴セシムル爲メニ上木ノ幾部ヲ伐採シ幼樹成長シテ數尺ニ達スルニ至レハ保護樹ヲ悉ク伐採スルニアリ植樹造林ヲ行フニハ苗木ヲ養成セザルベカラズ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ニスルヲ可トス春播トナスモノハ種子ヲ俵又ハ吠ニ入レ若クハ乾砂ト共ニ樽等ニ入レテ貯藏シ置クヲ要ス取播トナセルモノハ翌年四月悉ク發生スルモ乾燥セシメ春播トナセルモノハ其年ニ幾分發芽シ翌年殘部發芽ス日除霜除ヲ要セズ凡テ發芽ノ年ニ於ケル晩秋ノ苗木ノ大サハ幹長七八寸根長七寸八分トナル翌年四月第一回床替ヲナシ發芽后三年目ノ春幹長一尺一寸根一尺一寸全重量十二匁トナリタルモノヲ林地ニ移植スベシ尙ホ小ナルモノハ更ラニ第二回ノ床替ヲナシ四年目ノ春行苗トスベシ

第十三ノ(一) ぬんじゆ

(名稱) 一名こぬんじゆ又ぬんじゆ(和名鈔)ノ名アリ漢名槐葶科ニ屬シ學名ヲ (*Sophora Japonica*, L.) ト稱ス

(効用) 材ハ上等ノモノニシテ應用廣ク建築用トシテハ床柱床「カマチ」等ニ賞用セラレ其他小細工用家ノ造作用凝・作用・染木材・机手斧ノ柄・農具ノ柄・棍杵・農馬鞍 等ニ用ヒ新芽ハ燻テ、食用ニ供シ或ハ晒乾シ茶ニ代用ス又花萼ハ之ヲ槐花米ト稱シ染料ニ供スベシ唐木ノ黄色ナルモノハ多クハ之ヲ以テ染ムルモノナリト云フ樹ハ庭園樹又ハ行道樹トナスニ宜シ

(分布) 暖帶ヨリ温帶ニ亘リ各地方人家ノ周圍ニ植栽セラレ山岳地方ニ於テ天然生ノモノヲ見ズ蓋シ本邦ノ原産ニアラズ支那ノ原産ナルベシト云フ宮城大林區管内ニ於テハ仙臺市内ニ成長スルヲ見レハ磐城ノ海岸暖地ニ生育スルヲ得ベシ

(葉) 葉ハ互生有頂葉翼狀複葉ニシテ葉柄ノ長サ七八寸七乃至八對ノ小葉ヲ有ス小葉卵形又橢圓形ニシテ全縁大サ六七分薄質ニシテ表面平滑裏面帶白色ナリ新葉ハ微白毛ヲ有ス

(枝) 冬季ニ於ケル芽ハ甚々小ニシテ暗紫色ノ密毛ヲ以テ包被セラレ葉痕ノ中央ニ密着ス鱗片ヲ認ムルヲ得ズ一年生ノ枝ハ綠色ニシテ其湯側ハ黃綠色木理形ニシテ樹皮ニ一種ノ臭氣アリ樹冠球形若クハ倒卵形トナス

(幹) 落葉潤葉喬木ニシテ樹幹直長成長速カニシテ五十年ニシテ幹高四丈周三尺トナリ老ナルモノハ幹高六丈周七八尺ニ達ス樹皮淡黑褐色ニシテ縦ニ分裂ス材ハ淡黄色ニシテ微ニ黑色ヲ帶ブ材質稍々硬氣乾比重〇・七四絶對乾比重〇・六六アリ

(種子) 花ハ黄白色ニシテ尖頭狀ヲナシ複總狀花序ニ配列ス七月開花種子ハ十月成熟ス果實ハ莢ヲナス莢ハ長クシテ所々凹ミ珠數形ヲナス長サ二三寸初メハ綠色ナルモ熟シタルモノハ褐色ヲ呈ス種子ノ發芽量ハ五割乃至八割發芽保存力ハ一年ナリ

(林業上性質) 濕潤肥沃ナル深地ヲ好ム性陰陽中庸ノ樹種ナルモ稍々庇陰ニ堪ユ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季種子ヲ採集シテ布袋ニ入レ貯藏シ置キ翌春之ヲ床播トナシ一二年生ニシテ高サ三尺前後トナルヲ待チテ林地ニ移植スベシ

第十三ノ(二) いぬぬんじゆ (第四十七圖)

(名稱) 一名くろぬんじゆ一名おほぬんじゆノ名アリ漢名欒槐・葶科ニ屬シ學名ヲ (*Cladrastis amurensis* B. et Sd) 或ハ同上 (Var *Buergeri* Maxim 或ハ (Var *Floribund* Maxim) ト稱ス

(効用) 其材ノ雅美ナルヨリ盆・机・箱・煙草盆・等ノ指物及ヒ鍍作用材ニ供ス又床柱・斧ノ柄・農具ノ柄・鞍等ヲ作ルニ用ヒ日光地方ニテハ手斧ノ柄ヲ供給スル爲メニ此木ノ細幹ヲ切り出スコト多シ又北海道ニ於テハ鐵道枕木其他ノ上等用材ニ供ス又此樹ハ皮付ノ儘磨キテ床柱トナスルハ頗ル雅ナリ樹皮ハ染料ニ供シ北海道ノ土人ハ樹皮ヲ細裁シテ打撲ノ藥用トナスト云フ此樹ハ庭園樹及ヒ行道樹トナス

(分布) 温帶各地ニ産シ本州中央山脈ニアリテハ高サ四千尺ニ亘ル東京附近ノ山野ニモ亦生シ東北地方ヨリ北海道全部之ヲ産ス宮城大林區管内ニ於テハ栗駒岳二千二百尺朝日岳一千七百尺烏海山八百尺飯豊山ニ於テハ一千二百尺以下ニ生ズレトモ稀ナル樹ナリ

(葉) 葉ハ互生有頂葉翼狀複葉ニシテ長サ五寸乃至九寸一柄ニ九乃至十一對ノ小葉ヲ有シ小葉ハ橢圓形先端尖リ基部圓形ノ葉縁ニ鋸齒ナク長二寸ニ達ス幅五分乃至八分葉面濃綠色裏面淡綠色ニシテ白色ノ柔毛密布ス質厚ク小葉柄ノ長サ一二分アリ

(枝) 冬季ニ於ケル芽ハ葉痕ノ上側ニ密着シ楔狀ニシテ其背面稍々

凸出シ頂端稍々彎曲ス鱗片暗褐色ニシテ疎毛ヲ生セリ一年生枝ハ稍々太ク黒色若クハ暗褐色木髓大ニシテ歪形樹皮ニ特種ノ臭氣アリ樹冠扁圓形ヲナシ能ク枝ヲ四方ニ擴張ス

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ五十年ニハ幹高四丈周三尺トナリ老ナルモノハ幹高六丈周四五尺ニ及ブ樹皮ハ帶綠暗褐色幼時ハ稍々平滑ナルモ老木ハ樹皮横ニ剝離ス邊材ハ甚々狭ク帶黄白色心材ハ帶黑褐色ナリ材質稍々堅重撓テ碎折セズ氣乾比重〇・八九 絕對乾比重〇・八〇アリ

(種子)八月葉腋ニ花梗ヲ生シ小ニシテ白色ノ蟬形花ヲ攢簇ス小梗ノ長サ萼ヨリ短カシ實ハ十月成熟ス果實ハ莢果扁平細長ニシテ少シク尖リ長二寸許莢中ニ三乃至六粒ノ種子ヲ藏ス熟シタル莢ハ褐色ヲナシ種子ハ堅硬ニシテ淡褐色ヲ呈ス種子ハ圓形扁平ニシテ長サ六・三耗幅三・二耗厚二・五耗アリ發芽量ハ四割乃至五割 發芽保存ハ一年ナリ

(林業上性質)陰陽中庸ノ樹種ニシテ割合ニ能ク他樹ノ庇陰ニ成長シ他ノ潤葉樹ト混シテ鬱閉セル森林ヲナス肥沃ナル深キ適潤地ヲ好ムモ又能ク乾燥地ニモ堪ユ獨立シテ森林ヲ形成シ得ベキ樹種ナリ萌芽性ハ稍弱シ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季種子ヲ採集シ布袋ニ又ハ吹等ニ入レテ乾藏シ置キ翌春四月床播トナスベシ被土ハ三四分トナス二三週間ニテ發芽シ其年七八寸ノ長サトナリ翌年四月第一回床替ヲナシ 三年目ノ春 一尺五六寸ノ長サニテ林地ニ移植スベシ

第十三ノ(三)ふじき (第五十四圖)

(名稱)一名ゆくのき又しろねんじゆ、やねんじゆ、おうした 等ノ名アリ俗ニ白槐ト書ス莢料ニ屬シ學名ヲ (Sophora Platycarpa Maxim) ト稱ス

(効用)材ハ建築材・器具材・鑿作材等ニ用ヒ又鐵道枕木・天秤棒ヲ作ルニ適ス又薪炭材トス樹皮ハ器物ヲ製作スルニ用ヒラル

(分布)暖帶及ヒ溫帶ニ生スル樹木ニシテ天城山・木曾・秩父等ニ多シ

(葉)葉ハ互生有頂葉翼狀複葉ニシテ藤ノ葉ニ似タリ故ニふじきノ名アリ又葉ハにがきニ似タリ但シ小葉數ハ少ナクシテ通常頂葉ヲ

合セテ十一個ナリ嫩芽ニ褐毛アリ

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ幹高六丈周九尺ニ達ス樹皮平滑灰白色稍々粗糙邊材ハ廣ク淡黄色心材ハ帶赭黑黄色ナリ材質ハいぬねんじゆニ似テ稍軟ク疎ニシテ鉋削シ難シ

(種子)七月淡黄色ノ花ヲ開キ實ハ十月下旬熟ス莢長一寸許アリ

(林業上性質)いぬねんじゆニ同シ

第十四 きはだ

(名稱)北海道ニテハしころト云ヒ北海道士人ハしけれべにト云フ漢名黃蘗・藥木・黃柏等ト稱シ芸香科ニ屬ス學名ヲ (Phellodendron amurense Rupl) ト稱ス

(効用)材ハ銃鉋類ノ臺木トシテ胡桃材ニ次ク其他建築材木理ノ美ナルモノハ家屋ノ裝飾用・机・書棚・匣箱ノ類ヲ作り又盃杯・盆椀等ヲ鑿作シ木曾・富士 等ニテハ木履ヲ作り又薪材トス樹皮ハ柔軟ニシテ厚ク黄色ニシテ苦味多シ大和吉野郡大山等ヨリ出スだらすけト稱スル藥品ハ此樹皮ヨリ製セシモノナリ又樹皮ノ煎汁ヲ黄色ノ染料トス又樹皮ニ一種ノ油アリテ恰モさんせうノ香アリ殺虫藥トナス之ヲ服スレハ回虫ヲ殺ス又樹皮ヲ製紙ニ用ユレバ蠶虫ノ害ヲ受クルトナシ外皮ハ又木栓(コルク)質ナルヲ以テ厚キハ塞子トナスベシ北海道士人ハ皮ヲ剥キ取リテ屋ヲ被ヒ又壁板ニ代用ス又西比利亞ノ土人ハ外皮三四枚ヲ合セテ漁網ノ浮子ヲ作ル又樹皮ノ内皮ハ山河徒渉ノ際足指間ノ腐爛シタルニ用ユレハ効アリト云フ實モ又効アリト云フ其他實ハ樹皮ト同一ノ効アリ

(分布)溫帶ノ稍々濕地ニ生スル樹木ニシテ中央山脈地方密士山與羽地方北海道ニ産ス北海道ニテハ全地之ヲ産ス宮城大林區管内ニ於テハ栗駒岳二千尺朝日岳三千百尺ヨリ一千二百尺ノ間飯豐山ハ一千三百尺以下ニ生シ全管内山毛櫸帶中ニ点々存在シ肥沃ノ地ヲ好ミ瘠セ地ニ之ヲ見ズ

(葉)葉ハ對生有頂葉翼狀複葉柄長六七寸不整ナル三四對ノ小葉ヲ有ス小葉橢圓形尖頭基部楔形左右其形ヲ異ニス葉縁ニ不明瞭ナル細鋸齒アリ或ハ殆ント全縁小葉ノ長サ三四寸幅一寸乃至一寸八分葉柄甚々短カク表面綠色裏面淡綠色新葉脈上微毛アリ葉ニハ一種ノ息氣アリ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ小ニシテ少シク凸起セルニ過キス鱗片ヲ認ムル能ハス葉痕ハ馬蹄形ニシテ芽ヲ包圍ス新枝茶褐色皮孔明瞭淡褐点ヲナス枝ハ稍々太ク木髓太キク圓形ニシテ白色ナリ枝條ハ廣キ銳角ニ出テ横擴スルノ性アリ

(幹)落葉濶葉喬木ニシテ五十年ニハ幹高五丈周三尺トナリ老大ナルモノハ幹高六丈周八尺ニ達ス樹皮ハ厚ク木栓質ニシテ灰白色深キ裂ケ目ヲ有シ内皮ハ黄色ニシテ苦味アリ故ニきはだノ名アリ邊材ハ甚々狭クシテ帶褐暗黄色心材ハ帶黃暗褐色ニシテ光澤アリ特ニ老木ノ木理ハ美密ニシテ邊材ニ杳目アリテ美ナリ材質ハ甚々堅カラズシテ割レ易ク又鉋削シ易ク光澤アリテ反張割裂ノ憂少ナシ(種子)七月枝梢ニ聚繖花ヲ生シ黄綠色ノ細花ヲ開ク實ハ十月上旬熟ス果實ハ漿果ニシテ黑色大豆大苦味ナルモノト甘味ナルモノトアリ一梗三十個稀ニ四十個以上ヲ附ク果實一個内ニ種子五粒ヲ藏ス種子ハ弦月形ヲナシ長サ四釐八幅二釐六厚サ一釐七アリ種子一升ノ重量百五十粒數十萬粒アリテ發芽量ハ二割乃至三割發芽保存ハ一ケ年ナリ

(林業上ノ性質)陰陽中庸ノ樹種ナルモ幼時ハ能ク日陰ニ堪ユ性質肥沃ノ地ヲ好ミ瘠セ地ニハ殊ニ粘土質地ニハ成長甚々惡シ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季採集シタル果實ノ肉ヲ洗ヒ去リ種子トナシ少シク陰干トナシ布袋ニ入レ貯藏スルカ若クハ果實ノ儘乾燥シテ貯藏スベシ春季床地ニ播種スベシ播種量ハ一坪一匁位ヲ可トス三四週間ニシテ發芽シ其年ニ幹長六七寸トナシ翌春第一回床替ヲナシ三年目ノ春苗長二尺前後ニテ林地ニ移植スベシ

第十五 ちやんちん

(名稱) 一名さんちん、きやんちん、ひやんちん、こうちん、すぐろくまうへんぼく、くもやぶり、そらしらす、せんじょうしらす、てんつ、き等ノ名アリ常陸、下野、奥羽地方ニテハらいでんぼくと稱ス漢名香椿俗ニ息椿或ハ單ニ椿ト書ス棟科ニ屬シ學名ヲ(Cedrela Chinen-sis, Juss)ト稱ス

(効用)材ハ建築材、家具用材、裝飾材、机、箱、木履其他ノ器具ヲ作ル殊ニ樂器用材トシテハ最モ良材ナリ材ハ腐朽シ難キヲ以テ丸太ノ僮用ス、又能登ニテハ味噌樽、漬物樽等ニ用ユ、此レ此材ハ鹽分ノ

外ニ滲出セザル爲ナリト云フ樹皮ハ強キヲ以テ長ク裂キ得ベク之ヲ以テ桶ノ篋ニ用ユベシト云フ嫩葉ハ支那人ノ好ミテ食スル所ノモノナリ樹ハ庭園樹及ヒ行道樹トナス

(分布)支那ノ原産ニシテ本邦ニ移植セラレタルモノナレバ今日ニ於テハ分布區域甚々廣ク殆ント野生的狀態ヲナセリ而シテ其區域南ハ鹿兒島ヨリ北ハ殆ント奥羽地方ノ半ニ達セリ所謂暖溫兩帶ニ跨カリ生育セリ宮城大林區管内ニ於テハ栗帶ニ尤モ適セルモノナリト信ズ今日移植セラレタルモノニシテ仙臺市東三番丁第二憲兵隊本部庭前ニ直徑二尺五寸高サ六十尺ニ達セルモノアリ其他宮城縣本吉郡地方山形縣米澤市、東田川郡鶴岡町附近ニモ大木アリ嘗テ或ル小林區署ニテ貴重ナル用材ナルコトヲ知ラス薪炭材トシテ低價ニ拂下ケタル後ニ至リ非常ニ高價ナル賣買アリシト云フ

(葉)葉互生無頂葉繖狀複葉ニシテ葉柄ノ長サ一尺稀ニ二尺ニ達スルモノアリ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ割合ニ小ナリ枝ハ甚々太クシテ紫褐色ヲ呈シ皮孔明瞭ナリ木髓大ニシテ圓形褐色ヲ呈ス枝條ハ粗ニシテ擴キ銳角ニ出テ揚起ス樹冠圓形ヲナス

(幹)落葉濶葉喬木ニシテ幹直聳シ成長甚々早ク五十年ニシテ幹高四五丈周四五尺トナリ老大ナルモノハ幹高六丈周八九尺ニ達ス樹皮暗褐色ニシテ縱横ニ割レ目アリ邊材ハ狭クシテ帶黃褐色心材ハ帶紅褐色ニシテ光澤アリ頗ル樺材ニ彷彿タリ又せんだんニ似タリ硬重ナレバ割レ易シ此樹ハ成長甚々速カニシテ直ク六尺ニ達スルヲ以テすくろくノ名アリ

(種子)六月梢頭ニ穗狀ノ長キ花梗ヲ出シ五瓣白色ノ花ヲ開ク實ハ十月中旬熟ス果實ハ紅褐色ニシテ鐘狀ヲナシ熟スレハ裂開シテ種子ヲ飛散ス

(林業上性質)成長甚々速カニシテ萌芽性強ク殊ニ分蘖多キ樹種ナリ性陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘス雜木林中ニ混植シニ段林作業ヲ行フニ適當ナル樹種ナリ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季採集セル種子ヲ布袋ニ入レテ貯藏シ置キ翌春四月苗圃ノ播種床地ニ播種スレハ三週間ヲ經テ發芽ス發芽ノ晩秋ニ於テ已ニ一尺前後トナリ林地ニ移植シ得ベキモノアルモ更ラニ一年間床替ヲナシ三年目ノ春二三尺ノ苗

木トシテ林地ニ移植スベシ

第三章 主トシテ天然更新ニ依リ人工植栽若クハ人工播種ヲ以テ之ヲ補フベキ樹種

第一 あかまつ

(名稱)一名 めまつ ノ名アリ信濃地方ニテハあかめまつ甲斐地方ニテハあかほまつト云フ正名 赤松 俗ニ雌松・女松 等ト書ス松柏科ニ屬シ學名ヲ (pinus densiflora, S. et Z.) ト稱ス

(効用)材ハ其利用甚々廣ク大ハ船艦用材・家屋用材・橋梁用材等ヨリ小ハ燐寸軸木用材ニ至ル迄殆ント利用セラレザルモノ無キニ至レリ但シ建築用材トシテハ主トシテ棟梁ノ材ニ用ヒ柱其他ノ用材トシテハ杉ニ劣ルモ價ノ廉ナル爲メ多ク杉ニ代用セラル又土木工事ノ用材及ヒ礦山ノ支柱用材トシテハ杉材ニ勝ル又岩手縣産ノ材ハ上等ニシテ机・本箱・曲物其他ノ器具ヲ作ル又近來皮付ノ圓材ノ大ナルモノハ床柱トシ皮付ノ小丸太材ハ種ニ用ヒラレ頗ル雅ナリ栃木縣地方多ク之ヲ産ス又其材ハ薪炭材トナリ炭ハ鍛冶炭トシテ其用途廣ク薪材トシテハ陶器製造地方ニ於テハ必要缺クベカラザルモノナリ樹ヨリ松脂ヲ採集ス古ハ奥羽地方ニテハ大抵此樹ヨリ松脂ヲ採集シ燈火用ニ供セリ今日尙ホ之ヲ使用スル所アリ此樹ノ落葉ハ薪料トナスノ外庭園ノ防寒ニ用供セラル又松毬ノ落チタルモノハ集メテ燃料トナスルハ燃ヒ易クシテ火力強シ又生葉ヨリハ一種ノ纖維ヲ製シ織通ヲ製ス之ヲ紫織ト云フ又煙草ニ代用シ得ベシト云フ樹皮ノ内皮ハ澱粉ニ富メルヲ以テ凶饑ニハ之レヲ剝キ取り米ニ混シテ餅ヲ作ル之ヲ松皮餅ト云フ又樹皮ノ纖維ニテ紙ヲ製シ之ヲまつかはしト稱シ仙臺ノ名産ナリ又根ヨリ一種ノ寄生菌即チ茯苓ヲ産ス又此樹ノ森林内ヨリ松露・はつたけ・まつたけ・等ノ菌類ヲ産ス此樹ノ森林ハ又土砂打止・風致材・防風林等ニ供セラレ而シテ此樹ニハ園藝上ノ變種極メテ多ク庭園樹 及ヒ盆栽ニ供セラレ

(分布)暖帶ヨリ溫帶ニ亘リ生スル樹種ニシテ南ハ九州南部ヨリ北ハ北海道ノ南部ニ至リ本邦産針葉種中其分布ノ區域尤モ廣キモノナリ山陰・山陽・四國・畿内ノ諸山脈武藏・上野・下野・信濃・岩代・陸前・陸中 等ノ丘陵及ヒ平地ニ於テ天然林ヲナシ或ハ人造林アリ宮

城大林區管内ニ於テハ栗駒岳六百尺鳥海山二千尺朝日岳五百尺飯豊山ニ於テハ一千五百尺以下ニ生シ全管内人工ノ類繁ニ加ハル所ノ森林所謂薪炭用矮林内ニ至ル所増加ノ傾アリ

(葉)葉ハ端枝上ニ二針葉ヲ具シ其色綠色葉長三寸内外アリ葉ノ横断面ハ半圓形ヲナシ樹脂孔二個左右對立シ内皮ニ附着ス針葉ハ黒松ニ比スレバ短カクシテ小ニ且ツ軟カニシテ其狀優シク女子ニ類スルヲ以テめまつナル名アリ黒松ハ新芽ノ白色ナルモ赤松ハ赤色ナリ故ニあかめまつ又ハ赤穂松等ノ名アリ枝ハ年々階狀ヲナシテ出テ水平ニ擴カリ先端揚起シ枝條黒松ヨリ繁密ナリ

(幹)常綠針葉喬木ニシテ五十年生ニシテ幹高四五丈周三四尺トナリ老木ナルモノハ幹高百二十尺周二十尺ニ達スルモノアリ樹皮ハ上部ハ赤褐色ナルヲ以テあかまつノ名アリ老木ノ樹皮ハ暗褐色トナリ深ク割裂シ樹皮剝離ス材質堅硬ニシテ彈力アリ邊材ハ白色心材ハ帶黃褐色年輪整正樹脂多ク久シキニ堪ユ殊ニ水中ニアリテ然リトス材ノ氣乾比重〇・四二絶對乾比重〇・三八アリ

(種子)四月中旬(仙臺)穗狀ノ雄花ヲ多數ニ付ケ黄色ノ花粉ヲ密ニ被ヒタリ雌花ハ前年ノ秋ヨリ既ニ生シ十月中旬成熟ス毬果ハ初メ綠色ナルモ熟シテ褐色トナリ種子飛散スル頃ニ至レハ暗褐色トナル毬果ハ普通長サ五二・二耗幅及ヒ厚サ二五・四耗ニシテ松毬一升ノ數(開カサルモノ)六十二個一毬果中ニ六十乃至七十ノ種子ヲ含ム而シテ通常一斗ノ毬果ヨリ種子一乃至二合ヲ得ベシ種子ハ其形稍々米粒ニ似テ之ヨリ稍々小ナリ其長サ五・〇耗幅二・七耗 厚一・八耗ナリ而シテ種子一升ノ重量二百六十粒數大ナルモノ七万粒小ナルモノ十万粒アリ發芽量ハ上等ノモノ九割五分普通八割内外ノ發芽量ヲ有シ發芽保存力ハ二年乃至三年四年ヲ經タル種子モ尙ホ三四分ノ發芽量ヲ有ス種子一升ノ價ハ年ノ豊凶ニ依リ差アレモ六七十錢ヲ越エス

(林業上ノ性質)赤松ハ専ラ内地ヲ好ミ海濱ニ適セズ而シテ土地ノ肥瘠ニ關スルコト少ナク又如何ナル岩石地砂地ニモ能ク其生育ヲ遂クルコトヲ得ルト雖モ最モ能ク花崗岩頂ノ地方ニ適ス且ツ又此樹種ハ如何ナル乾燥地ニモ堪ヘ得ルモ濕地ニハ適セズ性陽樹ニシテモ最線光ヲ好ミ庇陰ニ堪ヘス故ニ常ニ好シテ南面ノ傾斜ニ繁殖

ス幼時ハ成長甚タ迅速ニシテ已ニ七八年ニ至レバ林地ヲ鬱閉ス然レモ材相ヲ破ルコト速ニシテ瘠セ地ニアリテハ已ニ四十年生ニシテ疎林トナルベシ故ニ高齡ノ赤松林ヲ維持セントセバ下木植付作業ヲ取ルヲ可トス此樹ハ又天然更新法即上方天然下種及ヒ側方天然下種更新法共ニ行ハレ更新費少ナキヲ以テ從テ土地ヨリ擧クル利益割合ニ多大ナレバ從來ノ天然林又ハ人工林ハ他ノ上等ノ樹種ニ適セザル土地ハ赤松林ヲ維持スルノ必要アルノミナラス將來益々増殖スルノ必要アリ殊ニ乾燥甚タシキ原野ニシテ他樹ニ適セサル林地ニハ是非赤松造林ノ必要アリ何トナレバ赤松ハ苗木ノ養成法尤モ簡單ニシテ經費少ナク且ツ又林地へ移植ノ結果モ良好ナレバナリ苗木ヲ仕立ツルニハ十月中旬頃松毬ヲ採集スベシ種子ヲ貯藏スルニハ其儘俵又ハ吠ニ入レ貯藏スルカ或ハ普通松毬ヲ乾燥セシメ裂開シタルトニ種子ヲ打チ落シ之ヲ布袋ニ入レ乾燥セル儘所ニ貯藏シ置クベシ翌春四月上旬播種シ三週間ニテ發芽ス日除霜除ヲ要セス年四五回ノ除草ヲナスノミ翌春三月下旬第一回床替ヲナス但シ此第一回床替ハ床植トナシ三尺幅床へ十本列トナシ苗間巨離又之レト同シクシ二本寄セ植トスベシ第三年目ノ春三月下旬第二回床替ヲナスベシ第二回床替ハ畦植トナスベシ畦植ハ畦幅ヲ八寸乃至一尺トナシ苗間巨離ヲ四寸トナシ一本植トナスベシ翌春三月ヨリ四月迄ノ間ニ於テ苗木幹長七寸乃至一尺位ノモノヲ林地ニ移植スベシ

其二 くろまつ

[名稱]一名 おまつ. おまこまつ. ノ名アリ上野ニテハしろまつ秋田地方ニテハのごまつト云フ正名黒松俗ニ白鬮松. 白芽松. 雄松等ト書ス松柏科ニ屬シ學名ヲPinus Thunbergii Parl. ト稱ス

(効用)材ハ脂非常ニ多キヲ以テ赤松ノ如ク其用途廣カラズ專ラ橋梁. 土壘. 土工用材ニ供セラル其他粗建築及ヒ器具ニ用ユベシ又其脂質ノ多キ部分ヲ以テ器物ヲ鍍作ス其色赤褐半透明美麗ナルヲ以テ人之ヲ賞ス薪材ニ供スレハ火力強シ此樹ヨリ松脂ヲ採集シテ松香油ヲ製シ其量赤松ヨリ多キヲ以テ樹脂採集用ニ適ス樹皮ハ又其内皮ヲ凶歲ニハ食シテ飢ヲ免ル. ト云フ仙臺ニテハ又此樹皮ヨリおまつかばしヲ製ス根ノ脂質多キ部分ハ炬ニ供セラル農家漁戸多

ク之ヲ用ユ又根ニ茯苓ヲ生ス此森林ニハ又松露ヲ生ス又此森林ハ防潮防風ノ用ヲナス

(分布)分布區域甚タ廣ク南ハ九州南部ヨリ北ハ三陸地方ノ海岸ニ亘リテ生シ海岸氣候ノ直接ニ影響アル所ニ於テハ其成長甚タ旺盛ナリト雖モ之ヲ遠カリテ内地ニ至ルニ從ヒ漸次其勢力ヲ減却シ海岸ノ砂地或ハ潮風ノ強ク襲來スル所ニ於テ獨リ繁茂ス宮城大林區管内ニ於テハ磐城. 陸前ノ海岸 砂地及ヒ山形縣海岸砂地ニ防潮保安林トシテ廣大ナル森林ヲナス

(葉)葉ハ端枝上ニニ針葉ヲ具シ其色濃綠色長三四寸ニシテ赤松ヨリ太ク剛健銳尖ニシテ其狀勇壯ナルヲ以テ雄松ノ稱アリ葉ノ廣斷面ハ半圓形ヲナシ樹脂孔二個對峙シテ組織ノ内部ニ位シ赤松ノ如ク内皮ニ附着スルコトナシ新芽ハ白色ナルヲ以テしろめまつ白鬮松等ノ名アリ枝ハ銳角ニ出テ先端揚起シ枝條ノ數赤松ニ比シ甚タ粗ナリ枝ハ年々階狀ヲ爲シテ出ツ

(幹)常綠針葉喬木ニシテ五十年ニシテ幹高四丈周三尺トナリ老ナル者ハ幹高百三十尺周圍二十尺ニ達スルモノアリ樹皮ハ黑褐色ヲ呈ス此レくろまつノ稱アル所以ナリ幼時ハ樹皮片々剝離スルモ老トナルモノハ樹皮大ナル深キ裂目ヲ生シ其形龜甲狀ヲ呈スルヲ以テ容易ニ黒松タルコトヲ認識スルヲ得ベシ材質ハ稍々堅硬彈力強ク樹脂甚タ多ク耐久性强シ扁材白色心材ハ微赤色ヲ帶ブ氣乾比重〇. 六八絕對乾比重〇. 六ニアリ

(種子)四月上旬穗狀ノ雄花ヲ開キ黃色ノ花粉ヲ付ク雌花ハ前年ノ秋梢頭ニ生シ極幼時ハ紫色春ニ至リテ綠色トナリ十月成熟ス果實ハ毬果ニシテ殆ント赤松ニ似タレモ稍々彼ヨリ長大ニシテ長サ五. 四. 〇粒直徑三〇. 七粒果實一升ノ數五十個内外アリ毬果ノ鱗片赤松ヨリ厚クシテ且ツ大ナリ果實一斗ヨリ種子一合五勺内外ヲ得ベシ故ニ種子ノ採集者ハ長シク之ニ注意スベシ而シテ種子モ赤松ヨリ大ニシテ濃黑褐色長サ六粒幅三粒四厚二粒一種子一升ノ重量二百二十匁乃至二百六十匁粒數六千粒乃至七千粒發芽量ハ上等ノモノハ殆ント全部通常八割乃至九割ノ發芽量ヲ有ス發芽保存期ハ二年乃至三年四年ニ至ルモ尙ホ多少ノ發芽力ヲ有ス (林業上性質)性弱樹ナルモ赤松ヨリハ稍々日陰ニ堪ユ性海岸ノ砂

地ヲ好ミ内地ヲ好マズ然レモ内地ニテモ近江ノ湖水ノ附近砂地ニ黒松ノ繁茂スルヲ見レハ寧ロ砂地ヲ好ムト云フテ適當ナリトス而シテ普通海岸ノ砂地ハ或ルニ三特別ナル樹種ヲ除クノ外成長セザルヲ以テ從來ノ森林ハ之ヲ保存利用スルノ外現在ノ砂地ノ無立木地ニハ之レカ造林ヲ行フノ必要アリ本樹ハ又上方天然下種又ハ側方天然下種ノ兩更新法ヲ行フテ得ベシ苗木ヲ仕立ツルニハ赤松ニ準シテ可ナリ種子ハ鳥害ニ掛リ易キヲ以テ注意スベシ苗木ヲ砂地ニ植付クルニハ前植樹トシテねむのきヲ植付ケ少シク土地ノ定着シテ被陰ヲ地面ニ與フルニ至リテ植付チナスカ若シ直チニ植付クルハ藁一握ヲ黒松ヲ植タル時ニ濕氣保存ノ爲メニ埋ムルヲ可トス然ル後松ノ木ノ枝又ハ常盤木ノ枝ヲ立テ植付苗木ノ日除トナスベシ

第三 もみ

(名稱)一名もみそ、さうもみ、さかもみ、ほうびしやうノ名アリ漢名樅俗ニ樅ト書ス松杉科ニ屬シ學名ヲ *Abies firma*, S. et Z. ト稱ス

(効用)材ハ床板、天井板、白木臺、棺箱、折箱板、及ヒ障子ノ小框等ニ用ユ近來、茶箱又ハ其他ノ荷造用箱材トシテ盛ニ海外へ輸出スルニ至レリ又其材ハ甚々纖維ニ富ムヲ以テ製紙ノ原料トシテ賞用セラル且ツ普通繁殖力強キヲ以テ天然更新法ニ依リ充分森林ヲ仕立ツルコトヲ得ルヲ以テ將來有望ノ樹種トシテ數ヘラルニ至レリ

(分布)暖帶ヨリ温帶ニ跨リ九州四國及ヒ本州ノ各地ニ廣延ス九州及ヒ四國ニアリテハ四千五百尺本州中央部即チ遠江、駿河、美濃、飛騨、信濃及ヒ上野等ノ山脈ニ在テハ四千尺 東北地方ニアリテハ二千尺ノ高サニ及ブ宮城大林區管内ニ於テハ福嶋縣八溝山ニ於テハ三千尺以下宮城縣栗駒岳ニ於テハ四百尺以下ノ地ニ生ス山形縣鳥海山ニ於テハ殆ント平地ニ之ヲ生スルノミ之ニ依リテ之ヲ觀レバ我宮城大林區ノ北境ハ殆ント樅ノ北界ナルカ如ク唯青森大林區ノ一部岩手縣ノ南部一小部ニ稀ニ存在スルニ過キズ管内有名ナル樅林ハ主トシテ東海岸地方ニ多シ之レ又本管内材料豊富ナル樹種ナリ

(葉)葉ハ細長扁平ニシテ先端二分シ二分点共ニ尖レリ恰モ矢筈伏

チナス葉ハ互生ニシテ枝條ニハ左右ニ相對シテ生シ稍々二列ヲナス上列ノモノハ下列ノモノヨリ短カシ葉ハ長サ五六分乃至一寸幅二分許ナリ葉面深綠色ニシテ縱溝アリ裏面淡綠色中央ニ綠色ノ縱條アリ葉ノ横斷面ハ兩凸レンス形ヲナシ樹脂孔ハ左右二個四分ノ一位ノ處ニアリ新枝淡褐色ニシテ年ヲ經ルニ從ヒ暗灰色トナル(幹)常綠針葉喬木ニシテ樹幹直生シ成長幼時ハ遅シト雖モ後稍々速トナリ適地ニアリテハ凡ソ四十年生ニシテ幹高六七十尺周三尺ニ達シ老ナルモノハ幹高十五丈周一丈二尺ニ達ス(紀州高野山ニアリト云フ)樹皮ハ幼時ハ灰白色ニシテ稍々滑ナルモ老トナルニ至レバ樹皮粗トナリ縱裂シ淺ク剝離ス枝ハ太クシテ輪生シ年毎ニ階狀ヲナス材ハ軟カニシテ質粗ナリ乾濕ニ過フテ伸縮大ナリ木理通直、邊材、心材共ニ白色材ノ氣乾比重〇.三九 絕對乾比重〇.三六アリ

(種子)花ハ四月開キ雄花ハ長一寸許黃色葉萼狀ヲナシ雌花ハ枝ノ上面ニ數個相並ンテ直立ス秋季十月成熟ス成熟シタル毬果ハ長二寸五分乃至三寸五分アリ長橢圓形ニシテ頂稍々鈍尖本邦從蜀中毬果ノ最大ナルモノナリ苞ハ鱗外ニ出テ種子ハ二個相並ンテ鱗ノ内面ニ附着ス種子ハ稍々三角形ヲナセル翼ヲ有ス其色帶綠褐色脂氣ヲ帶ビ光澤強ク質薄シ種子ハ略ホ三角形ヲナシ稍々扁平ナリ長サ三四分幅一分五厘乃至二分アリ帶綠色ニシテ光澤強ク脂氣ニ富メリ種子一升ノ重量百五十五匁乃至百八十五匁粒數一万三千乃至二万一千粒アリ發芽量ハ三割乃至五割發芽保存力ハ一年ナリ

(林業上性質)此樹ハ幼時甚々緩漫ナル成長ヲナシ十五六年生ヨリ急ニ成長ヲ速進スルモノナリ性陰地ヲ好ムモ又能ク乾燥地ニモ堪ユ蓋シ深根性ノ樹種ナルカ故ナリ性強キ陰樹ニシテ長ク鬱閉ヲ保ツ然レモ高齡ニ達スレハ稍々陽樹ノ性ヲ帶ビ光線ヲ好ム然レモ幼時ハ尤モ能ク日陰ニ堪ヘ單純林中自己ノ森林内ニ稚兒ヲ有スルモノハ恐ラクハびは もみ 等其冠タルモノナルベシ從テ之レカ天然更新モ容易ニシテ造林費ヲ節約シ得ルヲ以テ將來需用ノ増加スルト共ニ之レカ造林法ノ研究ヲ必要トスルニ至ルコト期シテ待ツベキナリ然ルニ從來此材ハ甚々下等ニシテ利用ノ道ナカリシヲ以テ漸々其跡ヲ絶チツ、アリ然レモ世ノ進運ハ再ヒ樅ノ需用ヲ喚起ス

ルノ兆アルコト前述セルカ如キヲ以テ増々之レカ研究ヲ怠ルベカラズ而シテ從來母樹ヲ存スル所ハ強メテ之ヲ保護シ之レカ單純林ハ適當ナル擇伐更新法ニ依リ新々ニ森林ヲ仕立ツルニハ苗木ヲ養成セザルベカラズ而シテ從ハ一年置ニ結實スルヲ以テ結實ノ年十月中旬頃毬果ノ稍々褐色ヲ帶アルニ至レバ之ヲ採集シテ三四日間日光ニ乾セバ分解シテ種子ヲ出スヲ以テ篩ヲ以テ鱗片ト種子トヲ分離シ之ヲ布袋又ハ麻袋俵等ニ入レ空氣ノ乾燥セル場所ニ貯藏シ置クベシ翌春四月上旬苗圃ニ播種スベシ播種量ハ坪五六合ヲ可トシ被土ハ三四分位ヲ夏ロシトシ直チニ日除ヲ施シ終年之ヲ取除カサルヲ要ス但シ霜除ヲ要セズ滿一ケ年ニシテ地上ノ大サ一寸許根ノ長サ二寸許ノ苗トナル尙ホ一年間其儘据置キ三年目ノ春第一回床替ヲナシ翌春第二回床替ヲナシ第五年目ノ春五六寸乃至一尺トナリタルモノヲ林地ニ移植スベシ從ハ又人工播種法ニ依リ以テ容易ニ森林ヲ仕立ツルヲ得ベシ

第四ノ(一) つが (第四圖)

(名稱) 一名 さが、ほんつが、くろつか、さがまつ、おほつが、等ノ名アリ俗ニ拇ト書ス松柏科ニ屬シ學名ヲ *Tsuga sieboldi* Carr ト稱ス

(効用) 材ハ柱材土臺等ニ適當シつがノ四方柱ハ有名ナルモノニシテ費用セラル又天井板トシテ貴重セラル其他敷居、鴨居、屋根板諸器具等ニ作り近來又製紙ノ原料ニ供セラル、モ其質樞、白檜、等ニ劣ル又此材ハ薪材トシテ火力大ナルヲ以テ信州飯田地方ニ於テハ製紙家好シテ此薪ヲ用ユ唯此材ハ概シテ節多クシテ堅キカ故ニ此部分ヲ鐵道枕木ニ費用ス又此木片ニテ屋ヲ葺クトハ三四十年ノ久シキニ耐ユト云フ樹皮ハ單寧ヲ含有スルコト多キカ故ニ漁網ヲ染ムルニ用ニ樹ハ庭園樹トス

(分布) 暖帶ノ終ヨリ溫帶ノ中頃迄生ス此樹ハ概シテ山毛櫸帶ノ下方ニ現ハレ上方ニ現ハル、ト稀ナリ山城ノ樺尾ヨリ有名ナル良材ヲ出ス遠州千頭山、伊豆ノ天城山、房總州ノ帝國大學演習林、其他紀州、四國、九州等ノ諸山ニモ多ク存在ス本州ノ中央山脈ニモ少ナカラズ

(葉) 葉ハ互生普通枝ノ左右ニ別レテ生ス葉ハ形樞ヨリ小ニシテ扁

平長五分幅一分許裏面ニ二條ノ白線アリ先端二分シ稍々矢筈狀ヲナス然レモ柔軟ニシテ人ヲ刺サズ枝ハ針葉樹中細キ部類ニ屬シ枝條繁密ナリ

(幹) 常綠針葉喬木ニシテ五六十年ニシテ幹高五六丈周圍三尺ニ達シ老ナルモノハ幹高十丈周一丈ニ達ス樹皮ハ暗赤褐色ニシテ或ハ灰褐色ニシテ龜裂シ細カク剝離ス邊材ハ淡黃褐色心材ハ帶黃紫褐色ニシテ材質「モミ」ニ類スルモ木理緻密堅硬ニシテ光澤アリ故ニ建築材トシテ扁柏ニ勝ルモ劣ルコトナシト云フ能ク水濕ニ堪ヘ保存期長シ生木ノ比重ハ〇・七〇氣乾比重〇・五三 絕對乾比重〇・五〇アリ

(種子) 三月下旬開花シ雌花ハ松ノ花ニ類シテ小ニ長サ二分餘雌花ハ紫色ニシテ受胎後綠色ニ變シ十一月中旬頃ニ至リ成熟ス毬果ハ長柄ヲ有シ柄ノ長サ三四分アリ實ノ長サ六七分アリ充分熟スレハ鱗片開ケテ種子ヲ飛散ス種子ハ橢圓形扁平ニシテ褐色ヲ呈シ稍々光澤アリ長サ一分二厘幅七厘許ナリ翅ハ淡分色ニシテ橢圓形薄シ翅除種子一升ノ重量百三四十粒數二十三萬六千粒内外アリ種子ノ發芽量ハ二割乃至五割ニシテ發芽保存力ハ一年ナリ

(林業上性質) 適濕地ヲ好ムモ乾燥地ニモ又能ク成長ス幼時成長遅ク二十年生頃迄ハ成長甚々緩慢ナリ之ヨリ漸次速カトナリ老年迄能ク成長シ三四百年ノ高齡ヲ保チ得ルモノナリ性强陰樹ニシテ好シテ山ノ北側ニ生ス非常ニ多ク枝ヲ生スルヲ以テ無節ノ莖幹ヲ得ルニハ強メテ密立セシムルヲ要ス能ク天然更新ニ適スル樹種ナルモ之レカ母樹ヲ存在セサル所ニテハ植樹造林ニ依ラザルベカラズ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季採集シタル種子ヲ乾燥布袋ニ貯藏シ置キ翌春四月苗圃ニ下種ス坪五勺乃至一合ヲ適度トシ被土ハ薄キヲ可トス播種后三四週間ニシテ發芽シ三子葉ヲ有シ新莖ハ斜ニ傾キテ直立セス日除霜除ヲ要ス滿二年間播種床地ニ据置キ三年目ノ春第一回床替ヲナシ次年第二回床替ヲナシ五年目ノ春一尺前後トナリタルモノヲ林地ニ移植スベシ

第四ノ(二) こめつが

(名稱) 一名 ひめつが、べにつが、よれつが、ノ名アリ俗ニ米海ト書シ松柏科ニ屬シ學名ヲ *Tsuga diversifolia* Maxim ト稱ス

(効用)つがニ器ホ同シ庭園樹トシテハ葉細カク枝繁キヲ以テつがヨリ貴重セラル

(分布)つがヨリ高所ニ生ス即チふな帯ノ中部ヨリ生シテ上方遙カニ偃松帯ニ及ブ時トシテハ純林ヲナスモ多クハ白檜・唐檜ト混淆林ヲナス本樹ハ中央山脈ナル木曾・御嶽ニ於テハ六千五百尺・富士山ニテハ六千尺臺灣新高山ニ於テハ九千尺以上ニ盛ニ成長スルモノナリ宮城大林區管内ニ於テハ會津燧石岳ニ於テハ四五千尺ノ邊ニ生シ飯豊山ニ於テハ三千二百尺ヨリ五千六百尺ノ間ニ生ス多クハひめこまつト混淆林ヲナス鳥海山・栗駒岳等ニハ之ヲ認メズ

(葉)葉ハ互生ニシテ普通枝ノ左右ニ並列シ長短兩様ノ葉ヲ混生ス葉ハ扁平ニシテ葉裏ニ二條ノ白線アリ葉頂二分シ稍矢筈形ヲナス葉長五柁乃至十二柁幅二柁アリ葉基ハ急ニ狭マリ長一柁許ノ葉柄ヲ具ス新枝帶黃褐色ニシテ細小古枝暗褐色トナル葉及枝條共ニ繁密ナリ新莖ニハ微カニ黒褐色纖毛ヲ有ス

(幹)常綠針葉喬木ニシテ幹高九丈周一丈ニ達ス樹皮ハ暗褐色ニシテ細カク剝離ス材ハつがヨリ軟ク輕シ即チ生木比重〇・六〇氣乾比重〇・四八絶對乾比重〇・四五アリ

(種子)四月下旬開花シ十月中旬成熟ス毬果ハつがヨリモ小ニシテ橢圓形長十六乃至十八柁幅七柁乃至十柁ナリ實柄つがヨリ短カク僅カニ一二柁ニ過キズ毬果ハ二十五乃至三十鱗片ヨリ成リ一鱗片内ニ二個ノ種子ヲ藏ス種子ハ褐色ニシテ稍々光澤アリ長サ三四柁幅二乃至二・五柁アリ翅ハ橢圓形ニシテ薄ク淡黃褐色ヲ呈ス翅付種子ノ長サ八乃至九柁アリ翅除種子一升ノ重量百五十匁許粒數二十五万粒内外アリ

(林業上性質)性陰樹ニシテ好シテ山ノ北側ニ生スルモ又能ク峰通ノ乾燥地ニモ堪ユルモノナリ其他ノ性質苗木養成法ハつがニ同シ

第五 さがさわら

(名稱)一名さわらさが・あかさがト云ヒ又土佐ニテハごゑふとが伊勢ニテハつがさわら紀伊・攝津ニテハかばきト稱ス俗ニ梅榎又ハ皮木ト書ス松柏科ニ屬ス此木ハ先年白澤博士ハ新發見ニ係ル樹種ニシテ學名ヲ (*Pseudo-tsuga japonica* Sirasawa) ト稱ス

(効用)材ハ建築材及ヒ桶用材等ニ用ヒ又鐵道枕木ニ使用ス樹ハ庭

園樹トス

(分布)紀伊・山和・伊勢ノ境ナル大臺ヶ原山脈ニ於テ海面上一千五百尺乃至三千尺ノ間ニ亘リテ生シつが及ヒ他ノ落葉潤葉樹ニ混生ス又土佐國東部安藝郡魚梁瀬地方ニモ産ス同地方ニテハ海面上一千尺ヨリ二千五百尺ノ間ニ於テつがト混生ス

(葉)葉ハ互生其大サもみつがトノ中間ニ位シ針葉扁平稍々彎曲セリ而シテ葉ノ中央ハ表面ニ凹ミ裏面ニ凸出セル中央脈ヲ有シ先端ハ稍々兩部ニ分ル全長二十乃至二十五柁幅二柁上面綠色下面白色ノ二線通ス其横斷面ハ扁平圓形ニシテ兩端ノ下側ニ各々一個ノ樹脂溝ヲ認ム

(幹)常綠針葉喬木ニシテ幹高六丈周六尺ニ達ス樹皮濃褐色ニシテ縱裂シ薄キ鱗片トナリテ脱落ス心材ハ淡紅一色ニシテ扁材ハ帶白色ナリ材質軟ニシテ粗工作ヲ施シ易シ年輪整正力ヲ加フルトキハ折裂シ易シ材ノ氣乾比重〇・四五絶對乾比重〇・四二アリ

(種子)花ハ四月中旬開キ實ハ十月成熟ス毬果ハ長卵形ニシテ長サ四十柁直徑二十乃至二十五柁鉤狀ニ彎曲セル太キ柄ヲ有シ垂下スルカ若クハ前方ニ突出ス鱗片ハ濃藍褐色ニシテ或ル部分ハ黑色ヲ呈シ其背面ハ空色ヲ帶フ鱗片脱落セズ苞ハ鱗片ヨリ長ク突出シ其端多クハ三裂シ尖リ其成熟セハ鱗果ニ存スルモノハ後方ニ反曲セリ種子ハ三角形ニシテ底部ノ長サ九柁高サ五柁腹面ハ灰白色ニシテ褐色ノ斑点アリ種子ノ背面ハ淡褐色ニシテ羽ハ種子ニ着着シ種子ノ一倍乃至二倍半ノ長サヲ有セリ

(林業上ノ性質)性陰樹ナリ苗木養成法ハ從ニ準シテ可ナリ

第六 ひば

(名稱)一名あすなる・あすならうノ名アリ其他木曾ニテハあすひ上野・下野地方ニテハしらび・奥羽地方ニテハひのき 能登・山城地方ニテハあてひ加賀ニテハくさまき大和地方ニテハあすかべ常陸下野地方ニテハいしびト稱シ漢名 羅漢柏・雁齒柏・俗ニ明檜・檜葉榎・檜・檜(青森)等ト書ス松柏科ニ屬シ 學名ヲ (*Thuopsis dolabrata* S et Z) ト稱ス

(効用)材ハ諸般ノ建築用材船艦材建具用材ニ適ス殊ニ水濕ニ堪ユルヲ以テ家屋ノ土臺・井框等 土ニ接スル所ニ使用スルニ最モ適ス

故ニ近來鐵道枕木ニ使用シ保存期極メテ長ク栗材ト雌雄ヲ爭フモノナリ又各種ノ桶材ニ供シテ保存期尤モ長ク殊ニ風呂桶材等ニ適ス又此材ハ漆ノ附着宜シキヲ以テ能登ノ輪島ニ於テハ多ク之ヲ漆器材ニ用ヒ又羽後ノ能代ニ於テハ能代 春慶ノ材トス又加賀・越前地方ニテハひのきニ代用シテ各種ノ建築材ニ用ユ地方ニ依リ 屋根板・曲物・鉛筆材ヲ作ル又青森三戸郡八戸町龜勝經木工場ニテハ明治卅五年三月始メテ此材ニテ經木眞田ヲ製作シタルニ一種ノ黄金色ヲ呈シ頗ル高尚優美ニシテ需用多シト云フ樹皮ハ火繩ヲ作り又茹ヲ作ル樹ハ庭園樹及ヒ生垣ニ用ヒ斑入ノモノハ特ニ貴重セラレ

(分布)本州中央山脈ニ於テハひのき・さあらし略ホ同位置ニ生ス信濃木曾ニテハ此兩種ト混淆林ヲナシ或ハ局所純林ヲ形成スル所アリ上野・越後國境ノ山脈ニテハこめつかり・うらしろもみ及ヒひめこまつ等ト混生ス陸奥ニアリテハ海面上三百尺以上ノ地ニ生ス殊ニ下北半島及ヒ輕津半島ニタ甚美ナル天然林アリ北海道渡島ノ國ニモ天然林アリ宮城大森區管内ニ於テハ宮城山形兩縣ノ境及福島栃木兩縣内ニハ三千尺以下ノ潤葉樹林中ニ点在ス其他民家ニハ生垣又ハ庭木トシテ管内至ル所ニ之ヲ見ル

(葉)葉ハ對生ニシテ鱗葉ハひのきニ類スルモ之ヨリ大長サニ三分互ニ層ヲナシ枝條ヲ被セリ其配列セル狀恰モ軍鶏ノ足ノ鱗皮ニ似タリ表面深綠色ニシテ光澤アリ裏面帶白色ニシテ二個ノ凸形縦線アリ枝條ハ扁柏類中粗ナルモ能ク老年迄枯死セザルヲ以テ繁密ノ狀ヲナス

(幹)常綠針葉喬木ニシテ樹幹直長幹高十丈周七尺ニ達スルモノアリ樹皮ハ帶赤褐色ニシテ初メハ軟カニシテ極薄ク剝離スルモ老樹ハ縱裂ス扁材ハ稍々白色心材ハ帶黃色ニシテ材質軟カニシテ緻密彈力性アリテ耐久性强シ材ノ氣乾比重〇・四九絕對乾比重〇・四六アリ材ニ一種ノ香氣アリ故ニくさまきの名アリ

(種子)花ハ五月開キ雄花ハ前年生ノ枝ノ先端ニ一個宛生シ其形圓筒狀ヲナス長二分五厘乃至三分餘アリ雌花モ又枝端ニ一個宛生スト雖モ其數雄花ヨリ少ナシ殆ント球狀ニシテ直徑二分余アリ柄ヲ有ス八乃至十個ノ鱗片密ニ相接シ二個對立シ其先端尖リテ厚ク

又其上端ハ外方ニ反曲ス綠色ニシテ無毛ニシテ二年目ノ秋十月下旬頃ニ至リ成熟ス成熟シタル毬果ノ鱗片ハ木質トナリ褐色ヲ呈ス鱗片ハ外反シテ種子ヲ飛散ス種子ハ淡黃色橢圓形稍々扁平ニシテ殆ント翅ヲ有セス種子ノ長サ五・五毫米幅二・三毫米厚サ一・二毫米アリ種子一升ノ重量百八十六粒數十五萬一二千粒アリ種子ノ發芽量ハ四割乃至五割發芽保存力ハ一年ナリ

(林業上ノ性質)土地ノ濕氣ヲ要スルコトひのき・さわらノ中間ニ位ス然レモ又能ク乾燥ノ所ニモ生ス樹性極メテ陰樹ニシテ能ク庇陰ニ堪ヘ高年ニ至ル迄能ク鬱閉ヲ保ツ此樹ハ幼樹ハ甚々緩漫ナル成長ヲナシ凡ソ十年生迄ハ成長極メテ遅シ然レモ十年生ヨリ百年生迄ハ其成長盛ナリ此樹ハ從來ハ天然林ノミニシテ人造林ハ唯能登地方ニ於テ挿木ニ依リ仕立ツルノ習慣アルノミ而シテ此法ハ種子ヨリ苗木ヲ仕立テ森林ヲ仕立ツルヨリ成長早キヲ以テ將來此樹ハ挿木法ニ依リテ造林スルヲ得策トス且ツ此木ハ一旦造林スルトキハ其後ハ天然更新法ニ依リ森林ヲ維持スルコトヲ得ルノミナラス高年迄能ク鬱閉ヲ保チ地力維持並ニ水力保存ノ効アレバ將來ぶなニ代リテ水源保安林タルノ性質ヲ具備スル者ナリ且ツ又其郷土ハぶなト同一ナルノミナラス此ヨリ暖カキ部分ニモ適スルヲ以テ將來有望ノ樹種ナルコト疑ヲ容レズ故ニ之レカ挿條方法ノ研究ヲ必要トスベシ挿條法ニ二途アリ直接林地ニ挿ス法及ヒ畑地ニ挿シ苗木トナシ林地ニ移植スル法此ナリ今左ニ簡單ニ直接林地ニ挿ス法ヲ述ブレバ第一土地撰定ヲ必要トス元來此樹ハ強キ陰樹ナルヲ以テ挿穗モ原野又ハ伐採后地ノ如キ直接陽光ニ觸ル・所ニテハ枯死スルコト多キヲ以テ挿木トナスベキ地ハ他ノ被陰物即チ保護樹ノアル場所ヲ可トス即チ山毛櫸ノ疎林其他ノ疎林等ハ最モ之レカ挿木ニ適スル地ニシテ挿條后十數ケ年ヲ經テ挿穗カ成長ヲ初メ最早保護樹ヲ要セサルニ至リテ保護樹ヲ伐採スル時ハ遂ニ羅漢柏林トナル之レカ季節ハ春彼岸后ニテ地上最早雪ヲ存セザルニ至レハ即チ着手時季ニシテ梅雨中迄ハ之レヲ可トスルモ梅雨以后ハ餘リ甚シカラズ挿穗ノ擲方ハ羅漢柏ノ母木ノ枝條ノ頂端ヲ最長トス而シテ母樹モ成ルベク若キモノヲ可トシ四十年生以下ノモノヲ用ユベシ而シテ梢頂ハ成長強盛ニシテ其新芽ハ恰モ軍鶏ノ蹠瓜ノ如

キ状ヲナセルモノ即チ圓ク太リタルモノヲ最上トシ頂芽ノ扁平ノモノハ良シカラズ挿穂ノ長サハ成ル可ク大ナルモノヲ可トスルモ運搬ノ便其他取扱上便宜ナル大サハ通常一尺四五寸ノモノナリ右ノ穂ヲ撰ミ採集シタルトキハ地中ニ挿入スベキ部分ノ小枝ハ手ニテ搔キ取り去ルベシ而シテ其先端ハ銳利ナル刀ヲ以テ斜ニ切ルベシ而シテ后案内棒(適宜調製スベシ)ヲ以テ林地ニ穴ヲ開ケ之レニ挿穂ヲ挿入スベシ但シ案内棒ニテ開ケベキ穴ハ挿入スベキ深サヨリ少シク淺クシ少シノ部分ハ穂ヲ以テ挿入スルヲ肝要トス之レ土地ト挿穂ノ端ト密着セシメシカ爲ナリ挿入スベキ位置ハ成ルベク根株ノ北陰又ハ萌芽樹ノ日陰ニ挿入スルヲ挿木法ノ秘傳トス右ハ挿木法ノ概要ナルカ種子ヨリ苗木ヲ仕立ツルノ法ハ秋季黃熟セル果實ヲ採集シ乾燥シテ種子ヲ撰別シ布袋麻袋俵等ノ如キモノニ入レテ乾燥セル場所ニ貯藏シ置キ翌春四月上旬苗圃ノ播種床地ニ坪二三合ノ割合ヲ以テ播種シ被土ハ三四分ヲ可トシ日除霜除ヲ必要トス滿二年間播種床地ニ据置キ三年目ノ春第一回床替四年目ノ春第二回床替ヲナシ第五年目ノ春苗木ノ幹長 根 位トナリタル時林地ニ移植スベシ此樹ハ強キ陰樹ナレバ常ニ日除ニ注意シ床替地モ成ル可ク日陰ノ地ヲ撰ムニ注意スベシ此レ此樹ニ對スル忘ルベカラザル要点ナリ

第七ノ(一) たうひ (第十一圖)

(名稱)一名ほんしうさうひ、にれもみ、さらのなもみ、しろつが、等ノ名アリ俗ニ唐檜ト書シ松柏科ニ屬シ學名ヲ *Picea hondoensis* Mayr ト稱ス

(効用)材ハ曲物ニ適スルヲ以テ蒸桶(コシキ)水桶篩ノ縁等ニ作り又漆器ノ木地天井板・柱等ノ建築材及ヒ机類・戸・障子等ノ製作ニ用ヒラレ又粉板トシテ屋ヲ葺クニ又ヒ又子持箸ヲ作ル近頃人力車馬車等ノ泥除器ヲ作ル材ハ良織緯ニ富ムヲ以テ製紙ノ原料トシテハ上等品ナリト云フ樹ハ庭園樹トナス

(分布)本州中央山脈高サ四千尺以上ノ所ニ生ス富士・御嶽 乘鞍及ヒ日光白根等ノ諸山脈ニ多ク九州霧島山ニモ生スルト云フ其底キ位置ニアリテハこめつがト混淆種ヲナシ生育旺盛ナリ之レヨリ漸次上ルニ從ヒ白檜ト混生シ七千尺ノ高サニ至ル宮城大林區管内ニ

於テハ會津ノ南部上野ノ境ナル尾瀬峠近傍ヨリ下野ノ國境ニ亘リテ四五千尺ノ邊ニ大森林ヲ形成ス但シ駒ヶ嶽ニハ之ヲ缺クモノ、如シ其他飯豊山・鳥海山等ニモ之ヲ認メズ

(葉)葉ハ互生枝ノ四週ニ附着スルモ普通枝ノ左右及ヒ上部ニ密生シ下部ニ出ツルモノナシ針葉ハ横ニ屈リタル枕上ニ座シ扁平ニシテ先端尖リ少シク裏面ノ方ニ曲ル表面ニ二條ノ縱溝アリ綠色ニシテ光澤アリ裏面ハ白色ナリ葉ノ横断面ハ稍橢圓形ニシテ中央表裏ニ膨レタリ樹脂溝ハ表面凹所ニ接近シテ存在ス葉長十一二柁幅ニ柁アリ新枝赤褐色ヲ呈ス幹ノ下方ノ枝ハ常ニ下垂スさらのなもみ(虎尾樅)ノ名アル所以ナリ

(幹)常緑針葉喬木ニシテ幹高八丈周七尺ニ達ス樹皮ハ淡黃褐色ニシテ小鱗ヲナシ剝離ス邊材ハ白色心材ハ帶黃淡赤色肌理細美飽削スレバ光澤ヲ生ス材質輕軟緻密樅ヨリ少シク堅シ且ツ彈力性ニ富ミ割裂シ易シ材ノ氣乾比重〇・四〇絶對比重〇・三七アリ

(種子)花ハ六月中旬開キ十月下旬(會津)成熟ス成熟シタル毬果ハ赤褐色ヲ呈シ其形圓筒形ヲナシ稍々彎曲ス先端稍々尖ル長サ二寸餘五分直徑六分許アリ種子ハ甚々小ニシテ黒褐色ヲ呈シ裏面灰白色ヲ呈ス翅ハ淡褐色ニシテ稍々三角形ヲナス種子一粒ノ大サ長サハ六厘乃至九厘幅二厘乃至三厘アリ翅付種子一升ノ重量五十五匁粒數十三萬三千内外翅餘種子一升ノ重量百六七十匁粒數三十九萬粒内外アリ發芽量ハ二三割發芽保存ハ一年ナリ

(林業上性質)此木ハ多ク山嶺又ハ高地ニ適シ溪谷濕地等ニ適セス性陰陽中庸ノ樹種ニシテ幼時ハ能ク日陰ニ堪ユ此木ハ從來天然林ノミニシテ人造林ナシ然レモ將來林業ノ進歩ト共ニ高山ノ無立木地等ニハ之レカ養成ヲ計ラザルベカラズ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季熟シタル種子ヲ採集シ布袋等ニ入レ貯藏シ置クベシ翌春四月上旬播種シ坪二合位ヲ可トシ被土ハ薄ク二三分ヲ施スベシ日除霜除ヲ施シ滿三ケ年間播種床地ニ据置キ四年目ノ春第一回床替第五年目ノ春第二回床替ヲナシ第六年目ノ春一尺前後ニテ林地ニ移植スベシ

第七ノ(二) いらもみ

(名稱)一名くるたうひ、まつはた、等ノ名アリ其他木曾ニテハたう

ひ富士山ニテハくろまつノ名アリ松杉科ニ屬シ學名ヲ Picea bicolor Mayr ト稱ス

(効用)畧ホたうひニ同シク建築用造作器具材等ニ供シ材ハ製紙ノ原料トシテ良品ナリ樹ハ庭園樹トス

(分布)分布ノ區域たうひニ比シテ狭ク富士山・男体山等ニ産ス富士山ニアリテハ海面上千五百尺乃至四千尺ノ間ニ於テぶな・かへで類ト混生シ成長盛ナリ男体山ニアリテハ二千尺ヨリ四千尺ノ間ニ生ス

(葉)針葉ハ細長尖鋭ニシテ其横断面ハ孤三角形ヲナシ表面圓ク裏面ニ邊形ナリ樹脂溝ハ二邊ニ接近シテ存在ス葉長五分乃至六分葉ハ莖ノ四周ニ羅列シ表面深綠色裏面白色ヲ帶ブ葉枕ハ眞直ニシテ屈ルコトナシ其小枝ハ多少ノ毛ヲ有ス

(幹)常緑針葉喬木ニシテ幹高九丈周八尺ニ達ス樹皮ハ灰褐色ニシテ鱗狀ニ剝離ス其狀松ノ肌ニ似タリ故ニまつはだノ名アリ邊材白色心材稍々淡赤色ヲ帶ブ材質ハたうひニ比シ較硬質緻密材ノ氣乾比重〇・五五絶對乾比重〇・五〇アリ力ヲ加フルトキハ割裂シ易シ材ニ脂氣多シ

(種子)花ハ五月下旬開キ十月中旬成熟ス成熟セル毬果ハ褐色ニシテ長三寸乃至四寸直徑一寸二分ニ至ル熟セザル時ハ紫赤色ヲ呈ス種子ハ長サ一分二厘乃至一分八厘幅八九厘許ニシテ赤褐色ヲ呈ス翅ヲ有スルモノハ長五分幅二分アリ翅餘種子一升ノ重量百五十五匁粒數十三万三千内外アリ

(林業上ノ性質)たうひニ準スベシ

第七ノ(三)はりもみ

(名稱)一名ばらもみ・つかもみ・ノ名アリ松柏科ニ屬シ學名ヲ Picea Polita Carr ト稱ス

(効用)畧ホたうひニ同シ

(分布)分布區域甚々狭ク唯中央山脈ノ高山ニ於テ往々之ヲ見ルノミ常ニ他ノ針葉樹中ニ混在ス獨リ富士山北麓山中湖畔ニ純林ヲナス此所ハ山毛櫸ノ下部ニ屬シいらもみヨリ遙カニ低シ

(葉)針葉ハ莖ノ周圍ニ散立密生シ其横断面ハ菱形ヲナシ柔組織ハ四隅ニ發達シテ厚皮ヲナセリ樹脂溝ハ左右ノ厚皮ニ接シテ二個ア

ルノミ葉ニ表裏ナク殆ント四面綠色ナリ葉長五分乃至八分稍々上方ニ彎曲シ葉質堅剛先端銳尖人ヲ刺シ容易ニ折リ取ルベカラズ(幹)常緑針葉喬木ニシテ幹高六丈周八尺ニ達ス樹皮ハ暗褐色小鱗片ヲナシテ剝落ス扁材白色心材ハ稍々淡赤色ヲ帶ビ脂氣多クシテ軟カナリ其材ノ生木比重〇・九五氣乾比重〇・四二絶對乾比重〇・四〇アリ

(種子)花ハ六月下旬開キ實ハ十月上旬熟ス毬果ハ初メ黄綠色ナルモ熟スレハ淡褐色トナル毬果ハ大ニシテ長橢圓形ヲナシ中央非常ニ膨大ス長サ三寸乃至四寸幅一寸乃至一寸五分種子モ唐檜屬中最大ニシテ長サ二分乃至三分五厘幅一分乃至一分三厘アリ翅ヲ合セハ長サ七八分アリ幅二分五厘翅ハ倒卵形ヲナス而シテ種子ノ一面ハ褐色ナルモ他ノ一面ニハ褐色ノ條ヲ存ス種子一升ノ重量百九十五匁粒數四万六千粒アリ

(林業上ノ性質)たうひニ準スベシ

第八ノ(一)しらべ (第十二圖)

(名稱)一名しらびそ・しらびトモ稱シ其他だけつが・あなびば等ノ名アリ又日光ニテハこりうせん富士山ニテハしろもみ甲斐ニテハしろト稱ス俗ニ白檜・白檜曾・小龍仙ト書ス松杉科ニ屬シ學名ヲ Abies Veichii Jindl ト稱ス

(効用)材彈力アリテ屈撓シ易キヲ以テ篩ノ框トナリ又戸障子ノ框屋根板及ヒ菓子箱トナシ其外木材ノ不足スル所ニアリテハ建築材ニ供ス又器具材トナスベシ材ハ纖維ニ富ムヲ以テ製紙ノ原料トシテハ最上品トス

(分布)本樹ハ寒帶ヲ代表スル所ノ樹木ニシテ産地ハ畧ホあなもりさくまつニ等シ然レモ其分布區域彼ヨリモ廣ク本州中央山脈ニ於テハ五千尺乃至八千尺ノ高地ヲ郷土トシ常ニ森林ノ上部界ヲ支配シばいまつノ帯ニモ進入ス即田中壤氏ノ調査ニ依ハ信濃ノ御嶽乗鞍・駒ヶ岳・加賀ノ白山越後ノ妙高山美濃ノ大日岳駿河ノ富士山下野ノ日光諸山岩代ノ盤梯山羽前ノ月山羽後ノ鳥海山陸奥ノ八甲田山四國ノ石槌山等ニ存在スト云フ然レモ羽前ノ月山及ヒ羽後ノ鳥海山ニハ白檜・唐檜ノ類ハ全ク之ヲ缺ク又八甲田山ニハあなもりさくまつヲ産スモしらべヲ産セスト云フ又伊豫ノ石槌山ニハだけ

もみチ産スルモしらべチ産セズト云フ又本多博士ノ調査ニ依レバ越後ノ妙高山美濃ノ大日岳ニモ之チ産スルト云フ

(葉)針葉ハ細長柔軟ニシテ刺撃セス基底ヨリ頂端迄殆ント同廣ナリ葉頂二分大葉長十六糎幅一・五糎大ナル葉ハ二十八糎幅二・二糎アリ葉ハ表面ノ中央縦ニ凹ミ裏面ニ凸出ス表面深綠色裏面粉白色ヲ呈ス故ニしろもみノ名アリ新枝灰色ニシテ太シ葉ハ凡テ上面ニ簇生ス即チ枝ノ下面ニ生スル葉モ拗戻シテ上方ニ向フナリ

(幹)常緑針葉喬木ニシテ幹高十丈周圍七八尺ニ達ス樹皮ハ帶黃褐色ニシテ灰色ノ斑点アリ平滑ニシテ高年ニ至ルモ龜裂セズ且ツ樹皮ニ脂腺ヲ有シ所々ニ小トチナス之ヲ壓ス潰ストキハ芳烈ナル香氣ヲ放ツ扁材白色心材ハ稍々黃赤色ヲ帶ブ材質輕軟 氣乾比重〇・四六絶對乾比重〇・四三アリ木理通直剝キテ薄片トナスベシ

(種子)花ハ六月中旬開ク雄花ハ小ナル球形チナシ先端ハ暗紫色基部ハ黃白色ヲ呈ス雌花ハ繸狀チナシ其色暗紫色十月下旬成熟ス繸果ハもみ類中尤モ小ナルモノニシテ長サ六乃至六・五「センチメートル」直徑二・三「センチメートル」ニ過キス色ハ暗紫ニシテ失色セス苞ハ鱗片ト同長ニシテ鱗片外ニ現出シ且ツ反曲ス苞ノ外部ニ現ハルノ部分ハ少シク赤味ヲ帶ブ種子ハ翅ヲ合セテ九・「ミリメートル」翅ヲ去リタル種子ハ長サ六「ミリメートル」幅四・五「ミリメートル」アリ翅ハ暗青色種子ハ帶黑紫色ナリ翅除種子一升ノ重量百三十粒數二万四千八百ヲ有ス發芽量ハ二割乃至六割發芽力ノ保存ハ一年ナリ

(林業上ノ性質)此樹ハ幼樹成長遲緩ナリ性陰樹ニシテ高年迄能ク鬱閉ヲ保ツ但シ高山ノ上部界ニ至レハ溫度ノ關係上却テ南側ニ盛ナル成長チナス本樹又しらべト等シク高山ノ原野等ニ造林スルノ價値アリ從來ノ森林ハ主トシテ擇伐更新法ニ據ルノ外ナシ苗木養成法ハ樞ニ準スベシ

第八ノ(二)十あなもりさくまつ (第八圖)

(名稱)一名おほしらべ ぶつさ等ノ名アリ又日光ニテハおほりうせん會津ニテハしらつか福嶋縣 檜原地方ニテハ十文字榊 宮城縣ニテハつかまつト稱ス俗ニ青森檜・大龍仙・大白檜・大白檜會ト書ス松柏科ニ屬シ學名チ (Abies mariesii mast) ト稱ス

(効用)材ハ軟カクシテ彈力アルヲ以テ曲物材ニ適ス又漆器ノ生地天井板・器具材・其他凡テノ家屋建築用材トシテ使用スルチ得ベシ殊ニ材ハ纖維ニ富ムチ以テ製紙用原料トシテハ最上等ノモノナリ

樹ハ庭園樹トス (分布)寒帶所屬ノ樹種ニシテ本州中央ノ連山ニ於テハ高サ五千尺以上ノ所ニ生ス多クハしらべ・こめつか・さうび等ト混淆シチナス下野ノ男体山白根山陸奥ノ八甲田山等ニ多シ臺灣新高山ニ於テハ一万尺以上一万四千三百尺ニ生スルモ尙ホ其終チ告ケズト云フ宮城大林區管内ニ於テハ先年元ノ宮城大林區署長有田林學士ニ依リテ宮城縣刈田郡刈田岳(山形縣ニテハ藏王岳ト稱ス)ニ於テ約一千町歩ニ亘ル本樹ノ單純林ヲ發見セラル其他吾妻岳近傍ニ於テモ該樹ノ純林數千町歩ニ亘ルモノアリ又南會津郡ナル駒ケ岳ニ於テモ

千尺ヨリ 千尺迄ニ於テ此レカ純林アリテ其面積實ニ少ナカラズ又之レト相接スル火燧岳及ヒ其近傍尾瀨沼附近ニ廣大ナル森林アルコトハ當大林區署長道家林學士ニヨリテ世ニ發表セラレタリ (山林會報)

(葉)針葉ハ細長柔軟ニシテ刺撃セズ葉ハ長端大小不定ニシテ頂端多クハ二分スルモ又一尖ノモノアリ(老木ノ梢葉ニ多シ)葉長十乃至二十五糎幅一・五「ミリメートル」ヨリ二「ミリメートル」ニ至ル而シテ葉ノ幅上下同一ナラズ中央稍廣ク葉基ニ向ヒ漸ク狹シ此レしらべト區別シ得ベキ点ナリ葉ノ表面ハ濃綠色裏面ハ粉白色チナセル漸々稀薄トナリ多年ノモノハ殆ント全ク其色ヲ失ヒ綠色トナル葉ノ横断面ハ扁圓形ニシテ長凹ミ裏凸出樹脂溝ハ左右兩端ニ扁在シ表皮細胞ニ接普ス此樹ノ幼樹ノ葉ハ甚々短カクシテ一ニ彷彿タリ故ニしろつか・つかまつ 等ノ名アル所以ナリ而シテ此樹ノ枝ハ多ク十文字形ニ出ツルヲ以テ十文字つかノ名アリ新枝茶褐色ナリ蓋シ此樹ニハ茶褐色ニシテ緻密ナル纖毛ヲ有スルヲ以テナリ此毛ヲ有スルコトハ又しらべト區別スベキ要点ナリトス此樹ハ發芽ノ際多クハ四枚子葉ヲ有ス稀ニ六枚ノ子葉ヲ有スルモノアリ

(幹)常緑針葉喬木ニシテ幹高八丈周六尺ニ達ス樹皮ハ帶綠灰色ニシテ平滑ナリ而シテ所々豆大ノ膨起セルモノアリ之レ脂腺ナリ之ヲ傷アルトキハ芳烈ナル香氣ヲ放ツ故ニ此樹ノ森林内ヲ通過スル

トキハ常ニ之ノ芳烈ナル香氣ヲ浴スルニ以テ愉快言フベカラズ極老樹ハ表皮厚キ鱗片トナリ脱落ス扁材白色心材ハ白色ニシテ微カニ黄色ヲ帶ブ材質輕軟ニシテ鉋削且美麗ニシテ光澤アリ氣乾比重〇・四八絶對乾比重〇・四三ナリ

(種子)花ハ五月下旬開キ十月中旬熟ス熟シタル毬果ハしらべノ如ク圓筒形ヲナサズシテ橢圓形ヲナシ毬果ノ頂平ナルカ或ハ少シク凹陥ス其色暗紫色ニシテ光澤アリ苞ハ鱗片ヨリ短カクシテ外面ニ現ハレズ毬果ノ高サ六乃至九釐幅四・乃至四・五釐アリ翅付種子ハ二粒アリ翅ハ淡赤黄色ヲ呈シ稍々圓形ヲナス種子ハ稍々褐色ヲ帶ヒ長サ七乃至十釐・幅四・乃至五釐厚サ三釐アリ翅除種子一升ノ重量百六十粒數二万六千内外アリ

(林業上ノ性質)性強キ陰樹ニシテ山ノ北側又ハ凹地ニ生スルモ溫度ノ關係ニ依リ高地ニハ南側ニモ亦能ク成長ス作業法苗木養成法等ハしらべニ準ズベシ

第八ノ(三) だけもみ

(名稱)一名うらじろもみ・はつくわうもみ・あなほうもみノ名アリ又日光ニテハしらもみト云フ俗ニ日光樅ト書ス松柏科ニ屬シ學名ヲ (*Abies homolepis* SerZ) ト稱ス

(効用)材ハ建築材・板材トシテ用ヒ又ハ製紙ノ原料ニ供ス

(分布)溫帶所屬ノ樹種ニシテ本州中央山脈ニアリテハ高サ三千尺以上ノ所ニ生ス伊豫ノ石槌山・信濃御嶽・駿河富士山・武蔵ノ秩父・下野ノ日光諸山ニ産ス

(葉)此樹ノ針葉ハ他ノ樅ヨリ細短ニシテ先端二分シ針ノ如ク尖リ長サ五分ヨリ一寸一分ニ至ル葉裏ハ白色ナリ

(幹)常綠針葉喬木ニシテ幹高十三丈周一丈三尺ニ達ス樹皮ハ灰褐色ヲ呈ス邊材ハ帶褐白色心材ハ淡褐色ニシテ暗紫色ヲ帶ブ材ハ輕軟ニシテ質粗ナリ材ノ氣乾比重〇・四四絶對乾比重〇・四〇アリ

(種子)花ハ五月下旬開キ實ハ十月下旬成熟ス毬果ハ熟期前ハ暗褐色ヲ呈シ全ク熟スレハ青白色トナル毬果ノ長サハ平均三寸内外直径一寸二分アリ翅ヲ有スル種子ハ其長サ五分ニ至ル翅ハ稍々四角形ニシテ淡褐色ヲ呈ス種子ハ頗ル脂氣ニ富ミ表面褐色ニシテ光澤アリ裏面灰褐色ヲ呈ス種子ノ長サ一分六厘乃至一分九厘アリ幅一

分乃至一分二厘ナリ翅除種子一升ノ重量百六十粒數九万一千粒アリ發芽量ハ二割乃至四割發芽保存力ハ一年ナリ (林業上ノ性質)稍々もみニ似タリ

第九ノ(一) しらかし

(名稱)一名ほそばかしノ名アリ東京ニテハくろかしト稱ス漢名櫟麥俗ニ白樫ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ *Quercus Vibraeana* FretSav ト稱ス

(効用)材ノ用途ハ畧ホあかかしニ同シキモ維新前ハ槍ノ柄トシテ最モ此木ヲ貴重セラレ又車材ノ農具及ヒ度量衡等諸般ノ把柄和船ノ舵ポートノ櫂・馬車・人力車ノ舵棒・銃臺・水車ノ器具下駄ノ齒其他ノ諸器械等ニ用ヒラル近來ハ農操器械ナル啞鈴球竿棍棒銃槍等ヲ作ル其用材ニ堪ヘザル部分ハ薪炭材トシテ最上等トス實ハ晒シテ食料トナスベク又澱粉ヲ製シ得ベシ此樹ハ多ク防風防火ノ用ニ供セラレ多ク家屋ノ周圍ニ植ユラル又生垣トシテハあかかしヨリモ成長早キト其葉細カク枝條ヲ密生シ且ツ最モ寒地ニ堪ユル故ニ廣ク用ヒラル

(分布)暖帶所屬ノ樹種ニシテ南ハ九州ヨリ北ハ宮城縣南部海岸ニ至ル迄生ス樅類中尤モ寒地ニ堪ルモノナリ之レカ有名ナル産地ハ肥後天草産ヲ最良トス故ニ舊幕府ニ於テハ該郡福連木材ノ良林ニ禁伐ノ制ヲ布キタリキ今日尙ホ老木鬱蒼トシテ繁茂スト云フ宮城大林區管内ニ於テハ福島縣ノ海岸山地及ヒ宮城縣ノ一部ニ及ブ

(葉)葉ハ互生披針形ニシテ先端銳ク尖リ葉基漸狹若クハ僅カニ圓形ヲナス葉縁細鋸齒アリ葉面深綠色平滑ニシテ光澤アリ裏面綠色稍々白色ヲ帶ブ葉質あかかしヨリ薄クうらしろかしヨリ厚シ葉柄ヲ具シ長サ五分許葉長二寸五分乃至三寸五分幅六分乃至一寸アリ新枝灰白色ヲ帶ヒ光澤アリ

(幹)常綠闊葉喬木ニシテ幹高四丈周八尺ニ達ス老大ナルモノ幹高八丈周九尺ニ達ス樹皮ハ帶綠褐色ニシテ平滑ナルモ老大ナルモノハ暗褐色トナリ樹皮ニ無數疣瘤ヲ生シ粗糲トナリ鱗片狀ヲナシ剝脱スルニ至ル邊材ハ甚々狭クシテ帶綠淡黑色心材ハ淡赭黑色ナリ材質堅硬緻密文理細密ナル外ニ粘靱力及ヒ彈力特ニ偉大ナルコトハ此樹ノ特徴トス材ノ氣乾比重〇・九五絶對乾比重〇・八八アリ櫟

類中應用尤モ廣キモノナリ
 (種子)花ハ四月下旬開キ雄花ハ葉莖狀ヲナシ下垂シ雌花ハ數個穗狀ニ排列シ十月成熟ス果實ハあかかしヨリ小サク初メ綠色ナルモ熟スレハ茶褐色トナリ殼斗ヨリ分離シ脱落ス種子ハ橢圓形ニシテ頂稍々尖リ下部稍々平タク圓形ヲナス其長サ四五分徑三四分アリ種子一升ノ重量三百十乃至三百三十粒數一千一百乃至一千四百五十粒アリ種子ノ發芽量ハ六割乃至九割五分發芽保存ハ一年ナリ(林業上性質)稍々陰樹又能ク陽光ヲ好ムモ幼樹ハ好シテ日陰ノ本ニ完全ナル成長ヲナス幼樹ノ成長ハあかかしヨリ早ク五十年ニシテ周三四尺高五六丈ニ達ス好シテ適潤肥沃ノ地ニ生スルモ又能ク乾燥地ニモ堪ユ老年迄能ク鬱閉ヲ保チ地力維持ノ効アリ性萌芽力強キヲ以テ萌芽更新法ニ依リ小用材ヲ供給シ得ルモ大材ヲ産スルニ適セス用材林ヲ仕立ツルニハ天然更新法ニ依リ或ハ之ヲ補助スルニ人工播種法ニ依リ新タニ森林ヲ仕立ツルニハ植樹造林法ニ依ル苗木ヲ仕立ツルニハ困難ナル樹種ニシテ細密ナル注意ヲ要ス種子ハ取播ニスルヲ最モ可トズ春播ニセント欲セハ種子ヲ乾燥シタル砂ト共ニ樽又ハ瓶ノ中ニ入レ貯藏スルカ若クハ乾燥ノ土地ニ埋藏スベシ取播ニシタルモノハ翌春早ク發芽スルモ春播ニシタルモノハ後レテ六七月ノ頃發芽スルモノ多シ日除霜除ヲ要セサルモ北方寒地ニテハ霜除ヲナスベシ春季發芽セルモノハ其年ニ幹長三寸根長五六寸トナル根ハ杭根ノミニシテ側根ヲ生スルコト少ナク移植スレハ枯死シ易シ故ニ翌春第一回床替ヲナスニハ根ノ三分ノ一ヲ切去リ三寸平方ニ一本割合ニ密植シ直チニ日除ヲ施スベシ若クハ日陰ノ床地ヲ撰ミ之ニ移植スベシ又かし類ハ梅雨ノ候ニ至リ新芽ノ二三寸伸ヒタル時掘リ取り床替スルコトアリ其法堀取りタルモノヲ二三週間假植ヲナシ根ニ白根ヲ生シ假植ノ爲メ一度凋レタル芽カ舊狀ニ復スルヲ待チ床替スルヲ良シトスト云フ然レモ此法ハ好シテナスベキ方法ニアテズ 第三年目ノ春 第二回ノ床替ヲナシ 第四年目ノ春 林地ニ移植スベシ林地移植ノ際特別ノ注意ヲ要ス即チ地拵ハ清潔ナラシムルヨリ却テ雜草ノ少シク存スルヲ可トス即チ少シク日除トナル位ヲ可トス苗木カ充分根付タルトキハ初メテ丁寧ナル下刈ヲ行フベシ若シ雜草ノ短カキ原野ニ造林スル

トキハ移植ト共ニ常綠樹即チ其地方ニ多ク存在スルモノヲ日除トシテ立テ掛クルヲ要ス

第九ノ(二)あかかし (第三十五圖)

(名稱)一名おほばかし・くまかし・たうかし・あらあかし等ノ名アリ伊豆ニテハおほばかしト云フ漢名血櫟 俗ニ赤櫟 赤櫟等ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ *Quercus acuta* Thunb ト稱ス

(効用)材ハ人力車 荷車 磨滅ヲ好マザル工業用ノ諸器械 舟ノ櫓 舵 其他下駄ノ齒 鉋鑿 油榨道具 靱摺白齒及ヒ鋏 其他農具柄等堅牢ヲ尊フモノニ用ヒラル又薪材トシテ貴重セラル

(分布)分布ノ區域畧ホしらかしニ等シケレモ較々暖地ヲ好ム南向ノ山腹或ハ寒風ヲ直接受ケサル所ニ生ス宮城大林區管内ニ於テハ磐城ノ海岸ノ暖地ノ底所ニ野生アリ

(葉)葉ハ互生長橢圓形ニシテ尖リ長キ葉柄ヲ有ス葉縁ハ上部ニ波狀ノ鋸齒ヲ有スルカ或ハ殆ント全邊ヲナス葉面深綠色裏面淡綠色葉質厚ク平滑ニシテ光澤アリ然レモ葉ノ極幼キ時代ニハ全面褐色ノ綿毛ヲ以テ被ハル、ヲ以テ赤ク見ユ故ニあかかしノ名アリ櫟類中最大ナル葉ヲ有シ長サ三四寸幅一二寸アリ極幼枝ニハ褐色ノ毛ヲ生スルモ日ヲ經ルニ從ヒ毛ヲ失ヒ平滑トナル枝モ稍々太クかし類中最モ太キモノニ屬ス

(幹)常綠闊葉喬木ニシテ幹高四丈周六尺ニ達ス樹皮ハ帶綠褐色樹皮薄クシテ折裂セズ老樹ノ表皮ハ暗褐色ヲ呈シ大ナル剝片トナリテ脱落ス扁材ハ甚々狭ク帶褐暗黃色心材帶赤褐色故ニあかかしノ名アリ材質堅硬ニシテ割裂シ難キモ割合ニ工作ヲ施シ易シ又強キ彈力ト靱力トヲ有スルカ故ニ極メテ劇烈ナル力ヲ受クル所ニ使用ス材ノ氣乾比重〇・八八絕對乾比重〇・八一ナリ

(種子)花ハ五月上旬開キ實ハ十月成熟ス果實ハ熟スレハ殼斗ト共ニ落下ス種子ハ橢圓形ニシテ大キク長サ五分乃至八分徑三分乃至五分ナリ黃褐色ニシテ頭部ハ紫黑色ヲ帶ビ光澤強シ種子一升ノ重量三百五十乃至三百六十粒數五百乃至七百五十粒アリ種子ノ發芽量ハ六割乃至九割五分發芽ノ保存一ケ年ナリ

(林業上ノ性質)性稍々陰樹ニシテ好シテつかし。し。み。又ハ他樹ノ下木トナリ生スル者也磐城ノ海岸山地ニ於テハ重ニ南向豁谷ニ生ス

蓋シ温度ノ關係ニ依ル一般ニ山ノ中腹陰地ヲ好ム此樹ノ成長ハ稍々しらかしニ劣ルモ直徑成長ハ彼ヨリ大ナリ苗木ノ養成及ヒ移植ハしらかしニ同シ

第九ノ(三) うらじろかし (第三十六圖)

(名稱) 一名ほそばかしノ名アリ此モ又しらかしトモ稱ス俗ニ裏白樫ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ *Quercus Myrsinaefolia* Bl. ト稱ス

(効用) しらかしニ畧ホ同シケレモ工藝的性質彼ニ及ハズ專ラ薪炭材ニ供セラル

(分布) 暖帶所屬ノ樹種ニシテ其分布區域しらかしニ同シク之又寒地ニ堪ル種ナリ宮城大林區管内ニ於テハ福島縣海岸底地及ヒ宮城縣ノ一部ニ及ブ仙臺市縣廳構内ニ大木三本アリ

(葉) 葉ハ互生葉形しらかしニ似テ此ヨリ小ニシテ細長ク葉縁上下ニ曲リテ波狀ヲナスヲ特徴トス鋸齒しらかしヨリ粗クシテ深シ葉質薄ク葉裏粉白色ヲナスうらじろかしノ名アル所以ナリ新枝粉白色ヲ呈シカシ類中細小ナル枝ヲ有ス枝條繁密ナリ

(幹) 常綠潤葉喬木ニシテ幹高三丈周三尺ニ達ス老木ナルモノハ幹高四丈周七尺ニ達ス樹皮ハ帶綠灰色平滑ナルモ老木ハ暗褐色ニシテ樹皮ニ小疣瘤アリテ粗糙ナリ邊材淡赭黑色心材ハ帶綠淡黑色ニシテ材質堅硬材ノ氣乾比重〇・九二絶對比重〇・八四アリ

(種子) 花ハ五月上旬開キ實ハ十月成熟ス
(林業上ノ性質) 性稍々陰樹ニシテ能ク日陰ニ堪ユ萌芽力甚々強キモ成長しらかしニ及ハズ其他ノ性質苗木養成法ハしらかしニ準スベシ

第九ノ(四) あらかし

(名稱) 一名ならばかし・くろがし・つばかし・あらんぼがしノ名アリ此又しらかしトモ稱ス漢名栲俗ニ粗樫ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ

Quercus Glauca Thunb. ト稱ス

(効用) 畧ホしらかしニ似タレモ其工藝的性質彼ニ及ハズ專ラ薪炭材ニ供セラル樹ハ庭園樹及ヒ生垣ニ供セラル

(分布) 本邦産かし類中比較的寒地迄生ス即チ温帶ノ境界地方ニ至

リテ尙ホ成長熾ナリ又九州四國ノ各地方ニ多シ仙臺市外記町ニ庭木トシテ大木アリ

(葉) 葉ハ橢圓形若クハ長橢圓形葉頂稍尖リ葉基漸狹又ハ圓形ヲナス鋸齒深クシテ粗ラシ故ニあらかしノ名アリ其形こならノ葉ニ似タル故ならばかしノ名アリ葉ノ表面綠色裏面少シク灰白色ナルヲ以テ表面ヨリ見ルモ稍々帶白色ニ見ユ葉長三寸幅一寸二分乃至一寸五六分アリ葉柄長五六分アリかし類中割合ニ葉ノ幅廣キモノナリ新芽及ヒ新枝共ニ黒褐色ノ毛ヲ有ス故ニくろがしノ名アリ

(幹) 常綠潤葉喬木ニシテ幹高七丈周五尺ニ達ス樹皮ハ帶綠褐色ニシテしらかしニ比シテ較々厚ク年ヲ經ルモ折裂セズ邊材ハ淡褐色心材帶褐淡黑色ニシテ材質しらかしニ畧ホ同シ材ノ氣乾比重〇・九六絶對乾比重〇・八七アリ

(種子) 花ハ四月下旬開キ實ハ十月成熟ス殼斗及ヒ果實ノ形状しらかしニ似タリ種子一升ク重量三百七十粒數千二百粒アリ八割ノ發芽量ヲ有ス發芽保存力ハ一年ナリ

(林業上ノ性質) 成長畧ホしらかしニ等シ其他ノ性質苗木養成法等又之ニ準スベシ

第九ノ(五) いちぬかし

(名稱) 一名いちひ・いちがし・ろがし等ノ名アリ漢名石櫨俗ニ櫨樫ト書ス材赤キヲ以テ材ヲあかべしト稱ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ (*Quercus gilva*, Bl.) ト稱ス

(効用) 材ハ槍ノ柄及ヒ櫓材トシテハ之ニ勝ルモノナク從テ之レニテ製シタルハ一挺ノ價數拾圓ヲ價スルモノ少ナカラズ其他農具ノ柄・轆轤・齒車其他堅牢ヲ要スル器具ニ用ヒラル又下駄ノ齒ニ用エ此木ノ老木ナルモノハ内部ハ黴菌ノ爲メニ蜂巢狀ヲ呈シ雅ナルモノヲ以テ煙草盆・額縁・短冊掛等ノ如キ裝飾材ニ用ユ實ハ食用ニ供スベシ

(分布) 暖帶南部ニ生スかし類中最暖地ヲ好ムモノニシテ其天然産地ハ恐クハ四國九州及ヒ紀伊地方ニシテ尾張熟田ノ宮及ヒ紀伊々勢等各地方ノ神社ノ境内ニハ往々大樹アリ此樹ハ又武州高尾山房州清澄山常州筑波山等ニモ稀ニ生ス宮崎鹿兒嶋兩縣下ヨリ良材ヲ産シ特ニ霧島四岳ニ生スルモノ有名ナリ

(葉)葉ハ互生櫛類中稍々小ナルモノニシテ長橢圓形若クハ倒卵圓形ヲナシ上半部ノ葉縁ニ鋸齒アリ葉面淡綠色葉裏及ヒ葉柄ニハ淡黃褐色ノ縮毛ヲ密布ス此レ其特徴ナリ葉柄割合ニ長ク六七分アリ新枝細長嫩枝ニハ淡褐色ノ毛ヲ生ス

(幹)常綠闊葉喬木ニシテ五十年ニハ幹高六丈周四尺ニ達シ老大ナルモノハ幹高九丈周六尺ニ達ス樹皮ハ帶灰褐色ニシテ質緻密淺ク縦裂シ表皮ハ幅廣キ剝片トナリテ脱落ス扁材淡暗黄褐色心材帶赤褐暗黄色ナリ屢ハ淡黑色ノ斑條ヲ現ハス材質ハ甚々堅硬緻密ニシテ材氣乾比重〇・八六絶對乾比重〇・七八アリ木理整正力ヲ加フレバ如何ナル長材モ容易ニ之ヲ割裂シ得ルナリ且ツ又材ニ彈力アリ力ヲ受クルモ能ク曲リテ折レズ撓ミテ原形ニ復スルコト自在ナリ此レ此材カ艦材トシテ適當ナル性質ニシテ他林木ノ及ブベカラザル特点ナリ

(種子)花ハ四月中旬開キ種子ハ十一月成熟ス種子一升ノ重量三百五十粒數八百發芽量ハ七割ナリ

(林業上ノ性質)性質陰濕ノ地ヲ好ミ多ク谷潤ニ生シ成長早ク殆ントしらかしニ次クモノナリ此木ハ前述セル如ク材ニ良性質ヲ有スルヲ故ニ艦材トシテ輸出盛ナルモ此樹ハ繁殖力ノ弱キカ爲メニ良材ハ漸次減少ノ傾アリ海國ヲ以テ任スル我國ニシテ此邊ノ缺乏ヲ來ス憂フベキナリ此樹ハ其郷土九州ニ於テハ能ク天然生ノ苗ヲ發生スルヲ以テ天然更新法ニ據ルコトヲ得ルモ郷土ノ北界ニ於テハ保護樹ノ下ニ播種又ハ植樹造林ヲナスヲ可トス然レモ櫛類中尤モ枯死シ易キモノニシテ移植ニ尤モ困難ナリト云フ且ツ播種造林法ニ依ルトキハ稍々可ナレモ獸鳥類ノ害極メテ多ク播種々所ニ保護裝置ヲナスカ爲メニ多クノ經費ヲ要シ收支如何ナラント云フ兎ニ角本樹種ノ如キ慥カニ之レカ周密ナル研究ヲ要スベキ問題ナランカ

苗木ノ養成法及ヒ移植法ハしらかしニ準ジテ可ナリ

第九ノ(五) つくばねかし

(名稱)一名めんかし。ほひぎノ名アリ俗ニ 槿羽樫ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ Quercus sessilifolia Bl. ト稱ス

(効用)畧あかしニ類ス

(分布)暖帶ニ生スル樹木ニシテ房州ヨリ以南伊豆・美濃・中國地方ニ多シ武州高尾山常州筑波山ニモ産スト云フ

(葉)葉ハ互生ナレモ恰モつくばねノ如ク輪生ノ觀アリ故ニ此名稱アリ葉形稍々あかしニ類シ稍々細長極メテ短カキ鋸齒ヲ具ヘ葉縁鋸齒ナク又稀ニ其先端ノミ僅カノ鋸齒ヲ有ス

(幹)常綠闊葉喬木ニシテ幹高四丈周六尺ニ達ス樹皮ハ帶黑褐色ニシテ平滑ナルモ老樹ハ幅廣ク裂開シ厚キ薄片トナリ脱却ス材ハ紅褐色邊材ハ稍々淡色ニシテ其幅狭シ材質畧あかしニ類ス

(種子)花ハ四月下旬開キ實ハ十月成熟ス種子一升ノ重量三百六十粒數八百・九割ノ發芽量アリ

(林業上ノ性質)性質陰樹ニシテ幼樹ハ能ク日陰ニ堪ニ生長あかしニ比シテ較々緩漫ナリ苗木養成法ハしらかしニ準ズベシ

第九ノ(六) うばめかし

(名稱)一名 いまめかし・うまめかし・ばめかし・ばめ・うばしば・くまのかし・まべしい・等ノ名アリ伊豆天城ニテハだにがしト云フ俗ニ姥芽樫・姥目樫・馬目樫・等ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ

(Quercus phyllireoides A. Gr.)ト稱ス

(効用)材ハ尤モ上等ナル炭所謂備長炭(紀州熊野ヨリ此炭ヲ東京ニ輸出ス)ヲ製スルニ用ユ此炭ハ火力強キト灰ヲ殘スコト少ナキヲ以テ鰻屋又ハ料理店ノ賞用スル所ナリ又水ヲ注クモ吸收スルコト少ナキ故直チニ再ヒ使用シ得ルノ効アリ炭質ハ緻密ニシテ重ク打ツ時ハ金屬様ノ音ヲ發ス之ヲ磨キ印材ニ供スルヲ得ベシ材ハ又艦脍・艦脍・等此材ニ限ルト云フ又槌杵等ヲ作ルニ適當ス但シ此材ハ堅クシテ割裂シ難キヲ以テ薪材ニハ不適當ナリ樹ハ庭園樹又ハ生垣ニ用ヒラル

(分布)暖帶所屬ノ樹種ナレモ櫛類中最モ暖地ニ生スルモノニシテ遠州天瀧川ノ下流沿岸・紀州四國九州等ニ多シ・殊ニ紀州熊野ハ此レカ名産地ナリ

(葉)葉ハ互生ニシテ櫛類中最小ノモノニ屬シ其形小卵形或ハ長橢圓形ヲナシ先端尖リテ上半部ニ小ナル鋸齒ヲ有ス葉ハ堅剛ニシテ上面深綠色ヲ呈シ光澤アリ裏面ハ帶黃綠色ニシテ糙面ヲナス葉長一寸許幅五六分ニ過ギス枝ハ櫛類中細小ナルモノニ屬シ枝條又頗

ル繁密ナリ之レ此樹ノ特徴トス

(幹)常緑潤葉喬木ニシテ幹高三丈直徑二尺ニ達ス樹皮ハ暗褐色ニシテ粗厚ニシテ淺キ縦ノ割レ目アリ邊材ハ廣クシテ灰白色心材ハ淡褐色ナリ材質ハ本邦産樹種中最モ堅重ナル種類ニ屬ス氣乾比重一・〇一絕對乾比重〇・九ニアリ

(種子)花ハ五月上旬開キ實ハ十一月成熟ス熟シタル種子ハ殼斗ト分離シ落下ス種子ハ其色淡褐色ニシテ光澤アリ其形倒卵形ニシテ長サ六分乃至八分幅四五分アリ種子一升ノ重量三百五十粒數七百乃至千二百ノ差アリト雖凡ソ八百粒ヲ普通トス發芽量ハ八割餘ニ達ス

(林業上性質)陰陽中庸ノ樹種ナルモ幼樹ハ能ク日陰ニ堪ユ然レモ亦能ク陽光ヲ好ミ南向ノ山腹山背等ニ生シ谿谷ノ間ニ少ナシ成長甚々遅緩ニシテ樹幹又直長セス矮林作業ニ依リ炭材ヲ養生スルヲ可トスベシ苗木ヲ仕立ツルニハしらかしニ準スベシ

第十ノ(一) こかしは

(名稱)一名かしは・もちかしは・ノ名アリ福嶋ニテハこへいならト云ヒ陸前羽前地方ニテハかしやキト云フ漢名櫛・俗ニ柏・五平櫛ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ Quercus dentata Thunbト稱ス

(効用)材ハ薪炭材トシテハくぬぎ・こなら・ニ亞ク歐洲ニ於テハ家屋ノ土臺鐵道枕木船艦用材其他ノ器具・器械・家具・床板・定木・麥酒及ヒ葡萄酒ノ樽ニ用ヒテ最モ上等ノ用材ニ數ヘラル北海道ニ於テハ此材ヲ枕木トシテ支那ニ輸出シ又麥酒製造用ノ大樽ニ試製シテ好成績ヲ得タリト云フ樹皮ハ單寧(タンニン)材料トシテハ本邦産樹皮中第一位ニ居リ將來頗ル有望ナル樹種ナリ元來單寧ノ用途ハ近來増々廣大セリ專ラ鞣皮用ヲ第一トシ漁網ノ染料其他藥品ニ供セリ然ルニ近來我國ノ陸軍用軍服ヲ染ムルニ使用スルニ至リ増々需用ヲ増加シ内地産ノミニテハ供給足ラス外國ヨリ輸入スルノ額實ニ少々ニアラサルナリ(單寧ニ就キ詳シキヲ知ラント欲スル諸君ハ農商務省山林局出版望月林學士著・單寧材料及櫛樹林・ニ就キ研究セラルベシ)葉ハ端午ノ節句ニ餅ヲ包ムニ用ユ又笈ノ乏シキ地方ニテハ物ヲ包ムニ代用セラル實ハ精製シテ澱粉トナシ食用ニ供スルヲ得ベシ樹ハ庭園樹トナス

(分布)溫帶所屬ノ樹種ナルモ暖帶北部ニモ生ス望月林學士ノ調査ニ依レバ南ハ宮崎縣西諸縣郡・熊本縣緯北・上益城・菊池郡・大分縣玖珠・大野郡・ノ高燥原野・岡山縣・阿哲郡・英田郡・長野縣小縣・南北佐久郡・山梨縣西八代・北巨摩・北郡留郡・神奈川縣津久井郡・東京府多摩郡・埼玉縣秩父郡・茨城縣久慈・多賀郡・栃木縣鹽谷・那須郡・群馬縣碓氷・吾妻・利根郡・福島縣西白河・東白川・岩城・田村・石川郡・宮城縣柴田郡・岩手縣下閉伊・岩手九戸・二戸郡・山形縣飽海郡・秋田縣由利・仙北郡・青森縣上北・下北・東津輕・西津輕・三戸郡・北海道千島ヲ除キ到ル所ニアルモ主トシテ石狩・膽振・日高・十勝諸國ノ原野・等ナリト云フ又此樹ハ臺灣・支那ノ北部滿洲ノ東部ニモ多ク生スト云フ宮城大林區内ニ於テハ全管内殆ント之ヲ産セザル所ナシ唯海面上三千尺以上ノ地ニ之ヲ認メズ

(葉)葉ハ互生倒卵形ニシテ基部甫々心臟形ニシテ葉柄ハ殆ント之ヲ有セス葉緣波狀鈍鋸齒ヲ具フ而シテ葉頭部ノ鋸齒往々重鋸ヲナス葉ハ革質ニシテ厚シ葉面綠色裏面灰綠色ヲナス葉幼時ハ表裏兩面共ニ褐色ノ絨毛ヲ有シ之レニ觸ル・トキハびろろミノ如キ感ヲナス後ニハ毛ヲ脱スルモ葉ノ裏面脈及ヒ葉柄・新條ニハ之ヲ有シ失フコトナシ此レ此種ノ特徴トス右ノ外葉緣ノ鋸齒ノ裂片頭鈍圓形ヲナス

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ側芽ヨリ稍々大圓錐形ニシテ角隅アリ側芽ハ稍々長ク頂端彎曲ス鱗片密毛アリ枝ハ甚々太ク褐色ノ毛ヲ密布ス

(幹)落葉潤葉喬木ニシテ幹高六丈周七尺ニ達ス樹皮幼時灰褐色ナルモ老ユルニ從ヒ黑褐色トナル粗厚ニシテ深ク縱裂ス材質ハおほならニ似テ稍々硬ニシテ質粗乾燥スルトキハ折裂シ易ク且ツ反張ス材ノ氣乾比重〇・九八絕對乾比重〇・九一アリ

(種子)花ハ五月上旬嫩葉ト共ニ開キ雌花ハ葉腋狀ヲナシ多數ノ黃綠色ノ小花ヲ附ク雌花ハ梢頂若クハ葉腋ニ生シ二三ノ果實ヲ着ク實ハ十月成熟ス熟シタル種子ハ殼斗ヨリ分離シ或ハ共ニ脱落ス殼斗ハ深クシテ椀狀ヲナシ殆ント種子ノ三分ノ二ヲ被フ下部ハ漸次ニ尖リ殼斗ノ外面ニハ長サ三四分ノ細長ニシテ尖锐ナル褐色鱗片狀ノ毛革ヲ密布シ各鱗毛斜メニ上方ニ向ヒ其先端少シク皺縮シテ

外反ス鱗毛ニ銀白色ノ毛ヲ被ル種子ハ卵圓形ヲナシ標ニ酷似スルモ稍々是レヨリ小ニシテ先端尖レリ種子一升ノ重量三百二十粒數三百六十粒アリ發芽量ハ九割發芽ノ保存ハ一年ナリ

(林業上ノ性質)本樹ハ其樹皮甚々厚ク且ツ耐火性強キヲ以テ屢々野火ノ進入スル原野ニハ他ノ樹種ハ滅絶スルモ獨リ榲樹ハ前述ノ理由ヲ以テ獨リ火中ニ得々然トシテ存在シ遂ニハ單純林ヲ形成スルニ至ルモノナリ此レ原野若クハ舊原野タリシ處ニ多ク存在スル所以ナリ而シテ此樹ハ專ラ高燥ノ地ニ生スルモ又低濕地ニモ堪ヘ地質ニハ殆ント關係セサルカ如シ最モ壤土及ヒ砂質粘土ノ深地ヲ好ム地層ノ深ケレハ乾燥ナル土地ニモ能ク完全ナル成長ヲナス又河水汎濫スル如キ低濕地ニモ能ク森林ヲナスコトアリ又土地ノ下層ニ水分ノ存スル場合ニハ砂地ニモ能ク成長ス性陽樹ニシテ庇蔭ニ堪ヘズ鬱閉ヲ破ルコト極メテ早シ故ニ若シ此木ヲ單純林トシテ高年迄永ク存在セシムルトキハ地力ヲ害スルノ恐アリ此樹ハ其成長標ニ及ハズト雖モ其好ノ土地ニ於テハ成長甚々速ナリ萌芽力甚々強ク數回ノ更新ニ堪ユ然レモ老年ニ至リ伐採セラレタルモノハ大ニ萌芽力ヲ減ス此樹ハ又幹ニ近キ根ヨリ多クノ蘗ヲ生ス故ニ此樹ハ萌芽更新法ニ依リテ更新シ得ベシ若シ原野若クハ伐跡地ニ新々ニ森林ヲ仕立ツルニハ人工播種著クハ植種造林法ニ依ラサルベカラズ人工播種造林法ハ標ニ準スベシ

苗木ヲ仕立ツルニハ秋季十月中旬頃種子ヲ採集シ取播トナスカ若クハ木炭末又ハ乾キタル砂ト混シ大樽又ハ瓶ノ中ニ貯藏スルカ乃至乾砂ト混シ小屋内ニ放置スルモ可ナレモ樽若クハ瓶中ニ貯フルニ如カズ翌春四月播種スベシ一坪四五百粒ヲ標準トシテ種床地ニ撒播トナスカ若クハ畦播トナスベシ日除雨除ヲ要セズ播種ノ翌春幹長五六寸根長七寸乃至一尺トナリタルモノヲ根ヲ半分程切斷シ去リテ第一回床替ヲナスベシ但シ床替巨離ハ七八寸ノ畦植トシ苗間巨離ヲ四五寸トナスベシ更ラニ二年間苗圃ニ放置シ播種ノ年ヨリ四年目ノ春林地ニ移植スベシ

(注意)本樹種ハ單寧材料採集用トシテ剥皮林作業ヲ營ミ利益アルノ外ニ皮ヲ剥キ去リタル材ハ又薪炭材トシテ價值アルモノナレバ其速ク速カニ之レカ造林ヲ創設セザルベカラズ

(第十ノ二) おほかしは

(名稱)一名おほぼうそ.此又單ニかしは.トモ稱ス東濃地方ニテハぼつたりト稱シ北海道土人ハこむに.しこむにト稱ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ(Quercus dentata thunb var Wrightii A,DC.)ト稱ス

(効用)こかしは.ニ同シ

(分布)こかしは.ト混シ存在スレモ通常區別セラレズ

(葉)葉ハ互生ニシテ潤キ倒卵圓形ヲナシ基部ハ稍々小ナル心臟形ヲナス葉縁波瀾狀ヲナシ鈍鋸齒ヲ具フルコトこかしはニ同シト雖モ鋸齒ノ裂片頭稍尖レルヲ以テ區別シ得ベシ葉面綠色下面淺綠色端剛毛粗生スこかしはハ毛密生スルモ此レハ粗生ス葉柄ハこかしはヨリ細クシテ且ツ長クニ三分アリ毛ヲ有スルコト少ナシ葉ノ大サ種々ニシテ様ナラサルモ葉長七八寸ノモノ多ク又一尺以上ノモノアリ

(幹)こかしはニ同シ

(種子)こかしはニ似タルモ其殼斗彼ヨリ淺クシテ平椀狀ヲナシ殆ント三分ノ一ヲ被フノミ外面ノ鱗毛長サ四五分許ニシテ著シク外反シ先尖リ縮ミタル狀ヲナスこかしはハ鱗毛ニハ銀白色ノ毛密生スルモ此ニハ毛少ナク銀白色ヲナサズ種子ハこかしはニ似テ頭部稍々圓キヲ異トス

(林業上性質)こかしはニ同シ

第十一 こなら

(名稱)一名なら.いしなら.くろなら.ほそ.のほそ.まほそ.まき等ト稱ス又東京ニテハみつなら和歌山ニテハならしは大和ニテハならしは水曾ニテハこまき.伊豫ニテハほきのき.豊後ニテハはさご尾張ニテハそだめ.遠江ニテハすのき等ノ名アリ漢名枹.亭落樹俗ニ小枹.小櫓.小亭落.柞.櫓等ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ

[Quercus glandulife ar Bl.)ト稱ス

(効用)材ハ上等ノ薪炭材ナリ小枝ヲ柴トナスニ朽葉ヲ帶ヒサルヲ以テ標ニ勝レリトス萌蘗スル者ハ新葉ト共ニ刈取り水田ノ肥料トナス又良材ハ器具ノ柄.箱.雪車.椅子.等ヲ作ルニ用ヒラル此生木ハ香蠟ヲ養成スルノ料及樹皮ニ單寧質ヲ含有シ染料トス其含有量ハかしはニ及ハザルヲ以テ單寧ノ製造用原料トシテ賣買セラレズ

實ハ精製シテ澱粉トシ食用ニ供スヘク又山民其澁味ヲ去リ米ニ和シテ食用ニ供ス

(分布)暖帶及ヒ温帶ニ廣布ス即チ九州四國本州ヨリ北海道ニ及ヒ北海道ニ於テハ渡嶋・膽振・石狩・日高ニ産ス宮城大林區署管内ニ於テハ至ル所栗ト共ニ産シ専ラ民家附近ノ矮林ヲ形成ス高サニ於テハ下野ノ境ニ於テハ三千尺ノ高サ迄生シ北方岩手縣ノ境ニ於テハ一千二百尺以下ニ生ス

(葉)葉ハ互生長橢圓形若クハ卵圓形ヲナシ尖頭基部稍々圓形ヲナス齒頂内向セル鋸齒アリ葉柄ハ葉ノ割合ニ長ク四分乃至一寸アリ葉表面深綠色ニシテ平滑光澤アリ下面粉白色絹絲狀ノ柔毛密布ス然レモ後ニ至テ脱落ス葉長二三寸幅五分乃至一寸五分なら類中最小ナルモノナリ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ尖形五角隅アリ鱗片茶褐色葉痕扁平三角形ニシテ稍々凸出ス梢頂ニハ無數ノ芽密着シテ存在スルヲ此ノ特徴トス新枝灰色ナレモ陰側ハ明褐色皮孔ハ稍々凸起シテ明瞭木髓放線狀ヲナス

(幹)落葉瀾葉喬木ニシテ二十年ニシテ幹高三十尺周二尺トナリ老木ナルモノハ幹高六丈周七尺ニ達ス樹皮ハ灰色ニシテ老樹トナレハ暗灰色トナリ線白色ノ斑点アリ樹皮幼時平滑ナルモ老ユルニ從ヒ縱裂ス屨材ハ灰白色心材帶黃淡赭黑色ナリ材質ハ稍硬ニシテ粗撓テ折碎シ難シ氣乾比重〇・九ニ絶對乾比重〇・八八アリ

(種子)花ハ五月上旬新芽ノ出ツルト同時ニ生シ雌花ハ葉莖狀ヲナシ下垂シ黃綠色ノ細花ヲ着ク雌花ハ葉腋ニ生シ一梗二三個ヲ付ク果實ハ初メ綠色ナリ實ハ十月中旬熟ス殼斗ハ椀狀ニシテ薄ク鱗片細小ナリ種子ハおほなら・みつならヨリ小ニシテ橢圓形ヲ爲シ頂端稍々凸出ス熟スレハ其色茶褐色トナル種子一升ノ重量平均三百五十粒數一千内外ヲ算スベシ發芽量ハ七割乃至九割發芽保存力ハ一年ナリ

(林業上性質)性陽樹ニシテ庇蔭ニ堪ヘス好シテ皆伐跡地又ハ燒跡地等光線ノ多ク直射スル所ニ生ス而シテ亦能ク乾燥地ニ堪ユルモ肥沃ノ地面ニ於テハ稍蔭濕ノ谷間ニモ生ス芽萌力強キヲ以テ古來薪炭林トシテ萌芽更新法ニ依リテ作業セラル然レモ從來ハ唯天然

力ノミニ依頼シ人力ヲ以テ之ヲ改良セザルカ故ニ其森林多クハ他ノ雜木ヲ混スルカ或ハ甚タシク疎林トナリ大ニ損失ヲナシツ・アリ故ニ將來ハ此レ等ノ缺点ヲ人工的播種法或ハ植樹ニ依リテ補充セザルベカラズ此方法ニ依ルキハ從來ノ收益ノ三割乃至四割ノ増益アルコト蓋シ疑ヲ容ルベカラズ人工播種更新法ハ標ニ準ズベク苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トシ春播トナスニハ採集シタル種子ヲ乾砂中ニ混シ樽又ハ瓶中ニ貯藏スルコト標ニ同シクスベシ貯藏シタル種子ヲ早春四月上旬播種シ坪六七百粒ヲ播下シ日除霜除ヲ要セス二三週間ニシテ發芽ス翌春四月第一回床替ヲ爲シ三年目ノ春林地ニ移植スベシ

第十二ノ(一) しひ (第二十九圖)

(名稱)一名しひ・しひがしノ名アリ漢名柯樹・俗ニ椎・椎木等ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ *Pasania Caspidata* Oerst

(効用)材ハ普通薪炭材トナスモ其上材ナルモノハ縁板其他建築材砂糖樽ノ樽木諸器械ノ櫛・櫛・櫛或ハ農具ノ柄荷棒トナス又此木ハ皮付ノマ・床柱トナス又此皮付ノ生木ハ椎茸養成材料トス樹皮ハ單寧ヲ含有スルヲ以テ魚網ノ染料トシ又八丈絹ノ黒染ニ供ス又ハ單寧液製造ノ原料トナスコト解皮ニ同シ生樹ハ民家ノ周圍ニ植ヘテ防火用・生垣用・家屋裝飾用・果實採集用トシ又ハ庭木トナス實ハ生食スベシ

(分布)暖帶ニ生スル樹木ニシテ房州及ヒ伊豆ヨリ南ニ大樹アリ四國九州殊ニ薩摩八丈島等ニ多シ東京市内ニテモ人植ノモノ大樹ヲナス仙臺市内ニテハ日本鐵道會社構内ニ數本植栽セラレ今日尙ホ能ク生育セリ

(葉)葉ハ互生シ多クハ枝ノ兩側ニ生ス橢圓形若クハ長橢圓形ニシテ兩端漸尖葉緣ハ全邊或ハ上半部ニ淺キ鋸齒ヲ有シ表面深綠色光澤アリ裏面ハ銀褐色ノ柔毛密布シ銀褐色ヲ呈シ光澤強シ枝條多ク繁密ナリ

(幹)常綠瀾葉喬木ニシテ幹高五丈周一丈ニ達ス往々數百年ノ老樹ヲ見ルコトアリ稀ニ七八丈ノ高サ五尺ノ直徑ヲ有スルモノアリ樹皮壯年ニアリテハ薄ク平滑ナレモ後ニハ深キ割レ目ヲ生ス邊材ハ廣クシテ帶淡赭黑色心材ハ帶黃淡黑色ナリ材質稍々硬材ノ氣乾比重

○. 五二絶對乾比重○. 四五アリ

(種子)花ハ六月中旬開花シ特種ノ香氣ヲ放ツ實ハ翌年十月成熟ス果實ハ長卵形ニシテ尖リ莢狀ノ總苞即チ殻斗ニ依リテ包ムモ熟スレバ三裂ス種子ハ繖類ヨリ小ニシテ長卵形ヲナシ大小一様ナラス先端尖レリ種子一升ノ重量三百七十粒數千八百粒六割乃至九割ノ發芽量テ有ス

(林業上ノ性質)性稍々陰樹ニシテ日陰ノ地ヲ好ム陽燥ナル地ヲ好マズ然レモ又能ク南向ノ山腹或ハ山脊ニモ生ス性萌芽力甚々強ク樹幹ハ密林ニ於テハ能ク直長圓柱形ヲナシ枝ヲ生スルト少キケレモ孤立セルキハ枝ヲ横ニ張り高ク成長セズ此ハ暖帶ノ單寧用材料樹種トシテ舊來ノ森林ハ勉メテ之ヲ保護シ天然更新法ニ據リ作業シ或ハ人工播種法ニ據リ或ハ人工植栽法ニ據ヨリテ森林ヲ新タニ創設スルヲ要ス人工播種法ハ標ニ於ケルト同シクシテ可ナリ苗木ヲ養成スルニハ取播ニ爲スヲ可トス種子ヲ貯藏スルニハ乾燥セル砂ト混シ樽又ハ瓶中ニ貯藏スルト標ニ準スベシ翌春四月上旬播種スベシ發芽ノ年六寸許ノ成長ヲナス東京邊ニテハ初冬ハ苗ニ霜除ヲ要ス翌春四月苗ヲ掘リ直根ハ四五寸側根ハ三四寸ノ長サニ切り縮メ之ヲ假リニ一所ニ水植ニナシテ六七日間日除ヲナシ置キ二三週間ノ后白根ノ生スルヲ待チ六七寸四方ニ床上ニ又ハ二尺ノ畦ニ三四寸置ニ床替シ滿二三年ヲ經テ三四尺ノ高サニ至リシ頃之ヲ林地ニ移植スベシ林地ハ雜草ノ陰又ハ雜木林内ニ植エ保護樹ヲ要セサルニ至リテ他物ヲ除去スベシ

第十二ノ(二) まてはしい

(名稱)一名までがし. おほしひ. たうじひ. ながじひ. さつまじひ等ノ名アリ筑前ニテハまたじひト稱ス俗ニ馬刀葉椎ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ (*Pasania glabra* Oerst) ト稱ス

(効用)材ハ多クハ薪炭材ニ供ス上等ノモノハ農具ノ柄其他器具材又ハ船樅トナス此樹ハ又家屋ノ周圍ニ植エテ防火用. 防風用. 家屋裝飾用果實採集用トス又庭木トナス實ハ生食シ得ベキモ少シク苦味アリ

(分布)暖帶ニ産スル樹木ニシテ房州ヨリ南四國九州殊ニ土佐筑前・肥前等ニ野生多シ

(葉)葉互生其形稍々倒卵形ヲナシ普通枝ノ周圍ニ輪狀ニ生ス葉縁厚ク鋸齒ナシ葉面綠色裏面淺綠色葉ハ革質ニシテ厚ク平滑ニシテ光澤アリ葉ハしひ類中最大ノモノナリ長サ四五寸幅一二寸ニ達ス側脈著シク裏面ニ凸出ス

(幹)常綠闊葉喬木ニシテ幹高三四丈周五六尺ニ達ス樹皮ハ帶紫黑色ニシテ綠色又ハ白色斑点アリ初メハ平滑ニシテ后ニハ淺キ割レ目ヲ生ス邊材ハ狭クシテ淡褐色心材ハ帶褐淡黑色ナリ材質稍々硬氣乾比重○. 六一絶對乾比重○. 五七アリ

(種子)花ハ六月中旬開キ實ハ翌年十月熟ス種子ハ長橢圓形長大褐色ニシテ光澤強シ種子基部深ク凹入セリ一粒ノ大サハ長サ八分乃至一寸幅四五分アリ種子一升ノ重量三百十粒數三百二十粒アリ

(林業上性質)畧ホしひニ同シ唯苗木ハしひニ比スレハ側根多キヲ以テ移植ノ際枯ル、コト少ナシ此木ハ疎立セシムレハ根株ノ部分ニ蘗チ多ク生スルヲ以テ時々之ヲ切り除クベシ此木ハ又かし類ニ比シ成長早キヲ以テ萌芽更新法ヲ行ヒ且ツ又好シテ之ヲ造林スルモノアリ

第十二ノ(三) しりふがし

(名稱)一名しりふがしひ. あらつばがし. ノ名アリ其他土佐ニテハしりふが日向ニテハくろまで鹿兒島ニテハよしかし豊後ニテハくろがしト稱ス俗ニ尻深檜. 尻深淮ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ

(*Pasana thalassica* Oerst) ト稱ス

(効用)材ハ薪炭ニ供ス其上等ナルモノハ船ノ艫材トシ又諸器具. 農具ノ柄等ヲ作ル圓材ノ太キモノハ床柱トナシ細キモノハ船竿トス實ハ炙リテ其仁ヲ食スベシ 又民家ノ周圍ニ植エテ種子採集用. 垣根用. 防火防風等ノ用ニ供スベシ

(分布)暖帶ニ生スル樹木ニシテ紀伊以南ニ多シ 日向. 大隅等ニハ大木アリ

(葉)葉ハ互生其形稍々細長葉脈ノ數甚々少ナク表面綠色ニシテ光澤アリ裏面ハ白色ヲ呈ス縁邊ニハ殆ント鋸齒ナシ葉ノ縁邊裏面ニ反曲スルヲ特徴トス而シテ新條ニ褐色ノ毛ヲ有ス

(幹)常綠闊葉喬木ニシテ幹高五丈周五尺ニ達ス樹皮ハ帶綠赭黑色ニシテ平滑ナリ邊材ハ淡赭色心材ハ帶紅赭色ナリ材質堅硬氣乾比

重〇・八五絶對乾比重〇・七三アリ

(種子)花ハ十一月月上旬開キ實ハ翌年十一月成熟ス種子ハ其形狀倒卵形ニシテ頂端稍々尖リ種子ノ基部著シク陥没スルヲ以テしりふんの名アリ種子一升ノ重量三百四十匁粒數七百發芽量ハ八割アリ(林業上ノ性質)しひニ準ズ

第四章 天然生育ニ依頼シ多少之ヲ保護シ保存スベキ樹種

第一 かうやまき (第十三圖)

(名稱)和名かうやまき一名ほんまき或ハ單ニまき又ハたうまきト云ヒ木曾ニテハくさまきト云フ該樹ハ紀州高野山ニ多キヲ以テかうやまきノ名アル所以ナリ漢名金松ト稱スレト支那ニハ該樹ナケレバ眞ノ金松ニアラズト識ルベシ云々又俗ニ高野慎・楨・披等ト書ス學名ハ Sciadopityo verticillata S. et. Z. ト稱ス

又近來歐州殊ニ獨乙ニ於テハ之レヲからかさもみト稱シ珍重スト云フ

(効用)材ニ一種ノ脂氣ヲ有シ能ク水漫ニ耐ユ故ニ風呂桶水桶船材其他水氣ヲ受クル所ニ使用スル土工用材ニ適ス又材ハ輕軟ニシテ工作ヲ施シ易キヲ以テ建築材板材殊ニ天井板トシテ費用セラレ樹皮ハ茹ヲ作り船桶風呂桶引水管等ノ漏水ヲ塞クニ最良トス蓋シ茹ハ獨リ該樹ノ皮ノミニテ作ルニアラズ杉・扁柏・花柏・羅漢柏・楨等ニテ作レテ茹ヲ削シテまきはだト稱スルハ該樹ノ膚ノ皮ヲ以テ作りタルモノヲ第一トスルヨリ起リタルモノナラン樹ハ庭園樹トシテ殊ニ費用セラル而シテ此樹ノ材ノ一特徴トモ稱スベキモノハ橋梁用材トシテハ恐クハ材木中ノ王ナランカ何トナレバ去ル明治十八年頃東京府下千住ノ大橋ハ洪水ノ爲メ落橋セシ際其大杭ヲ改メ見シニかうやまきニシテ少シモ腐朽スルヲナク即チ三百餘年間保存セリト云フヲ以テナリ

(分布)温帶ニ生スル樹種ニシテ南ハ薩摩・豊後・土佐・安藝・美作・紀伊・大和・近江・信濃ヨリ此方岩代地方ノ山中ニ往々点在ス而シテ本州ノ中央部ニ於テハ海拔四千尺乃至六千尺ノ間ニひのきさばらト混生シ古來木曾五木ノ一ニ數ヘラル其他有名ナル産地ハ高野山ナリ大壑ヶ原山釋迦ガ岳ニモ多シ仙臺市内ニテハ鐵砲町及ビ元

寺小路中教院ニ大木アリ

(葉)葉ハ針葉ニシテ長サ二寸乃至四寸アリ厚サハ幅ノ殆ソド半分ナリ全体綠色ニシテ強キ光澤アリ而シテ其裏面ノ中央ニハ一條ノ白色ナル凹線ヲ有ス此レ等ノ葉ハ此木ノ特徴トシテ新莖ノ頂端ヨリ傘骨狀ニ輪生スルヲ以テ他樹ト區別スルコト容易ナリ

(枝)嫩枝ハ鱗片ヲ有シ帶黃褐色ナルモ年ヲ經ルニ從ヒ黑褐色ニ變ス枝條ハ常ニ繁密ニシテ軒ト直角ニ水平ニ擴張シ多少上向スル傾アリ枝幹ノ下部ニ長ク上部ニ至ルニ從ヒ短カク又永年間能ク枯落セザルヲ以テ樹体ハ圓錐狀ヲ形造レリ該樹モ又占領面積少ナシ

(幹)常綠針葉喬木ニシテ老ナルモノハ幹高十二丈直徑三尺ニ達ル者アリ幹皮赤褐色ニシテ扁柏ニ似テ縱裂シ厚クシテ軟ナリ邊材ハ雪白色心材ハ淡黃色乃至淡黃褐色ニシテ一種ノ香氣アリ材質輕軟木理通直工作ヲ施シ易シ根ハ深根性ナリ

(種子)花ハ三月下旬乃至四月上旬ニ開キ雄花ハ古枝ノ上部ニ於ケル側芽ヨリ成リ雌花ハ常ニ新枝ノ頂部ニアリテ直立ス苞果ハ二年ニシテ熟シ長圓形又ハ橢圓形ヲナス鱗ハ厚クシテ其上緣少シク反張ス鱗腋ニ大抵七個ノ種子アリ種子ハ橢圓形ニシテ扁平ナリ褐色又ハ茶褐色ニシテ強キ光澤アリ周圍ニ狹キ翅ヲ有ス但シ翅ハ種子ノ一部分ヲナシ容易ニ分離セズ種子ノ大サ翅ヲ加ヘテ長サ八・一糎幅六・一糎厚一・九糎

重量〇・〇一六瓦ニシテ種子一升ノ重量ハ百十三匁九分粒數二万五千百六十アリ發芽力ノ保存ハ二年發芽量ハ平均七割其内一割ハ晩春發芽シ六割ハ其年ノ初秋ニ至リテ發生ス故ニ霜除ニ非常ニ困難ナリ從テ杉扁柏等ヨリ霜除ニ多大ノ經費ヲ要ス且ツ杉扁柏ノ如ク播種ノ翌年一回床替ヲナス能ハズ二年間播種床地ニ養成セザルベカラズ

(林業上ノ性質)かうやまきハ稍々乾燥地ニ堪ユルカ如シ而シテ極メテ強キ陰樹ニシテ幼時ハ殊ニ日陽ニ耐ヘズ能ク強キ日陰地ニ耐ユ此木ハ下部迄枝ヲ生ツ能ク鬱閉ヲ保ツ該樹ハ幼時極メテ緩漫ナル成長ヲナシ十二年頃ヨリ其成長ヲ始メ老年ニ至ル迄其成長ヲ休止スルヲナシ此木ハ又挿木ニ依リテ繁殖スルヲ得ルモノナリ

第二 かつや

(名稱)和名かや一名かやのき一名ほんかや往古ハカヘト云ヘリ云々漢名榧俗ニ柏ト書ス。松柏科ニ属シ學名Torreyana nucifera S et Z. ト稱スカヤノ名ハ此樹ヲ燒ケハ蚊ヲ遣ルニ効アリ 故ニかやりのきヨリ軟化シタルモノナリト云フ

(効用)材質緻密木理美ニシテ一種ノ香氣アリ材非常ニ重ク最モ船材ニ適當シ之ヲ船底ニ供スルトキハ香氣アルヲ以テ虫害ヲ免ル、ト云フ又和船ノ(スベリ)ニナストキハ水ノ爲メニ濡ラアルモ容易ニ滑ルコトナシ 又碁將碁盤トシテハ最モ費用セラル碁ノ駒算盤球等ヲ製ス凡テ水濕地ニ用ヒテ保存期極メテ長ク且ツ虫害ヲ受クルコトナシ故ニ土臺浴室ノ材ニ用ユ實ハ生食シ又灸リ或ハ飴ニ和シテ食シ又砂糖樹トシテ菓子ヲ製シ或ハ油ヲ搾リテ食用燈火用或ハ理髮用ニ供ス此油ハ本邦植物質ノ油中最上ノモノナリ又支那人ハ此實ヲ好ミ食スルヲ以テ甲州ヨリ輸出ス此樹ハ之ヲ燒ケハ蚊ヲ遣ルニ効アルハ人ノ知ル所ナリ

(分布)暖帶ノ終ヨリ温帶ニ及ビ五百尺ヨリ四千尺間ニ於テ四國ノ山中大和・美濃・飛騨・信濃・越後・佐渡・岩代・磐城・陸前・羽前等中央部ノ地方ニ多シ落葉潤葉樹中ニ点生シ群成或ハ純林ヲナスコト稀ナリ美濃・信濃・甲斐或ハ大和等ノ地方ハ人家ノ周圍或ハ河畦ニ栽植セルモノ多シ但シ岩代羽前等ノ寒地ニ生スルモノハ高クナラズ何レモ地上ヲ匍匐シ直立セズ此レ寒地ノ爲メ雪ニ壓セラレ上長成長ヲ害セラル、カ爲メカ將々又寒地ニ適スル一變種ニシテハびかやト稱スベキモノカ 此レ等種類ハ會津地方羽前小國地方同羽前東西田川郡ノ山地々方等ハ實ヲ産スルコト多シ何レモ野生的状態ヲナシ國有林中ニ存在スレバ地方民ノ特別ナル保護ヲ加フルヲ見レバ或ハ實採集ノ爲メニ植栽シタルモノカ又陸前ニ於テハ多クハ民家ノ周圍ニ植エラル、ノミナルモ磐城伊具郡及ビ刈田郡ノ南部暖地ニハ國有林内ニ点々野生的ニ生長スルヲ見ル

(葉)葉ハ細長披針形扁平ニシテ先端鋭ク尖リ人ヲ刺ス葉ニ固有ノ臭氣アリ葉ノ長サ大抵一寸幅一分葉ハ通常枝ノ左右ニ互生ス (枝)新枝綠色ナレバ年ヲ加フルト共ニ褐色ニ變ズ故ニ本年成長セシ枝ト去年成長セシ枝ト區別シ得ベシ枝ノ大サ中庸ニシテ年々車輻狀ニ出ズルヲ以テ枝ノ階數ヲ計算シテ樹木ノ年齢ヲ知ルヲ得ベシ

シ又榧ノ枝ハ四方ニ擴張スルコト夥シク枝ノ長サ却テ幹ノ長サニ勝ルモノ少ナカラズ然レモ通常樹冠圓錐形ヲナス (幹)常綠喬木ニシテ直徑三尺高サ七十尺ニ達ス樹皮ハ灰白色ニシテ老樹ハ縞ノ如キモノヲ出ス扁材ハ帶隔白色心材ハ黄色ナリ材質ハ稍々硬甚ダ緻密ニシテ彈力アリ能ク光澤ヲ發シ又脂氣ヲ帶ビ強キ香氣アリテ木理美ナリ材ノ氣乾比重〇・五九絶對乾比重〇・五六アリ保存力最長ク能ク水濕ニ堪ヘ蝕害少ナシ

(種子)花ハ雌雄異木ニシテ雄花枝ノ下側ニ於テ葉腋ニ生シ殆ンド花柄ヲ有セズ雌花ハ二年目ノ小枝ノ先端若クハ新小枝ノ基部ニ生ズ卵子ノ基底ニ存スル種皮ハ開花ノ當時ハ杯狀ヲナスト雖モ其後膨起シテ圓形トナリ種子ノ全部ヲ包被ス所謂果肉ヲナス 花ハ四月中旬ニ開キ實ハ十月中旬成熟ス熟スレバ自然ニ落下シ其際果肉ヲ分離スルモノアレモ多クハ附着スルヲ常トス故ニ此果肉ヲ去ラントセバ一週間前後水ニ浸シ若クハ土中ニ埋メ置キ果肉ノ腐敗ヲ待チ之ヲ水中ニテ洗ハバ果肉ヲ去ルコトヲ得ベシ此果肉ヲ去リタル種子ハ其形橢圓形ニシテ頂端尖レリ種皮堅ク木質ヲナス 種子一升ノ重量二百乃至二百五十 勿粒 數六百 四五十粒發芽保存力ハ三ケ年ニシテ發芽量ハ九割ヲ有ス取播ノモノハ翌春發芽スルモ種子ヲ乾燥シテ春播シタルモノハ其年發芽セザルト云フヲ以テ床地ヲ取毀ツベカラズ必ラズ翌春即チ結實后三年目ニ發芽スベシ (林業上性質)陰樹ニシテ能ク鬱閉ヲ保ツ唯餘リ多ク枝條ヲ擴張スルヲ以テ隣樹ノ成長ヲ害ス然レモ高齢ノ赤松林ノ鬱閉破レタル所ニ下木トシテ植付クルニハ尤モ適當ノモノトス苗木ヲ養成スルニハ取播ヲ可トシ二年間播種床地ニ放置シ第三年目ニ第一回床替ヲナシ其後二年間放置シ五年目ノ春一尺前後ニテ山出シスルヲ得ベシ

第三 あららぎ (第二十二圖)

(名稱)和名あららぎ一名おちい。一名しやくのき一名さくのき日光及ヒ木曾地方ニテハやますわう又すわうのきト云ヒ信濃地方ニテハみねぞう又みねすわう西國ニテハやまびやくだん薩摩ニテハあかき越後・岩代・陸前・陸中・陸奥・羽前・羽後ニテハなつこ北海道ニテハなんこ北海道土人ハ之ヲうるまに・らまに・くれにト云フ漢

名柴杉又水松俗ニ朱樹・欄・一位・一位木・標等ト書ス松柏科ニ屬シ
學名ヲ

Taxus cuspidata Ser Z ト云フ

此木古笏ヲ作りシヲ以テしやくのき又さくのきノ名アリ又笏位・
一位ヨリ五位ニ至ル迄アリシヲ以テ最上位ヲ取りいちぬ即チ一位
又一位木ト云ヒシ所以ナルベシ又材赤色ニシテすわうノ木ニ似ケ
ルヨリすわう・やますわう・みれすわう等ノ名アリ

(効用)材ハ杖・机案・硯箱・巻蓑入箱・其他ノ匣箱類短冊掛・寫眞掛・
床置物・根付類・菓子盆・急須敷・下駄等作りテ雅致アリ又鉛筆材其
他ノ器具材彫刻材ニ用ヒラレ又床板・天井板・床柱ニ用ユルモ良形
ノモノ少ナク常ニ節多キヲ以テ遺憾トス其他 湯殿板・釣瓶・風呂
桶水瓢ノ蓋等ニ作り古來揚弓ノ矢ニ作ラレ日光遠州秋葉山等ニテ
ハ菓子盆・急須敷・箸等ヲ作り北海道土人ハ弓ヲ作り木曾ニテハ阿
六櫛ノ鞘ヲ作ル實ハ紅熟シテ味甘ク食スベシ樹ハ觀賞用トシテ庭
園ニ植ラレ又垣根用トシテハ永存シ尤モ可ナリ

(分布)温帯ノ終ヨリ寒帯ニ生ツ本州ノ中部ニ於テハ五千尺乃至七
千尺ノ地ニ多少木曾ノ駒ヶ岳及ヒ御岳ニ於テハ こめつかつト混生
ス飛騨ノ位山尤モ有名ニシテ其他豊後土佐ノ山中ニ多ク日光奥羽
地方等ノ高山北海道等ニアリ北海道ニテハねりまつ・さゝまつト
混生ス北海道全道之ヲ産スルモ釧路根邊室ハ良材ニ富ム

磐城國刈田岳(一名藏王岳)陸前國舟形山 栗駒岳 羽前國 鳥海山
月山朝日岳飯豊山岩代國安達太郎山等ノ絶頂偃松帶中ニ必ラスあ
ららぎヲ生スルモ何レモ矮小ナルモノ多ク良材ナシ

(葉)葉ハ互生多クニ縦列ヲナシ少シク上揚ス線形ニシテ中肋尖頭
ニシテ銳刺ヲナシ上面深綠色下面青白色長サ六七分幅一分許葉柄
短カクシテ一分ニ充タス葉ハかやニ類スルモ彼ハ眞直硬剛ナレモ
此ハ多少屈曲柔軟刺傷ヲ感セザルガ故區別シ得ベシ

(枝)枝ハ細枝ニシテ頗ル繁密ナリ枝ハ四周ニ擴張スル性アリ枝ノ
長サ却テ幹ノ長サニ越エルトアリ樹冠多クハ圓形ヲナス

(幹)常綠喬木ニシテ成長遲緩枝條多キカ故ニ通直ナル幹ヲナスモ
ノ極メテ稀ニシテ七八十年ヲ經テ直徑七八寸高サ三四十尺ニ充タ
ス老木ナルモノハ幹高六丈直徑二尺ニ達スル者アリ樹皮褐色又

ハ帶綠褐色ニシテ薄ク裂目アリテ恰モつかノ皮膚ニ似タリ心材
ハ淡褐赤色ニシテ少シク紫色ヲ帶ビ邊材ハ稍々淡色ナリ材質ハ稍
々堅硬緻密ニシテ年輪幅狭ク之レヲ鉋削シテ光澤アリ保存力及ビ
彈力強ク反曲割裂ノ憂ナシ氣乾比重〇・四六絶對乾比重〇・四三ア
リ材ニ脂氣アリテ一種ノ香氣ヲ發ス

(種子)花ハ雌雄異木ニシテ枝梢ノ葉腋ニ至小ノ雄花ヲ攢簇ス長サ
二分其基部ニ數小苞アリ黃褐色雄蕊九本アリ雌花ハ葉腋ニ獨生シ
初メ綠色ニシテ壘形ヲナシ多クノ小鱗片内ニ包マレ其頂端ニ一珠
孔アリ中ニ胚珠ヲ藏ス熟シテ壘形ノ盤増大シテ肉質トナリ美麗
ナル深紅色ニ變シ開口シテ帶赤褐色ノ種子ヲ現ハス花ハ四月開花
シ十月頃熟ス種子ハ橢圓形ニシテ頂尖リ種皮堅シ一粒ノ大サ長サ
ハ五・六毫幅四・〇毫厚四・〇毫重量〇・〇三七五種子一升ノ重量二
百六十八匁六分粒數一万八千四百五十發芽ノ保存ハ三年發芽量ハ
六七割ナリ

(林業上性質)濕氣深キ庇蔭ノ地ヲ好ミ肥沃ノ地ニアラザレバ完全
ナル發育ヲナス能ハズ此樹ハ單純林ヲナスモノナシ極メテ陰樹ニ
シテ他ノ陰樹下ニモ能ク成長ス北海道ニ於テハ さゝまつ ねりま
つ林下ニ能ク生成シ偃松帶ニ於テハ能ク偃松ノ間ニ其生活ヲ持續
ス苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トス春播ニ爲サントセバ土中埋藏
法ニ依リ貯ヘ置キ翌春四月播種スベシ普通取播ハ翌春ニ發生スル
モ乾燥シテ貯藏シタルモノハ二年目ニ至リテ發芽スベシ發芽後滿
五年目ニシテ一尺前後ノ苗トナルヲ以テ山行苗トナスベシ

第四 てふせんまつ (第九圖)

(名稱)てふせんまつ一名てふせんごゑふまつ木曾及ヒ陸中ニテハ
單ニごゑふまつト云フ其他からまつ・かんしやう等ノ名アリ漢名
海松俗ニ朝鮮松 朝鮮五葉 韓松 長葉五葉 新羅松等ト書ス松柏科
ニ屬シ學名ヲ Pinus koraiensis S et Z ト稱ス此樹元來日本固有
ノモノナルモ其所在多カラズ朝鮮ニ多キヲ以テ此名アリからまつ
かんしやう等ノ名皆此ヨリ出ヅ

(効用)材黒松ニ類スルヲ以テ黒松ト同シク之ヲ利用スルヲ得ベシ
然レモ今日ニ於テハ唯材ノ脂多キ部分ヲ取りテ燈火用トナス岩手
縣ニテハ此木ノ新芽ヲ水田ノ肥料ニ供シ効アリト云フ實ハ食用ニ

供シ又砂糖掛トナシテ菓子トナス此木ハ其葉美ナルヲ以テ庭園樹トシテ賞用セラレ

(分布)庭園樹トシテ本邦各地方殊ニ信濃陸前陸中等ニ多ク栽植セラレ強大ナルモノアリ其天然分布ノ區域ハ甚ダ狭ク信濃御嶽乘鞍山脈及ビ上野等ノぶな帯中ニ混生ナシ稀ニしらべ帯ノ下部ニモ入ルモノナリ臺灣ニ於テハ新高山ノ八九千尺ノ所ニ於テとつひづかノ間ニ点生ス朝鮮ニハ多ク産シ享保年間岩手ノ人朝鮮ヨリ種子ヲ持來リ繁殖セルヲ以テ岩手ニハ今日頗ル多ク彼地ノ名産トナレリト云フ

(葉)葉ハ一短枝ヨリ五本ヲ生スルコトこゑふまつ、ひめこまつ等ト等シク葉ハ之ヨリ長クシテ葉長四五寸裏面ニ白條アリ葉ノ横断面ハ一邊孤三角形ニシテ樹脂孔ハ三角形ノ三隅ニ近キ所ニ各一個ツ、即チ三個アリ

(幹)常緑喬木ニシテ四十年ヲ經レバ周圍三尺高サ五十尺トナリ老ナルモノ幹高ト餘丈周一丈ニ達スルモノ少ナカラズ幹皮ハ幼時ハ滑ナルモ成長スルニ從ヒ黒褐色トナリ淺ク割裂ス材白色ニシテ其質輕軟且ツ粗ナル工作ヲ施シ易キモ脂氣多シ材ノ氣乾 比重〇・四六絶對乾比重〇・四〇アリ

(種子)雌花ハ新枝ノ葉腋ニ群生シ雌花ハ新枝ノ頂端ニ發ス五月中旬ニ開花シ實ハ翌年ノ十月下旬ニ熟ス毬果ハ松類中ノ最大ナルモノニシテ長サ四五寸ニ及ビ鱗片又粗大ナリ一個ノ毬果ヨリ通常七十粒ノ種子ヲ得ベシ種ハ不正橢圓形ニシテ一面少シク平タク其形恰モ蛭ノ收縮シタルモノニ似タリ種子又非常ニ大ニシテ種皮頗ル堅シ種子一粒ノ大サハ長一三・六耗幅七・八耗重〇・三三三五 種子一升ノ重量二百四十粒數二千六百ナリ發芽保存力ハ三年發芽力ハ八割ヲ有ス

(林業上性質)他ノ松類ニ比シ肥沃ノ地ヲ好ム此木ハ幼時七八年間生長遅キモ一度成長ヲ初ムルヤ成長早ク殆ント赤松ニ次ク老樹ニ至ル迄能ク成長衰ヘズ陽樹ナルモ赤松黒松ニ比スレバ稍々陰樹ニ近ク殊ニ幼時ハ少シク側方ノ庇陰ヲ好ムガ如シ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トス取播ノモノハ春發生スルモ乾藏シテ春播ニシタルモノハ四五週間ニシテ發芽スルモノ一二割ニシテ他ハ翌年ニ發生

スルモノナリ發生后二年間播種床地ニ置キ三年目ノ春第一回床替ヲナシ更ニ二年間成長セシメ滿四年乃至五年ニシテ山出シトスルヲ可トス

第五 ころふまつ

(名稱)ころふまつ一名あかまつ北海道士人ハ之ヲちかつぶつぶト云フ漢名五叙松俗ニ五葉松ト書ス松柏科ニ屬シ學名チ Pinus Pentarhylla, Mayr ト稱ス

(効用)材ハ建築材船材ニ供スベク樹ハ庭園樹又ハ盆栽トナシ并ニ生花用トス

(分布)溫帯ニ生スル樹木ニシテしらべ帯ノ下部ニ及ビ四國日光東北諸山及ビ北海道ニハ渡嶋山脈日高山脈等ニ生ス陸前國ニテハ藏王岳羽前國ニテハ飯豊山朝日岳ノ半腹以上ノ所ニ生ズ

(葉)葉ハ一短枝ヨリ五本ヲ生ズ深綠色ニシテ内面白綠色著シ長サ一二寸葉ノ断面一邊孤三角形ニシテ樹脂溝ニアリ孤邊ニ沿ヒテ相並列ス此木ハ元來海松ト姫小松トノ中間物ナリ故ニ普通誤リテ朝鮮松ト混シ或ハ姫小松ト混同セリ葉ハ上記ノ如ク朝鮮松ヨリ短カキヲ以テ知ルベク又姫小松ヨリ硬キヲ以テ肉眼上ノ區別点トス(幹)常緑喬木ニシテ幹高七八丈周六七尺樹皮ハ赤褐色粗皮ノ鱗片稍々大ニシテ長サ三四寸幅一寸質薄ク邊緣少シク堅ク稍々赤色ヲ帶ブ材ハ邊材黃白色心材黃褐色ヲ帶ビ脂氣多シ生木 比重〇・六〇氣乾比重〇・四〇絶對乾比重〇・三八ナリ

(種子)雌花ハ葉腋ニ群生シ雌花ハ枝梢ノ頂端ニ生ス五月頃開花シ九月頃成熟ス毬果長サ二三寸海松ヨリ小サク姫小松ヨリ大ナリ未ダ裂開セザルトキハ細長トナルヲ以テ姫小松ト區別スベシ且ツ熟シテ裂開スルモ鱗甚ダシク反曲セザルヲ此ノ特徴トス種子ハ黒褐色橢圓形ニシテ翼ヲ具フ長三分幅二分翅ヲ合セテ六分翅ノ長サ五分幅三分種子一升ノ重量三百二十粒數三千百發芽力ハ二年間發芽ノ量ハ五割乃至七割ヲ普通トス此種子ヲ播種スレバ其春一部分發芽シ他ハ翌春ニ發芽ス

第六 ひめこまつ

(名稱)一名ひめまつ一名ひめころふ一名ころふまつト云ヒ漢名五鬚松、姫五鬚松、俗ニ姫小松、姫子松ト書ツ松柏科ニ屬シ學名チ

Pinus Parvifolia. S et Z ト稱ス 五葉松中葉尤モ柔カナレバ 姫ナル名稱ヲ附セシ所以ナルベシ

(効用)材ハ建築材トナシ天井板・天井ノ竿打・長押・杵尖・障子・漆器ノ木地樂器殊ニ「ナルガン」ノ鍵盤等ニ用ユ又粉板トナス近來構寸及ビ經木用材トナス又此材ハ古來ヨリ彫刻材ニ供セリ是レ又物ノ當リ順逆極テ少ナキニ依ルト云フ又樹ハ此材ニ限ルト云フ樹ハ變種多ク庭園樹及盆栽トス

(分布)此木ハ溫帶所屬ノ樹種ニシテ上野ノ利根郡越後ノ魚沼郡岩代會津郡只見川ノ兩岸諸山ニ鬱蒼タル森林ヲ形成ス岩代ノ安達太郎山及ヒ木曾ノ諸山紀伊ノ山脈伊豫ノ石槌山九州ノ山脈ニ於テモ又点々生スル所アリ然レモ前ノ地方ニ於ケル如キ大木ヲ見ス本州ノ中央部ニ於テハ五千尺以上ノ地ニハひのき・ひばト混生ス北海道ニテハ渡島後志ニ産シ奥尻嶋ニ多シ其他陸前國ニ於テハ栗駒岳荒雄岳・五所山・刈田岳・羽前ニ於テハ鳥海山・朝日岳・飯豊山・月山吾妻岳等ノ山毛櫛帶若クハ其上部ニ迄生ス

(葉)短枝上ニ五針葉叢生ス葉ハ細クシテ短カク深綠色ヲ帶ビ裏面ハ著シク白色ヲ呈スルモ二年目ニハ殆ント其色ヲ失フ針葉少シク廻換ス長サ一吋乃至一吋八分葉ノ横斷面孤三角形ヲナシ樹脂孔ニ箇孤邊ニ向ヒテ相並ビ其對頂部銳尖ナリ

(枝)枝ハ滑カニシテ幹ヨリ直角ニ出テ階狀ヲナス

(幹)常綠喬木ニシテ老大ナルモノハ幹高七八丈周六七尺ニ達ス樹皮幼稚ノモノハ灰綠色ニシテ滑カナレモ後ニ濃褐色トナリ小鱗片ヲナスこゑふまつニ比スレバ小サク其長サ一二寸幅五六分ニシテ一吋ニ達スルモノ稀ナリ邊材ハ白色心材帶黃褐色ニシテ材質赤松ヨリ緻密且ツ柔軟ニシテ削リ易シ生木比重〇・五九氣乾比重〇・四六絶對乾比重〇・四三アリ

(種子)五月中旬ニ開花シ九月中旬ニ熟ス嚢果ノ長サ二吋こゑふまつヨリ短カク鱗片ノ數又少ナク僅カニ十七八个ニ過キス外縁少シク反曲シ外面ニ皺溝・種子ノ有翼ニシテ種皮堅ク一面褐色他面帶濃褐色ニシテ小斑点アリ翼濃褐色長サ二分八厘乃至三分ニシテ種子ヨリ分離シ易シ種子ノ翼多クハ實鱗内ニ附着ス故ニ翼ナキモノト誤ルモノアリ種子一升ノ重量ハ二百八十匁乃至三百匁ニシテ粒

數八千八百發芽量ハ六七割ナリ

(林業上性質)此木ハ山腹乾燥ノ地ヲ好ミ陰濕ノ地ニ適セズ陽樹ナルモ赤松ニ比スレバ大ニ陰性ナリ苗木ヲ仕立ツルニハ赤松ニ準シテ可ナルモ發芽ハ甚々遅ク春播ニナスモ其年内少シク發芽スルノミニテ他ハ翌年發生ス其他ハ海松ニ同シ

第七 ねすこ (第十九圖)

(名稱)一名くるびくるべ・くるべすぎ・又木曾ニテハ單ニねすト云ヒ秩父ニテハいぬび花戸ニテハごらうひば陸前羽前等ニテハ單ニひのきト云ヒ又あかびトモ稱ス蓋シ此材ハ黑色葉ハひのきニ類スル故くるびト云ヒ又材褐色ナル故あかび鼠色ナル故ねすこノ名アリ又此木ハ越中黒部山ニ良材ヲ産スルヲ以テくるべト云ヒ材色すきニ類スルヨリくるべすぎノ名アル所以ナリ松柏科ニ屬シ學名チ Thuya Japonica Maximト稱ス)

(効用)材ハ淡黒褐色ヲ帶ビ雅美ナルヲ以テ天井板欄間障子等ハ勿論凡テノ建築用材又ハ船艦用材ニ適シ殊ニ器具材ニ適シ煙草盆机茶篋筭書箱戸障子等ヲ製作シ又証日板ヲ以テ男下駄ヲ作り板目材ヲ以テ婦人用ノ下駄ヲ作ル又此材ハ水ニ浸ストキハ能ク曲ルコトヲ得ルヲ以テ日光地方ニ於テハ曲物トナス而シテ其桶ノ如キハ能ク水ヲ保ツモノナリ而シテ下野國栗山村ヨリ出ツル桶ヲ栗山桶ト云フ又屋根板ニ賞用ヒラル樹皮ハ火繩及ヒ物ヲ縛スルノ用ニ供シ樹ハ庭園ニ植栽シ或ハ盆栽トス

(分布)此木ノ上部界ハ加賀ニテハ五千六百尺飛騨ニテハ六千尺信濃ニテハ七千五百尺上野ニテハ八千尺迄生スルモ岩代ニテハ四千八百尺ニ下ル而シテ下部界ハ本州ノ中央ニアリテハ二千尺ニシテ最モ多ク五六千尺ノ間ニ存在ス而シテ越中ノ黒部山最モ有名ニシテ老木良材多シ其他 但馬・上野・日光・岩代・陸前・陸中・陸奥・羽前羽後・等ニ産ス尙ホ陸前ニテハ栗駒岳・荒雄岳・五所山・船形山・刈田岳等羽前ニ於テハ最上郡鮭川上流ノ 泉川ノ上流・白川ノ上流日向川上流月山・朝日岳・飯豊山・吾妻岳等 山毛櫛帶及ヒ白樺帶ニ生シ將來頗ル有望ナル樹種ナリトス

(葉)葉ハ鱗狀ヲナシあすなるニ酷似スルモ此ヨリ小サクひのきニ似タルモ此ヨリ大ナリ即チあすなるトひのきノ中間物ナリトス且

ツあすなる及ヒひのきハ葉ノ表裏著シク差アルモ此ハ殆ント表裏ノ區別ナシ平坦ニシテ淺綠色光澤アリ

(枝)枝條ハ繁密ニシテ水平ニ擴張ス樹冠圓錐形ヲナス

(幹)常綠喬木百五十年ニシテ直徑二尺高サ八九十尺ニ達スルモノアリ越中黒部山ニハ周圍三丈六尺ニ達セルモノアリト云フ樹皮ハひのきノ如ク縱裂スルコトナク赤褐色又ハ黒褐色ヲ呈シ滑カニシテ綿立チあすなるノ幹皮ニ似ルモ光澤アル故區別シ得ベシ樹皮ハ頗ル剝ケ易ク樹幹ノ下方ニ傷痕ヲ印シ力ニ由テ引キ去ルトキハ幅三四寸長數十尺ノ生皮ヲ見事ニ剝クヲ得ベシ扁材ハ帶黃白色心材ハ淡黒褐色又ハ帶黃暗褐色ヲ呈シ材質輕軟木理通直杉ヨリ較柔カニシテ工作シ易シ且ツ保存力強シ氣乾比重〇・四ニ絶對乾比重〇・三九アリ淺根性ノ樹種ニシテ能ク岩石ノ上ニモ生育シ得ベシ

(種子)花ハ四月ニ開キ實ハ十月下旬ニ熟ス繖果ハ橢圓形ニシテ直徑一分長サ二分許内ニ細小ナル種子數多ヲ含ミ熟スレハ裂開シテ種子ヲ飛散ス種子又小ニシテ長橢圓形扁平ニシテ淡黃褐色ヲ呈シ幅二「ミリメートル」長サ六「ミリメートル」アリ種子一升ノ重量七八十匁粒數二十五万乃至三十万粒アリ發芽量ハ二割發芽保存力ハ一年ナリ

(林業上性質)れすこハ多クひのき・さわら・あすなる 等ト混生シ濕地又ハ陰地ヲ好ミ乾燥地ニモ耐ユ扁柏屬及ヒ漢羅柏屬中尤モ寒地ニ耐ユルモノナリ往々獨立セル林相ヲ形ツクルモノアリ強キ陰樹ニシテ能ク鬱閉ヲ保チ地力ヲ保護シ常ニ日陰地ヲ好ミ成長ハ餘リ早カラザルモ成長衰ヘズシテ高齡ヲ保ツガ故ニ水源林トシテハ尤モ適當ノ樹種ナルベシ苗木ノ養成ハ羅漢柏ニ準シテ可ナルモ種子小ナルバ被土無シ若クハ一二分ヲ可トス二年間播種床地ニ培養シ三年目ノ春床替シ五年目ノ春山行トナスベシ此木ハ又挿條法ニ依リ苗木ヲ養成スルヲ得ベシ挿木法ニ依ル時ハ凡ソ九割五分ハ生育スベシ

第八 いぬまき (第十四圖)

(名稱)一名くさまき又單ニまきト云フ又ひごつばノ名アリ俗ニ狗槭ト書ス松柏科ニ屬シ學名 Podocarpus macrophylla Don 又ハ

Cephalotaxus pendunculata ver Fastigiata Carr ト稱ス

(効用)材ハ家屋ノ建築用材トシテハ稍々杉ニ劣ルモ地中及ヒ水中ニ保存スレバ保存期長キヲ以テ昔ヨリ棺桶ヲ製スルニ用ヒタリ又天井板・棊盤椽板・床間ノ落シ掛・箱材・桶材井框水槽ニ用ユ又ハ之ヲ粉キテ屋根板トスレハさわらヨリ強シ伊豆地方ニテハ炭材トナス樹ノ内皮ヲ以テ茹トナス之ヲ槓肌ト稱シ船及ヒ桶類隙隙ヲ塞クニ用ユ實ハ熟スレハ紅色トナリ味甘クシテ食フベシ樹ハ庭樹及ヒ生垣ニ用ヒラル

(分布)暖帶及ヒ熱帶ノ終リヲ郷土トシ紀州及ヒ土佐ヨリ良材ヲ産ス臺灣ノ北部九州四國ノ各地ニモ野生シ山陽道及ヒ紀州遠江伊豆及ヒ房州ノ北條館山等ニモ大木ノ点在スルヲ見ル竹柏ニ比シ稍々寒ニ堪ユルヲ以テ其分布區域彼ヨリ廣キモ最早東京以北ノ寒地ニハ生スルコトナシ

(葉)葉ハ枝ノ周圍ニ輪狀ニ互生シ細長全緣鈍尖頂ナリ葉ノ幅三分許長サ二三寸アリ革質ニシテ表面ハ綠色裏面ハ青色らんまきノ葉ニ比シテ少シク大ナリ

(幹)常綠喬木ニシテ六七十年ニシテ直徑二尺高六十尺ニ達シ老大ナルモノハ幹高六丈周七尺ニ達スルモノアリ樹皮ハ灰白色ニシテ淺ク縱裂ス材ハ白色ニシテ淡黃ヲ帶ヒ稍々樞ニ類スルモ其重量輕ク氣乾比重〇・六〇臙氣多ク肌理通直臭氣アリ實稍々堅ク土中及ヒ水中ニアリテ久シキニ堪ユ然レモ乾燥ノ所ニアルトキハ即チ持久セズ材ハ鉋削シ易シ

(種子)花ハ五月中旬ニ開キ實ハ紀州ニアリテハ十月下旬東京ニアリテハ十一月上旬熟ス實ハ豌豆大橢圓形ニシテ黒色種子ノ下方ニアル花被ハ膨大シテ肉質トナリ熟スレハ紅色ヲ呈ス食用トナルハ即チ此花被ノ部分ナリ種子一升ノ重量三百五十匁粒數千九百發芽量九割六分ニ達ス

(林業上性質)此木ハ能ク瘠惡ナル砂地ニモ能ク成長ス殊ニ海岸ノ濕氣ニ富メル砂地ヲ尤モ喜シトス故ニ暖帶地方ノ防潮材ニ適ス陰樹ニシテ幼キ時ハ能ク日陰ニ堪ユ苗木ヲ仕立ツルニハ發芽后二年間播種床地ニ培養シ床替后二年目ノ春山地ニ移植スベシ接木及ヒ挿條法ニテモ能ク生育ス

第九ノ(一) ぶなのき (第二十七圖)

(名稱)一名ほんぶな一名しろぶな又ぶなト云フそばのき。きそば。そばぐり。このみ。べべのみ。ぶんなぐり等ノ名アリ 北海道ノ土人ハ之ヲべらト云フ此木大材ハ多ク往古ヨリ船材ニ供セシヨリふねのきト稱セシカ後ぶなト轉化ヒシモノナルベシ即チ舟ヲふねト云フハ賽舟ノ如シ舟ヲふなト内フハ舟遊ふなあそびト云フカ如ク訛リ易キ語ナレバナリ而シテ俗ニ掬。椽。等ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ *Fagus sylvatica*. L. var *Sioboldi* Maxim ト稱ス

(効用)材ハ奥羽地方ニ於テハ船材トシ貴重ス其他雪搔。鋸柄 其他ノ農具ノ柄下駄齒等ヲ作り又盆。椽。飯櫃。盃。鉢等ノ塗物ノ木地柄杓。飯籠。杓子。糸練器械。銃床等ヲ作ル又薪炭材トシテモ東北地方及北海道ニ於テ貴重セラレ歐洲ニテハぶな材ヲ以テ床板。齒車。椅子。食卓 其他ノ用材ニ供シ又此木ヲ湯ニテ蒸シ其質ヲ柔カニシ種々ノ器具玩具等ヲ作ル又近來ハ之ニ藥料ヲ施シ其腐朽ヲ止メ鐵道枕木及ヒ敷木道ノ用ニ供ス葉ハ藁ニ代用シ臥褥ヲ作ル樹皮ハ綱ノ染料ニ供シ實ハ炙リテ食用ニ供ス又實ヨリ油ヲ製シテ燈油若クハ食用ニ供ス樹ハ近時盆栽トシテ賞觀セラレ

(分布)温帯ノ代表樹種ニシテ本州中部ニアリテハ海面上二千尺以上ニ生シ東北地方ニ至ルニ從ツテ漸次下降シ青森及ヒ北海道ニ至ルトキハ殆ント海面ニ等シキ高サヨリ生ス而シテ南ハ九州四國ノ高山ニ初マリ本州中部ノ諸高山伊豆天城山秩父三峯山。筑波山。日光山。岩手。青森地方等ニ生シ北海道ニテハ膽振國山越郡後志國磯谷郡ノ南方ニ限り生ス而シテ宮城大林區署管内ニ於テハ海面上一千尺ヨリ四千尺ノ間ニ亘リ廣大ナル森林ヲ爲シ殆ント無盡藏トモ稱スベキ有様ナリ即チ本管内内國有林面積百五十万町歩弱ノ少ナクモ三分ノ二ハ山毛櫸林ナリト云フモ過言ニアラサルベシ

(葉)葉ハ互生ニシテ卵狀ナシ葉邊ハ波狀鋸齒ヲナシ其鋸齒ハ支脈ト支脈トノ中間ニ來ルヲ特徴トス葉ノ先端尖リ基部漸尖表面濃綠色裏面淡綠色ナリ葉脈ニ柔毛疎生シ葉長三寸幅一二寸葉柄長四五分アリ新葉ハ褐色ノ毛ヲ生スルモ直チニ消失ス

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ紡錘狀ニシテ柄アリ長サ十五「ミリメートル」アリ鱗片褐色或ハ暗灰褐色ニシテ其頂端ニ微細ノ白毛ヲ生ス

幼枝ハ葉節毎ニ左右ニ屈曲シ灰色ニシテ光澤アリ木髓不正三角形枝ノ太サ普通ナリ枝條多クハ上向シ帶骨狀ヲナス

(幹)落葉喬木ニシテ六七十年ニシテ直徑一尺高サ六七十尺トナリ老大ナルモノハ幹高八丈周圍九尺ニ達ス樹皮灰褐色ニシテ粗糙ナリ樹皮剝離セズ邊材ハ帶褐色心材ハ淡褐色ニシテ紫色ヲ帶ブ材質堅硬緻密ナレモ屈撓力ニ抵抗スル力稍々乏シク裂割シ易シ此材ハ又鉋削面褐色ノ髓放線ヲ現ハスヲ以テ容易ニ鑑別スルコトヲ得ベシ氣乾比重〇.六〇絶對乾比重〇.五三アリ根ハ直根ヲ有スレモ能ク淺地ニモ堪エ

(種子)雄花ハ葉莖狀ヲナシ葉液ニ垂下シ數花攢簇ス淡綠色ニシテ白色ノ長毛密布ス雌花ハ梢頭ニ生シ二三花相集マリ苞ヲ具フ五月中旬頃開花シ十月上旬成熟ス果實ハ卵形ノ殼斗ヨリ成リ短柄ヲ有ス長五分許殼ハ上向ス殼ノ外面軟刺アリ熟シテ四裂ス一殼中二子アリ種子ハ三菱形ニシテ蕎麥ノ實ニ似タリ而シテ尖頭ナリ赤褐色ニシテ長サ四五分幅二三分菱角鋭ク殆ント翅ヲナス種子一升ノ重量平均二百二十粒數四千七百ナリ發芽保存ハ一年發芽量ハ五割乃至七割稀ニ九割ヲ有スルモノナリ

(林業上性質)潤葉樹中最モ強キ陰樹ニシテ能ク鬱閉ヲ保チ地力維持ノ効著シキモノナリ好シテ陰濕ニ生スルモ乾燥地ニモ能ク堪ユルモノナリ苗木ヲ仕立ツルニハ取播チ可トス種子ヲ貯藏スルニハ能ク乾キタル砂ト共ニ貯藏用樽又ハ壘中ニ貯ヘ置クチ可トス春播ノモノハ三月下旬乃至四月上旬チ可トス滿一ケ年目即チ發芽ノ翌年第一回床替ヲナシ其翌年第二回床替ヲナシ三年目ノ春山行苗トスベシ

第九ノ(二) いぬぶな

いぬぶな一名くろぶな 一名いぼぶなト云フくろぶなトハ幹皮黒キヲ以テ云フナリ俗ニ山毛櫸又ハ犬掬ト稱ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ *Fagus Japonica* Maxim ト稱ス

(効用)ハぶなニ同シ但シ實ハ單寧ヲ含有スルコト多キヲ以テ滋味アリテ食フニ堪ヘズ

(分布)分布區域ハ殆ントぶなニ同シケレモぶなノ如ク高所ニ達スルヲ得ズ而シテ比較的低位ヨリ生セリ

(葉)ぶなのきニ似タレ形稍々大ニシテ長ク其質薄ク濃綠色ニシテ葉裏ニ白色ノ柔毛ヲ密布ス毛ハ長ク脱落セス此レ此種ノ特徴ニシテ容易ニぶなト區別シ得ベシ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ紡錘狀ニシテ柄アリ非常ニ長ク長サ二十「ミリメートル」以上ナレバ容易ニぶなト區別シ得ルノミナラズ比較的鱗片ノ數少ナシ色ハ稍々帶灰色幼枝・帶赤褐色木髓不正 三角形ナリ枝ハ上向ス

(幹)落葉喬木ニシテ幹高八丈周八尺ニ達ス樹皮ハ黒褐色ニシテ幼樹ハ平滑ナルモ後淺ク縦裂ス邊材ハ帶灰白色心材ハ帶赤褐色ナリ材質ぶなに比シテ堅硬氣乾比重〇・七七絶對乾比重〇・七〇アリ根ハ直根ヲ有シ深根性ナリ

(種子)五月中旬頃開花シ熟スル季節ハぶなヨリ少シク早シ穀斗ハぶなに似テ少シク小サク長柄ニヨリテ下垂ス柄ノ長サ一吋前後ナリ之ヲ以テぶなト區別シ得ベシ且ツぶなの殻ハ熟シテ裂開スルノミニシテ反曲セザルモ此レハ裂開シテ甚々シク反曲ス種子ハ三尖形ニシテ細長黒褐色ニシテ長サ五六分幅ニ三分菱角鈍シ種子一升ノ重量平均二百五十粒數五千五百粒アリ發芽保存ハ二年發芽量ハ七八割良種子ハ九割五分ニ達ス

(林業上性質)陰樹ナルコトぶなニ同シ苗木仕立法ハぶなニ同シ
第十ノ(一)いたやっへで (第五十一圖)

(名稱)一名つたもみち一名こきばかへで一名つたもみち一名きふねしみち・かほつたもみち・いたやもみち・いたぎかへで・いたぎ等ノ名アリ奥羽地方ニテハ單ニいたやト云フ北海道士人ハこへに或ハしこべにト云フ俗ニ板屋楓ト書ス槭樹科ニ屬シ學名ヲ Acer Picum Thunb ト稱ス

(効用)材ハ裝飾用ニ供ス特ニ船室ノ裝飾材トス又机案匣箱等ヲ作り又鍍工用材屋柱・雪車・刀鞘・刀柄・杓子・農具ノ柄・槌・鉢匏ノ臺又薪炭トシテ良好ナリ又木理ノ美ナルモノハ指物トナセバ雅致アリ嘗テ第五回内國博覽會ニ北米加那太ヨリかへで類ニテハ製作セシ机案椅子等ノ出品アリシカ誠ニ美麗ナリ將來我國ニテモ此いたやっへで材ヲ利用シ海外輸出ノ見込アリ殊ニ氣車箱其他商店裝飾用臺トシテハ適當ナラン仙臺市ニテハ近來該材ニテ作レル白木

ノ盆ヲ販賣セルカ頗ル雅美ナリ

(分布)溫帶及ヒ寒帶ニ生スル樹木ニシテ東山道ニ多ク北海道ハ至ル所ニアリ該樹ハ内地ニ於テハぶなト運命ヲ等シクシ常ニ之ト混淆シテ森林ヲ形成セリ宮城大林區署管内ニ於テハ宮城・福島・山形ノ三縣内ぶなの生スル所ニハ必ラズいたやっへでヲ伴ヒ概見スルニ少ナクモぶなの五分ノ一ヲ下ラザルベシ隨テいたやっへでノ材料モ又實ニ豐富ナリト云フベシ殊ニ北海道ニテハぶなの生セサル所迄生スルヲ以テ其材料又少ナカラザルベシ

(葉)葉ハ對生掌狀ニシテ五乃至七裂シ葉面平滑ニシテ光澤アリ下面脈上少シク毛アリ長サ三四寸幅ハ之ニ超過シ基部截形又ハ稍々心臟形裂片狹頭銳尖全縁ナリ葉ハ紅葉スルコトナク單ニ黃變スルノミ故こきばかへでノ名アリ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ卵形ニシテ稍々角隅アリ芽鱗疎ニ包被ス側芽ハ莖ニ平行ニ密着シ其背面凸出シ恰モ甲虫ノ狀ヲナセリ鱗暗紅色ニシテ光澤アリ幼枝ハ灰白色或ハ灰褐色ニシテ光澤アリ枝ハ脆ク折ル枝ハ銳角ニ出ツ

(幹)落葉喬木ニシテ五十年ニシテ幹高二丈周圍二尺五寸トナリ老ナルモノハ幹高六丈直徑三尺ニ達ス樹皮灰白色又ハ灰褐色ニシテ粗厚少シク裂目アリ邊材ハ淡褐色心材ハ帶紅淡褐色ナリ材質堅韌ニシテ肌理緻密平滑ナルコト恰モ梨木ノ如シ氣乾 比重〇・八五絶對乾比重〇・七七アリ

(種子)早春葉ニ先ツテ葉腋ニ穗花ヲ垂下シ淡黄色ノ小花攢簇シ美觀ナリ花五瓣萼五片雌花淡黄色ノ花瓣アリ筒形ニシテ平滑ナリ花ハ四月下旬開キ十月中旬熟ス双翅果ハ銳角ヲナシ帶黃褐色ヲ呈ス種子一粒ノ大サ長四四・八耗幅十二・九耗 厚二・二耗種子一升ノ重量三四十粒ニシテ粒數一千五百粒發芽量ハ一割發芽保存力ハ二ケ年ナリ

(林業上性質)ぶなニ次ケル陰樹ニシテ能ク日陰ニ堪ニ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ニスルヲ可トス乾燥シテ春播ニシタルモノハ其年ニ發芽セス翌年發芽ス發芽后二年間床地ニ培養シ一回床替ニテ出行苗トナスベシ

第十ノ(二)うりはたかへで (第 圖)

(名稱)一名うりかへで、おほうりのき、かほりかへで、こんじのき日光ニテはいくづくト云ヒ宮城大林區署管内ニテハ あなかわあなかわのき、なつか、なつかわのき、あなぼうす等ノ名アリ此對ハ樹皮青クシテ瓜ノ膚ニ似タル故うりばだかへでノ名アリうりかへでノ名蓋シ此ヨリ出テタルモノナリ葉ハ蝙蝠ノ翅ヲ擴ケタルモノニ似ルタル故かほりかへでノ名アリ奥羽地方ニテハ樹皮青キノ故ヲ以テあなかわのき、なつかのき、あなぼうす等ノ名稱ヲ附シタルモノナルベシ俗ニ瓜膚楓ト書ス槭樹科ニ屬シ學名ヲ

Acer rufinerve. S et 1/2 ト稱ス

(効用)材ノ用途ハいたやかへでニ器ホ同シク材ニ粘力アルヲ以テ薄ク剥キ紀州河内邊ニテハ笠ヲ編ミ又籠ヲ作ル又箸ヲ製スベシ樹皮ハ纖維ニ富ムヲ以テ繩ヲ作ル又農家ニテハ蓑、負袋 等ヲ編ムニ用ユ

(分布)溫帶地方ニ産シ四國九州ヨリ本州ニ産シ本州中央山脈ニ於テハ二千尺ヨリ四千尺ノ間ニ多クいたやかへでヨリ少シク低シ宮城大林區署管内ニ於テハ至ル所ニ点在ス然レモ多ク樹皮ヲ利用セラル、爲メ大木稀ナリ

(葉)葉ハ對生ニシテ淺ク三裂シ葉基心臟形ヲナス裂片重鋸齒ヲ有シ粗尖頂ナリ葉形蝙蝠ノ羽ヲ擴ケタルカ如シ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ側芽ヨリ稍々大四角隅アリ頂尖側芽ハ長卵形ニシテ稍内ニ彎曲ス芽鱗綠色又ハ暗紅色ニシテ光澤アリ枝ハ眞直ニシテ黄綠色其陽側ハ紅色ヲ呈ス木髓太クシテ圓形ナリ

(幹)落葉喬木ニシテ五十年ニ幹高二十五尺周三尺トナリ老ナルモノハ幹高五丈周四尺ニ達ス樹ハ綠色ニシテ縦ノ縞紋アリ恰モ瓜ノ膚ニ似タリ平滑ニシテ光澤アリ老樹ハ淺ク縦裂ス邊材ハ白色心材帶紅淡褐色材質軟ニシテ密粘力アリ氣乾比重〇・六四 絶對乾比重〇・五七アリ

(種子)五月頃新葉ト共ニ梗總花ヲ生ズ花瓣黄綠色ヲ呈ス花柄ハ花ヨリ短カシ實ハ十月下旬成熟ス双翅果ハ水平ナシ大サー一寸餘アリ毎年必ラズシモ結實セズ其年度ニ際セバ非常ニ多數ヲ着生ス

第十ノ(三) みつでかへで (第 圖)

(名稱)一名みつばかへで一名はないたや槭樹科ニ屬シ學名ヲ

Acer Cissifolium C. Koch

(効用)諸細工用ニ供シ又薪炭ノ良材ナリ

(分布)本州四國北海道ニ産ス宮城大林區署管内山毛櫸帶ニ点在ス(葉)葉ハ對生三出複葉葉柄長ク嫩時兩面毛多シ小葉倒卵形ノ長尖頭基部稍々楔形粗ナル凸頭ノ鋸齒アリ

(幹)落葉喬木ニシテ幹高四五丈周三四尺樹皮灰白ニシテ粗ナリ心材ハ帶黄褐色ニシテ邊材ハ稍々淡色ナリ材質ハいたやかへでニ器ホ同シ

(種子)花叢ハ長クシテ穗狀ヲナシ長四五寸アリ稀ニ一尺ニ達スルモノアリ六月開花實ハ十月下旬熟ス双翅果ノ翅ハ稍々銳角ヲナシテ相離開ス

第十ノ(四) くろびいだや

(名稱)北海道士人ハやいうねんでさべに又ハにたつささべにト云フ槭樹科ニ屬シ學名ヲ Acer Miyabei Maxim ト稱ス

(効用)いたやかへでト同一ノ用途ニ供スベシ

(分布)北海道日高國ニ産ス

(葉)葉ハ對生掌狀ニ分裂シ三大尖二小尖アリ大尖片ノ兩側ニ二個ノ小波状凸起アリ列片漸尖鈍頭基部截形或ハ心臟形表面深綠色下面帶白綠色ナリ葉ハ左右ニ廣ク幅ハ長サニ超過ス葉柄甚々長ク葉長ノ二倍ニ達スルモノアリ

(幹)落葉喬木ニシテ幹高六七丈周六七尺ニ達ス樹皮いたやかへでニ似テ稍々粗ナリ緒色ヲ帶フ材ハ帶黄白色材質いたやかへでニ同シ

(種子)繖房花叢短梗平滑ニシテ花數少ナシ花瓣淡黄色實ハ熟シテ赤褐色双翅果殆ント水平ニ開張シ毛茸密生ス長サー一寸許

第十ノ(五) ちうやじやのき

(名稱)一名めぐすりのき又せみのき、てふのき、等ノ名アリ又肥後ニテハちやうのき日光ニテハみつばばなト云フ蓋シ實ハ槭類中尤モ大ニシテ恰モ蝶ニ似タリ故ニてふのき又ハてふてふのき等ノ名アル所以ナルベシ槭樹科ニ屬シ學名ヲ Acer Nikonse Maxim ト稱ス

(幼用)材ハ小細工用樹ハ庭園樹トナス葉ハ煎シテ眼ヲ洗フトキハ

眼病ヲ治スト云フめぐすりのきノ名ハ此ヨリ出テタルモノナリト云フ

(分布)九州本州ニ産スレモ稀ナル木ナリ宮城大林區署管内ニ於テハ福島縣海岸地方ニ稀ニ存在シ仙臺市青葉山ニ少シク野生ス

(葉)葉ハ對生三小葉ヨリ成ル小葉ハ橢圓形或ハ長橢圓形ニシテ羽狀脈ニシテ殆ント全縁ナルカ或ハ淺鋸齒アリ頗ルみつはかへてニ似タレモ此葉ニハ葉裏及ヒ葉柄ニ剛毛密布スルヲ以テ容易ニ區別スルヲ得ベシ嫩枝ニ剛毛ヲ有ス

(幹)落葉喬木ニシテ樹皮灰褐色ニシテ稍々平滑ナリ老大ナルモノ高サ七十尺周五尺ニ達ス(宮城縣宮城郡定義溫泉附近山毛澤林内)材ハ白色微黄ヲ帶ブ堅質ノ中等材ナリ氣乾比重〇・八二絶對乾比重〇・七六アリ

(種子)五月開花シ繖房狀ノ花房ヲ有ス實ハ十月下旬熟ス双翅果ハ頗ル大ニシテ鈍角ヲナス其形蠶ニ似タリ故ニせみのきノ名アリ種子一粒ノ大サ長サ三九・七粒幅十二・二粒厚七・三粒 種子一升ノ重量五十粒粒數六七百發芽量ハ一割發芽保存ハ二年ナリ

(林業上性質) (略ボいたやっへてニ同シ)

第十一ノ(三) さちのき (第五十二圖)

(名稱)漢名七葉樹・天師栗・俗ニ椴・枋・朽・等ト書ス七葉樹科ニ屬シ學名ヲ *Aesculus turbinata* Bl. ト稱ス

(効用)材ハ裝飾材トス即チ老樹ノ根部ニハ縮紋アリ之レヲちべれさちト稱ス又一寸ニ十個程ノ縮紋アルヲ俗ニさちちみト稱シ上等トス又彫刻材漆器ノ木地殊ニ會津漆器丸物板橋梁・門扉・机案箱類・家具・盆・椀大形ノ木鉢・白・丸木船・船具等ヲ作ルニ用ヒラル樹皮ハ鞣革用ニ供シ又幾耶ニ代用シテ藥トス實ハ山長曝シテ苦味ヲ去リ之ヲ糯米ニ混シテ蒸シ搗キテ食フ之ヲさちもちト云フ

(分布)溫帶ニ産ス本州中央山脈ニ在テハ一千五百尺ヨリ五千尺ノ間ニ分布シ東北地方ヨリ北海道ニ及ブ北海道ニテハ渡島後志ニ産シ膽振石狩又少シク之ヲ産ス宮城大林區管内ニ於テハ海面上一千尺ヨリ三千尺ノ邊迄生ス

(葉)葉ハ對生シ掌狀複葉ニシテ五乃至七小葉ヲ付ク小葉ハ倒卵狀楕圓形或ハ長橢圓形基部漸尖不等鋸齒アリ小葉ノ大サ長サ四五寸幅

二三寸全体ノ大サ四五寸幅四五寸アリ葉柄頗ル長ク四五寸アリ大ナルモノハ一尺ニ及ブモノアリ長面深綠色下面淺綠色ニシテ褐色毛アリ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ甚々大ニシテ直徑四分餘アリ頂尖卵形ニシテ稍々灣曲セリ側芽ハ小ニシテ球形鱗片暗褐色ニシテ滿面粘液ヲ分泌セリ葉痕大ニシテ褐色木髓大ニシテ褐色ヲ帶ブ枝ハ最大ニシテ銳角ニ出テ上向シ樹冠開傘狀ヲナス

(幹)落葉喬木ニシテ五十年ニシテ長三丈周三尺トナリ老大ナルモノハ幹高十丈直徑六尺ニ達ス樹皮ハ極幼樹ハ平滑灰褐色ナルモ直チニ木栓質ノ樹皮トナリ裂目ヲ生シ厚キ剝片トナリ脱却ス材ハ白色ニシテ微黄ヲ帶ビ一種ノ光輝ヲ有シ心材ハ帶褐色ナリ材質緻密新強ニシテ鉋削シ易シ氣乾比重〇・五八絶對乾比重〇・五〇アリ根ハ直根ヲ有セス比較的淺根性ナリ

(種子)花ハ穗狀ニシテ葉腋ニ生シ長サ五六寸各小花ハ五瓣ニシテ白色大サ四五分五月中旬開花實九月下旬熟ス果熟シタルモノハ外皮褐色黄点ヲ散布シ粗糙ナリ

厚サ二分頂部ニ凸起アリ肉黄白色味苦シ外殼脊縫線ニ沿ヒテ裂開ス中ニ種子一個ヲ藏ス種子ハ形稍々圓クシテ光澤アル深紅褐色ヲ呈ス大サ大ナル栗實位ナリ

(林業上性質)好シテ谿谷ノ間或ハ山腹ノ濕潤ナル土壤ノ地ニ生育ス性陽樹ニ堪ヘズ併レモ幼時ハ稍々日陰ニ堪ユ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トス翌春播種セントセハ乾キタル砂ト共ニ貯藏ヲ要ス發芽后滿二年ニシテ山行苗トナスベシ

第十二ノ(一) やまさくら 第四十六圖

(名稱)漢名櫻桃・又俗ニ山櫻桃ト書ス薔薇科ニ屬シ學名ヲ *Prunus Pseude-cerasus* Lindl var *spontanea* Maxim. ト稱ス

(効用)材ハ版木・彫刻物・鍍製・盆・椀・木匙・漆器ノ木地・家業ノ柱・造作用裝飾材・定義・製圖定義・截板・細工臺・器械・齒車・糸繰器械・卓子・文房具 其他小器具類ヲ作ルニ用ユ又薪料トシ或ハ木炭トナスくわぎ・かし 等ニ次ク樹皮ハ赤褐色ニシテ外面光澤アリ美麗ニシテ且ツ其質強韌ナルヲ以テ小器具ヲ作り或ハ箱ノ帶トナシ又曲輪ヲ縫ヒ或ハ箕ヲ編ミ帚ノ柄ヲ卷キ又鉋ノ鞘煙草入ヲ包ミ北海道

土人ハ船板ヲ綴リ弓ヲ飾リ刀鞘箭筒ヲ包ム等用途極メテ多シ實ハ熟スレハ甘酸ニシテ食スルコトヲ得ベシ此木ハ庭園樹及ヒ行道樹トナスニ良ロシ此木ハ又洋種櫻桃又ハ他ノ櫻類ノ臺木トス

(分布)温帯所屬ノ樹種ニシテ九州四國本州及ヒ北海道ニ産ス宮城大林區管内ニ於テハ栗帶及ヒ山毛櫸帶ノ下部ニ多ク存在ス

(葉)葉ハ互生廣卵形若クハ橢圓形長三四寸幅二三寸尖頭葉ノ基部鈍圓若クハ心臟形ヲナシ尖銳ノ重鋸齒ヲ有ス平滑ニシテ光澤アリ表面深綠色裏面淺綠色葉柄長サ一吋許其上部ニ二個ノ密腺ヲ着ケ托葉アリ早落性ナリ葉ハてふじさくらニ似タルモ此ニハ毛ナキヲ以テ區別シ得ベシ

(枝)新枝赤褐色ニシテ鮮美ナリ所々黄点ヲ印ス毛ヲ有セズ枝條ハ廣銳角ニ出テ揚起擴張ス

(幹)落葉喬木五十年ニシテ幹高三丈五尺周三尺トナリ老大ナルモノ幹高六丈周八尺ニ達ス樹皮ハ暗紅褐色ニシテ老木皮ハ帶褐紫黑色ニシテ横理アリ横鱗剝ス邊材ハ帶褐暗黃色心材ハ帶紅暗褐色ナリ材質牢實ニシテ肌理緻密ナリ加ワルニ脆質ナラズ削レハ光澤強ク反張折裂ノ患ナシ

(種子)五月上旬短枝上ニ無柄ノ小繖形花梗ヲ出シ淡紅花ヲ簇開ス一柄一苞アリ花五瓣アリ實ハ七月中旬熟ス核果ニシテ大サ二三分紫黑色肉薄クシテ味甘酸ナリ一果一種子ヲ藏ス種子ハ圓形ニシテ種皮堅シ

(林業上性質)性陽燥地ヲ好ミ陰地ニ堪ヘズ萌芽性甚々強シ苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トス但シ翌春播種スルモノハ乾燥セル砂ト共ニ貯藏スベシ發芽ノ年五六寸トナルヲ以テ翌年一回床替ヲナシ一尺四五寸トナル時山出苗トスベシ此樹ハ又挿木ニテモ繁殖シ得ベシ

第十二ノ(二) てうじさくら

(名稱)一名ツバざくら一名こめざくら. さやざくら. あかば. やまばたにのそき等ノ名アリ薇薔科ニ屬シ學名ヲ

Prunus Cerasoides Maxim 一名 Prunus apetara S et Z ト稱ス

(効用)材ハ新材ニ供シ又家具用材トナシ 樹皮ハ曲物ヲ縫フニ用ユ又細工物トナシ頗ル美麗ニシテ其光澤色榮共ニやまさくらニ勝

秋田青森地方ニテ産スルツバざくらハ該樹皮ヲ多ク使用ス (分布)温帯所屬ノ樹種ニシテ内地及ヒ北海道ニアリ其數やまさくらニ比シ少ナシ宮城大林區管内栗帶及ヒ山毛櫸帶ノ下部ニ生ス

(葉)葉ハ互生倒卵形又ハ長橢圓形頂端急ニ尖リ葉尖長シ葉ノ長サハ二三寸幅一二寸葉ノ基部圓形葉柄長ニ三分上端ニ二個ノ密腺ヲ附ケ托葉アリ葉ハ表裏兩面ニ柔毛密布シ慥澁ス此レやまさくらト異ナル点ナリ新枝赤褐色ニシテ柔毛ヲ帶フ

(幹)落葉喬木五十年ニシテ幹高四十尺周三尺トナリ老大ナルモノ幹高五丈周四尺ニ達ス樹皮幼樹赤褐色成長シタルモノハ黑褐色ヲ呈シ横理アリテ薄ク剝離ス材ハ褐色ニシテ甚々堅硬ナルモノナリ

(種子)花ハ五月開キ一苞ニ花ヲ付ケ花ハ丁字形ヲナシ花瓣五白色ニシテ萼長シ故ニてふじさくらノ名アリ實ハ七月下旬熟シ紫黑色ヲ呈ス

(林業上性質)畧ホやまさくらニ同シ

第十二ノ(三) みやまさくら

(名稱)一名めじろさくら一名しろさくら. めさくら等ノ名アリ薔薇科ニ屬シ學名ヲ Prunus Maximowiczii Rupr ト稱ス

(効用)やまさくらニ畧ホ同シ奥羽地方ニテハ此種ヲモツバざくらト稱シ此皮ヲ種々ノ器物ノ裝飾用ニ供ス

(分布)寒帯ノさくらニシテ内地ノ高山及ヒ北海道ニ多シ宮城大林區管内ニ於テハ栗駒岳. 藏王岳. 船形山. 烏海山. 朝日岳. 葉山. 飯豊山. 安達太郎山等ノ絶頂ニ多ク産ス

(葉)葉ハ互生橢圓形若クハ卵形ノ上面淡綠色下面淡色若クハ赤褐色ニシテ重鋸齒ナリ頂部細尖基部楔形若クハ圓形長二寸幅一寸五分許葉柄長五六分托葉披針形銳粗鋸齒アリ長サ一吋脱落性ナリ枝ハ柔弱ニシテ滑澤赤褐色ヲ呈ス

(幹)落葉喬木ニシテ幹高三丈周二尺ニ達ス樹皮幼時ハ赤褐色老ヘタルモノハ黑褐色ヲ呈ス邊材淡暗黃色心材帶紅褐色材質やまさくらニ似タリ

(種子)花ハ五月開キ總狀花序ニシテ長キ花梗ヲ有ス梗毎ニ葉狀ノ花苞ヲ有ス鋸齒アリ瓣五白色ニシテ甚々小ナリ實ハ七月熟ス長橢圓形長サ二三分アリ

第十二ノ(四) うはみつざくら

(名稱)日光ニテハこんごうざくら秩父ニテハめづら飛彈ニテハねづら攝津ニテハはるさざくら山形ニテハめくらぼうごト云フ其他ぼうごうざくら・あかき・このき・いぬさくら・みつめさくら等ノ名アリ薔薇科ニ屬シ學名ヲ Prunus Grayana Maxim ト稱ス(効用)材ハ鍍作物・印版・家ノ造作物・爐縁・盆類・小家具・板・小細工用・傘ノ柄等ヲ作ルニ用ユ實ハ鹽藏シテ食スルヲ得ベク芳香雅味アリ根ハ染料ニ供ス即チ郡内縞ノ蒸色ハ之ニテ染メタルモノナリ

(分布)温帯ニ産ス本州中央山脈地方ニアツテハ殆シト五千尺ノ高サ迄生シ東北地方ヨリ北海道南部渡嶋・後志・膽振等ニ産ス宮城大林區管内栗帶及ヒ山毛櫟帶ノ下部隨所之ヲ産ス

(葉)葉ハ互生長橢圓形又ハ長橢圓形ニシテ細銳鋸齒漸尖頭長サ二三寸幅一寸五分乃至二寸基部圓形ノ葉柄二三分密腺ナシ

(枝)冬季ニ於ケル頂芽ハ球狀側芽ハ較々扁平鱗片暗赤褐色ニシテ光澤アリ葉臺隆起ス幼時暗紫褐色ニシテ黄点ヲ散布ス樹皮ニ特種ノ臭氣アリ枝ハ銳角ニ出テ上向ス

(幹)落葉喬木五十年ニシテ幹高二丈五尺周三尺トナリ老ナルモノハ幹高五丈周五尺ニ達ス樹皮暗褐色ノ剝離スベキ厚キ皮ヲナス邊材ハ淡褐色心材ハ帶赤褐色ヲ呈ス材質緻密堅硬ニシテ折裂ノ患ナシ氣乾比重〇・八六絶對乾比重〇・八〇アリ

(種子)五月下旬枝端ニ穗狀花ヲ開ク穗長三四寸少花數十攢簇シ五瓣ニシテ白色香氣アリ實ハ八月成熟ス熟シテ紫黑色ヲ呈ス粒果ニシテ大サ三分位ニシテ豆粒ノ如シ

(林業上性質)性萌芽ニ富ミ成長稍々早ク陽性ノ樹種ナレモ幼樹ハ比較的庇蔭ニ堪ユ

第十三 いずのき 第四十五圖

(名稱)一名ゆすのき 一名ひよんのき・又ハふくへのき・さるふね等ノ名アリ漢名蚊母樹金矮梅科ニ屬シ學名ヲ Distylium rasemosum S et Z ト稱

(効用)材ハ屋柱トシテ頗ル雅致アリ之ヲ拭フテ久シケレハ光澤ヲ生ス又視障子ノ闌ニ用ユルトキハ其走り極メテ輕ク音ヲ出サス又

床板縁板ニ供シ又櫛・箸・樂器・煙草盆・箱火鉢・机 等ヲ作り又盆其他鍍作物ニ供ス又薪トシテ上等ナリ又燒キテ灰トナス之ヲいすばト稱シ陶器製造用ニ供ス他ノ木灰ヨリ上等ナリ樹ハ庭園ニ植エ又ハ生垣用ニ供ス

(分布)暖帶所屬ノ樹種ニシテ紀州四國九州ニ野生ス東京邊ニテハ庭木トシテ長成スルニ過キズ

(葉)葉ハ互生長橢圓形又長倒卵形ニシテ先端尖リ微凸頭長サ二寸許葉柄短カシ葉質厚ク革質ニシテ光澤アリ葉ニ金柑又ハ桃大ノモノヲ生ス此レ蚜虫ノ巢ナリ后一孔ヲ穿チ小虫脱出ス其中空虚ニシテ其皮甚タ堅硬ナルモノ小兒取リテ玩物トシ又墜子トナスベシ其形狀匏瓢ノ如シ故ニひよんのきの名アリ枝條繁密ナリ

(幹)常綠喬木ニシテ五十年ニシテ幹高二十五尺周二尺トナリ老ナルモノノ幹高四十尺周六尺ニ達ス樹皮帶綠濃赫黑色ニシテ粗ラキ平鱗狀木皮ヲナシ粗糲ナリ邊材ハ狹クシテ淡赫黑色心材ハ帶赤紫黑色ナリ材質ハ緻密堅韌ニシテ鉋削面甚タ美ナル光澤ヲ有シ割裂シ難シ外見紫檀ニ似タリ

(種子)花ハ五六月ノ頃開キ紅色ニシテ簇生ス果實ハ圓ク頂上ニ二凸起ヲ生ス中ニ黑色ノ種子ヲ藏ス性蔭樹ニ傾キ能ク日陰ニ堪ユ

第十四ノ(一) みつなら (第三十一圖)

(名稱)大和ニテハやまぼた・紀伊高野山ニテハははたト云ヒ俗ニ水檜ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ Quercus grossetrata Bl ト稱ス(効用)畧ホおほならニ同シ但シ材ハ薪材トシテハ水ヲ含ムコト多キカ故ニ燃ヘ難シ又炭トシテモ曝曬ヲ發シ長質ナラズト雖モ今日迄ハ何レモ天然林ノ老木ヲ炭トスルヲ以テ長シカラザレモ二十年生以下ノ幼樹ニテ作りタル炭ハ曝曬ヲ發セス質モ上等ナリ又今時鐵道枕木トシテ盛ニ北海道ヨリ伐り出シ桶材トシテ又佳瓦ナリト云フ實ヨリ澱粉ヲ製スベシ

(分布)本州中央山脈高サ三千尺以上ノ所ヨリ延テ北海道ニ及ヒぶなほくのき・かつら・かへで類カバ類等ト混生シ或ハ廣キ面積ニ純林ヲナス北海道ニ多シ宮城大林區管内ニ於テハ海面上一千尺ヨリ四千尺邊迄生シ全管内至ル所ニアリ材料ぶなニ次キ寶富ナリ

(葉)葉ハ廣橢圓形又ハ倒卵圓形ニシテ先端稍々尖リ葉緣銳頭粗鋸

齒アリ葉柄殆ソトナク葉裏ノ脈ニ毛ヲ有ス葉長四五寸幅一二寸アリ

(枝)冬期ニ於ケル芽ハ鋭尖不明ナル五角隅ヲ存ス鱗片明褐色幼枝ハ帶縁灰褐色ニシテ光澤アリ葉痕扁平三角形成ハ半月形木髓放射線狀ヲナス枝ハ廣キ銳角ニ出テ樹冠ヲ擴ケルノ性アリ

(幹)落葉喬木ニシテ老ナルモノハ直徑五尺高九十尺ニ達ス樹ハ暗灰色縦ニ深ク粗ナル割レ目アリ表皮ハ薄キ剝片トナリテ落脱ス邊材ハ甚々廣ク淡赫黑色心材深赫黑色ナリ材質稍々硬ニシテ質稍々密氣乾比重〇・八五絶對乾比重〇・七七アリ乾クトキハ折裂シ易キヲ以テ長大壯觀ノ材アルモ板材トナスヲ得ズ

(種子)雄花葉莖狀花垂柄雌花有柄殼斗狀ノ總苞内ニアリ外部先端刺狀ヲナセル細鱗片ニテ包マル殼斗ハおほならヨリ深ク椀狀ヲナス故ニ種子ハ熟シテ落下スルモ種子ト共ニ附着シ居ルコト多シ種子ハ稍々大ニシテ頂端稍々尖レリ

(林業上性質)適潤ニシテ深キ土壤ノ地ヲ好ミ成長速ナリ性陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘス人工造林法ハ播種造林ニ依ルヲ可トスルモ鼠害多キ地方ニテハ植樹造林ヲ完全トス苗木ヲ仕立ツルニハ取播ヲ可トス春播ハ乾砂ト共ニ貯フルヲ良トス發芽后二年目ニテ山行苗トナスベシ發芽良ロシク九割以上ヲ有ス

第十四ノ(二) おほなら

(名稱)一名ならかしは又まなら.のいしなら.しろならノ名アリ俗ニ大櫓ト書ス殼斗科ニ屬シ學名ヲ *Quercus crisgula* Bl. ト稱ス

(効用)材ハ薪材トシテ櫟ニ次ク又春白ヲ作りテ石臼ニ代用ス老木ハ船ナク燃エテ爆セザル故ニ上等暖爐ニ用ヒ壯木ノ炭ハ熔鑛爐ニ用ユ又枝葉ノ灰ハ染料ニ供ス生木ハ椎茸製造ノ料ニ適ス又歐米ニテハ此類ノ材ヲ蒸シ乾燥シ椅子其他ノ器具器械又ハ船艦材トシテ用ユルコト多ク特ニ麥酒.葡萄酒.類ノ樽材鐵道枕木ニ用ヒラル樹皮ハ染料ニ供シ實ハ澱粉ヲ製スベシ

(分布)略ホならト同シキモみつならヨリ少シク下方ニ存在ス

(葉)葉ハ倒卵形ニシテ基部狭ク粗大ナル鋸齒ヲ具フ葉長六七寸大ナルモノ一尺ニ及ブ葉柄極メテ短カクシテ長キモ五分ニ過キズ葉ノ小ナルモノハ鋸齒銳ク大ナルモノハ鈍頭ナリ葉質薄クシテ光澤

アリ枝條ハ稍々細ク密ニシテ灰色ナリ

(幹)落葉喬木ニシテ幹高六七丈周六尺ニ達ス樹皮ハ灰褐色ニシテ縁白色ノ斑点アリ粗大ニシテ深ク扁平ナル裂ケ目ヲ有シ殆ソト脫離セントスル状態ナリ邊材ハ甚々廣ク淡褐色心材ハ帶黃緒黑色ナリ材質ハくりのきニ似テ木理疎ニシテ稍々硬ク割裂シ易ク龜裂反張シ易シ

(種子)雄花葉莖狀基部ニ一苞アリ花無柄雌花有柄殼斗狀ノ總苞内ニアリ外部ノ先端刺狀ヲナセル細鱗片ヲ以テ包マル殼斗淺ク皿狀ヲナシ子實ノ下端ヲ被ヒ殼斗ノ縁邊甚々厚シ種子ハかしはニ比シ較々長シ

(林業上性質)平原若クハ低濕地ヲ好ミ成長速カナリ性陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘズ他ハ凡テみつならニ準スベシ

第十五ノ(一) はるにれ 第三十八圖

(名稱)一名にれ.れれ.れり.やきり.奥羽地方及ヒ北海道ニテハたも又ハあかだもト稱シ北海道士人ハちきさにト云フ漢名榆俗ニ春榆.枌.等ト書ス榆科ニ屬シ學名ヲ *Alnus campestris*, Sm. var. *laevis* Planch. ト稱ス

(効用)材ハ椀.盆.獨樂.其他ノ器具ヲ鑿作シ又大入車ノ軸.斧ノ柄.楔ニ用ヒ又其木理ノ玉杵ヲナスモノハ尤モ美麗ナルヲ以テ近年貴重セラル歐洲ニテハ此類ノ材ヲ以テ建築及ヒ船艦用材ニ供ス此樹ノ灰ハ尤モ多ク加里ヲ含有スルヲ以テ加里ヲ取ルニ良ロシ又薪炭材トス樹皮ニ纖維及ヒ粘質物ヲ含有スルヲ以テ碎キテ粉トス所謂榆錫此レナリ之レヲ練リテ瓦又ハ石ヲ接合スルニ用ユ故ニ此木ヲ一名にれり或ハにれト云フにレハ蓋シ此ヨリ轉訛セシモノナルベシ又幼枝ノ皮ハ麻ニ代用シ得ベシ會津地方ニテだも繩ト稱スルモノ此ナリ樹根ハ細切シ水ニ浸シテ粘汁ヲ出シ製紙用ニ供フ嫩葉ハ煮テ食フベシ又此葉ハ養分ヲ含有スルヲ以テ家禽ノ飼料又ハ肥料トシテ用ヒラル此樹ハ行道樹又ハ盆栽庭園樹トシテ植ベラル此樹ニ生スル榆茸ハ食用トシテ上品ナリ

(分布)溫帶及ヒ寒帶ノ初メニ生スルモノニシテ信州及ヒ秩父又ハ碓氷峠邊ヲ南境トシ之ヨリ北日本ニ生スルモノニシテ北海道全部ニ生ス宮城大森區署管内ニ於テハぶなノ生スル所大抵之ヲ生セザ

ル所ナキモ餘リ多量ニ存在セス
〔葉〕葉ハ互生橢圓形又ハ倒卵圓形ニシテ先端尖リ基部狹窄楔形ヲナス葉緣ニ重鋸齒アリ葉ノ大サ區々ニシテ普通長三寸五分幅一寸五分ヲ有ス葉柄長二三分表面粗糙ニシテ深綠色裏面淡綠色ニシテ脈上ニ細軟毛ヲ生ス新枝ノ葉柄ニハ茶褐色ノ柔毛密生ス托葉アリ籠形ニシテ薄シ

〔枝〕枝繁密ナリ幼樹ハ枝左右ニノミ多ク生シ前後ニ生セス此木ハ下部ヲニ小葉ヲ附シ枝梢部ニ大葉ヲ付ク

〔幹〕落葉喬木ニシテ幹高十四丈周一丈五尺餘ニ達ス樹皮ハ深褐色ニシテ扁平ナル裂ケ目ヲ有シ鱗狀ニ剝ケ邊材ハ廣クシテ帶灰褐色心材ハ帶紅褐色ナリ材質ハしほじニ似テ堅硬粘カアリ又乾燥スルニ從ヒ分割シ難クナル

〔種子〕五月葉ニ先チテ花ヲ開ク小花攢簇ス花瓣暗紫色ヲ呈ス十月下旬熟ス一花一翅果ヲ結ブ扁圓ニシテ膜質ノ翅ヲ有ス大サ三四分アリ二年又ハ三年毎ニ多量ノ結果ヲナシ二三十年生ヨリ規則正シキ結實ヲナス種子ノ發芽晝ハ四割發芽ノ保存ハ一年ナリ

〔林業上性質〕性陽樹ニ傾クモ幼時ハ能ク日蔭ニ堪ユ此木ハ多クハ河邊若クハ沼澤ノ邊或ハ低濕ナル平地等毎ニ深キ土地ヲ好ミ高燥ナル土地又ハ瘠地ニハ極メテ稀ナリ最モ好シテ石灰並ニ泥灰質ノ土地ニ生シ次テ粘土質ノ砂地ニモ良好ナル成長ヲナス而シテ一般ニ肥沃ノ土地ヲ好ム此木ハ成長早ク適地ニテハ一年ニ二三尺ノ成長ヲナス此樹ハ又萌芽力可ナリ強キモノナリ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季種子ヲ採集シタルモノヲ乾燥貯藏シ置キ翌春四月上旬播種スベシ三四週間ニテ發芽シ其年内ニ八九寸トナル翌春第一回床替ヲナシ三尺前後トナルヲ以テ山行苗トスベシ

第十五ノ(二) おひょうにれ

〔名稱〕一名ヤハヅにれ、あつにれ、うばぬれ、おひやうだも等ノ名アリ又會津ニテハほんだも信濃ニテハうばにれト云ヒ其他ヤまげりやじめトモ云フ北海道ノ土人ハ之ヲあつにれト云フ俗ニ姥楡ト書ス楡科ニ屬シ學名ヲ *U. montana* Sm var *iacuiata* Trautu ト稱ス

〔効用〕材ハ器具材及ヒ薪炭材トナス樹皮ハ纖維柔軟ナルニ依リ北

海道ノ土人ハ之ヲ以テ布ヲ織ル其法ハ六月中旬此樹皮ヲ取り水ニ浸スコト十餘日ニシテ製シテ糸ヲ取り織物トナス之レヲあつし織ト云フ釧路ノあつし織尤モ名アリ土人ノ衣服ハ之ヲ以テ造ル強靱ニシテ雨露ニ耐ユ近年内地ノ勞働者之ヲ望ムモノ多キニ至リ其模造品出ツルニ至レリ

〔分布〕溫帶ニ生ル樹木ニシテ内地ノ諸山北海道ニテハ深山所在多ク之ヲ産ス宮城大林區管内ニ於テハ山毛櫨帶ノ溪谷ニ多少之ヲ産ス

〔葉〕葉ハ互生倒卵形ニシテ尖頭三乃至七尖ヲナス故ニヤハヅにれノ名アリ基部不等葉緣重鋸齒上面深綠色下面ハ淡綠色兩面端剛毛アリ厚剛纖維ス葉長五六寸幅三四寸柄二三分アリ

〔幹〕落葉喬木ニシテ幹高八丈周九尺ニ達ス樹皮ハ淡褐色ニシテ厚ク扁平ナル裂目ヲナシテ剝離ス邊材ハ帶黃白色心材ハ淡褐色ナリ材質ハはるにれニ似テ稍軟カニシテ割裂シ易シ肌理緻密堅靱ナリ

〔種子〕五月葉ニ先チ枝上ニ五六花ヲ簇生スはるにれヨリ稍々大ナリ實ハ十月熟スはるにれヨリ少シク大ニシテ其數少ナク膜質ノ翅ヲ有ス

第十六 けんぼなし 第五十三圖

〔名稱〕一名てんぼなし又てんぼこなしノ名アリ漢名枳椇鼠李科ニ屬シ學名ヲ *Hovenia dulcis*, Thunb. ト稱ス

〔効用〕材ハ鑿作用材指物用ニ供シ又盆類火鉢文房具櫛等ヲ作ル又樂器用材トシテハ上等ノモノナリ實ノ花梗ハ肉アリ熟スレハ黑灰色トナリ甘味アリ食フベシ又果酒ヲ醸スヲ得ベシ

〔分布〕溫帶ニ生スル樹木ニシテ信濃・武蔵・上野・羽前等ニ産ス宮城大林區管内ニ於テハ海面上ヨリ一千五百尺ノ所迄生ス

〔葉〕葉ハ互生廣卵形ニシテ先端尖リ基部圓形又ハ微心形葉緣鋸齒アリ葉ノ基底ヨリ三大脈ヲ分ツ葉ノ大サ四五寸幅三四寸葉柄五分乃至一寸アリ葉柄上部ニ黑色ノ刺點數個ヲ有スルヲ此樹ノ特徴トス嫩葉白色ヲ帶ヒ銀色ヲ呈ス新枝ハ帶紫褐色ヲ呈ス枝狹銳角ニ出テ上向ス

〔幹〕落葉喬木ニシテ五十年ニシテ幹高三丈周二尺五寸トナリ老ナルモノハ幹高五丈周六尺ニ達ス樹皮ハ暗灰色縱ニ鱗狀ヲナシ粗糙ナリ邊材ハ美ナル帶黃白色心材ハ紫紅色ナリ材質ハげやきニ似

テ較々軟カク木理粗ニシテ雅美ナリ (先年農會長津田仙氏ハ此枳
根ヲ以テ床板ヲ作り赤、黒、イロキトせしめ漆トノ三ツヲ以テ紫檀
ヲ擬製シタルニ其色眞ニ迫リ何人モ紫檀トノ外見ルベカラザル結
果ヲ得タリト云フ)

(種子)花ハ五月頃開キ其梗肥厚屈曲シテ簇生シ白色ニシテ五辨ア
リ實ハ十月下旬熟ス果實ノ形天刑病者ノ手ノ指ニ似タリ故ニけん
ぼなしノ名アリ果實ノ食フベキ部分ハ花梗ナリ實ハ圓クハテ熟ス
レハ紫色ヲ呈ス内ニ一乃至二種子ヲ藏ス種子ハ扁平圓形ニシテ茶
褐色ヲ呈ス種子一粒ノ大サ長サ四、一耗幅四、一耗厚サ二、〇耗ア
リ種子一升ノ重量三百五十匁粒數五万四千六百アリ種子ノ發芽量
ハ五割發芽保存ハ二年ナリ

(林業上性質)性陽樹ニシテ萌芽性稍々強シ好シテ河岸又ハ低濕地
ニ生シ又乾燥地ニモ耐ユルモ乾燥地ニ生スルモノハ生長遅シ苗木
ヲ仕立ツルニハ取播ニスルヲ可トス乾燥シテ春播ニシタルモノハ
播種ノ翌年ニアラザレハ發芽セス發芽ノ年内ニ五六寸トナリ第一
回床替ヲナシ發芽二年目ニシテ高一尺五六寸トナリタルトキハ山
行苗トスベシ苗ハ杭根ヲ有スレハ又能ク細根ヲ發生ス根ノ色ハ稍
々赤色ヲ帶フ

第十七 やまぐるま 第四十四圖

(名稱)一名いわぐるま、やぐるま、もちのき、おほこりもち、こりも
ちのき、いはもち、いはもちのき、ろうそくのき伊豆八丈嶋ニテハ
こはびらト云フ等ノ名アリ俗ニ山鶴ト書ス雲葉科ニ屬シ學名ヲ
Trochodendron aralioides S et Z ト稱ス

(効用)材ハ蠟作用ニ供シ樹皮ハ之ヲ剝キ搗キ碎キ數回水洗スレハ
粘糊ヲ得ル俗ニ所謂烏糝此ナリもちのきヨリ製セシ品ヨリ上等ナ
リ樹ハ又庭園樹トナスベシ而シテ近時ノ研究ニ依レハ我國製ノ鞣
類ハ凡テ彈力性護謨ノ原料ナリト云フ然ルニ我國ニ於テハ此事實
ヲ知ラズシテ已ニ明治十三年頃ヨリ外國ニ輸出シツ、アリシコト
ヲ耳ニスルニ至テハ豈ニ驚愕ノ至リナラズヤ然レハ已往ハ詮無
シ將來ハ彈力護謨ノ原料ナル鞣製造用樹種ノ保護及造林ニ勤メザ
ルベカラズ

(分布)此木ハ亞熱帶ヨリ溫帶ノ上部迄生スル播布區域ノ頗ル廣キ

樹種ニシテ南ハ臺灣ニ生シ新高山ニ於テ海面上一万五千尺ノ所迄
生ス次テ琉球ノ八重山列島伊豆八丈島鹿兒島ノ屋久島ニ多ク轉シ
テ伊豆ノ諸島四國九州等ノ常綠闊葉樹林ニ点生シ更ニ本州ノ中央
山脈ニアツテハ二千尺以上五千尺ノ間ニもみ、つか、して、そろ、そ
よご等ノ樹種ト混生スルヲ見ル北方ニ於テハ下野岩代等ニ産ス宮
城大森區管内ニ於テ天然ニ存在スルモノハ會津南部ノ高山及ヒ岩
代羽前ノ境ナル飯豊山ニハ山毛櫛帶中部ヨリ以上白樺帶迄喬木ノ
下木トナリテ繁茂セリ之ヲ以テ見レハ人工的ニ造林スルニ於テハ
全管内殆ント生長セザル所ナカレバシ

(葉)葉ハ互生ナレハ枝ノ頂端ニ恰モ輪生狀ヲ爲シテ生ス故ニやま
ぐるまノ名アリ葉ハ橢圓形倒卵形或ハ倒卵狀菱形ニシテ銳頭縁邊
ニ鋸齒アリ或ハ鋸齒ナキモノアリ其實厚ク革質ニシテ光澤アリ葉
長二寸乃至四寸幅一寸乃至二寸葉柄ハ甚々長ク一二寸稀ニ三寸ニ
達ス葉ハ年々段階ヲナス

(幹)常綠中喬木ニシテ普通高三四丈周四五尺アリ然レハ老ナル
モノハ直徑二尺 高五十尺ニ達ルモノアリ 伊豆八丈嶋ニ於テハ周
圍一丈前後ノモノ少ナカラズト云フ然レハ高山又ハ寒地ニ成長ス
ルモノハ丈高カラズ恰モ灌木狀ヲナス飯豊山ニ於テハ大ナルモノ
ト雖レ直徑二三寸高サ一丈五尺ニ過キズ樹皮帶黃赤黑色ニシテく
ろかれもちニ似ル邊材ハ淡褐色心材ハ深赭黑色ナリ材質ハ稍々堅
硬緻密ニシテふさくらニ似ルモ割レ易ク木理美ナリ材ノ氣乾比
重〇・五八絕對乾比重〇・五三アリ材ニ「さらばいでん」ヲ有ス 本
邦闊葉樹中無類ナリ

(種子)雌雄異株ニシテ六月頃枝梢ニ繖房狀ニ排列セル花梗上ニ花
ヲ開ク後小豆大半球狀ニシテ七個ノ凸起ヲ有スル所ノ膏莢様ノ果
實ヲ結ブ果實ノ中ニハ數多ノ極メテ微細ナル種子ヲ有ス種ノ長サ
一分太サ一毛ニ一キズシテ塵埃ト誤リ易シ

(林業上性質)性極メテ陰樹ニシテ日光ノ直射セル所ニハ成長極メ
テ惡シク却テ庇陰ノ地ニ完全ナル成長ヲナス土地ハ適潤肥沃ナル
土壤ヲ好メトモ又能ク岩石ノ上ニモ生スいはもちノ名アル所以ナ
リ此木ノ造林ハ播種造林ヲ爲スコトヲ得ルモ苗木ヲ仕立テ、移植
スルノ安全ナルニ如カザルベシ苗木ノ仕立法ハ秋季此實ノ黄色ヲ

呈シタル物ヲ集メ之ヲ席上ニ乾カシテ種子ヲ出シ之ヲ袋類ニ入レテ翌春迄貯藏シ置キ松林等ノ陰庇アル土地ヲ耕シ二三尺幅ノ床ヲ作り之レニ坪一合位ノ割合ニ播種シ土ヲ一二分ノ厚サニ被ヒ上ニ一本並ヘノ藁ヲ敷キ發生后二年間放置シ三年目ノ四月前同様ノ庇陰地ニ幅二尺ノ畦ニ二三寸設ニ植出シ翌春又ハ翌々春二尺前後トナリシモノヲ山地ニ移植スベシ

(備考)屋久島ノ國有林五万町歩ノ内最大ナル材積即チ約百五十万尺ノヲ有シ明治卅七年度ニ一万五千尺ノ公賣ヲ爲セシカ尺ノ一本十二錢ノ豫定價格ナリシカ二十錢ニ落札セシヨトアリト云フ尙ホ本樹ニ就キ詳細ヲ知ラント欲スルモノハ山林會報明治卅八年七月發行二百七十二號論説欄本多博士著護謄産出用やまくるまニ就テナル記事ヲ參照スベシ

第十八ノ(一) もちのき 第四十九圖

(名稱)伊豆ニテハびんかつ云フ俗ニ細葉冬青又ハ木等ト書ス各寄科ニ屬シ學名ヲ (Ilex integra Thunb) 或ハ (Ilex integra Thunb var tipica Maxim) ト稱ス

(効用)材ハ印材及ヒ鍍作用材トナス樹皮ヲ剝キ水ニ浸シ腐爛セシメ搗過シテ鞣ヲ製スルコトやまくるまニ同シキモ品位少シク下ル又此皮ヲ染料トス葉ハ樟虫ノ食飼トナル此樹ハ庭園或ハ生垣防火樹等ニ植エラル此樹ヨリ製スル鞣ハ又彈力護謄ノ原料ナリ

(分布)暖帶各地ニ生スル樹木ニシテ安房ヨリ南伊豆紀州四國九州ニ野生ス仙臺市内ニテハ庭木トシテ植栽セルモノ高サ八尺ニ達セルモノアリ冬季中竹類ヲ立掛ケ霜除ヲナサ、ルベカラズ野城ノ海岸平地ニテハ成長ス

(葉)葉ハ互生長橢圓形ニシテ兩端尖リ全縁革質ニシテ光澤アリ葉長一乃至二寸幅五分乃至一寸五分葉柄ノ長サ四五分アリ新枝綠色又ハ帶紫綠色ノ繁密ナリ

(幹)常綠喬木五十年ニシテ幹高二丈周二尺トナリ老大ナルモノ幹高五丈周四尺五寸ニ及ブ(茨城縣眞壁郡)樹皮帶綠暗灰色ニシテ平滑ナルモ後ニハ粗糙トナリ微カニ分裂ス邊材淡暗綠色心材ハ帶褐暗綠色ナリ材質ハ堅重緻密鉋削スルトキハ光澤アリ伸縮反張セス氣乾比重〇. 六四絶對乾比重〇. 五六アリ

(種子)雌雄異株花ハ五月開キ五辨ニシテ黃綠色花ハ數花簇生シテ各柄ヲ具ス實ハ十一月成熟ス熟スレハ紅色ヲ呈シ美麗ナリ圓クシテ稍々大ナリ

(採葉上性質)性陰樹ニシテ能ク庇陰ニ堪ユ挿木法ニ依リ繁殖シ得ルモ種子ヨリ繁殖スルヲ可トス

第十八ノ(二) くらねもち

(名稱)一名ふくらしび一名いぬもちノ名アリ冬青科ニ屬シ學名ヲ Ilex rotunda Thunb ト稱ス

(効用)材ハ小器具材樹皮ハ鞣ヲ製スベク樹ハ庭園樹・垣根・防火樹トナス此ヨリ製スル鞣ハ又彈力護謄ノ原料ナリ

(分布)暖帶所屬ノ樹種ニシテ房州ヨリ南ニ野生ス人家ノ周圍或ハ神社佛閣ノ境内ニハ往々大樹アリ

(葉)葉ハ互生橢圓形又廣橢圓形兩端尖リ革質ニシテ全縁もちのきニ似タレモ彼ヨリ廣クシテ薄シ葉長一寸五分乃至二寸五分アリ葉柄四五分ニシテ葉柄ノ色多クハ紫綠色ヲ呈ス新枝ハ稍々鈍四角形ヲナシ紫綠色ヲ呈ス枝繁密ナリ

(幹)常綠喬木五十年ニシテ幹高三丈周三尺老大ナルモノ幹高六丈周八尺ニ達ス樹皮帶紫灰色老樹ハ黑色トナル材ハ帶灰白色稍々堅硬緻密ニシテ氣乾比重〇. 六四絶對乾比重〇. 五六アリ

(種子)花ハ葉腋ニ簇生シ六月上旬開花種子ハ十一月成熟ス果實ハ圓形ニシテ赤色ナリ挿木法ニヨリテ繁殖シ得ベシ

第十八ノ(三) たらねふ

(名稱)一名おほもち日向ニテハのこきりばト云フ冬青科ニ屬シ學名ヲ Ilex latifolia Thunb ト稱ス

(効用)材ハ鍍作用材ニ供シ葉ヲ以テ茶ノ代用品ヲ製スベシ樹皮ヨリ鞣ヲ製スベク其品質上等ナリ此樹ハ庭園樹防火樹トシテ植エ此ヨリ製スルモハ又彈力護謄ノ原料ナリ

(分布)暖帶所屬ノ樹種ナレモ比較的寒地ニ迄生育ス仙臺市内ニ於テモ庭園ニ植エ直徑一尺以上ニ成長セルモノアリ蓋シ諸類ノ生育スル所ニハ能ク生長スルモノナラン然ラハ我宮城大林區管内ニ於テハ磐城ノ海岸地方ノ國有林ニハ造林見ノ込アラント信ス

(葉)葉ハ長橢圓形又橢圓形ニシテ先端尖リ革質ニシテ厚ク光澤アリ

リ葉長四五寸或ハ七寸ニ達スルアリ葉幅二三寸葉表深綠色裏面帶黃綠色ナリ葉縁剛キ銳尖ノ鋸齒アリ恰モ鋸ノ如シ故ニのこきりばノ名アリ新枝綠色ヲ呈ス

(幹)常綠喬木幹高三十尺直徑一尺老大ナルモノハ幹高五丈周圍一丈ニ達ス樹皮灰褐色ニシテ平滑ナレモ老ユルニ從ヒ稍々粗糙トナル邊材ハ淡褐色心材ハ赭褐色ナリ材質ハ稍々堅硬緻密ナリ材ノ氣乾比重〇・六六絶對乾比重〇・六〇アリ

(種子)花ハ黃色ニシテ葉腋ニ簇生ス五月上旬開花シ實十一月成熟ス果實ハ暗赤色ニシテ球形大豆大ナリ熟シタル果實ハ翌年開花時季ニ至ルモ尙ホ存在ス

(林業上性質)性陰樹ニシテ能ク日陰ニ堪ユ然レモ又能ク日光直射ノ處ニモ能ク生育ス此点ヨリ見レハ本樹ハ獨立シテ森林ヲ形成スルコトヲ得ベシ然レモ幼樹霜害ニ掛リ易キヲ以テ赤松ノ老齡林内ニ植栽シ漸次上木ヲ伐採シ獨立シタル森林トナスヲ可トスベキガ苗木ハ挿木法ニ依ルト實播法ニ依ルトノ貳種ヲ行フヲ得ベシ

第十八ノ(四) いぬつげ

(名稱)一名こばもち・てつもち・おにづげ等ノ名アリ其他伊豆駿河ニテハびんか出雲ニテハちぐる伯耆ニテハよめかきら陸前ニテハやまぢや奥羽地方一般ニつげト稱ス蓋シ眞ノつげのきナキヲ以テ誤稱セシナルベシ俗ニ鑿子木・犬黃楊ト書ス冬青科ニ屬シ學名ヲ *Ilex crenata* Thunb ト稱ス

(効用)材ハ小細工用版木材裝飾材一作材トス此材ニテ櫛ヲ製作ス又鑿ノ柄ヲ作ルニ用ユ故ニ鑿子木ノ名アリ又伯耆ニテハ此小枝ヲ以テ天然ノ小楊樹ヲ作ル樹皮ハ鞣ヲ製ス此木ハ又庭園ニ植エ生垣トス又生花ニ用ユ此樹皮ヨリ製スル鞣ハ又彈力護謨ノ原料ナリ

(分布)溫帶所屬ノ樹種ニシテ其頒布區域廣ク南ハ四國九州ヨリ北ハ北海道ニ及ブ宮城大林區器管内ニ於テハ所在之ヲ産ス然レモ何レモ矮小ニシテ用材若クハ鞣製用ニ供スルヲ得ス其多クハ此樹ノ變種ナルこばのいぬつげ學名 *Ilex crenata* Thunb var *microphylla* Maxim ナレバナリ即チ用材ニ適スモルノハ眞ノいぬつげニテ多クハ磐城陸前地方ノ栗帶ニ生点々生スルニ過キス羽

前ニテハ西田川郡ニ少シク之ヲ認ムいぬつげハ赤松ノ生スル所ニハ必ラス成長スベシ恐クハいぬつげハ赤松ノ下木作業ヲ取ルベキ樹種トシテ先天的ニ與ヘラレタルモノナルヤモ知ルベカラズ

(葉)葉ハ互生橢圓形或ハ倒卵形先端少シク尖リ上部ニ小數ノ鋸齒ヲ具ス長サ六七分稀ニ一吋ニ達ス革質ニシテ厚ク深綠色ヲ呈シ光澤アリ新枝綠色枝條繁密ナリ

(幹)常綠喬木五十年ニシテ幹高一丈五尺周二尺トナリ老大ナルモノ幹高二丈五尺周三尺ニ達ス樹皮ハ淡暗綠色ニシテ平滑ナリ材ハ帶綠白色硬重ニシテ割レ難シ

(種子)雄雌異株ニシテ花ハ五月開キ四瓣ニシテ白色ヲ呈ス實ハ十一月熟ス果實ハ眞圓ニシテ二三分紫黑色ヲ呈ス果實一個内ニ帶綠白色ノ種子三個乃至四個ヲ藏ス乾燥シタル果實一升ノ重量百六十匁果實ノ數五千八九百粒アリ乾果一個ヨリ三四本ヲ發芽ス然レモ發芽セサル果實アルヲ以テ平均發芽數ハ果實ノ數丈々即チ種子數ノ二割五分乃至三割ト見ハ大差ナカラシ發芽保存ハ一年ナリ

(林業上性質)性頗ル強キ陰樹ニシテ極鬱閉ノ林内ニモ生育ス故ニ赤松林ノ如キ老年ニ至リ鬱閉ヲ破ル如キ陽樹ノ喬林ニ林地々力維持策トシテ下木作業ヲ取ルヲ得策トスベシ況ンヤ其材ハ充分利用ノ見込アルノミナラス其樹皮ヨリ彈力護謨ノ原料ヲ得ルト云フニ於テヤ苗木仕立法ハ至極簡單ニシテ秋季種子ヲ採集シ直チニ乾燥セル砂ト混シテ貯藏スルカ若クハ天日乾燥法ヲ行ヒ布袋ニテ貯藏シ置キ翌春四月播種シ滿二年間播種床地ニ放置シ發芽后三年目ノ春第一回床替ヲナシ更ラニ二年間生長セシメ一尺前後ノモノヲ山行苗トナスベシ但シ乾藏シタルモノ一部春發芽シ殘部ハ翌春發芽ス

第十九ノ(一) いものき

(名稱)一名たかのつめ一名をさごんぜつノ名アリ又土佐ニテハいぬぼう紀州ニテハじんだ又ハこしやのき三河ニテハこせさうだ陸前ニテハこさばらト云フ五加科ニ屬シ學名ヲ

Acanthopanax inovans. S. ea Z ト稱ス

(効用)材ハ房楊枝拾及ヒ木履ヲ作ルニ用ユ仙臺ニテ山桐ト稱シ書

生下駄ニ多シ近年薄片トナシ眞田紐ヲ製シ外國輸出品トス所謂經木眞田此レナリ元來經木眞田ノ原料ハさろのき、やまならし、こしあぶら、さちのき、等種々アレト本樹種ヲ以テ第一等トス

(分布)温帯ニ生スル樹木ナリ宮城大林區署管内ニ於ケル栗帶及ヒ山毛櫸帶ニ於テハ所在之ヲ産セザル所ナシ殊ニ月山麓葉山附近ニ多シ此材ノ盜伐多キヲ以テ知ルベシ

(葉)葉ハ互生五六個枝端ニ輪生狀ヲナシテ生ス年毎ニ階ヲナス葉ハ複葉ニシテ三小葉集マリ一葉ヲナス恰モ鷹ノ爪ニ似タリ故ニ一名アリ但シ幼樹若クハ嫩枝ニハ三枚ニ分レサル葉ヲ生スルコトアリ一葉ハ橢圓形ニシテ全縁頗ル光澤アリ葉柄長ク二三寸アリ一葉ハ長サ二寸幅一寸アリ枝條ハ稍々太ク髓アリ白色ニシテ大ナリ枝條ハ稍狭銳角ニ出テ枝數極少數ナリ新枝灰白色ヲ呈ス

(幹)落葉喬木ニシテ幹高三丈周三尺ニ達ス樹皮ハ帶綠灰色ヲ呈シ稍々平滑ナリ材ハ樹木類中稀ニ見ル所ノ白色ニシテ心材扁材ノ區不明瞭質輕軟ニシテ割レ易ク又鉋削シ易シ此レ等ノ諸性質ハ即チ經木ニ適スル所以ナリ

(種子)葉腋ヨリ長穗ヲ出シ穗頭ニ小花ヲ簇生ス五六月ノ頃開花花淡綠色ヲ呈ス十月下旬結實ス果實ハ扁圓形ニシテ黒色ヲ呈ス

(林業上性質)性陽樹ナレト亦能ク日陰ニモ堪ニ從來存在スルモノハ四周ノ障害物ヲ除キ保護スルヲ可トス適濕地ニ適スルモ又能ク乾燥地ニ堪ニ苗木ヲ仕立ツルニハ秋季種子ヲ採集シ乾キタル砂ト共ニ貯藏スルカ又ハ果實ヲ乾燥セル儘袋ニ入レテ吊シ置キ翌春迄貯ヘ置キ春季四月苗圃ニ播種ス三四週間ニシテ發芽ス二年間播種床地ニ放置セシ后第一回床替ヲナシ一年間成長セシメ一尺前後ノモノヲ山行苗トスベシ

第十九ノ(二) こしあぶら

(名稱)一名こんぜつ、いさち、にんじんぼく、おんなこんぜつ等ノ名アリ又日光ニテハいもぎ北海道ニテハあぶらき、あぶらこ、京都地方びんぼうみつば陸前ニテハこさばら等ノ名アリ蓋シ本樹ノ葉ハ一種ノ香氣ヲ有スルヲ以テにんじんぼく、びんぼうみつば、等ノ名アル所以ナリ俗ニ金漆樹人參木ト書ス五加科ニ屬シ學名ヲ *Acanthopanax Sciadophylloides* Fr. et Sav. ト稱ス

(効用)材ハ箱類房楊枝、箸、木履ヲ作ルニ用ユ仙臺地方又此木ヲモ山桐ト稱シ書生下駄ニ作ル葉ハ潔テ、食フニ味美ナリ此材ハ前ノいものきニ次キ經木眞田ノ原料トナス

(分布)温帯及ヒ寒帯ニ跨リ生スルモノニシテ紀州木曾日光等ヨリ北海道全部ニ生ス宮城大林區署管内ニ於テハ栗帶山毛櫸帶白樺帶ヲ通シテ至ル處多少之ヲ生ス

(葉)葉ハ互生五六個枝端ニ輪生狀ヲ爲シテ生ス葉ハ掌狀複葉五小葉ハ集リ一葉ヲナス五小葉中正中ノモノ最大小葉橢圓形又ハ倒卵形ノ尖頭基部微尖葉縁疎ニ銳鋸齒アリ表面綠色下面平滑長三四寸幅一二寸葉柄ノ長サ五六寸アリ新枝稍々太ク帶綠灰色木ニ髓アリ、白色枝條疎生ス

該樹ハ專ラ前記いものきをト混同セラル、コト多シ然レト前者ハ葉ハ三小葉ヨリ成リ此レハ五小葉ナリ又前者ニハ鋸齒ナキモ此ニハ鋸齒アリ前者ニハ強キ香氣ナキモ此ニハ強キ香氣アリ依テ容易ニ區別スベシ

(幹)落葉喬木五十年ニシテ幹高三丈周三尺トナリ老大ナルモノハ幹高四丈周五尺ニ達ス樹皮暗色ナルモ地衣類ノ寄生ニヨリ灰綠色ヲ呈ス邊材廣ク淡灰白色ニシテ光澤アリ心材帶黃白色材質ハほろのきをニ似テ鉋削スレハ光澤ヲ生ス

(種子)枝梢十餘ノ花梗ヲ生ス長サ四五寸細花ヲ簇開ス花時五六月實ハ十月下旬熟ス果實ハ扁圓形熟シテ黒褐色ニ胞アリ

(林業上性質)性陽樹ナレト又能ク日陰ニ堪ニ好シテ沃地ニ生スルモ又乾燥地ニモ堪ニ成長ハ少シクいものきをニ勝ル苗木ヲ仕立法ハいものきをニ準スベシ

第二十 やまぐは

(名稱)一名まぐは、さくくは、ちくは等ノ名アリ北海道ノ土人ハてしまに、つれぶに、さべむべ等ト稱ス漢名鷄桑、俗ニ山桑ト書ク桑科ニ屬シ學名ヲ *Morus alba* L. var *Stylosa* Bur. ト稱ス

(効用)材ハ各種ノ製飾用材及ヒ箱類、文房具、茶盆、火鉢、柱時計等器具ヲ製作スルニ適シ又彫刻材斲作材ニ用ヒラル其他提琴三弦ノ胴ヲ作レバ其音ノ優美ナルコト他木ノ上ニ出ヅ其他馬鞍雪車ヲ作り長材ハ柱及ヒ床間ノ落シ掛ケ床板等トナス又會津ニテハ椀ニ作

り北海道ニテハ土人ノ弓及ヒ雪道用かんぢきヲ作ルニ用ユ又白皮ヲ燒酒ニ和シ釀成スルモノヲ桑酒ト云フ葉ハ養蠶ニ使用スルコト世人ノ普ク知ル所ナリ又嫩芽ハ油腸トナシ食シ得ベシ實ハ日本藥局方ニ藥品トス兒童ノ好メテ食スルモノナリ又酒ヲ釀スルヲ得ベシ織緯ハ紙料ニ供スベシ

(分布)暖帶及ヒ温帶ノ所屬ノ樹種ニシテ南ハ琉球小笠原九州四國ヨリ本島ノ山地ニ生シ北海道ニ於テハ千嶋ヲ除ク外全道ニ之ヲ産ス北海道ノ河岸溪澗沃地ニ於テ能ク喬大ヲ爲ス殊ニ良材ノ産地トシテハ伊豆・隱岐・琉球・小笠原・等有名ナリ宮城大林區管内ニ於テハ海面上ヨリ直チニ生シ海拔三千尺ノ邊迄能ク之ヲ生ズ然レモ喬大ヲ致スモノ稀ナリ蓋シ當管内ニ於テハ福島宮城山形ノ三縣共大ニ養蠶ヲ獎勵シタル結果如何ナル山間避陬ト雖モ養蠶ヲ飼育スル爲メ自然其葉ヲ採集スルノ習慣ヲ馴致セシヲ以テ引ヒテ國有林ニ及ボシ野生ノモノヲシテ好ク喬大ヲ致スノ防害トナリシヲ疑テ容レズ今日ニ於テハやまくばハ用材トシテ仕立ツベキ保護ノ見込立タス唯採葉桑トシテ養成スルニ過キザルベシ

(葉)葉ハ互生廣卵形又卵形其先端長ク尖リ基部ハ心臟形チナス縁邊ニ鋸齒アリ多クハ分裂セズト雖モ或ハ三五片ニ分裂セルモノアリ葉ノ大サ普通長サ四五寸幅三四寸葉柄長四五分托葉籠形ニシテ早脱ス葉ノ大ナルモノハ長サ八寸幅六寸ノモノアリ葉ノ表面ハ鮮綠色裏面ハ深綠色ニシテ粗毛アリテ糙澁ス

(枝)枝ハ柔軟ニシテ粘力アリ容易ニ折レス暗灰色ヲ呈シ髓白色枝ハ銳角ニ出テ上向ス

(幹)落葉喬木ニシテ幹高四丈周五尺ニ達ス樹皮ハ淡褐色ニシテ堅硬長キ裂ケ目ヲ有ス邊材ハ狭クシテ淡黄色チナシ心材ハ淡黄若クハ黄褐色ニシテ光澤アリ老材ハ稍々黒褐色ヲ呈ス其質堅實ニシテ肌理頗ル美ナリ之ヲ鉋削スレハ滑澤ヲ生ス

(種子)雌雄異株ニシテ六月頃葉腋ニ花梗ヲ出シ總狀花ヲ生ス細小ニシテ淡黄色ナリ實ハ六月下旬ニ熟ス集合核ニシテ花后増大多汁ノ花被ヲ以テ包マル其色初メハ綠色中頃赤色ニ變シ熟スレハ紫黑色トナリ味甘酸ナリ種子ハ細リクシテ稍々粟粒大ナリ種殼硬脆一升ノ粒數約五六十万粒ナリ發芽保存力一年ナリ

(林業上性質)陰陽中庸ノ樹種ニシテ能ク他樹ノ庇陰ニ成長ス庇陰ナキ所ニ於テ完全ナル成長チナス或ハ熊笹内他樹ノ生育シ能ハサル所ニモ能ク堪ヘ其生育ヲ持續ス桑ハ一般ニ適潤肥沃ナル土壤チ好ムモ又能ク濕地ニ堪ヘ又能ク乾燥地ニモ生育ス苗木仕立法ニハ種々アリ分蘗法・分根法・壓條法・挿條法・接木法等有ユル方法ニテ苗木ヲ仕立テ得マキモ造林用トシテハ播種法ニ依ルチ可トス即チ熟シタル種子ヲ箕ノ中ニ集メ木灰ヲ混シテ水中ニ揉ミ種子ト肉トチ分離シ其年直チニすぎ・ひのきノ如ク・床播ニナスカ或ハ此種子ヲ乾燥貯藏シ置キ翌春四月播種スベシ又繩播ト稱スル法ハ桑ノ實ヲ手掌ニ上セ葉繩ニ摺リ込ミタル後之ヲ床上ニ並べ少許ノ土ヲ被フモノナリ又席播法ト稱スルモノアリ熟シタル實ヲ葉帶ニ摺リ込ミ床上ニ倒ニ被ヒ置ク法ナリ此法ハ席上ニ直チニ被土スルモノ可ナリ採集其年ニ播キタルモノハ二週日內ニ發芽スベシ結實ノ翌春播種シタルモノハ三週日ニテ發芽スベシ其年內ニ一尺前後トナル發芽ノ翌年一回床替チナシ更ニ一年間成長セシメ山行苗トナス

第二十一 ばくちのき

(名稱)一名びらんじゆ・はたかのき・ねつさまし・ごいのき・さるこかし・けいま・等ノ名アリ薔薇科ニ屬シ學名ヲ

Prunus muacrophylla S et Z ト稱ス

(効用)材質堅硬美麗ナルヲ以テ器具材ニ適ス樹皮ニハ青酸チ含有スルヲ以テ蒸溜シテ露液ヲ取り藥品トス葉ヨリモ製スルコトヲ得ベシ樹ハ觀賞用トシテ庭園ニ植エベシ

(分布)暖帶所屬ノ樹種ニシテ房州・伊豆・紀州・四國・九州ノ暖地ニ野生ス

(葉)葉ハ互生大形ニシテ橢圓形又ハ長橢圓形チナシ葉縁鋸齒アリ恰モたらふノ葉ニ似テ此ヨリ薄シ葉柄頭ノ左右ニ疣孔アリ葉ノ長サ五六寸幅四五寸葉ノ表面光澤アリ

(幹)常綠喬木ニシテ幹高五丈周五尺ニ達ス樹皮ハ大クキ剝離シ赤褐色ニシテ滑澤ナリ攀テ難シ猴モヒリ落ツル位ナルヲ以テさるこかしノ名アリ

(種子)總狀花序ハ葉腋ニ二三個宛叢生ス五月頃開花八月頃熟ス果

實ハ球形ニシテまめぶしノ實ニ似タリ
(林業上性質)陽樹ニシテ下枝ハ早ク落ツ幼時ハ比較的能ク日陰ニ堪ユ

第二十二 さつき

(名稱)一名くるまみづき・くるみづき・みづのき・はしかのき・みつぐさ又房州ニテハみづぶさ日向ニテハみづし紀州ニテハじんだ東北諸州みづのき又だんごのき北海道土人うとかにト云フ俗ニ水木ト書ス 山茱萸科ニ屬シ學名ヲ *Cornus macrophylla* Wall ト稱ス

(効用)材ハ鋸作用ニ供シ農具ノ柄・下駄・楊枝等ヲ作り又薪炭材トス材ハ能ク割ル、ヲ以テ紀州熊野邊ニテハ箸ヲ作ル東北地方ニテハ古來此木ヲ以テ舊曆一月十四日此木ニ團子ヲ附着セシムル習慣アリ故ニだんごのきト云フ

(分布)暖帶ノ終及ヒ温帶全部ニ生スル樹木ニシテ日本北部ニ多ク北海道ニテハ至ル所ニ産ス宮城大林區管内ニテハ海面上ヨリ直チニ生ス高サ五千尺ノ邊即チ白樺迄之ヲ生ス寒氣ニ耐フル樹種ナリ

(葉)葉互生枝端ニ輪生狀ヲナシテ生ス恰モ車輪狀帶ヲナスくるまみづきノ名此ヨリ生セリ葉ノ形卵形橢圓形又長橢圓形ニシテ頂ニ向テ漸ク尖リ葉基圓形鋸齒ナク葉ノ長サハ二三寸幅一二寸面鮮綠色滑澤脈ニ沿ヒテ白柔毛アリ下面粉白色短剛毛疎生ス葉柄長一吋五六分アリ

(枝)冬季ニ於ケル芽ハ長卵形ニシテ鱗片疎ニ包被シ光澤アル暗紅褐色ヲ呈ス一年枝ハ紅色ニシテ光澤アリ恰モ鳥足ノ如ク着生セリ葉痕半圓形ニシテ木髓圓シ枝ハ幹ニ車輪狀ニ着生シ殆ント水平的ニ且ツ扁平ニ擴張シ小枝ハ細小ニシテ疎生ス

(幹)落葉喬木幹高六丈周五尺ニ達ス樹皮ハ帶綠暗灰色ニシテ縦ニ裂目ヲ有ス邊材ハ帶黑淡赭黃色ニシテ心材ハ帶淡褐色ナリ材質輕軟割裂シ易シ氣乾比重〇・六三絶對乾比重〇・五五アリ生樹ヲ伐レハ水多ク出ス故ニみづのきノ名アリ

(種子)六月枝梢ニ繖狀穗花ヲ生シ小白花ヲ開ク花梗ニ毛茸アリ實ハ九月熟ス果實ハ圓形ニシテ大サ二分許熟シタルモノハ紫赤色ナリ

(林業上性質)好シテ谿澗ノ間或ハ澤邊ニ生ス性陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘズ

第五章 試驗ノ爲メ造林スヘキ樹種

第一 かうゑふざん

(名稱)一名をらんだもみ・りうきうもみ・ぎやうじやもみ、じややなぎ・りうひ等ノ名アリ又臺灣ニテハつあん拾球ニテハつあをきト云フ漢名杉又沙木・俗ニ廣葉杉ト書ス又幅州杉ノ名アリ松柏科ニ屬シ學名ヲ *Cunninghamia Sinensis* R. Br ト稱ス

(効用)材ハ天井板・箱類・附木・燐寸材ニ供ス又地方ニヨリテハびば材ト稱シテ東京ニ輸出スル所アリ木曾山中ニハ良材ナキヲ以テ主ニ薪材ニ供ス臺灣及ヒ支那ノ沿岸地方ニ於テハ最モ必要ナル建築材ニシテ内地ニ於テ杉ヲ用ユル所ニ皆之ヲ用ユ又棺材梁材其他ノ用材トナス樹ハ公園及ヒ庭園ニ植ユベシ

(分布)支那臺灣琉球ノ山地ニ野生シ内地ニ野生シ支那ノ福州ノ奥ニハ廣大ナル森林アリテ年々數百萬ノ木材ヲ伐採シ支那ノ各地方及ヒ臺灣ニ輸出セリ所謂福州杉ナルモノ此ナリ又臺灣ニテ杉(つあん)ト稱スルモノ是ナリ内地ニテハ山城ノ吉田山ニ大木アリ又木曾及ヒ日光ノ山中ニモ存在スル所アリ其他ハ只庭園ニ植栽セラレ、ニ過キス仙臺市内ニ於テハ高三丈徑一尺位ノモノアリ然レモ時ニ寒氣ノ爲メニ頂芽ヲ害セラルコトアレハ本樹ノ分布區域ハ恐クハ樺類ト同一ナラント信ス故ニ宮城大林區管内ニ於テハ唯福島縣ノ海岸ノ低地ノ造林ニ適スルノミ

(葉)針葉ハ長形披針狀ニシテ長サ一ニ寸幅一二分扁ニシテ葉縁ニ剛キ微細ナル鋸齒アリ手ヲ觸ルレバ痛ヲ感スベシ葉ハ少シク灣曲シ表面深綠色光澤アリ裏面ニ二條ノ白線アリ葉ハ恰モ羽狀ヲナシ莖ノ左右ニ並列シ莖ノ下方ニアルモノハ多少拗戻ス枝ハ一年毎ニ又テ生シ幹ヨリ直角ニ射出シ枝端垂ル、ヲ常トス

(幹)常綠喬木ニシテ成長早ク三十年ニシテ幹高二丈周二尺ニ達ス老木ナルモノハ幹高九丈周圍一丈ニ達スルモノアリ樹皮ハ頗ル杉ニ似タリ材質又杉ニ酷似ス唯此木ノ切口ヨリハ白色ノ結晶物ヲ分泌シ烈シキ香氣アリ材色ハひのきを似テ稍々白クひばヨリモ柔カクシテ又すぎヨリモ其質脆弱ナリトス

(種子)雄花ハ一所ニ集マリ生ス四月中旬開花シ毬果ハ杉ニ類スルモ非常ニ大ニシテ直徑一寸乃至二寸長サ一寸五分乃至二寸五分アリ十月下旬熟ス果實ノ鱗片ハ薄クシテ硬ク先端尖銳且ツ中軸ニ緊着シ容易ニ剝離セズ鱗片ニ三個ノ種子ヲ具フ種子ハ一穂ヨリ二百粒ヲ得ベシ種子ハ橢圓扁平ニシテ周圍ニ翅ヲ有シ其形カラヤまきニ類スルモ之ヨリ稍々小ニシテ其色淡黄色ヲ呈ス種子一升ノ重量百二十粒數五万發芽量ハ五割發芽保存ハ一年ナリ

(林業上性質)性稍々陰樹ナルモひのきさわら等ヨリ陽性ヲ帶フ風當リ強キ所ハ成長悪シク殊ニ潮風ノ來ル所ハ其葉黄色ニ變シテ成長不茂ナリ適地ニ於テハ樹ハ成長速ナリ苗木ヲ仕立ルニハ三法アリ第一ハ此木ハ能ク根本ヨリ藥ヲ生スルヲ以テ之ヲ春分植スルニアリ即チ分藥法此レナリ第二ハ挿木法ニシテ極肥沃ナル畑地ニ長サ一尺許ノ穂ヲ四五寸程挿スベシ而シテ直チニ日除ヲ施スベシ二年間挿地ニ置キ山行トナスベシ第三ハ種子ヨリ播種スルニアリ即チ秋季ニ採集シタル種子ヲ乾燥シテ布袋ニ入レ貯藏シ置キ翌春播種スレハ四週間ニシテ發芽ス翌年四月第一床替ヲナシ其翌年四月第二床替ヲ爲シ山行苗トスルコト杉ト同シ

第二 北米 びやくしん

(名稱)學名ヲ Red cedar ト稱シ松柏科ニ屬シ

學名ヲ Juniperus virginiana ト稱ス

(効用)材ハ垣ノ杭ニ用ヒテ甚々妙ナリ又鐵道枕木屋内ノ柵匣椅子類ヲ作ル且ツ歐米兩洲ニテ製スル良品ノ鉛筆ハ皆此材ヲ用ユ故ニ我國ニテモ鉛筆材トシテ將來有望ノ樹種ナリ

(分布)米國ノ東部ニテ乾燥セル砂礫地及ヒ砂質ノ小山ニ生ス但シ東部ノ南方メキシコ灣近傍ニテハ沼澤ノ邊ニ多シ北方ニテハ大木ヲナサス宮城大林區署林業試驗場内ニ能ク生育ス之ヨリ推考スルニハ少ナクモ仙臺以南ニハ生育スルコト疑ヲ容レズ而レモ幼時頂芽寒氣ニ害セラル、コトアリ

(葉)葉ハ對生又ハ三葉輪生ヲナス葉長二三分稀ニ四分ニ達ス他ノ針葉樹類ト異ニシテ葉ノ裏面深綠色表面白粉ヲ被フヲ以テ白色ニ見ユ新枝綠色二年枝褐色ナリ枝葉ノ外見杉ニ似タリ

(種子)宮城大林區署ノ調査ニ依レバ果實ハ球形ニシテ少シク長ク

黒藍色ニシテ少シク光澤アリ果實一個ノ大サ長サ五・〇センチ幅厚サ共三・七センチ果實一升ノ重量七十二匁 個數一万七千四百五十アリ發芽保存力ハ二年ナリ果實一個中ニハ種子數個ヲ藏

(幹)常綠針葉喬木ニシテ米本國ニ於テ幹高八十尺乃至百尺直徑四五寸ニ達ス材心紅色外層白シ質輕軟ニシテ香氣アリ木理甚々纖細ナリ能ク久シキニ耐ヘ朽腐セズ

(林業上性質)北米ニテハ好シテ沼澤河岸又海岸砂礫地ニ多ク存在スルト云フ性稍陰樹ニ近ク日陰ニ耐ユ發芽ハ餘リ長シカラザレモ一二割アリ苗木ヲ仕立ツルニハ種子ヲ原產地ヨリ購入スルカ若クハ從來輸入セルモノ得ルノ外ナシ春季播種セルモノハ其年ニ發生セズ翌春發生ス床地ニ二年間放置シ高サ四五寸トナリタルヲ第一回ノ移植ヲナシ更ラニ二年間育成シテ高サ一尺前後ノモノヲ山行トナスカ又ハ第二回ノ床替ヲナシ山行トナスヲ可トス又此樹挿木法ニヨリ繁殖シ得ベシ其法枝條ヲ七八寸ノ長サニ取り其半分以下ノ枝條ヲ鋏ミ去リ豫チテ用意セル床地ニ半分程挿シ直チニ日除ヲ施シ置シクベシ二年間乃至三年間ニシテ山行苗トナスベシ

第三 北米ごようまつ

(名稱)英名 White pine ト稱ス松柏科ニ屬シ學名ヲ Pinus Strobus L ト稱ス

(効用)材ハ米國ニテハ多ク建築用ニ供セルモノナリ又船艦・屋根板・匣箱・マチツノ柄及ヒ細工ニ使用シテ最良材タリ

(分布)米國ノ東部ノ北方大湖ノ畔ニ於テ大森林ヲナス赤沙土ニ多シ又潤葉樹ニ雜リテ小森林ヲナス此樹ハ東部地方ニ自生スル松類中甚々多ク且ツ尤モ喬大ヲナスモノナリ宮城大林區署林業試驗場ニ於テ能ク成育ス寒氣ニ堪ユルト強キヲ以テ仙臺以北ニモ能ク生育スルコトヲ得ベシ

(葉)短枝上ニ五針葉叢生ス葉ハ細クシテ長ク深綠色ヲ帶ヒ裏面白色著シク針葉ハ少シク垂下ノ氣味アリ長サ四五寸長キハ七八寸ニ達ス頂部銳尖ナリ日本ノひめこまつニ似タリ幼枝帶綠灰色平滑ナリ

(幹)常綠針葉喬木ニシテ米本國ニ於テハ幹高八十尺乃至百六十尺直徑四尺乃至一丈二尺ニ達ス材淡褐色ヲ帶ビ扁材ハ廣クシテ白

シ材質輕軟ニシテ木理細小ナリ
(種子)宮城大林區器林業試驗場ノ調査ニ依レバ種ハ兩凸レンス形ヲシテ黒褐色少シク光澤アリ種子一粒ノ長サ七.〇毫米幅四.二毫米厚二.五毫米アリ種子一升ノ重量二百匁粒數四万三百二十粒發芽數二割アリ

(林業上性質)北米ニ於テハ乾燥セル砂礫地ノ小山及ヒ高原ノ邊ニ多ク生ズト云フ本邦ニテハ二十年前初メテ移植セラレ目下其直徑六寸高サ二十五尺以上ニ達セルモノアリト云フ宮城大林區器林業試驗場ニ於テ成育セルモノハ近年ニ至リ年一尺以上ノ上長成長ヲナスモノアリ苗木ヲ仕立ツルニハ種子ヲ北米ニ仰ク外ナシ

第四 歐洲さうひ

(名稱)英名 Spruce 又ハ Common spruce 又ハ Norway spruce ト稱ス 松柏科ニ屬シ學名ヲ Picea excelsa DC. ト稱ス

(効用)材ハ建築用家屋用材器具用材等ニ用ヒラル又木材其物ノ纖維ヲ以テ製紙ノ原料ニ第一等トス樹皮ハ單寧製造用ニ供シ又樹脂ヨリ的列鬚油ヲ製スベシ

(分布)此樹ハ歐洲ニ於テ北緯四十四度ヨリ六十八度ノ間ニ生スアルアス山ニ於テハ高サ六千呎迄生シハルチック海岸ノ底地ニ生スノルウエーニ於テハ殆ント三千尺ノ高サ迄生ス

(葉)葉ハ針葉ハ深綠色ヲ呈シ細長ニシテ先端銳ク尖レリ而シテ葉ノ表面ハ圓ク裏面ニ二縱溝アリ葉長サ十四.五毫米幅一.二毫米厚〇.五乃至一.毫米ニ過キス

(幹)常綠針葉喬木ニシテ歐本國ニ於テハ幹高百五十呎直徑五呎ニ達ス心材色白ク微紅ヲ帶ヒ材質軟カク裂割シ易シ木材ノ平均比重〇.四五アリ 樹幹直長筒狀ヲナス

(林業上性質)本樹ハ適潤肥沃ノ地ヲ好ムモ又能ク濕地及ヒ乾燥ニ堪ユ性陰樹ニシテ能ク庇陰ニ堪ユ淺根性ノ樹種ニシテ土壤ノ深キヲ要セズ本邦ニテハ十八年以前ニ移植セルモノハ目下其直徑四寸高二十尺ニ達セリ原產地ニ於ケルガ如ク幼樹ノ生長甚々緩慢ナリト雖モ十年以後ニ至ルキハ急ニ其成長ヲ増進ス東京ニ於ケル生長ノ狀況器ハ其原產地ニ劣ラズト云フ宮城大林區器林業試驗場内ニ能ク生育ス

第五 こるくがし

(名稱)一名こるくのき殼斗科ニ屬シ學名ヲ Quercus suber L. ト稱ス

(効用)材ハ種々ノ用ニ供シ樹皮ニハ多量ノコルク質ヲ有スルヲ以テ之レヨリコルクヲ採集スコルク製造用トシテ最上等ノモノナリ

(分布)本樹ハ専ラ地中海沿岸殊ニアドリヤチック沿岸ノ地ニ造林セラレ最モ多クアルギール西斑牙.佛國ノ南部タルコチン.イストリオン.ウンガルン及ヒ地中海中ノ諸嶋.希臘.及ヒ亞非利加ノ北部ニ産ス又北米ニモ生育ス我國ニ於テモ暖帶ノ部分ニ造林シ得ベシ既ニ鹿兒島縣下鹿兒島市有川矢九郎氏ノ庭ニハ良好ナル成長ヲ爲シ居ルト云フ東京西ヶ原ニ移植シタルモノハ其成長好良ナラス霜害ニ弱シト云フ

(葉)葉ハ短柄ヲ有シテ互生シ卵形ニシテ稍々長キ心臟形ニ近シ葉縁ハ普通遠ク互ニ隔リタル刺狀ノ鋸齒ヲ有シ稍々ひくらきノ葉縁ニ類スルモ稀ニ全縁ヲナスモノアリ葉面ハ滑ナルモ裏面ハ細小ナル白色ノ髭毛ヲ有ス葉ノ最大ナルモノ長サ一寸七分幅一寸二分ニ達スルモノアルモ多クハ小形ナリ幼枝ハ青白色ノ密毛ヲ被リ外部灰色ニシテ内部ハ褐色ナリ

(幹)常綠闊葉喬木ニシテ幹高四五丈直徑一尺六七寸ニ達ス樹皮赤褐色ニシテ毛ヲ有セス厚ク縱裂ス

(種子)實ハうばめかしノ實ニ似テ長サ一寸二分直徑三四分褐色ニシテ滑ナリ密着セル灰色ノ鱗片ヨリ成レル殼斗ハ深ク其種子ヲ包ミ其高サ三分ノ一以上ニ及ブ實ハ一年內ニ成熟ス

(林業上性質)内國産かし類ニ準ズベシ

(種類)コルクカシノ種類右ノ外一種アリ殼斗科ニ屬シ學名ヲ Quercus Occidentalis Gay ト稱ス

第六 北米やまならし

(名稱)一名ほぶら.らいにき.くろやまならし.ト云ヒ仙臺ニテハいんざやなきト云フ俗ニ亞米利加白楊.塔葉白葉.又ハ單ニ白楊ト書シ揚柳科ニ屬シ學名ヲ Populus nigra var pyramidalis ト稱ス

(効用)材ハ匣箱其他ノ小器具ヲ作り又薪材ニ供ス材ハ又製紙ノ原料トナリ上等ノモノナリ又隣寸ノ軸木トシテ最良ナリトス

(分布)元來溫帶ノ樹種ナルモ其性極メテ氣候ニ狎レ易キヲ以テ寒
溫暖三帶ヲ通シテ能ク之ヲ仕立ツルヲ得ベシ此樹ハ米國ヨリ輸入
セラレタルモノニシテ極メテ近年ナルモ非常ノ速力ヲ以テ繁植ス
ルノ傾アリ北ハ北海道ヨリ南ハ九州ニ至ル迄生育セザル所ナシ

(葉)葉ハ孤三角形ヲ帶ヒ一邊ニ長キ葉柄ヲ附ケ頂点尖レリ縁邊ニ
鋸齒アリ葉ハ鮮綠色ニシテ頗ル光澤アリ葉長一寸五分乃至二寸幅
ハ殆ント之ニ同シ葉柄長サ一寸稀ニ二寸ニ達スルモノアリ新枝綠
色古枝灰白色髓アリ圓形ニシテ白色ナリ枝條ハ頗ル狭キ銳角ニ出
テ上向ス大枝ヲ出タサス

(幹)落葉調葉喬木ニシテ幹高八十尺乃至百七十尺直徑四尺ヨリ八
尺ニ達スルモノアリ材ハ白色輕軟ニシテ纖維ニ富ム

(林業上性質)性頗ル陽樹ニシテ日陰ニ堪ヘス成長甚々速ニシテ農
科大學内ノ實驗ニ依レハ挿條ノ年ニハ三尺翌年ニハ四五尺三年目
ヨリハ年々五六尺宛生長シ滿八年生ニシテ其ノ高サ六七間ニ達シ
其生長少シモ衰ヘズト云フ宮城大林區醫林業試驗ニ於テハ挿條ノ
年一尺次年ニ二尺三年目ニ三尺ヲ生成シツ、アリ然レモ之レ肥沃
ナル地ニ於テノミ此ノ如ク成長スレモ從來ノ原野ニ造林セシ結果
ハ餘リ甚シカラザルカ如シ或シク之レカ造林ハ森林ノ伐採后地若
クハ土地ノ肥沃ナル所ヲ要シ濕氣ハ過多ナルヲ妨ケズ寧ロ過小ナル
即チ乾燥地ニ適セス此レ原野ニ適セザル所以カ此木ノ苗木ヲ仕
立ツル法ハ尤モ簡單ニシテ挿木法ニ依ルヲ可トス其法七八寸ノ長
サニ穂ヲ製シ床地ニ五六寸ノ深サニ挿シ置クベシ然ルトキハ爾后
除草ヲナスノミ次ハ分根法ニシテ春早ク地ノ凍ラサルニ至リ根ヲ
掘リ取り四五寸ノ長サニ切り豫子テ準備セル畑ニ頭部ノ稍々見ユ
ル位ニ鋤ニテ埋没スレハ爾后除草ノミニテ可ナリ次ハ分蘖法此法
ハやまならしノ根本ニ萌芽セシモノヲ分離シ苗木トナスナリ此法
ハ迂遠ノ方法ナリ播種ニ依ル法アレモ困難ナリ

第七 米國れすこ

(名稱)一名きかんさひのきト稱シ英名 Red cedar ト稱ス

松柏科ニ屬シ學名ヲ *Thuja gigatnea* ト稱ス

(効用)材ハ久シキニ堪ヘ朽敗ヒズ材ヲ屋板根・垣・籬・匣箱・桶等ニ
使用ス又稀ニ船ヲ作ルト云フ我國ニ於テハ歡賞用庭園樹又ハ生垣

等ニモ適スベシ

(分布)米國ノ西部アラスカ洲ヨリカリフォルニア州ノ間ニ生シ海岸
ヨリ五千二百尺ノ所迄生ス宮城大林區林業試驗場内ニ於テ近年ニ
至リテハ年々一尺五寸ノ上長成長チナスニ至レリ

(葉)葉ハ本邦産れずニ酷似シ大サ又殆ント相同シ只米國種ハ葉
少シク薄キト鱗片ノ先少シク尖レルト葉ニ強キ香氣アルトニ依リ
區別シ得ベシ枝ハ銳角ニ出テ直立スル性アリ

(幹)常綠針葉喬木ニシテ米本國ニ於テハ幹高百五十尺ヨリ二百尺
直徑一丈二尺ニ達ス扁材白色心材黒褐色ヲ帶フ其質輕軟ニシテ木
理疎ナリ能ク久シキニ堪ヘ朽敗セズ但シ老樹ハ幹心空洞ヲ爲シ易
シ

(種子)種子ハ畧ホ橢圓形ニシテ扁平淡黃褐色ヲ呈シ稍々光澤アリ
種子ノ大サハ長五・一耗幅二・九耗厚〇・三耗種子一升ノ重量三十
二勿粒數十二万二千六百粒發芽量二割六分發芽保存力一年ナリ

(林業上性質)濕潤ニシテ肥沃ナル地ニ好シテ生ズ性陰陽中庸ナル
カ如ク幼時日陰ニ堪ユ成長速ナリ到抵本邦産れずニ類ノ及ブ所ニ
アラズ將來尤モ見込アル樹種ナリ苗木ヲ仕立ツルニハ種子ヲ原産
地ヨリ購入スベシ播種法ハ一般ノ方法即チすき・ひのき 等ニ同シ
クシテ可ナリ又此樹ハ挿條法ニ依リテ尤モ能ク生着ス殆ント挿條
セル全部活着ス其法成長盛ナル樹ノ枝先凡ソ八九寸ノ長サニ切り
取り其下部半分即チ四五寸ノ小枝ヲ搔キ取り豫メ用意セル床地ニ
四五寸ノ深サニ挿シ日除ヲ施スニアリ二年間床地ニ置キ一尺四五
寸トナレルモノヲ山地ニ移植ス此法尤モ簡單ナリ

國有林 經營 森林植物誌樹種名索引表 (イロハ順)

名稱	章數	番號數	名稱	章數	番號數
イハヅク	四	十(二)	イハニ	二	十(四)
イハケルマ	四	十七	イハモチ	二	四十七
イハモチノキ	四	十七	イホアナ	四	九(二)
イトチ	四	十九(二)	イチガシ	三	九(五)
イチ井	三	九(五)	一位	三	三
一位木	四	三	いちぬかし	三	九(五)
石櫛	三	九(五)	イヌダラ	二	十一
イヌホウ	四	十九(一)	いぬつげ	四	十八(四)
犬黄楊	四	十八(四)	鑿木子	四	十八(四)
いぬまき	四	八	狗槨	四	八
いぬぶな	四	九(二)	犬掬	四	九(二)
山毛櫸	四	九(二)	イヌザクラ	四	十二(四)
イヌギリ	二	九	いぬゑんじゆ	二	十三(二)
櫻櫛	二	十三(二)	イヌモチ	四	十八(二)
イヌビ	四	七	イタヤ	四	十(一)
イタギカヘテ	四	十(一)	いたやかへて	四	十(一)
イタヤモミサ	四	十(一)	板屋楓	四	十(一)
いらもみ	三	七(二)	イメメガシ	三	九(五)
イブキ	一	五	圓柏	一	五
イブキヒヤクシン	一	五	伊吹光遠木	一	五
いてふ	一	九	一葉	一	九
公孫樹	一	九	イシナラ	三	十一
イシビ	三	六	いものき	四	十九(一)
イモギ	四	十九(二)	イセヤナギ	二	九
いすのき	四	十三	蚊母樹	四	十三
インドヤナギ	五	六			
			ロガシ	三	九(五)

名稱	章數	番號數	名稱	章數	番號數
榎	三	九(五)	ハハメ	四	十四(一)
は			刺楸	二	十一
宇落樹	三	十一	刺桐	二	十一
はりぎり	二	十一	はるにれ	四	十五(一)
刺楸樹	二	十一	ハタカノキ	四	二十一
はりもみ	二	七(三)	ハルサハツラ	四	十二(四)
春楡	四	十五(一)			
ハタツ	四	十(三)	ハラモミ	三	七(三)
			柏	三	十(一)
ハナイタヤ	二	十二	藥木	二	十四
ハマギリ	四	十二	ばくちのき	二	二十一
栢	二	十二	白槐	四	十三(三)
白桐	四	十	白揚	二	六
白檜	一	八(一)	白杉	五	五
白果	三	九	柏心	一	五
白櫛	一	九(一)	白心	一	五
柏槨	一	五	ハコヤナギ	二	九
白身	一	五	バメ	三	九(七)
ハコギ	二	九	ハヒギ	三	九(六)
ハサゴ	二	十一	ハシカノキ	四	二十二
バメガシ	三	九(七)	はぜのき	一	七
ハジ	三	七			
ハゼ	一	七			
ハセウルシ	一	七			
			ニムムニ	四	十(四)
ニ			日光松	一	四
ニクワマツ	一	四	日光椈	三	八(三)
ニクワモミ	三	八(三)	楡	四	十五(一)
ニレ	四	十五(一)	ニンジンボク	四	十九(二)
粉	四	十五(一)			

人參木	四十九(二)		
ほ	ノ	部	
朴	二六	枋	二六
ホ、カシハ	二六	ほ、のき	二六
浮闌羅勒	二六	厚朴	二六
細葉冬青	四十八(一)	ホソ	三十一
ホソバカシ	三九(三)	ホツタリ	三十(二)
ホソバカシ	三九(一)		
枹	三十一	ホウダラ	二十一
ホウズ	二四	ホウズマキ	二四
ホウゴウザクラ	四十二(四)	北米やまならし	五六
白楊	五六	塔葉白楊	五六
北米ごやうまつ	五三	北米びやくしん	五二
ホサノキ	三十一	ホフラ	五六
ホンツカ	三五	ホンツゲ	一八
ホンカヤ	四二	ホンタモ	四十五(二)
ホンノキ	二六	ホンマキ	四一
ホンツナ	四九(一)	ホンシウトウヒ	三七(一)
ホンヒ	一二		
へ	ノ	部	
米國子ズコ	五七	ベニツカ	三四(二)
ベノミ	四九	ベラニ	四九(一)
ヘラフリ	二九	扁柏	一一
と	ノ	部	
ドロノキ	二九(一)	ドロア	二九(一)
どろのき	二九(二)		
トベニ	四一(一)	トベムベ	四二
さちのき	四一	七葉樹	四一
天師栗	四一	椽	四一

枋	四十一	桴	四十一
枋	四十一	トリモチノキ	四十七
ト子リキ	二十(三)	トガ	四(一)
榊	三四(一)	トガマツ	三(一)
さかさわら	三五	榊	三五
ト子リキ	二十三	攢	三十三(三)
さねりこ	二十(三)	トラノヲモミ	三十七(一)
秦皮	二十(三)	檣	三三六
桐	一十	トウモミ	三三三
トウヘンボク	二五	土厚朴	三二六
トキハカヘテ	四十(一)	トスベリ	二十(三)
ドンクリ	二三	ドンクリノキ	二三
ち	ノ	部	
チカツアフツア	四五	チクハ	四二十
チクハ	四十八(四)	ちやうじやのき	四十五(五)
ちやんちん	二五	香椿	二五
臭椿	二五	椿	二五
チザイガシ	二三	チキサニ	四十五(一)
陳倉胡桃	二八(二)		
り	ノ	部	
リウキウモミ	五一	リウヒ	五一
ぬ	ノ	部	
ヌカビ	一三	ヌカセン	二一
ヌアクルニシニ	二九		
る	ノ	部	
を	ノ	部	
チカツラ	二七	チカヤナギ	二九

ナツカ	四	十(二)	ナツカハノキ	四	十(二)
ナツカノキ	四	十(二)	ナランダモミ	四	五
ナグルミ	二	八(一)	ナン	二	四
ナンナゴンセツ	四	十九(二)	女松	二	三
ナングヌギ	二	四			
わ		ノ	部		
ワタ	二	四	ワタナラ	二	四
綿櫛	二	四	ワタクヌギ	二	二
ワタマキ	二	四	黄櫛	二	一
黄柏	二	十四	黄蘗	二	十四
か		ノ	部		
榲	三	十(一)	海松	四	四
カハホリカヘテ	四	十(二)	カハグルミ	四	二
			カバザクラ	二	四
カハキ	三	五	皮木	四	三
カハキトカ	三	三	カタギ	二	二
カッタイノキ	二	十一	カッタイギリ	二	二
桂	二	七	カツラ	二	二
カツラノキ	二	七	カラカサモミ	二	四
カラツゲ	一	八	からまつ	一	四
カラマツ	一	四	韓松	一	四
廣葉杉	四	五	カウヨウサン	四	五
杉	五	一	沙木	五	一
カウノキ	二	七	高野槇	四	一
かうやまき	二	四	香椿	四	三
雁齒柏	四	三	かや	四	四
榲	三	四	栢	四	一
カヤノキ	四	四	カマクライブキ	一	三
カシハ	三	三	カシハ	三	三
柏	三	三	カシヤキ	三	三
柯樹	三	三	カモカツラ	三	二
鴨脚	一	九	カンシヤウ	三	四

韓松	四	四			
よ		ノ	部		
ヨ子ツカ	三	五	米國樅	三	五
ヨメカサラ	四	十八(四)	ヨメフリ	二	三
ヨメフリヤナキ	二	九	ヨシガシ	三	十二(三)
た		ノ	部		
タニガシ	三	九(七)	タニノソキ	四	十二(二)
タチビヤクシン	一	五	タカノツメ	四	十九(一)
たらふふ	四	十八(三)	タウガシ	三	九(二)
塔葉白楊	五	六	タウマキ	三	四
タウシイ	三	十二(二)	タウヒ	四	三
たうひ	三	七(一)	唐檜	三	七(一)
タマカツラ	二	七	ダケツカ	三	三
ダケモミ	三	八(三)	ダゴノキ	二	三
ダモ	二	十(二)	ダモ	四	四
タモギ	二	十(三)	ダンゴノキ	四	四
れ		ノ	部		
櫛	一	三	櫛	一	三
	四	三			
そ		ノ	部		
ソバグリ	四	九(一)	ソバノキ	四	九(一)
粗櫛	三	九(四)	ソダメ	三	十
ソラシラズ	二	十五			
つ		ノ	部		
ツバカシ	三	九(四)	ツカ	三	四(一)
ツガマツ	三	八(二)	ツガサハラ	三	三
樺櫛	三	五	ツカモミ	三	三

ツタモミチ	四	十(一)	ツレアニ	四	二十
ツラフリ	二	九	つくばねかし	四三	九(六)
榧羽榧	三	九(六)	ツゲ	四	十八(四)
つけ	一	八	ツアン	五	一
ツアアキ	五	一	つき	二	二(二)
槻	二	二(二)	ツキノキ	二	二(二)
ツキケヤキ	二	二(二)			

ね

子リ	四	十五(一)	子レ	四	十五(一)
子ツラ	四	十五(四)	子ツサマシ	四	二十一
子ヅ	四	七	ねすこ	四	七
榧	四	七	榧子	四	七

な

ナカツイ	三	十二(二)	ナガバケヤキ	二	二(二)
長葉五葉	四	四	ナラ	三	十一
榧	三	十一	柞	三	十一
ナラバカシ	三	九(四)	ナラカシハ	三	十四(二)
ナラシバ	三	十一	ナンアタモ	二	十(二)
楠	二	一			

ら

ラインキ	五	六	ライテンボク	二	十五
羅漢柏	三	六	ラウノキ	一	七
ラクヤウシヤウ	一	六	落葉松	一	四
ラマニ	一	四	欄	一	四
ランゴ	二	三			

む

紫杉	四	三			
----	---	---	--	--	--

ウバニレ	四	十五(二)	姥榧	四	十五(二)
ウバヌレ	四	十五(二)	姥芽榧	三	九(七)
うばめかし	三	九(七)	姥目榧	三	九(七)
うばみつさくら	四	十二(四)	ウバシバ	三	九(七)
ウトカニ	四	二十二	うりはたかへで		
ウリハダカヘテ	四	十(二)	瓜膚楓	四	十二
ウリカヘテ	四	十二(二)	うるしのき	一	六
ウラジロモミ	三	八(三)	うらしろかし	三	九(三)
裏白榧	三	九(三)	馬目榧	三	九(七)
ウマメカシ	三	九(七)			

ゐ

井チイ	四	三			
-----	---	---	--	--	--

の

ノイシナラ	四	十四(二)	ノコギリバ	四	十八(三)
	三	十一			

お

おにぐるみ	二	八(一)	オニツゲ	四	十八(四)
オニセン	二	十一	オホバガシ	三	九(二)
オホバダモ	二	十(二)	オホバウメウ	三	十(二)
オホトリモチ	四	十七	オホリウセン	三	八(二)
大龍仙	四	八(二)	オホカシ	三	九(二)
おほかしほ	三	十(二)	オホダラ	二	十一
オホツガ	三	四(一)	オホツタモミチ	四	十(一)
おほなら	四	十四(二)	大榧	四	十四(二)
オホウリノキ	四	十(二)	おほしだ	二	十(四)
苦榧木	二	十(四)	オホシダ	二	十三(三)
オホシラベ	三	八(二)	大白榧	三	八(二)
大白榧管	三	八(二)	オホシヒ	三	十二(二)
オホエンヤ	二	十三(二)	オホモチ	四	十八(三)

オトコマツ	三	二	オトコエンゼツ	四	十九(一)
オタフククルミ	二	八(二)	オツコ	四	三
オマツ	三	二	オケサハラ	一	三
おひやうにれ	四	十五(二)	オヒヤウダモ	四	十五(二)
ガンコ	四	三			

く ノ 部

クロベ	四	七	クロベスギ	四	七
クロカ子モチ	四	十八(二)	クロカシ	三	十二(三)
クロカシ	三	九(一)	クロタウヒ	三	七(一)
	三	九(四)			
クロツガ	三	四(一)	クロナラ	三	十一
クロヤマナラシ	五	六	クロマツ	三	七(一)
白穂松	三	二	白芽松	三	二
雄松	三	二	くろまつ	三	二
黒松	三	二	クロマテ	三	十二(三)
クロブナ	四	九(二)	クロミヅキ	四	二十二
クロエンツユ	二	十三(二)	クロビ	四	七
くろひいたや	四	十(四)	クニギ	四	二
クリ	二	五	栗	二	二
クリカシハ	二	四	くりのき	二	二
くぬき	二	三	櫟	二	二
栲	二	三	櫟	二	二
櫟	二	三	皂斗	二	二
クルマミヅ	四	二十二	クルミ	二	二
クルミノキ	二	八(一)	クルンニ	二	二
槐	二	十三(一)	檜	三	一
檜柏	一	五	檜葉	一	三
花柏	一	三	黄櫨	一	七
黄楊樹	一	八	苦櫨木	二	十(四)

クノギ	二	三	クマカシ	三	九(二)
クマノガシ	二	九(七)	ク子ニ	三	三
	四	一	狗横	四	八
クサマキ	四	八	クモアブリ	四	二
	三	六	リス	二	一
くすのき	二	一			

や ノ 部

ヤイニ	二	九	ヤイムニ	二	五
ヤイウインテトベニ	四	十(四)	ヤハツニレ	四	十五(二)
やちだも	二	十(二)	櫛	二	十(二)
ヤグルマ	四	十七	山鶺鴒	二	十七
ヤマバリ	四	十五(二)	ヤマホソ	四	十四(一)
ヤマチヤ	四	十八(四)	ヤマカバ	四	十(四)
ヤマナラシ	二	九	鷄桑	四	二十
やまくは	二	二十	山桑	四	二十
ヤマクリ	二	五	やまぐるま	四	十七
ヤマアラシ	二	九	やまざくら	四	十二(一)
櫻桃	四	十二(一)	山櫻桃	四	十二(一)
ヤマキリ	二	十一	ヤマエンザ	四	十三(三)
ヤマビヤクダン	四	三	ヤマスワウ	二	三
ヤキリ	四	十五(一)	ヤシ	四	十二
野漆樹	一	七	ヤシノキ	二	十二
ヤツメ	四	十五(二)	ヤス	二	十二
ヤスノキ	二	十二			
マホソ	三	十一	マベシイ	三	九(七)
マタシイ	三	十二(二)	マツハダ	三	七(一)
馬刀葉椎	三	十二(二)	まてばしい	三	十二(二)
マデシイ	三	十二(二)	マクハ	三	二十
マキ	{三	三	マキ	四	一
	{三	十一		四	八

楨	四	一	枝	四	一
け		ノ	部		
桂	二	七	ケイマ	四	二十一
鷄桑	四	二十	血柏	一	五
けやき	二	二(一)	榉	二	二(一)
けんぼなし	四	十六	枳椇	四	十六
ふ		ノ	部		
フツクルミ	二	十二	ブナ	四	九(一)
榲	四	九(一)	榉	四	九(一)
ブツサ	三	八(二)	ぶなのき	四	九(一)
浮羅羅勒	二	六	フクベノキ	四	十三
フクラシバ	四	十八(二)	フシニ	二	六
フシマツ	一	四	フシマキ	二	三
フツキ	{	二 十三(三)	白槐	二	十三(三)
	{	二 十(四)	松	四	十五(一)
蚊母樹	四	十三	ブンナカリ	四	九(一)
乙		ノ	部		
ゴイノキ	四	二十一	小孛落	三	十一
コバノト子リコ	二	十(四)	コハビラ	四	十七
コバモチ	四	十八(四)	ゴヘイナラ	四	十(一)
五平櫨	三	十(一)	コチヤウノキ	四	十(五)
小櫨	三	十一	小櫨	四	十一
櫨	三	十一	孛落樹	三	十一
小孛落	三	十一	柞	三	十一
櫨	三	十一	コリウセン	三	八(一)
小龍仙	三	八(一)	こるくかし	三	五
コルクノキ	五	五	コルククヌキ	五	二
こがしば	三	十(一)	ゴラウヒバ	四	七
コヅバチ	二	十(一)	コウチン	二	十五

コウボク	一	五	厚朴	二	六
公孫樹	一	九	コノミ	四	九(一)
コムニ	三	十(二)	コグルミ	四	十二
コマキ	三	十一	コノノキ	四	十二(四)
コサバラ	四	十九(一)	コサバラ	四	十九(二)
こめつか	三	四(二)	米搦	四	四(二)
コメザクラ	四	十二(二)	ゴエフトガ	三	五
ゴエフマツ	{	四 四	ごねふまつ	三	四
	{	四 六	五釵松	四	五
五葉松	四	五	五鬚松	四	五
コエンヤ	二	十三(一)	コシヤノキ	四	十九(一)
コシアブラ	四	十九(二)	金漆樹	四	十九(二)
コセトウダイ	四	十九(一)	ゴンロククルミ	二	八(一)
コンゴウザクラ	四	十二(四)	コンシキ	四	十(二)
ゴンセツ	四	十九(二)			
江		ノ	部		
て		ノ	部		
テツモチ	四	十八(四)	てふじさくら	四	十二(二)
テフノキ	四	十(五)	テフテノキ	四	十(五)
テシマニ	四	二十	てふせんまつ	四	四
海松	四	四	朝鮮松	四	四
韓松	四	四	テフセンゴヤウ	四	四
朝鮮五葉	四	四	長葉五葉	四	四
新羅松	四	四	天師栗	四	十一
テンポナシ	四	十六	テンポゴナシ	四	十六
テンツ、キ	二	十五	テンジヨウシラズ	二	十五
あ		ノ	部		
アイセン	二	十一	阿部櫨	二	四
メベクヌキ	二	四	あべまき	二	四

アチボウモミ	三	八(三)	アチボウズ	四	十(二)
アチト子リコ	二	十(四)	アチカワ	四	十(二)
アチカワノギ	四	十(二)	アチダゴ	二	十(四)
アチタモ	二	十(四)	アチメガス	二	一
アチヒバ	三	八(一)	あなもりさゞまつ	三	八(二)
青森檜	三	八(二)	アカホマツ	三	一
アカトガ	三	五	アカカバ	四	十二(二)
あかかし	三	九(二)	血榿	三	九(二)
赤榿	三	九(二)	赤榿	三	九(二)
アカダモ	四	十五(一)	アカマツ	{	四 七
あかまつ	四	一		{	一 七
赤松	三	一	雌松	三	一
女松	三	一	アテヒ	三	六
アカギ	{	二 七	アカギ	四	十二(四)
	{	四 三	アカメガス	二	一
アカメマツ	三	一	アカビ	二	四 七
アツニ	四	十五(二)	アツニレ	四	十五(二)
あらかし	三	九(四)	組榿	三	九(四)
桐	三	九(四)	アラツバガシ	三	十二(三)
あらくぎ	四	三	水松	三	四 三
朱樹	四	三	欄	四	四 三
一位	四	三	一位木	四	四 三
櫟	四	三	アラアカ	三	九(二)
アランボカシ	三	九(四)	櫻桃	三	四 十二(一)
鴨脚	一	九	アリダラ	二	十一
アブラゴ	四	十九(二)	アブラギ	二	四 十九(二)
アサマツゲ	一	八	亞米利白楊	四	五 六
アメフリ	二	九	アスカベ	五	三 六
アスナロ	三	六	アスナラウ	三	三 六
檜	三	六	アスヒ	三	三 六
榿	二	十二			

	ノ	部		
細葉冬青	四	十八(一)	サハグリ	二 十(一)
さわぐるみ	二	十二	澤胡桃	二 十二
壽光木	二	十二	榿	二 十二
サルコカシ	四	二十一	サルフエ	四 十三
さばら	一	三	花柏	一 三
榿	一	三	弱檜	一 三
サワラトガ	三	五	サカモミ	三 三
サワカリ	二	四	サツマシイ	三 十二(二)
柞	二	三 十一	鑿子木	四 十八(四)
サクノキ	四	三	サヤザクラ	四 十二(二)
サ、クハ	四	二十	杉	一 一
サンチン	二	十五	山胡桃	一 二 八(一)
山櫻桃	二	四 十二(一)	山桑	四 二十
山毛櫨	四	九(二)		
	ノ	部		
榿	二	二(二)	きはだ	二 十四
黄蘗	二	十四	藥木	二 十四
黄柏	二	十四	きり	二 十
ギカントヒノキ	五	七	キソバ	一 四 九(一)
ギナン	一	九	枳椇	四 四 一六
皂斗	二	三	ギヤウツヤモミ	四 五 一
キヤンチン	二	十五	キフ子モミチ	五 四 十(一)
ギンナン	一	九	銀杏	四 一 九
ギンナンノキ	一	九	金松	四 一
金漆樹	四	十九(二)		
	ノ	部		
榿	四	十五(一)	雄松	三 二
ユリノキ	二	十三(三)	ユスノキ	三 四 十三

め	ノ	部		
明檜	三	六	メケルミ	二 八(二)
メクヌギ	二	三	メツラ	四 十二(四)
メクラホウゴ	四	十二(四)	メマツ	四 三 一
メサクラ	四	十二(三)	メシロザクラ	四 十二(三)
綿檜	二	四		

み	ノ	部		
ミツババナ	四	十(五)	ミツバカヘデ	四 十(三)
ミツナラ	三	十一	みつなら	四 十四(一)
水檜	四	十四(一)	ミツクサ	四 二十二
ミツノキ	四	二十二	ミツアナ	四 二十二
みつでかへで	四	十(三)	みつき	四 二十二
ミツメサクラ	四	十二(四)	ミツシ	四 二十二
ミ子ゾウ	四	三	ミ子スワウ	四 三
みつやまさくら	四	十二(三)		

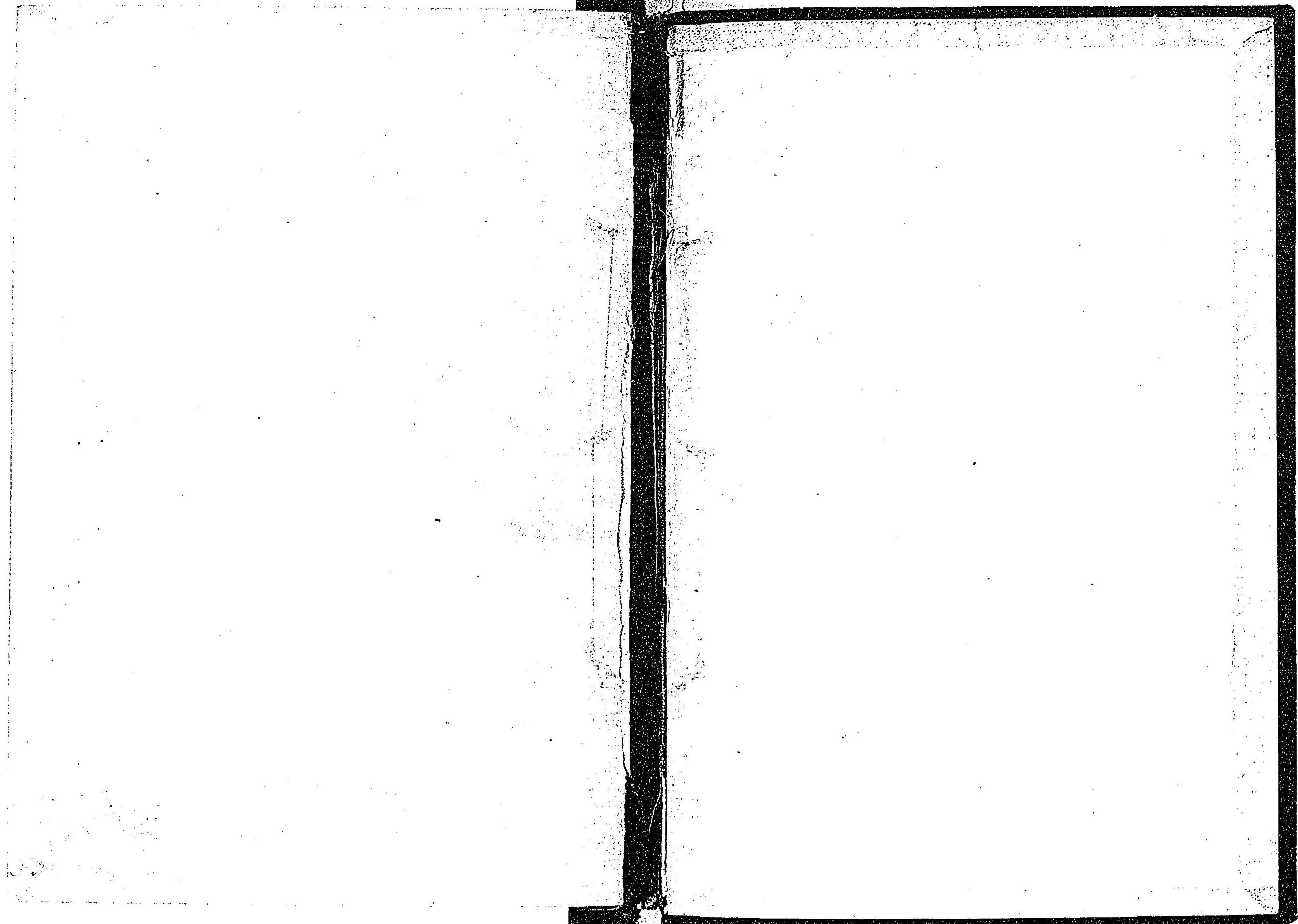
し	ノ	部		
シロ	三	八(一)	白穂松	三 二
シロカツラ	二	七	シロツガ	三 七(一)
シロマツ	三	二	シロアナ	四 九(一)
白芽松	三	二	シロエンツユ	二 十三(三)
シロモミ	{ 三	八(三)	刺柏	一 五
	{ 三	八(一)	シバクリ	二 五
しばじ	二	十(一)	シトハニ	四 十(一)
刺桐	二	十一	シリフカ	三 十二(三)
しりふかがし	三	十二(三)	尻深檜	三 十二(三)
尻深椎	三	十二(三)	シリブカシイ	三 十二(三)
シチツ	二	十(一)	撫地	二 十(一)
楢	一	一	樟	二 一
榎	二	十(一)	シヨウツキ	二 十(一)

漆		五	漆樹		一	五
しらべ	一	三	シラカシ	一	三	九(四)
シラカシ	三	三	鹵燾	三	三	九(一)
しらかし	三	三	白檜	三	三	九(一)
シラツガ	三	三	新羅松	四	三	四
シラビ	三	三	シラビ	四	三	六
シラビツ	三	三	白檜曾	三	三	八(一)
沙木	五	一	栢	一	一	八
シシヤナキ	五	一	シヤクノキ	四	三	三
弱檜	一	三	雌松	四	三	一
シケレベニ	二	十四	十文字榎	三	三	八(二)
壽光木	二	十二	シコロ	二	二	十四
シコムニ	三	十(二)	桐	三	三	九(四)
紫杉	四	三	臭椿	二	二	十五
朱樹	四	三	刺楸	二	二	十一
刺楸樹	二	十一	しひ	二	三	十二(一)
椎	二	十二(一)	柯樹	三	三	十二(一)
シヒカシ	三	十二(一)	椎木	三	三	十二(一)
椿	二	十五	榎	四	四	一
椿	一	三	春楡	四	四	十五(一)
春皮	二	十(三)	ツンダ	四	四	二十二
ツンダ	四	十九(一)	ツンダンボ	二	二	三

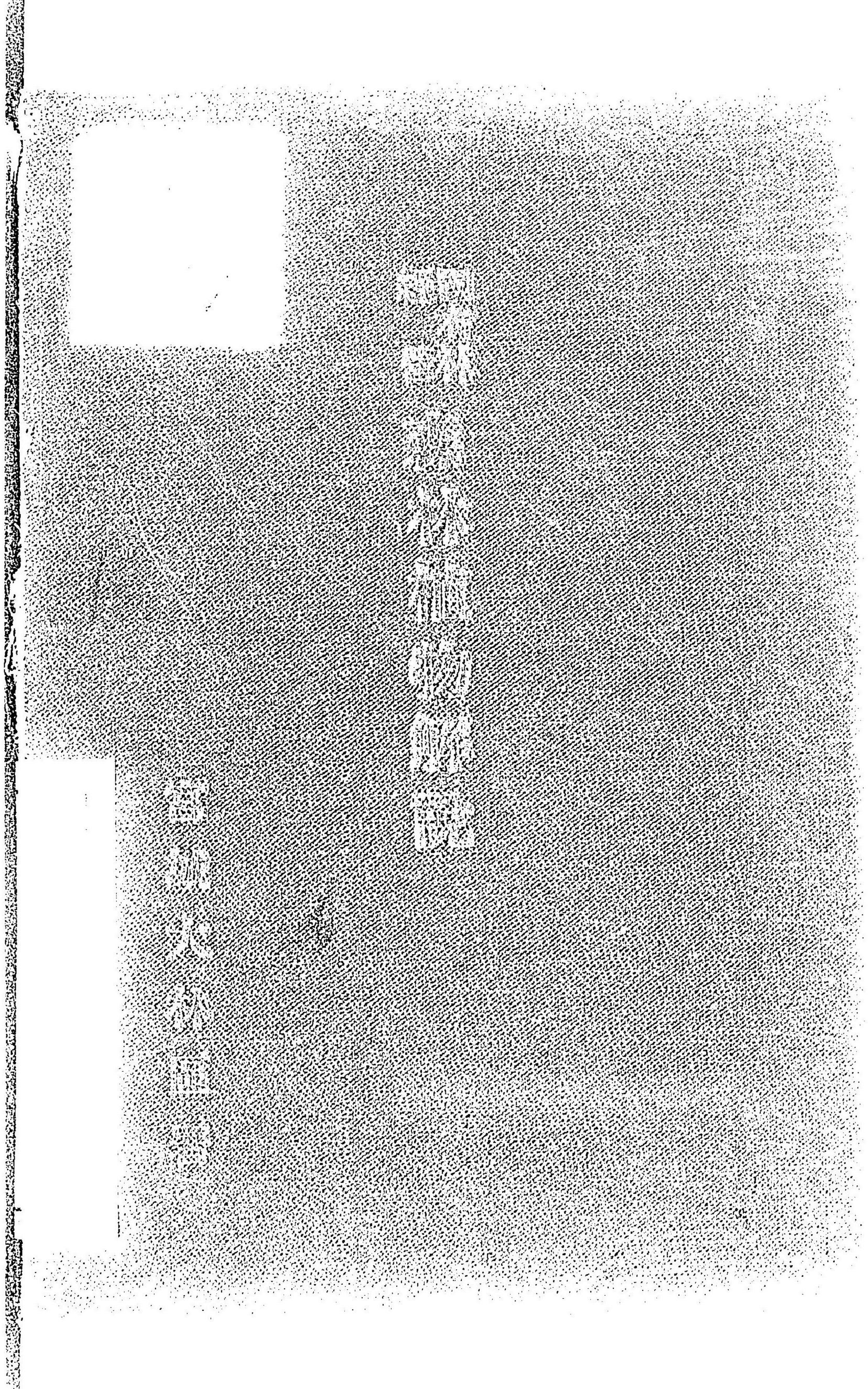
ゑ	ノ	部		
エニス	二	十三(一)	ゑんじゆ	二 十三(一)
槐	二	十三(一)		

ひ	ノ	部		
廣葉杉	五	一	ひば	三 六
羅漢柏	三	六	檜葉	三 六
明檜	三	六	雁齒柏	三 六
楸	三	六	楸	三 六

ヒトツバ	四	八	ヒヨソノキ	四	十三
ピランシユ	四	二十一	ひのき	一	二
ヒノキ	{三	六	檜	一	六
びやくしん	四	七	ビヤクダンノキ	一	五
檜柏	一	五	檜	一	五
圓柏	一	五	刺柏	一	五
柏楨	一	五	血柏	一	五
白身	一	五	栢心	一	五
白杉	一	五	白心	一	五
ヒメツガ	三	四(二)	伊吹光遠木	一	五
陳倉胡桃	二	八(二)	ひめぐるみ	一	八(二)
ひめこまつ	四	六	ヒメゴヤウ	二	四
姫五鬚松	四	六	姫小松	四	六
			ピンボウミツバ	四	十九(二)
ピンニ	{四	一八(二)	ピンカ	{四	十八(二)
	四	一八(一)		四	十八(一)
	二	十(二)			
		ノ	部		
モチカシハ	三	十(一)	もちのき	四	十八(一)
モチノキ	四	十八(一)	繭木	四	十八(一)
もみ	三	三	樅	三	三
櫻	三	三	モミソ	三	三
		ノ	部		
石櫛	三	九(五)	小亭落	三	十一
センノキ	二	十一	セノキ	二	十一
橙	二	十一	柚	二	十一
		ノ	部		
水櫛	四	十四(一)	水松	四	三
スワウノキ	四	三	スノキ	三	十一
スクロク	二	十五	すぎ	一	一
杉	一	一	楢	一	一
スギノキ	一	一	スキビヤクシン	一	五



27
359



97
3
359